

社会福祉法人親愛の里

平成 29 年度事業報告書

(長野支援事業所)

1. 法人本部 … P1～32
2. 親愛の里松川 … P33～48
3. ほっとハート親愛 … P49～58
4. 親愛の里夢工房 … P59～72
5. 親愛の里シンフォニー … P73～87
6. 親愛の里紙ふうせん … P88～101
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ … P102～107
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ … P108～115
9. コーポヘルメス … P116～129
10. 障がい者サポートセンター親愛 … P130～136
11. エコール親愛 … P137～151
12. 松川障がい者相談支援センター … P152～157
- 13.
14. 親愛の里そよかぜ
15. ハートランド森
16. クオーレ
17. ワークショップ虹
18. ジョブサポートフォルテ
19. ぱれっとハウス
20. 中村区障害者基幹相談支援センター
21. 熱田区障害者基幹相談支援センター
22. 南区障害者基幹相談支援センター
23. 障害者就労支援センター親愛
24. 親愛の里保育園

平成 29 年度事業報告

1. 種別・名称：社会福祉法人親愛の里本部

2. 概要

(1) 概要

平成 8 年 7 月の法人認可から 22 年目を迎え、第 2 期 3 か年計画の最終年として、別紙 1 のとおり法人経営に取り組んだ。

また、社会福祉法の改正に伴う社会福祉法人制度改革の趣旨に基づき、①地域における公益的事業の実施、②事業運営の透明性の向上、③経営組織のガバナンスの強化、④財務規律の強化等を図った。

主な取り組みについては、以下のとおりであった。

《人材の確保、定着、育成》

- ① 人材育成担当理事を配置し、研修計画等の見直しと共に、平成 30 年度向けに人材育成等を専門に担う新たな部の設置（人材育成・公益的事業部）
- ② 給与規程の見直しによる給料表及び各種手当の改善、資格手当等の新設（H30.4.1 適用）
- ③ 等級フレームを見直し、職位、職務定義等の改善（H30.4.1 適用）
- ④ 正規総合職と正規一般職の統合、短時間正規職員等多様な雇用形態の整備
- ⑤ 育児・介護休業等に関する規程（H30.4.1 適用）
- ⑥ 無期転換ルールを整備（H30.4.1 適用）
- ⑦ スマートフォン向けに HP のリニューアル（H30 年度完成）

《福祉サービスの整備等》

- ① 重症心身障がい者用 GH（コーポ新井）の開所及び新規 GH の候補地の確保
- ② 喬木村さくらの園の開所準備（H30 年度開所）
- ③ ジョブサポートフォルテ、ワークショップ虹の統合及び移転開所（H30 年度開所）

《適正な資金管理》

- ① 管理職等を対象とした財務研修等の通年実施
- ② 会計処理について、経営分析可能なソフトに変更

《理事会の機能強化》

- ① 担当理事制の導入及び業務執行理事等による業務報告（経営全般、財務、人材育成）
- ② 学習会の開催及び現場職員との合同研修会の開催

《主な施設整備等》

- ① 親愛の里松川自立訓練棟増改築
- ② ジョブサポートフォルテ、ワークショップ虹統合・移転・改修工事

(2) 課題と対応

- ① 人材確保・定着・育成制度の構築
 - A) 法人研修センターの設置と公益的な視点での運営（ソフト事業）
 - B) キャリアパスとリンクした計画的な研修制度に向けた改善
 - C) 多様な人材の確保に向けた積極的な広報活動
 - D) コンプライアンス研修等

- ② 福祉サービスの充実・整備
 - A) 生活の場と活動の場の更なる整備
 - B) 第三者評価の受審
 - C) 公益的事業の充実（法人及び事業所単位の取り組み）
 - ③ 経営継続資金の確保及び適正管理
 - A) 事業所単位の経営分析と経営改善
 - B) 資金の弾力的な運用
 - ④ 法人機能強化
 - A) 各種研修等の開催
 - B) 会議への出席率の向上
- ※ その他第3期5か年計画に沿った事業の実施
- (3) 重点目標及び評価 … 別紙1

3. 職員配置(事務局)

(H30.3.31)

職位\雇用形態等	正規総合	嘱託職員	計	役職・国家資格等
業務執行理事 2	0	2	2	常務理事 1(施設長兼務、社会福祉士) 財務担当理事 1(総務部長兼務)
事務局員	4	0	4	課長 1(古屋支援事業所総務課長兼務、社会福祉士) 係長 1、事務員 2
合 計	4	2	6	

4. 会議の開催

(1) 理事会開催

- 第104回理事会：平成29年5月28日(日) 於 松川町中央公民館 学習室2
 - 《議決事項》
 - 第一号議案 平成28年度事業報告について
 - 第二号議案 平成28年度決算報告について
 - 第三号議案 第12期役員候補者の選任について
 - 第四号議案 平成29年度福祉・介護職員処遇改善加算Ⅱの支給について
 - 《報告事項》
 - ① 職員の人事について
 - ② 社会福祉法人制度改革の動向について
 - ③ 松川町地域活動支援センター運営規定について
 - ④ 社会福祉法人親愛の里小委員会の委員の選任について
 - ⑤ その他
- 第105回理事会：平成29年6月18日(日) 於 松川町中央公民館 学習室2
 - 《議決事項》
 - 第一号議案 理事長の選任について
 - 第二号議案 業務執行理事の選任について
 - 第三号議案 常務理事の選任について
 - 第四号議案 社会福祉法人親愛の里小委員会の委員の選任について
 - 第五号議案 平成29年度福祉・介護職員処遇改善加算Ⅱの支給について

《報告事項》

- ① 第 12 期役員の選任結果について（定時評議員会における選任報告）
- ② 親愛の里松川利用者の事故について
- ③ その他

- 第 106 回理事会：平成 29 年 7 月 30 日(日) 於 松川町地域活動支援センター

《議決事項》

第一号議案 高森町地域活動支援センター事業の受託について

第二号議案 コーポヘルメスのサテライト型GH及びコーポヘルメスの事務所移転について

《報告事項》

- ① オーダーメイド型仕組債について
- ② 第一四半期の業務報告等について
 - A) 法人経営・運営全般について
 - B) 財務状況について
 - C) 人材育成について
- ③ その他

- 第 107 回理事会：平成 29 年 8 月 22 日(火) 於 親愛の里松川 会議室

《議決事項》

第一号議案 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事の実施について

第二号議案 親愛の里松川屋根改修工事の実施について

第三号議案 平成 29 年度第一次補正予算(案)について

《報告事項》

- ① 職員の人事について
- ② 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について
- ③ その他

- 第 108 回理事会：平成 29 年 10 月 15 日(日) 於 松川町中央公民館 学習室 1

《議決事項》

第一号議案 ジョブサポートフォルテ及びワークショップ虹の移転に係る新しい物件の確保及び賃貸借契約の締結について

第二号議案 平成 29 年度第二次補正予算(案)について

第三号議案 喬木村地域活動支援センター「高木村共同作業所さくらの園」の指定管理者募集への対応について

第四号議案 障害者就労支援センター親愛の継続是非について

《報告事項》

- ① 職員の人事について
- ② 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について
- ③ 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事に係る入札経過報告について
- ④ 親愛の里松川屋根改修工事について
- ⑤ 親愛の里松川フェンス工事について
- ⑥ その他

- 第 109 回理事会：平成 29 年 11 月 26 日(日) 於 松川町中央公民館 学習室 1

《議決事項》

- 第一号議案 グループホームのスプリンクラー工事等の実施及び入札について
- 第二号議案 ジョブサポートフォルテ及びワークショップ虹の統合に伴う移転先物件の改修工事の入札について
- 第三号議案 親愛の里紙ふうせんの従たる事業所の開設について
- 第四号議案 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事に係る借入金について
- 第五号議案 第三次補正予算(案)について
- 第六号議案 法令遵守規程の改定について
- 第七号議案 親愛の里保育園就業規則の一部改定について

《報告事項》

- ① 職員の人事について
 - ② 業務執行理事等による上半期業務報告
 - A) 法人経営・運営全般について
 - B) 財務状況について
 - C) 人材育成について
 - ③ 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について
 - ④ その他
- 第 110 回理事会：平成 30 年 3 月 19 日(土) 於 松川町中央公民館 学習室 1

《議決事項》

- 第一号議案 平成 29 年度法人・施設等第四次補正予算(案)について
- 第二号議案 平成 30 年度法人・施設等事業計画(案)について
- 第三号議案 平成 30 年度法人・施設等予算(案)について
- 第四号議案 就業規則の改定について
- 第五号議案 給与規程の改定について
- 第六号議案 育児・介護休業等に関する規程の改定について
- 第七号議案 ジョブサポートフォルテ就労定着支援事業指定について

《報告事項》

- ① 職員の人事について
- ② その他

(2) 評議員会の開催

- 第 56 回評議員会(定時評議員会)：平成 29 年 6 月 18 日(日)

於 松川町中央公民館 学習室 2

《議決事項》

- 第一号議案 平成 28 年度事業報告について
- 第二号議案 平成 28 年度決算報告について
- 第三号議案 第 12 期役員候補者の選任について

《報告事項》

- ① 職員の人事について
- ② 社会福祉法人制度改革の動向について
- ③ 松川町地域活動支援センター運営規定について
- ④ その他

- 第 57 回評議員会：平成 29 年 8 月 22 日(火)

於 親愛の里松川会議室/親愛の里そよかぜ会議室(WEB 会議)

《議決事項》

第一号議案 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事の実施について

第二号議案 親愛の里松川屋根改修工事の実施について

第三号議案 平成 29 年度第一次補正予算(案)について

《報告事項》

① 職員の人事について

② 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について

③ その他

- 第 58 回評議員会：平成 29 年 10 月 15 日(日) 於 松川町中央公民館 学習室 1

《議決事項》

第一号議案 ジョブサポートフォルテ及びワークショップ虹の移転に係る新しい物件の確保及び賃貸借契約の締結について

第二号議案 平成 29 年度第二次補正予算(案)について

第三号議案 高木村地域活動支援センター「高木村共同作業所さくらの園」の指定管理者募集への対応について

第四号議案 障害者就労支援センター親愛の継続是非について

《報告事項》

① 職員の人事について

② 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について

③ 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事に係る入札経過報告について

④ 親愛の里松川屋根改修工事について

⑤ 親愛の里松川フェンス工事について

⑥ その他

- 第 59 回評議員会：平成 29 年 11 月 26 日(日) 於 松川町中央公民館 学習室 1

《議決事項》

第一号議案 グループホームのスプリンクラー工事等の実施及び入札について

第二号議案 ジョブサポートフォルテ及びワークショップ虹の統合に伴う移転先物件の改修工事の入札について

第三号議案 親愛の里紙ふうせんの従たる事業所の開設について

第四号議案 親愛の里松川自立訓練棟増改築工事に係る借入金について

第五号議案 第三次補正予算(案)について

第六号議案 法令遵守規程の改定について

第七号議案 親愛の里保育園就業規則の一部改定について

《報告事項》

① 職員の人事について

② 業務執行理事等による上半期業務報告

A) 法人経営・運営全般について

B) 財務状況について

C) 人材育成について

③ 親愛の里松川利用者の事故に係る経過報告について

④ その他

- 第 60 回評議員会：平成 30 年 3 月 19 日(土) 於 松川町中央公民館 学習室 1

≪議決事項≫

第一号議案 平成 29 年度法人・施設等第四次補正予算(案)について

第二号議案 平成 30 年度法人・施設等事業計画(案)について

第三号議案 平成 30 年度法人・施設等予算(案)について

第四号議案 就業規則の改定について

第五号議案 給与規程の改定について

第六号議案 育児・介護休業等に関する規程の改定について

第七号議案 ジョブサポートフォルテ就労定着支援事業指定について

≪報告事項≫

① 職員の人事について

② その他

(3) 評議員選任・解任委員会：開催なし

(4) 理事小委員会

- 運営・建設委員会 … 開催なし

- 人事委員会 … 正規職員の採用試験の実施(随時)

(5) 運営協議会

- 運営協議会事前説明会：平成 30 年 3 月 11 日(日) 於 親愛の里そよかぜ会議室

- 運営協議会の位置づけについて

- 運営協議会の運営について

- 法人の概要について

- その他

(6) 経営会議 … 月例会

- 参集範囲：理事長、常務理事(業務執行理事)、財務担当業務執行理事、人材育成担当理事、事務局課長等

(7) 法人・施設等現況報告・検討会 … 月例会

- 参集範囲：理事長、常務理事(業務執行理事)、財務担当業務執行理事、人材育成担当理事、施設長、課長、事務局課長等

(8) 法人事務局会議 … 月例会

- 参集範囲：常務理事(業務執行理事)、財務担当業務執行理事、事務局課長、事務局員等

5. 事業関係

(1) 平成 29 年 4 月 1 日 自殺対策事業受託(松川町)

(2) 平成 29 年 5 月 1 日 共同生活援助事業所 コーポ新井開所(松川町)

- 定員 5 名 ショートステイ 1 名

- 入居対象者：重症心身障がいのある人

(3) 平成 29 年 6 月 1 日 障害者支援施設 親愛の里松川定員削減(50 名→40 名)

(4) 平成 30 年 3 月 喬木村から喬木村さくらの園の指定管理を受託

(H30 年度はととハート親愛の分場として就労継続支援 B 型事業(定員 10 名)の運営開始)

(5) 平成 30 年 3 月 31 日 障害者就労支援センター受託期間満了

6. 規程関係

- (1) 法令遵守規程の改定（H29.11.26 適用） … 前文の整備、統括法令遵守責任者の配置等
- (2) 就業規則改定（H30.4.1 適用） … 無期転換ルールを採用
- (3) 給与規程改定（H30.4.1 適用）
 - ◆ 正規総合職及び正規一般職の統合、等級表の見直し等
 - ◆ 給料表の改定
 - ◆ 各種手当の見直し等 … 資格手当の新設、地域手当の新設、扶養手当の見直し等
- (4) 育児・介護休業等に関する規程（H30.4.1 適用）
 - ◆ 育児休業及び介護休業の有給化等

7. 法人内研修実施状況

- (1) 管理職等研修
 - ◆ テーマ：理念経営研修 ～職員が定着する地域一番の施設を目指す～
 - ◆ H29.10.29-30 管理職合宿研修 於 金山研修センター・ゼミナールプラザ 名
 - ◆ H30.1.28 管理職及び役員等 於 三宜亭 名
 - ◆ 講師：(株)入江感動経営研究所 代表取締役 入江 元太 氏（中小企業診断士）
 - ◆ 目標：笑顔で挨拶日本一を目指す！
- (2) 長野支援事業所 … 別紙 2
- (3) 名古屋支援事業所 … 別紙 3

8. 公益的事業

- (1) あおぞら教室 … 別紙 4
- (2) まつかわこども福祉教室“あいむ” … 別紙 5

9. 第9回親愛の里福祉大会（公益的事業）

- (1) 日時：平成 29 年 9 月 3 日(日) 午前 9 時 45 分から午後 3 時 40 分
- (2) 会場：松川町中央公民館
- (3) 参加者：199 名(来賓等 7・講師等：13 名、一般：43 名、職員 136 名)
- (4) 大会テーマ：地域のひとりとして あたりまえに ^{しあわせ} 幸福になろうよ

～みんなが手をつなぎ歩むために 今 私たちができること～

《内容》

▶ 記念式典

- ◆ 大会趣旨説明、永年勤続表彰等
- ◆ 被表彰者(職員勤続 10 年以上) 3 名
- ◆ 法人経営報告：法人等の第 2 期 3 か年計画の進捗状況及び収支の状況等

▶ 基調講演

- ◆ 演題：車いすからの出発（たびだち）～人間の価値と生き方～
- ◆ 講師：鈴木 ひとみ 氏
 - ・人権啓発講師
 - ・元ミス・インターナショナル準日本代表
 - ・アテネパラリンピック射撃日本代表

▶ 分科会

第 1 分科会 成年後見制度の活用と現状と課題について

- 第2分科会 地域生活：重度の障がいのある方の地域生活を考える
 第3分科会 「障がい者雇用」を就労支援センターの取り組みを通じて考える
 第4分科会 健常児と障がい児が共に育ち合うために
 ～5歳児ひまわり組と水頭症H男の交流を通じて～
 第5分科会 親愛の里の歩み
 ～ご利用者、ご家族、地域関係者の立場から振り返る～

- ▶ 事業所紹介コーナー（パネル展示）
- ▶ バザーコーナー
- ▶ 書籍紹介コーナー

10. 初代理事長 故加藤孝正儀慰ぶ会開催

● 平成29年10月15日(日) 於 松川町中央公民館 えみりあホール 97名

11. 主な施設整備等

(円)

事業名	事業費総額	補助金額	概要等	備考
親愛の里松川屋根補修工事	3,985,200	0	補修面積：3,285.6㎡	【施工業者】信州建装㈱ 【設計監理】㈱鈴木建築設計事務所 H29.10.20完了
親愛の里松川自立訓練棟増改築工事	30,024,000	0	建築面積：65.52㎡ 延べ床面積：65.03㎡	【施工業者】林材木店㈱ 【設計監理】㈱鈴木建築設計事務所 H29.12.15竣工
親愛の里松川フェンス設置工事	1,344,000	1,008,000 (長野県補助金)	建築面積：2,009.83㎡ 延べ床面積：2,001.33㎡	【施工業者】生田木材技研㈱ 【設計監理】㈱鈴木建築設計事務所 H29.12.15竣工
コーポヘルメス等消防設備等整備工事	8,748,000	0	・コーポヘルメス、コーポ原町：非常通報装置 ・コーポ宗源原：スプリンクラー工事	【施工業者】新井電気工事㈱ 【設計監理】㈱鈴木建築設計事務所 H30.3.30竣工
ジョブサポートフォルテ改修工事	34,020,000	0	多機能型事業所ジョブサポートフォルテ・ワークシヨップ虹を統合移転	【施工業者】株式会社インテリアすゞき 【設計監理】企業組合 建築環境システム H30.3.31竣工
5事業	78,121,200	1,008,000		

12. 公用車等の整備等

(円)

車種等	補助団体等	事業費総額	補助金額	備考
ステップワゴン 4WD車いす仕様 (7人乗り) (配置先：ほっとハート親愛)	長野県共同募金会	3,220,000	1,800,000 (配分金)	納車：H29.6.13
セレナスステップタイプ 2WD (8人乗り) (配置先：エコール親愛)	公益財団法人 日本財団	1,815,500	1,450,000 (助成金)	納車：H30.3.28

法 人 の 沿 革

《運営の経過及び主な施設整備の状況》

期 日	内 容
平成 7 年 5 月	在宅障害児・者の生涯学習の場として、下伊那郡松川町で「あおぞら教室」を開始する。(毎月開催)
平成 8 年 4 月 1 日	自主運営：在宅障害者への援助・支援試行(1 年間)
平成 8 年 7 月 1 日	社会福祉法人 親愛の里設立認可
平成 9 年 6 月 30 日	知的障害者更生施設 親愛の里松川竣工
平成 9 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者更生施設 親愛の里松川開所 (定員 30 名 ショートステイ 4 名)
平成 10 年 4 月 1 日	社会福祉法人 親愛の里倫理綱領制定
平成 12 年 10 月 1 日	知的障害者更生施設 親愛の里松川増設 (定員 50 名)
平成 12 年 10 月 1 日	自動車総連・盟和産業労働組合より、親愛の里松川に車両寄贈 (ハイエース 10 人乗り)
平成 13 年 4 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所 ワークショップ虹開所 (定員 15 名)
平成 13 年 4 月 1 日	上伊那郡宮田村に障害者等共同作業所 宮田村福祉作業所開所 (宮田村委託事業)
平成 13 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者デイサービス事業 松川町障害者デイサービスセンター親愛開所 (定員 8 名) (松川町委託事業)
平成 13 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者地域援助事業(グループホーム) コーポ ヘルメス開所 (定員 7 名)
平成 14 年 10 月 5 日	松川町障害者デイサービスセンター親愛及びコーポ ヘルメス開所 1 周年記念式典開催
平成 15 年 4 月 1 日	措置制度から支援費制度への変更に伴い、指定施設事業者及び指定居宅支援事業者の指定を受ける。
平成 15 年 4 月 1 日	措置費制度から支援費制度への変更に伴い、コーポ ヘルメスの定員変更(6 名)
平成 15 年 10 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜ開所
平成 15 年 11 月 1 日	あおぞら教室が通算 100 回となる。
平成 16 年 10 月 1 日	下伊那郡高森町に精神障害者通所授産施設 親愛の里紙ふうせん開所(定員 20 名)
平成 16 年 10 月 1 日	強度行動障害特別支援加算事業開始(親愛の里松川)
平成 16 年 10 月 31 日	あおぞら教室 100 回記念事業開催 中国大黄河雑技団及び JUZO 太鼓公演
平成 16 年 3 月 31 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：リフト付ハイエース(10 人乗り)
平成 17 年 7 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所 ジョブサポート f(フォルテ)開所 (定員 15 名)

平成 17 年 7 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム) ぱれっとハウス開所 (定員 5 名)
平成 17 年 11 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム) アウェエテ開所 (定員 4 名)
平成 17 年 12 月 1 日	松川町内に自活訓練用家屋(3DK)を 1 棟借用
平成 18 年 4 月 1 日	障害者自立支援法施行
平成 18 年 6 月 14 日	宮田村に次世代育成支援事業として、宮田村つどいの広場を開所(宮田村委託事業)
平成 18 年 10 月 1 日	松川町障害者デイサービスセンター親愛が経過的デイサービスとして継続運営
平成 18 年 10 月 1 日	名古屋市熱田区家族会経営の、精神障害者小規模作業所 ハートランド森の経営受託に伴い、新たに熱田区に同作業所を設置
平成 18 年 10 月 1 日	精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜが、中村・中川障害者地域生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域活動支援センター 親愛の里そよかぜ(I 型)として継続運営
平成 18 年 10 月 1 日	精神障害者小規模作業所 ジョブサポート f(フォルテ)及びワークショップ虹が、多機能型事業所 ジョブサポートフォルテとして継続運営 (定員:就労移行支援 6 名/就労継続支援(B 型)18 名/自立訓練(生活訓練)6 名) 主たる事業所:ジョブサポート フォルテ 従たる事業所:ワークショップ虹
平成 18 年 10 月 1 日	グループホーム ぱれっとハウス及びアウェエテが、共同生活援助・共同生活介護事業所 ぱれっとハウスとして事業運営 (共同住居:ぱれっとハウス・アウェエテ)
平成 18 年 10 月 1 日	熱田・港障害者地域生活支援センター(指定相談事業)を開始
平成 19 年 4 月 1 日	経過的デイサービス 松川町障害者デイサービスセンター親愛が多機能型事業所 ぽっとハート親愛として継続運営(定員:生活介護 6 名/自立訓練(生活訓練)14 名)
平成 19 年 4 月 1 日	グループホーム コーポヘルメスが共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポヘルメスとして事業継続
平成 19 年 4 月 1 日	精神障害者小規模作業所 ハートランド森が、作業所型地域活動支援センター ハートランド森(Ⅱ型)として事業継続
平成 19 年 4 月 1 日	障害者等共同作業所 宮田村福祉作業所が、地域活動支援センター(Ⅲ型)として継続運営
平成 19 年 5 月 1 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ原町を高森町下市田に開所 (定員 3 名)
平成 19 年 11 月 13 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ原町改修工事竣工(12 月から定員 3 名→6 名に変更)
平成 20 年 1 月 31 日	多機能型事業所 ぽっとハート親愛増改築工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業:基盤整備事業 18,596,340 円 (特例交付金:18,000,000 円)
平成 20 年 1 月 31 日	コーポ宮坂及び障がい者サポートセンター親愛整備事業竣工 障害者自立支援対策特別対策事業:基盤整備事業 25,230,500 円 (県単補助金:5,000,000 円 特例交付金:4,500,000 円 日本財団助成金:6,100,000 円)
平成 21 年 3 月 31 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川:セレナ(8 人乗り)
平成 20 年 4 月 1 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宮坂を松川町元大島に開所 (定員 7 名)

平成 20 年 4 月 1 日	地域活動支援センター 宮田村福祉作業所(Ⅲ型)が自立訓練(生活訓練)事業所に移行し、名称が親愛の里シンフォニーとなる
平成 20 年 7 月 19 日	親愛の里松川設立 10 周年記念式典及び記念映画上映会を松川町中央公民館にて開催 映画：筆子・その愛～天使のピアノ～
平成 20 年 7 月 19 日	法人のマスコットキャラクター「親愛ちゃん」制定
平成 21 年 2 月 27 日	親愛の里松川新居住棟(自立訓練棟)竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業) 37,485,000 円 (特例交付金：18,000,000 円) 定員：7 名 建築面積：225.66 m ² (床面積：216.13 m ²) 構造：木造平屋造
平成 21 年 2 月 27 日	親愛の里紙ふうせん増築工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業) 17,430,000 円 (特例交付金：17,430,000 円) 増築面積：78.96 m ² 構造：鉄骨平屋造
平成 21 年 2 月 27 日	親愛の里シンフォニー改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業) 19,282,500 円 (特例交付金：18,000,000 円) 内容：喫茶店、台所、トイレ、外壁、作業室等の改修
平成 21 年 2 月 27 日	コーポヘルメス改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(基盤整備事業) 1,800,000 円 (特例交付金：1,800,000 円) 内容：浴室の改修ほか
平成 21 年 4 月 1 日	精神障害者通所授産施設 親愛の里紙ふうせんが多機能型事業所に移行すると共に、多機能型事業所 ほっとハート親愛との事業統合を行い、新たに多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん(定員 24 名)として継続運営 (主たる事業所 親愛の里紙ふうせん 定員：就労継続支援事業 6 名／就労継続支援(B 型)18 名／従たる事業所 ほっとハート親愛 定員：自立訓練(生活訓練)10 名／生活介護 10 名)
平成 21 年 5 月 24 日	親愛の里「輝いて生きよう」制定 作詞：加藤 孝正(理事長) 作・編曲：小寺 富士雄 うた：末岡 小百合 スミス紀美代
平成 21 年 8 月 1 日	下伊那郡松川町のコーポ宮坂内に行動援護事業所 障がい者サポートセンター親愛を併設開所
平成 21 年 10 月 1 日	多機能型事業所 親愛の里紙ふうせんが、多機能型事業所 親愛の里紙ふうせんと同ほっとハート親愛とに分かれ継続運営 多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん 定員 24 名(就労継続支援事業 6 名／就労継続支援(B 型)18 名) 多機能型事業所 ほっとハート親愛 定員 20 名(自立訓練(生活訓練)10 名／生活介護 10 名)
平成 21 年 10 月 1 日	上伊那郡宮田村に親愛の里シンフォニーの従たる事業所として親愛の里夢工房を開所し、併せて自立訓練(生活訓練)事業所 親愛の里シンフォニーを多機能型事業所 親愛の里シンフォニー(定員 20)として継続運営
平成 21 年 10 月 1 日	知的障害者更生施設 親愛の里松川が新体系へ移行し、障害者支援施設 親愛の里松川として継続運営(生活介護事業 50 名)
平成 22 年 7 月 19 日	親愛の里音頭制定 作詞：関 潤子(職員) 作曲：小山 富弘 うた：利用者、職員有志 振付・太鼓：戸田 澄男
平成 22 年 9 月 30 日	親愛の里松川スプリンクラー設置工事 工事費総額：33,390,000 円 … 松田・南信株式会社 飯田支店 設計監理費：997,500 円 … 鈴木建築設計事務所 (社会福祉施設等耐震化等特別対策事業補助金 25,042,000 円)

平成 22 年 10 月 1 日	愛知県刈谷市に親愛の里保育園を開所（定員 90 名） (宗教法人 大悟寺経営の庭松保育園を当法人に経営移管)
平成 23 年 3 月 27 日	親愛の里保育園歌「希望に燃えて」制定 作詞：加藤 孝正 作曲・ピアノ：水村 さおり
平成 23 年 3 月 31 日	24 時間テレビチャリティー委員会による車両整備 親愛の里松川：リフト付エブリ(4人乗り)
平成 23 年 4 月 1 日	松川町南大柏団地内の自活訓練用家屋(3DK)を、ほっとハート親愛の活動場所 に変更
平成 23 年 4 月 1 日	宮田村地域活動支援センターの施設長業務を宮田村から受託
平成 23 年 5 月 1 日	児童デイサービス エコール親愛を松川町に開所（定員 10 名）
平成 24 年 3 月 1 日	松川町宗源原自治会内に、親愛の里松川利用者向け自活訓練用家屋(8LDK) 1 棟 を借用
平成 24 年 3 月 31 日	コーポ宮田改修工事 工事総額：8,988,000 円（補助金：4,490,000 円（長野県） 施工業者：石田建設株式会社 設計管理：鈴木建築線形事務所
平成 24 年 3 月 31 日	親愛の里松川厨房増築・改修工事 工事総額：13,020,000 円（配分金：5,000,000 円（長野県共同募金会） 施工業者：株式会社 林材木店 設計管理：鈴木建築線形事務所
平成 24 年 3 月 31 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：ステップワゴン(8人乗り) 親愛の里シンフォニー：ミニキャブ(2人乗り) 名古屋支援事業所：キャラバン(6人乗り)
平成 24 年 5 月 1 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宮田を上伊那郡宮田村に開所 (定員 4 名)
平成 24 年 9 月 21 日	障害者就労支援センター親愛竣工 施工業者：沢木建築 工事総額：23,625,000 円 補助金：7,500,000 円（名古屋市）
平成 24 年 10 月 1 日	障害者就労支援センター 障害者就労支援センター親愛を名古屋市中村区に開 所
平成 24 年 12 月 8 日	相談支援事業所 松川障がい者相談支援センターを松川町元大島に開所 (特定相談支援・障害児相談支援)
平成 24 年 12 月 21 日	中村・中川障害者地域生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域 活動支援センター 親愛の里そよかぜ(I 型)が中村区豊国通へ移転。障害者就労支 援センター親愛と併せて、名古屋支援事業所本部を開所。
平成 25 年 3 月 28 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん：セレナ(8人乗り) ほっとハート親愛：キャラバン(車いす対応車(8人乗り))
平成 25 年 3 月 31 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宗源原竣工(定員 7 名) 施工業者：林材木店株式会社 設計管理：鈴木建築設計事務所 工事総額：14,154,000 円 補助金：5,000,000 円（長野県）
平成 25 年 4 月 1 日	児童デイサービス エコール親愛が児童福祉法の放課後等デイサービスに事業 変更

平成 25 年 7 月 22 日	親愛の里設立発起人会から車両の寄贈 親愛の里松川 ハイエース（10 人乗り）
平成 25 年 8 月 1 日	多機能型事業所 親愛の里シンフォニー定員変更(就労継続支援 B 型 12 名、自立訓練(生活訓練)8 名。合計 20 名)
平成 25 年 10 月 1 日	多機能型事業所 ほっとハート親愛が自立訓練(生活訓練)を廃止し、生活介護事業所として継続運営(定員 20 名)
平成 25 年 10 月 1 日	多機能型事業所 親愛の里シンフォニーが就労継続支援 B 型事業所として継続運営（定員 20 名） 多機能型事業所 親愛の里夢工房を開設。生活介護事業 14 名、自立訓練(生活訓練)6 名、定員 20 名
平成 26 年 4 月 1 日	飯島町地域活動支援センターやすらぎ開所（指定管理）
平成 26 年 4 月 1 日	中村区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋市身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成 26 年 4 月 1 日	熱田区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋市身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成 26 年 4 月 1 日	南区障害者基幹相談支援センター開所 (（福）名古屋キリスト教社会館、（福）ニコニハウスとコンソーシアムによる)
平成 26 年 4 月 1 日	名古屋市南区に地域活動支援センタークオーレ（I 型）開所
平成 26 年 4 月 1 日	親愛の里保育園一時保育事業開始 定員 10 名
平成 26 年 8 月 1 日	親愛の里保育園が寺横町から熊野町に移転改築開所 定員 90 名から 120 名に変更 一時保育事業 定員 10 名 病児・病後児保育事業 定員 4 名 子育て支援センター
平成 26 年 9 月 5 日	共同住居 ぱれっとハウス(共同生活援助)が中村区小鴨町へ移転、定員を 4 名に変更。併せて、共同住居 コーポ本陣を開設（定員 2 名）
平成 27 年 3 月 17 日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里シンフォニー：ステップワゴン（8 人乗り）4WD
平成 27 年 4 月 1 日	松川町地域活動支援センターあすなろ再開（業務委託）
平成 27 年 4 月 1 日	親愛の里保育園定員変更 120 名から 135 名に変更
平成 27 年 4 月 1 日	共同生活援助事業所 コーポヘルメス定員変更 31 名から 30 名に変更
平成 27 年 4 月 1 日	法人独自の公益事業開始 障がい者生涯学習 あおぞら教室 まつかわこども福祉教室 “あいむ”

平成 27 年 6 月 1 日	熱田区障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センター ハートランド森が熱田区横田に移転する。
平成 28 年 2 月 17 日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん：ステップワゴン（8 人乗り）2WD
平成 28 年 6 月 1 日	親愛の里紙ふうせんの加工所(分場)を高森町に開所
平成 28 年 12 月 18 日	法人設立 20 周年記念式典等開催 ～地域とともに 20 年、未来に向けて思いをつなぐ～ 於 松川町中央公民館
平成 28 年 12 月 22 日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 クオーレ：ホンダ N-BOX（4 人乗り）
平成 29 年 2 月 23 日	共同生活援助事業 コーポヘルメス コーポ宮坂のサテライト型を松川町に開所 1 名
平成 29 年 3 月 31 日	共同生活援助事業所 コーポ新井竣工(定員 5 名、ショートステイ 1 名) 施工業者：林材木店株式会社 設計監理：株式会社 鈴木建築設計事務所 本体工事総額：53,892,000 円(建築面積:215.71 m ² 、延べ床面積:195.85 m ²) 国庫補助金：24,221,000 円
平成 29 年 4 月 1 日	松川町から自殺対策事業を受託
平成 29 年 5 月 1 日	共同生活援助事業所 コーポ新井を松川町元大島に開所 (定員 5 名・ショートステイ 1 名) 入居対象者：重症心身障がい者
平成 29 年 6 月 1 日	障害者支援施設 親愛の里松川定員削減 ● 施設入所支援 50 名→40 名 ● 生活介護事業 50 名→40 名
平成 29 年 6 月 13 日	長野県共同募金会配分金による車両整備 ほっとハート親愛：ステップワゴン 4WD 車イス仕様（7 人乗り）
平成 29 年 10 月 15 日	初代理事長故加藤孝正儀偲ぶ会開催 於 松川町中央公民館 えみりあホール
平成 29 年 10 月 20 日	親愛の里松川屋根補修工事 施工業者：信州建装株式会社 工事総額：3,985,200 円(補修面積:3,285.6 m ²)
平成 29 年 11 月 30 日	親愛の里松川フェンス設置工事 施行業者：生田木材技研株式会社 工事総額：1,344,000 円(建築面積:2,009.83 m ² 、延べ床面積:2,001.33 m ²) 県費補助金：1,008,000 円
平成 29 年 12 月 15 日	親愛の里松川自立訓練棟増改築工事 施工業者：林材木店株式会社 設計監理：株式会社 鈴木建築設計事務所 工事総額：30,024,000 円(建築面積:65.52 m ² 、延べ床面積:65.03 m ²)
平成 30 年 3 月 28 日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 エコール親愛：セレナスステップタイプ 4WD（8 人乗り）
平成 30 年 3 月 30 日	コーポヘルメス(コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宗源原)消防設備整備工事 施工業者：新井電気工事(株) 工事総額：8,748,000 円

平成 30 年 3 月 31 日	多機能型事業所ジョブサポートフォルテ・ワークショップ虹を統合移転 （移転後定員 移行 10 名 継続 B 型 39 名 自立訓練（生活訓練）6 名） 施工業者：株式会社 インテリアすゞき 設計監理：企業組合 建築環境システム 本体工事総額：34,020,000 円(建物延べ床面積:662.99 m ²)
平成 30 年 3 月 31 日	障害者就労支援センター（名古屋市中村区）の受託期間満了

基本理念

しあわせ 人権の保障と幸福を共に創る

社会福祉法人 親愛の里は、社会福祉法及び創設された障害者自立支援法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

職員の使命

1. 私たちは、人として尊ぶ。
2. 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。
3. 私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。
4. 私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。
5. 私たちは、福祉の未来を創る。

職員の使命の内容

1 私たちは、人として尊ぶ。

- (1) 利用者の自己選択と自己決定を最大限に尊重します。
- (2) 親子・兄弟等の「きずな」を大切にします。

2 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。

- (1) 研修・研究等を通じ絶えず研鑽を積みます。
- (2) 心身ともに健康で豊かな生活を創ります。

3 私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。

- (1) 利用者の生活の安心・安全を保障します。
- (2) 利用者が地域等において可能な限り自立(自律)した暮らしができるよう支援します。

4 私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。

- (1) 福祉臨床の考え方のもと、サテライト方式により、いつでも、どこでも必要なサービスを提供することをめざします。
- (2) 関係機関、他の法人・団体、個人等とネットワークを創り、地域の住民が豊かな

5 私たちは、福祉の未来を創る。

- (1) 進取の精神の下、この地域に合った福祉を創ります。
- (2) 利用者、家族、そして地域から学び、必要な福祉サービスを創ります。

人事ポリシー

社会福祉法人 親愛の里は、法人の理念の下に、法人が求めている職員像及び組織風土を明示するとともに、職員育成及び人事考課制度等について以下のとおり定め実践する。

1. 職員像

- (1) 人権意識の下に利用者のしあわせを共に見出すことのできる人
- (2) 創造力と問題意識を持ちそれを行動に移せる人
- (3) 地域に向かって利用者の自立(自律)支援ができる人
- (4) 倫理観を持ち、法人の倫理綱領を遵守できる人
- (5) 自己研鑽ができる人
- (6) 笑顔とあいさつが自然にできる人

2. 組織風土

- (1) 人権意識を基本とした言動のある組織風土
- (2) お互いに認め合い、チームワークの良い組織風土
- (3) 進取の気風を大切にし、お互いに研鑽を積み、職員が育つ組織風土
- (4) 地域福祉の視点に立つことのできる組織風土
- (5) 利用者の輝きが私たちの輝きと感じられる組織風土

3. 職員育成

- (1) 法人は、理念に沿った職員を育成するために、別に定める職員研修・助成要綱により研修等を行う。
- (2) 法人は、職員の育成を目的に、別に定める公正かつ適切な人事考課制度を導入する。

4. 安全衛生

- (1) 法人は、職員の疾病等の予防及び業務上の事故の防止に努める。
- (2) 法人は、心身ともに安心・安全な職場環境づくりに努める。

5. 職員の福利厚生

- (1) 法人は、働きやすい職場づくりに努める。
- (2) 法人は、豊かでそして安心できる福利厚生の充実に努める。

平成 18 年 7 月 17 日制定

社会福祉法人 親愛の里職員倫理綱領

私たちは、採用時に社会福祉法人親愛の里の職員としてその設立の精神を重んじ、障害者の処遇に心を払い、誠実に職務を遂行し、進取の気風を忘れることなく福祉臨床の実践と研究に邁進し、豊かな施設福祉を創り上げることを誓った。

しかし、福祉施設では人権擁護に留意してもなお、その組織機構、建物構造、職員などから、人権侵害が行われ得ることが指摘されている。

日本国憲法には、世界の人権思想や歴史的な潮流を反映して基本的人権がうたわれており、近年では自由権や社会権に加え新しい人権の概念をも包含されるようになってきた。また、国民の人権や権利擁護への関心も近ごろとみに高まってきている。

障害福祉の分野に働く私たちが人権感覚をさらに豊かにしていくことは、地域社会と相互に密接な関係を持ちながら社会福祉事業を運営、発展させていくという法人設立の理念からも大切なことと考えられる。

私たちは、障害者の権利を特権として意味付ける考えとは一線を画し、施設として起こりがちとされる閉鎖的な姿勢、独善的な方針や支配的な援助、非科学的な態度などを排除することを確認する。

また、障害者は、障害について正しい理解を求める権利と必要な支援を受ける権利を持つことを改めて認識する。

全ての人は、人としての尊厳を有し、何人もそれが侵害されたり、軽んじられることのない施設福祉の実現に向けて、私たちは不断の努力を続ける必要がある。

ここに倫理綱領を定めて、私たちの規範とする。

1. 私たちは、管理的な立場からの行き過ぎた安全配慮や危険防止策で、利用者の自由を束縛しません。
2. 私たちは、性別を配慮して介護を行ないます。また、人の目のあるところで排泄などの介助をしません。食事、着衣など日常生活は、社会的常識を踏まえた援助をします。
3. 私たちは、いついかなる場合でも、肉体的な苦痛を処罰として与えません。また、無視、侮蔑、嘲笑、蔑称、放置などの精神的苦痛を与える言動をしません。
4. 私たちは、福祉臨床の立場から事例検討を重視し、強制的、画一的で安易な処置や対応を避け、個人の可能性や主体性を保障したサービスを提供します。
5. 私たちは、絶えず研鑽を積み、援助が学問的理論的な評価に耐え得るようにします。
6. 私たちは、安寧で豊かな生活を追及することから QOL の向上に努めます。
7. 私たち自身も、健康で豊かな充実した人生を共に創ります。

▶福祉サービス		具体的な取り組み・課題等		
福祉サービスの充実・整備	1. 相談支援事業の整備、充実	H28 相談支援専門員の専任化及び複数体制の実施(長野支援事業所)		B-
		H29～ ところの健康相談事業の受託 (松川町)		
	2. 新規事業所の整備			C+
	① グループホーム(3か所)	H28 グループホーム用地をコーポ新井と同じ敷地内に確保		
	・グループホーム(2か所)	H28 サテライト型グループホームの整備 (コーポヘルメス)		
	・重症心身障がい等のグループホーム(1か所)	H29 グループホーム (コーポ新井) 開所 (定員5名、ショートステイ1名) (H29.5開所)		
	② 日中活動系事業所(1か所)	H27 松川町地域活動支援センターの運営再開 (松川町委託事業)		B
		H28 親愛の里紙ふうせんの加工所(分場)の開所(6/1) (高森町下市田区)		
		H28 日中活動系事業所用土地・建物の確保 (飯田市内S医院跡地) → H30整備予定		
		H29 喬木村さくらの園の指定管理を喬木村から受託 (H30運営開始)		
		(就労継続支援B型事業)		
	③ その他	H29 ジョブサポートフォルデ、ワークショップ虹の統合及び移転 (H30運営開始)		
	3. 成年後見制度の利用促進	未実施		C
	4. 苦情解決及び虐待防止体制の充実	H27 アンケートを基にした各種研修の実施		C
		H29～ 事故等に係る再発防止委員会の設置 (親愛の里松川)		
	5. 防災体制等の充実	H28 防犯講習の実施及び刺股等関係係備品の整備		C+
		H28～ 福祉避難所としての指定受理 (親愛の里松川、ほっとハート親愛、親愛の里紙ふうせん等)		
		H29 コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宗源原に防災設備整備 (消防法の改正)		
		H29 親愛の里松川に防犯用フェンスのを整備 (長野県補助金)		
		※ エリア全体に係る大規模災害における体制づくりについては未実施		
▶経営資金		具体的な取り組み・課題等		
適正な 資金管 理	1. 経営診断の実施	未実施		C
	2. 将来の施設改修等に向けた引当金の確保	未実施		C
	3. 外部監査制度の導入	H27年度税理士による外部監査の導入 (単年度)		C
	4 その他	H29 管理者等に対して財務研修等の実施 (年間)		

▶理事会の機能強化		具体的な取り組み・課題等	
理 事 会 の 機 能 強 化	1. 理事の役割の見直し	H29 担当理事制の採用（財務担当、人材育成担当）	B
	2. 第三者評価の導入準備	H29 社会福祉法人制度改革に対応した定款変更及び組織改正 未実施	
	3. 当事者参加による法人経営への取り組み	H29 理事長の諮問機関としての運営協議会の設置	C
	4. 地域貢献の検討（公益的事業の実施）	○ まつかわこども福祉教室の開催（H27 任意団体から運営引継ぎ）（H7～） … 松川町社会福祉協議会、ボランティア等との連携により開催	B
		○ あおぞら教室の開催（H7～）	

平成29年度法人内研修会実施報告

別紙 2

< 職域共通研修 >

研修名	月 日	目 的 (内 容)	企画担当者	講 師	参加者数	経 費
虐待防止研修	①10月10日 (火) ②10月19日 (木) ③10月24日 (火)	障がい者虐待防止法の趣旨を理解し、 権利擁護や人権保障についての意識を 高める	大澤施設長 (地域支援部) 宮島支援員 (コーポヘルメス)	長野県障がい者支援課 虐待防止推進員 滝澤 盛文 氏	110名	会場費：600円 講師手土産
交通安全研修	①9月27日 (火) ②9月28日 (水)	通勤、支援時において交通安全意識の 向上を図り、事故件数の減少をはかる	米沢事務員 (法人事務局)	(株)インターリスク総研 アドバイザー 宮川 幸男 氏	109名	会場費：300円
感染症対策研修	①11月21日 (火) ②11月28日 (火) ③11月29日 (水)	感染症の傾向、感染症の発症予防、発 生時の対策を学ぶ	宮崎看護師 大原支援員 (親愛の里松川)	飯田病院 感染症対策室 永松さゆり氏	134名	講師謝礼40,000円 会場費300円
メンタルヘルス研修	①3月6日(火) ②3月9日(金) ③3月14日(水)	笑うことの効果を体感し、業務に意識 的に取り入れ、コミュニケーション能 力、ストレス解消スキルを向上させ る。	宮下常務理事 (法人本部) 関課長 (ほっとハート)	佐久大学看護学部 准教授 田中高政氏	117名	講師謝礼 86,460円 会場費 1,800円

<支援技術向上講座>

研修名	月 日	目 的	担当者	講 師	参加者数	経費
自閉症の特性と地域生活について	8月18日（金）	自閉症の特性を学び、障がいがある人も地域で暮らすことを学ぶ	島崎課長 滝澤課長 （親愛の里松川）	のぞみの郷高社 所長 野口 直樹 氏	41名	講師謝礼36200円 会場費300円
緊急時の対応について	H30年2月21日	専門職の方から、日常起きやすい怪我への対応、救急の際の救命技術を学ぶ。	中村看護師 熊谷支援員 田中支援員 （ほっとハート）	高森町消防署救急係 小木曾氏 達也 氏	21名	講師手土産
ビジネスマナー研修	6月20日（火）	基本的な来客、電話の対応を中心に業務の中で生かせるよう学び確認する。	宮下事務員 （法人事務局） 野上支援員 （紙ふうせん）	飯田信用金庫 人事課 松下美希 氏	17名	会場費：300円 講師手土産
障害特性について	10月31日（火）	事例を通して、障がい特性や各事業所の取り組みを学ぶ	宮崎SV 関課長 （エコール親愛） 市村支援員 （サポートセンター）	事例検討会 宮崎SV	31名	会場費：300円

< 職域研修 >

研修名	月 日	目 的 (内 容)	担当者	講 師	参加者数	経 費
管理職研修 (長野・名古屋合同)	①10月29日～30日 ②1月28日 (日)	管理職が一堂に会し、少子高齢化や労働人口減少など時代の変化の中で、良い職場 (法人) になるための方向性を定めたり、そのためにやることを明確にする。	青木理事 林課長 片桐課長 (名古屋) 畔上施設長 (長野)	入江感動経営研究所 代表取締役 入江 元太 氏	20名	別途
課長等研修	①5月11日 (木) ②7月6日 (木) ③9月7日 (木) ④11月9日 (木) ⑤1月7日 (木)	①各事業所の現状や課題を理解する ②運営や経営、人材育成を学ぶ ③課長の意見を集約し法人に提言する。	伊藤理課長 (シンフォニー) 伊藤明課長 (夢工房) 吉川課長 (紙ふうせん)	参加者	各回9名程度	なし
中堅職員研修	①6月8日 (木) ②8月10日 (木) ③2月8日 (木)	中堅職員としての必要な知識や技術に身に着けることで自己実現に向けたモチベーションを高める	小山係長 (エコール) 安藤支援員 (ヘルメス) 小西支援員 (相談支援C)	①参加者 ②青木理事 ③発達障がいサポーター	各回13名程度	なし
新任職員研修	①3月18日 (土) ②6月11日 (土)	新任職員を対象に法人、就業規則、福祉の職場、障がい特性など職員の基礎となることを学ぶ	畔上施設長 (ヘルメス) 島崎課長 熊谷支援員 (親愛の里松川)	宮下常務理事 宮下事務員 畔上施設長 島崎課長 関潤子課長	18名	なし
事業所見学研修	8月8日 (火)	他事業所の見学を通してサービスの工夫や支援の視点を学び広い視野で職務に生かせるようにする	福澤事務員 (紙ふうせん) 竹下支援員 (ヘルメス)	各事業所の担当者	9名	なし

H29 年度名古屋支援事業所学習会一覧

名称	担当	概要	対象	開催日程
親愛の里学習会	奥村	・ 成年後見制度 ・ 障害者虐待防止法 ・ SST （昨年度テーマ）等	法人職員 関係機関 当事者・家族 等	月1回
若葉学習会	中西 小林	・ プレゼンテーション技術 ・ 相談援助技術の理論 - 等	中堅職員 （4年目～）	月1回
フラワー学習会	松本	・ 職場のコミュニケーション ・ なんでも相談 - 等	新任職員 （1～3年目）	月1～2回 ～
ホームスタッフ 研修	小野 原	・ 障がい特性 ・ 個別支援計画	ホームスタッ フ	月1回
新人研修	総務	・ 法人の概要 ・ 各事業所見学 ・ 事務諸規定 - 等	新人職員	4月
長野研修	総務	・ 長野支援事業所見学 （1泊2日）	新人職員	年1回
事例検討会	課長	・ 各部署での事例検討会	職員	月1回

公益的事業
平成29年度あおぞら教室実施状況一覧

社会福祉法人 親愛の里

通算回数	実施日 (曜日)	内 容	場 所	当事者	講師等	スタッフ	ボランティア	合計	備考
第229回	4月22日 (土)	カードゲーム	松川町地域活動支援センター あすなろ	0	0	0	0	0	
第230回	5月27日 (土)	電車で行こう！飯田動物園	飯田市	5	0	4	0	9	
第231回	6月24日 (土)	カラオケ大会	デビュー(高森町)	9	0	3	0	12	
第232回	7月22日 (土)	ふれあい祭り (流しそめん)	飯島町地域活動支援センター やすらぎ	28	0	12	4	44	やすらぎ共催
第233回	9月30日 (土)	お菓子作り (パンケーキ)	ふれあい工房	6	0	2	0	8	
第234回	10月28日 (土)	キーホルダー作り	松川町地域活動支援センター あすなろ	8	1	3	0	12	
第235回	11月25日 (土)	年賀状作り	松川町地域活動支援センター あすなろ	8	1	3	0	12	
第236回	12月16日 (土)	クリスマス会	松川町地域活動支援センター あすなろ	10	0	6	0	16	あすなろ合同
第237回	1月27日 (土)	書初め	松川町地域活動支援センター あすなろ	参加者がインフルエンザ感染の為中止				0	
第238回	2月24日 (土)	料理教室	ふれあい工房	8	1	4	0	13	
第239回	3月17日 (土)	座談会	松川町地域活動支援センター あすなろ	9	0	3	0	12	
計		11事業		91	3	40	4	138	

※8月は職員体制が整わず中止となりました。

○実施状況

例年通り、月1回（原則第4土曜日）に実施した。法人内のグループホームや地域活動支援センター、サポートセンター親愛の利用者を中心に参加があった。

○課題

公益的事業の位置づけであったが、地域への情報発信ができず法人内事業所の利用に留まっている。来年度は、当日の職員体制を整えることで、地域の方にも参加を促していく。

平成29年度
あおぞら教室決算報告書

収入金額 110,981 円
 支出金額 110,981 円
 差引残額 0 円

《収入》

単位：円

項 目	金 額	備 考
親愛の里補助金	66,881	公益的事業（本部）
参加費	44,100	
合 計	110,981	

《支出》

単位：円

項 目	金 額	備 考
4月：カードゲーム	2,530	消耗品等
5月：電車で行こう！飯田市動物園	12,520	消耗品、飲み物等
6月：カラオケ大会	11,211	利用料、飲み物等
7月：ふれあい祭り（流しソーメン）	23,574	材料費等
9月：お菓子作り（パンケーキ）	11,956	お礼、材料費等等
10月：キーホルダー作り	6,716	お礼、材料費等等
11月：年賀状作り	3,500	消耗品等
12月：クリスマス会	20,348	材料費等
1月：書初め	7,292	お礼、消耗品等
2月：料理居室	9,234	お礼、材料費等
3月：座談会	2,100	消耗品、飲み物等
合 計	110,981	

公益的事業
平成 29 年度まつかわこども福祉教室 “あいむ” 事業報告書

社会福祉法人 親愛の里

期 日	事 業 名	内 容 等	参加者				備 考
			児童	Vr.等	スタッフ	計	
5/20(土)	・ 開講式 ・ 物作り 『キラキラ☆ワクワク大作戦』	・ 今年の児童、スタッフ等の顔合わせ ・ 日頃お世話になっている父、母に向けて感謝の気持ちを込めて手作りのプレゼントを作りましょう。(ネックレス、ブローチ、ストラップ他) 講師：田村氏（松川町民生委員）	9	1	10	20	於 松川町社会福祉協議会 企画：久保田ゆかり(親愛の里)
7/22(土)	・ 東小学校で DAY キャンプ 『みんなで染物つくっちゃお！ おいしいカレーはできるかな？』	・ 学校の授業と同じように時間割に従い、1日の予定を進めていく。 ・ カレーライス&サラダを作り ・ 染物体験をしよう。 講師：地域おこし協力隊 ・ ボルタリングに挑戦しよう。 講師：北林氏（松川町）	8	8	8	24	於 (旧)松川東小学校 ※松川高校ボランティア 6 名参加
10/22	・ 松川町ふれあい広場参加	・ 地域共生社会に向けた町のイベントへの参加を通じて、地域の理解や課題、支え合い等を体験する。 ・ 松川町のイベントで焼きそば、フランクフルトを調理して販売する。 ・ みんなで協力してお客さんにおいしく食べてもらう。	11	0	6	17	企画：米山優佑(松川町社協) 於 名子原体育館
11/3 (金)	・ ボランティア体験ツアー (東京ディズニーランド)	・ TDL の障がいがあっても楽しめる工夫や接客、サービスを体験する。	11	0	9	20	於 東京ディズニーランド

		・車いす利用者等とグループで行動し、車イス操作体験や交通機関を利用する上でのパーキングやトイレ等になされている配慮、工夫等を理解する。 ・当事者の視点に立った道案内を体験する。						
1/4 (日)	・もちつき大会 (アンサンブル会利用者との交流会)	・知的障がいについて交流を通じて理解を深める。 ・(福)アンサンブル会のメンバーとお餅つきやしクリエーション(風船バレー)を通じた交流会	8	9	12	29	於 松川町社会福祉協議会	
3/4 (日)	・障がい者スポーツ「ボッチャ」講座 ・閉講式	・障がい者スポーツについて体験、学習する。 ・障がい者とボッチャ体験 ・1年のまとめ	10	0	8	18	於 松川町社会福祉協議会	
	7 事業		57	18	53	128		

主管事業所：松川町地域活動支援センター あすなろ

○実施状況

- ・今年度は11名の登録があり、年7回実施した。地域の社会資源やボランティアを活用して障がいのある方との交流から、障がい福祉や松川町を学ぶ場とした。

- ・今年度は初めて、町内の福祉事業所アンサンブルのご利用者との交流を行った。

○課題等

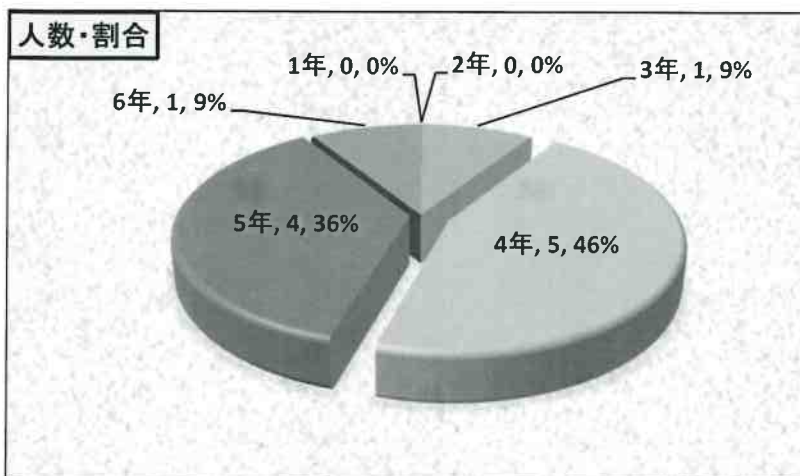
事業内容が固定化している部分もあり、地域に目を向けた展開が必要となる。

平成29年度まつかわこども福祉教室“あいむ”
参加児童・生徒数及びスタッフの状況

【児童、生徒等】

(人)

区分	小学生							小計	中学生			小計	高校生			小計	合計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年			1年	2年	3年		1年	2年	3年		
人数	0	0	1	5	4	1	11		0	0	0	0	0	0	0	0	11

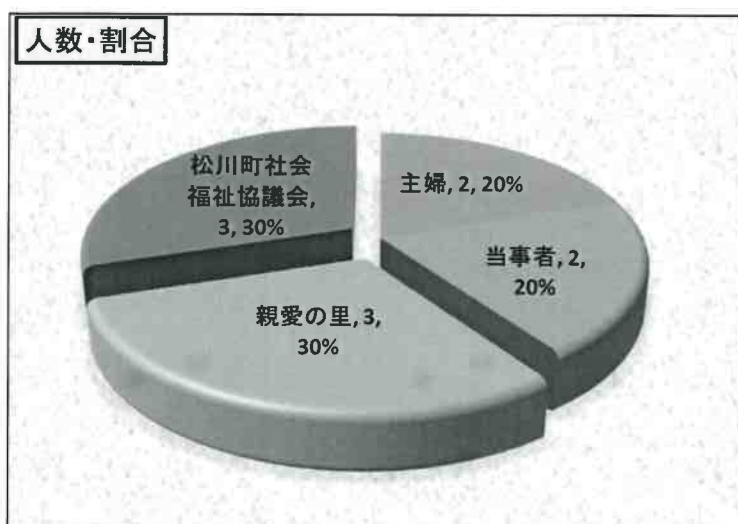


※ 対象児童：小学校3年生～中学3年生

【スタッフ】

(人)

区分	主婦	当事者	親愛の里	松川町社会福祉協議会	合計
人数	2	2	3	3	10



※1 当事者：障がいのあるスタッフ

※2 講師：3名

平成29年度
まつかわこども福祉教室決算報告書

収入金額	395,706 円
収入金額	270,251 円
差引残額	125,455 円

《収入》

単位：円

項 目	金 額	備 考
I 補助金収入	105,000	公益的事業（本部）
親愛の里	50,000	
松川町社会福祉協議会	50,000	
ボランティア連絡協議会	5,000	グループ助成金
II 参加費	91,500	
年間負担金	11,000	@1,000×11人
7月行事負担金	4,000	@500×8人
11月行事負担金	76,500	@5,500×11人・@8,000×2人
III 雑収入	49,150	ふれあい広場模擬店収入（焼きそば、フランクフルト）
IV 前期繰越金	150,056	
合 計	395,706	

《支出》

単位：円

項 目	金 額	備 考
5月：開講式、キラキラ☆ワクワク大作戦	9,530	保険代、菓子折り、材料費等
7月：東小学校でDayキャンプ	19,638	保険代、食材費、素腿の材料費等
10月：松川町ふれあい広場	44,749	材料費等
11月：ボランティア体験ツアー	180,404	保険代、チケット代、ガソリン・高速料金等
1月：餅つき大会 （障がいのある方との交流）	10,370	保険代、もち米、もち加工代金等
3月：閉講式、障がい者スポーツ体験	5,560	保険代、クッキー代
合 計	270,251	

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：障害者支援施設 親愛の里松川

(1) 事業区分及び定員・現員数

施設入所支援：定員 40 名／生活介護：定員 40 名／短期入所：定員 4 名

2. 概要

(1) 重点目標及び評価 … 別紙 1

(2) 現状

①自立棟の改修、増築について

- ・平成 29 年 12 月末に新自立棟（強度行動障がいのある女性ご利用者棟）が完成し、新たな空間での生活が始まっている。今までご利用者同士の距離が近くトラブルになりやすい場面があったが、個人のスペースが守られるようになり、パニックや課題になる場面が減ってきている。

②強度行動障がいのあるご利用者に対する支援について

- ・「見通しのある支援（日中活動の充実）」として、旧生東保育園跡地を活用して「いちばん星作業所」を整え、自立して行える作業の提供をしてきた。見通しのある時間、作業を提供することでご利用者の行動も安定してきており、他グループの活動にも活かしていく。

③定員の削減（50 名⇒40 名）

- ・平成 29 年度 6 月 1 日から 40 名定員での運営となり、食事場所を本棟でも 3 箇所に分けるなど、一人ひとりが穏やかに過ごせる支援の提供を実施している。平成 30 年度からは 3 グループにてさらなる活動の充実を図っていく。

(3)課題と対応

- ・さらなる活動の充実（ご利用者が主役になり地域で活動を知ってもらう場面を作る）
- ・安心安全な生活、活動の場の提供（生活の場と活動の場を分ける）

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	45	45	44	42	42	41	41	41	41	41	41	41	546

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
サービス管理責任者	1				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員	2	14	13 (10.2)	1 (0.9)	30 (27.1)	精神保健福祉士 1 介護福祉士 4

看護職員	2				2	看護師 2 社会福祉士 1
生活補助員			5 (3.1)		5 (3.1)	
栄養士		1			1	管理栄養士 1
事務員			2 (2)		2 (2)	
施設長	1				1	介護福祉士 1
合 計	6	15	20 (15.3)	1 (0.9)	42 (37.2)	

5. 安全防災対策

実施日	訓練名	訓練内容等
平成 29 年 9 月 30 日	火災避難訓練	<目的>夜間の火災を想定して避難訓練を行い、有事の際のご利用者の安全な避難誘導の習得と情報伝達、職員間の連携及び地域住民との協力体制を構築する事を目的に実施する。 <内容>①避難訓練 ②情報伝達訓練 ③消火訓練 <参加者>ご利用者 37 名 職員 10 名 地域住民 3 名 消防団員 3 名 合計 53 名
平成 30 年 2 月 28 日	地震避難訓練	<目的>地震災害を想定しての避難訓練を行い、有事の際の利用者の安全な避難誘導の習得と、情報の伝達等、職員間の連携を図る事を目的に実施する。又避難訓練終了後、消火の方法習得の為に消火訓練を行う <内容>①避難訓練 ②情報伝達訓練 ③消火訓練 <参加者>ご利用者 41 名 職員 15 名 合計 56 名

6. 公益的取り組みの状況

- ・災害時における福祉避難所

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事業名等	事業総額	内補助金等	備考 (竣工月)
親愛の里松川屋根補修工事 施工業者：信州建装株式会社 (補修面積:3,285.6 m ²)	3,985,200 円		平成 29 年 10 月 20 日
親愛の里松川フェンス設置工事 施工業者：生田木材技研株式会社 (建築面積:2,009.83 m ² 、 延べ床面積:2,001.33 m ²)	1,344,000 円	県補助金 1,008,000 円	平成 29 年 11 月 30 日
親愛の里松川自立訓練棟増改築工事 施工業者：林材木店株式会社 設計監理：株式会社 鈴木建築設計事務所 (建築面積:65.52 m ² 、延べ床面積:65.03 m ²)	30,024,000 円		平成 29 年 12 月 15 日

(2) 固定資産物品等

(円)

物 品 名 等	規格等	数量	単 価	総 額	備 考
特殊浴槽 (ｽﾊﾟｰﾀﾞﾌﾞﾙｽ)	寝浴タイプ	1	円	7,236,000円	発起人会より寄贈
食堂ホール・会議室カーテン	一式			346,572円	(補助団体)
自立棟建具交換	一式			1,410,480円	
LED 照明工事	一式			956,880円	
食事配膳車	6 段	2	244,080 円	488,160円	
厨房冷凍庫	112ℓ	1		149,904円	

8. その他（添付資料）

- (1) 重点目標及び第 2 期 3 カ年計画の評価及び達成状況 … 別紙
- (2) 介護給付等の算定に係る体制等の状況 … 様式 5 号別紙 1
- (3) 利用者数等実績一覧表 … 参考様式別紙 11
- (4) 工賃支給状況 … なし
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙
- (6) 職員研修参加状況 … 別紙
- (7) 苦情等の状況 … 別紙（苦情受付一覧表）
- (8) 平面図 … 別紙（スプリンクラー設置工事・自立棟増築工事）

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
(1) 人権に配慮した安心と安全な生活を提供する。	法人での虐待防止研修への参加等を通じ、日々の支援に活かす様にしているが、ご利用者の怪我や特に自立棟ご利用者の生活面ではヒヤリハットの件数も多く、課題がある。	C
(2) 個別支援計画に基づいた日中活動を充実させる。	南スミミングに協力を得ながらのスポーツ教室、プールを借り切ったの活動が定着してきている。あわせて、ほし G 以外のご利用者の作業的活動が充実してきたが、その他、グループご利用者の定着した活動の提供が弱い。	B
(3) 地域生活移行に向けた支援を強化する。	本年の 5 月に同法人で建てた GH「コーポ新井」に 2 名のご利用者が地域生活移行され、6 月より定員 40 名となっている。今後もご利用者一人ひとりの気持ちを汲み取りながら支援に取り組んでいく。	A
(4) 高齢又は重度の心身障がいのあるご利用者への支援の充実を図る。	9 月に発起人会より寄付をいただき、特殊浴槽を導入。ご利用者、職員ともに安心安全に入浴が行えるようになっていく。	B
(5) 自閉症のあるご利用者への支援の充実を図る。	旧生東保育園を利用した「いちばん星作業所」での作業が定着し、ご利用者が自立的な時間を過ごせるようになっていく。12 月末に新自立棟（女性棟）が完成し、2 名の女性ご利用者がそこで生活されるようになっていく。一人ひとりの空間が確保され、自立棟全体で落ち着いて生活できるようになって来ている。	B
(6) 人材の確保・育成を図る。	法人で行っている、福祉の職場説明会などへの職員の派遣などを行い、確保に努めている。法人研修、法人外研修に積極的に参加し、人材育成に努めている。	B

(2) 第 2 期 3 か年計画（H27 年度～H29 年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
1. 自閉症のご利用者、高齢のご利用者等の生活環境の改善及び支援の充実(グループホーム形式の居住棟の整備)	活動として、見通しのある生活の提供として「いちばん星作業所」の整備を行ってきた。生活の場の確保として救急の対応として、新自立棟（女性棟）の建設を行う。12 月に完成し、2 名の女性ご利用者が旧自立棟より移行している。それに伴い、自立棟男性ご利用者、新自立棟女性ご利用者	B

	ともに落ち着いて生活できるようになっている。	
2. クラブスタイルによる日中活動の提供・充実	いちばん星作業所での自閉症ご利用者の作業活動、南スイミングと協力してのスポーツ活動等が定着してきている。しかし、それ以外の創作活動等、定着した活動の充実が図れていない。	C
3. 地域生活移行の促進	他施設への移行、29 年度に入っての重度心身障がいのご利用者のグループホームへの移行と取り組んでおり、今後相談支援専門員他と連携を図りながら地域生活移行に取り組んで行く。	B
4. 定員の削減（50 名⇒40 名）	上記と同様。29 年度 6 月～40 名定員となっており、現員は 41 名。平成 30 年 4 月に 40 名定員となる予定。	B
5. ユニット化に向けた建物の改修と支援体制づくり	改築、改修は行えていない。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	施設区分	その他該当する体制等	適用開始日
生活介護	40	① 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	① I型(1.7:1) 2. II型(2.5:1) 3. III型(3.1:1) 4. IV型(3.5:1) 5. V型(4.1:1) 6. VI型(4.5:1) 7. VII型(5.1:1) 8. VIII型(5.5:1) 9. IX型(6.1:1) 10. X型(6.1:1)	施設区分	① 一般 2. 小規模多機能	
					定員超過	① なし 2. あり	
					職員欠如	① なし 2. あり	
					開所時間減算	① なし 2. あり	
					開所時間減算区分（※5）	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満	
					大規模事業所	① なし 5. 定員81人以上	
					医師配置	1. なし ② あり	
					人員配置体制	1. なし ② あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし ③ II 4. III 5. I	
					常勤看護職員等配置	1. なし ② あり	
短期入所	4				視覚・聴覚等支援体制	① なし 2. あり	
					リハビリテーション加算	① なし 2. あり	
					食事提供体制	① なし 2. あり	
					延長支援体制	① なし 2. あり	
					送迎体制	① なし 3. I 4. II	
					送迎体制（重度）	① なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ② あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	① なし 2. あり	
					キャリアアパス区分（※3）	① II（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2. IV（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす） 3. III（キャリアアパス要件を満たさない） 4. III（職場環境等要件を満たさない） 5. I（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類1（※6）	サービス種類コード（32）	
短期入所	4				施設区分	① 福祉型 2. 医療型	
					定員超過	① なし 2. あり	
					職員欠如	① なし 2. あり	
					重度障害者支援加算（強度行動障害）	① なし 2. あり	
					単独型加算	① なし 2. あり	
					栄養士配置	1. なし 2. その他栄養士 3. 常勤栄養士 ④ 常勤管理栄養士	
					食事提供体制	1. なし ② あり	
					緊急短期入所体制	① なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし ② あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ② あり	
短期入所	4				福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	① なし 2. あり	
					キャリアアパス区分（※3）	① II（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2. IV（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす） 3. III（キャリアアパス要件を満たさない） 4. III（職場環境等要件を満たさない） 5. I（キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす）	
					主たる事業所サービス種類1（※6）	サービス種類コード（32）	
					主たる事業所施設区分（※7）	1. 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型	
					定員超過	① なし 2. あり	
					職員欠如	① なし 2. あり	
					栄養士配置減算対象	1 ① なし 2. 非常勤栄養士 3. 栄養士未配置	

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等	適用開始日
施設入所支援	40	① 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上	1. 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上		夜勤職員配置体制	1. なし ② あり
					重度障害者支援Ⅰ体制	① なし 2. あり
					重度障害者支援Ⅰ体制（重度）	① なし 2. あり
					重度障害者支援Ⅱ体制	1. なし ② あり
					視覚・聴覚等支援体制	① なし 2. あり
					夜間看護体制	① なし 2. あり
					地域生活移行個別支援	① なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ② あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	① なし 2. あり
					キャリアパス区分（※3）	① Ⅱ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす） 2. Ⅳ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない） 3. Ⅲ（キャリアパス要件を満たさない） 4. Ⅲ（職場環境等要件を満たさない） 5. Ⅰ（キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす）

生活介護・施設入所支援、療養介護用

*着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	施設入所支援	事業所名	親愛の里松川	平成 29年度(前年度)																	
				平成 28 年度(前々年度)																	
				延べ利用者数(人) (各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)																	
障害支援区分 A				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 B (4～3月)	A×B	
2																				0	0
3				29																0	0
4				90	84	93	90	93	60	62	62	62	60	62	60	58	60	56	62	785	3,140
5				407	378	360	348	357	380	393	384	351	355	318	328	315	303	329	4,161	20,805	
6				832	776	887	861	848	802	828	825	824	844	827	838	832	764	858	9,951	59,706	
計				1,358	1,238	1,340	1,299	1,298	1,242	1,283	1,271	1,235	1,261	1,205	1,224	1,207	1,123	1,249	14,897	83,651	
開所日数(日)				31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	F	
定員(人)				50	50	50	50	50	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		
月平均利用者数(人)				44	44	43	43	42	41	41	41	41	41	40	39	39	40	40	40		
超過減算非該当利用者数(人)																					
過去3ヶ月間延利用者数							3,936	3,877	3,937	3,839	3,823	3,796	3,789	3,767	3,701	3,690	3,636	3,554			
過去3ヶ月間受入可能者数							4,725	4,673	4,830	4,463	4,190	3,864	3,864	3,864	3,822	3,864	3,864	3,780			
定員超過判定(減算月)																					
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(超過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。 * 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。 * 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障障発第0403004号) ③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。 * 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																					
14,112 E(区分5・6の人数) 9,951 G(区分6の人数)																					
C D																					
F																					

夜勤職員(施設入所支援のみ)	
3	人

生活介護・施設入所支援、療養介護用

*着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	生活介護	事業所名	親愛の里松川
------	------	------	--------

平成 28 年度(前々年度)		平成 29 年度(前年度)													
障害支援区分 A	延べ利用者数(人) (各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2															
3	24	1	1												0
4	69	40	69	67	70	45	47	47	45	47	45	47	46	41	47
5	291	250	254	251	256	275	283	285	248	259	222	239	245	206	238
6	635	520	667	638	636	594	621	621	616	640	614	639	643	553	644
計	1,019	811	991	956	962	914	951	953	909	946	881	925	934	800	929
開所日数(日)	23	21	23	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
定員(人)	50	50	50	50	50	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
月平均利用者数(人)	44	39	43	43	42	42	41	41	41	41	40	40	41	40	40
超過減算非該当利用者数(人)															
過去3ヶ月間延利用者数				2,821	2,758	2,909	2,832	2,827	2,818	2,813	2,808	2,736	2,752	2,740	2,659
過去3ヶ月間受入可能者数				4,188	4,125	4,250	3,913	3,688	3,400	3,400	3,400	3,350	3,400	3,400	3,300
定員超過判定(減算月)															

10,466

E(区分5・6の人数)

7,459

G(区分6の人数)

* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障害発第0403004号) ③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

平均障害支援区分(D/C)	5.6 (小数点第2位四捨五入)
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E/C)	95 % (小数点第1位四捨五入)
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G/C)	67 % (小数点第1位四捨五入)
1日当たりの平均利用者数(C/F)	41.2 人 (小数点第2位以下切捨)
常勤換算後の従業員人数	35.9 人 (小数点第2位以下切捨)
サービス提供職員配置	1.2 : 1

夜勤職員(施設入所支援のみ)
3 人

親愛の里松川ご利用者の状況（平成30年3月31日現在）

1 年齢別構成

												(名)
性別／年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計	平均年齢
男 性	0	6	1	6	4	3	0	1	0	4	25	38
女 性	0	0	2	5	2	1	2	1	0	3	16	40
計	0	6	3	11	6	4	2	2	0	7	41	38
割 合	0%	22.0%		41.5%		14.6%		4.9%		17.1%	100%	

2 障害の程度

										(名)
性別／程度	軽度（B2）	中度（B1）	重度（A1,A2）	計	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男 性	0	2	23	25	0	0	1	7	17	
女 性	0	1	15	16	0	0	1	4	11	
計	0	3	38	41	0	0	2	11	28	
割 合	0.0%	7.3%	92.7%	100%	0.0%	0.0%	4.9%	26.8%	68.3%	

3 地域別利用状況

(名)

飯田市・下伊那郡						36.6%	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡						31.7%
飯田市	松川町	高森町	喬木村	平谷村	泰阜村	伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町		宮田村	中川村	飯島町
7	5	2		1		3	2	3	2		1	1	1

そ の 他												###
長野市	松本市	上田市	千曲市	諏訪市	茅野市	岡谷市	塩尻市	木曽町	木祖村	上松町	東村山市	
1	5		0	1	2	0		1	1	1	1	

4 利用前の状況

（重複記載有り）

								(名)	合計
福祉施設		病 院		学 校		在 宅 等			
入所施設	8	精神病院	7	養護学校	15	在宅	8		
授産施設等	2	その他の病院	1	その他学校	0	その他	0		
精神障害者施設	5								
合計	15		8		15		8		
割 合	37%	割 合	20%	割 合	37%	割 合	20%		112%

(1) ボランティア・実習生の受入れ

期日	内 容	備考
月 1 回	塩澤さん裁縫ボラ	保護者
第 2・4 火曜日	小倉さん・橋場さんレクボラ	元職員・職員
5 月 11 日	松川中ニコボラ 2 名	
5 月 18 日	日赤奉仕団第 3 分団 15 名	環境整備ボラ
6 月 5 日～16 日	長野県短期大学生 2 名	施設実習
6 月 7 日～9 日	飯田養護学校 KS さん	体験実習
6 月 9 日	豊南女子短 2 名	ボランティア
6 月 13 日	日赤奉仕団第 1 分団 14 名	環境整備ボラ
7 月 1 日	生田木材技建	修繕ボラ
7 月 8 日	カンタービレ shiori	合唱ボラ
7 月 11 日～13 日	松川中職場体験 2 名	
7 月 26 日	親愛ツアー 3 名	
7 月 27 日	名古屋支援事業所見学受入	
7 月 31 日～8 月 11 日	上田女子短大 2 名	施設実習
8 月 14 日～25 日	豊南女子短 2 名	施設実習
8 月 21 日	日赤奉仕団第 4 分団 8 人	環境整備ボラ
9 月 4 日～15 日	清泉女子学院生 2 名	保育実習
9 月 20 日 ～20 日間	日本総合研究所社会福祉士養成所学校 1 名	社会福祉士実習
9 月 20 日	日赤奉仕団第 2 分団 8 名	環境整備ボラ
11 月 5 日～16 日	豊南女子短 2 名	施設実習
12 月 18 日	アーティクルナイン	演奏ボラ
2 月 13 日～24 日	松本短大 2 名	施設実習
2 月 26 日～3 月 9 日	飯田女子短大 2 名	施設実習
3 月 12 日～23 日	上田女子短大 1 名	施設実習

(2) 研修、会議等

期日	研修名	研修者氏名	場所
4 月 5 日	新入社員研修	藤田・深澤	飯田市
4 月 27 日	代表者会	佐々木施設長	塩尻市
5 月 30 日	明星学園療育研究会	大澤	飯田市
5 月 30 日	知障協定時総会	佐々木施設長	塩尻市

6月2日	特定食品研修	鶴田	
6月14日	ファシリテーター養成研修	島崎	松本
6月15日	相談支援専門員養成研修	大澤・和田	松本
6月22日	日中活動支援部会	宮崎	塩尻
6月27日他3回	自閉症セミナー	佐藤	諏訪
7月3日	全国自閉症施設協議会総会	佐々木施設長	東京
7月4日～5日	全国施設長会議	佐々木施設長	東京
7月13日～14日	知的障害福祉関係職員研究大会	島崎・米山	千葉
7月15日	福祉施設栄養士研修会	鶴田	諏訪
7月20日	てんかん講座	宮崎澄	東京
7月20日	知障協食事支援部会	鶴田	松本
8月1日～2日	相談支援専門員養成研修	大澤・和田	松本
8月3日～4日	強度行動障がい支援者養成基礎研修	瀧澤・鈴木恵	塩尻
8月8日	地域支援部会	島崎	塩尻
8月18日	支援技術向上講座（自閉症）・野口所長		えみりあ
8月23日～24日	強度行動障がい支援者養成基礎研修	寺田・多田	長野
9月4回	行動援護従事者養成研修	田中・寺沢・原田	塩尻
9月5日～6日	知障協新任研修	藤田・深澤	松本
9月3日	法人大会		えみりあ
9月28日	代表者会	佐々木施設長	塩尻
10月4日～5日	強度行動障がい支援者養成実践研修	佐藤・大原	塩尻
10月4回	行動援護従事者研修	櫻井・寺沢千	塩尻
10月29日	理念経営研修	瀧澤・島崎	名古屋
11月1日	全日本自閉症支援者協会研究大会	佐々木施設長	新潟
11月10日～11日	地域で暮らそうフォーラム	島崎・三村・和田	諏訪
11月14日	南信支部職員交流研修会	三村	諏訪
11月26日・12月3日	強度行動障がい支援者養成基礎研修	笠井・大澤	熊谷
11月30日	知的障害福祉大会	大澤・村田・島崎	上田市
12月9日	救命救急講習	深澤	高森消防
12月12日	代表者会	佐々木施設長	塩尻市
2月 4日間	行動援護従事者研修	三村	塩尻市
2月 4日間	行動援護従事者研修	米山・宮崎史	伊那市

2月 3日間	サビ管研修（生活介護）	大澤	長野市
2月17日	松川町福祉を考える集会	大澤	えみりあ
2月17日	福祉施設栄養士研修会	鶴田	塩尻
2月19日	代表者会	佐々木施設長	塩尻
3月23日	代表者会総会	島崎	塩尻

(3)保護者、地域の行事等

期日	内 容	備考
4月8日	中川村手って市	
4月23日	生木祭	
5月21日	保護者環境整備	
6月10日	キクスイ芋植え（敷地内畑提供）	
6月24日	SO（飯田女子短）	
7月9日	緊急保護者会	
7月15日	新井の祇園まつり	
8月15日	生東地区夏祭り	
9月10日	保護者環境整備・活動報告会	
9月12日	発起人会より特殊浴槽寄付	
9月30日	松川中文化祭	
9月29日	ご利用者旅行（南知多）ご利用者 12 名・保護者 10 名	
10月5日～6日	ご利用者旅行（京都）ご利用者 15 名・保護者6名	
11月2日	ご利用者旅行（蒲郡）ご利用者 11 名・保護者6名	
11月15日	愛和病院より寄付	
12月5日	松川中ボランティア活動よりビーズ寄付	
12月10日	緊急保護者説明会	
1月14日	中山4区どんと焼き	
3月22日	保護者会他事業所研修・名古屋	

※生東地区リニア残土説明会への参加（通年を通して数回参加）

平成29年度苦情受付一覧表

別紙2

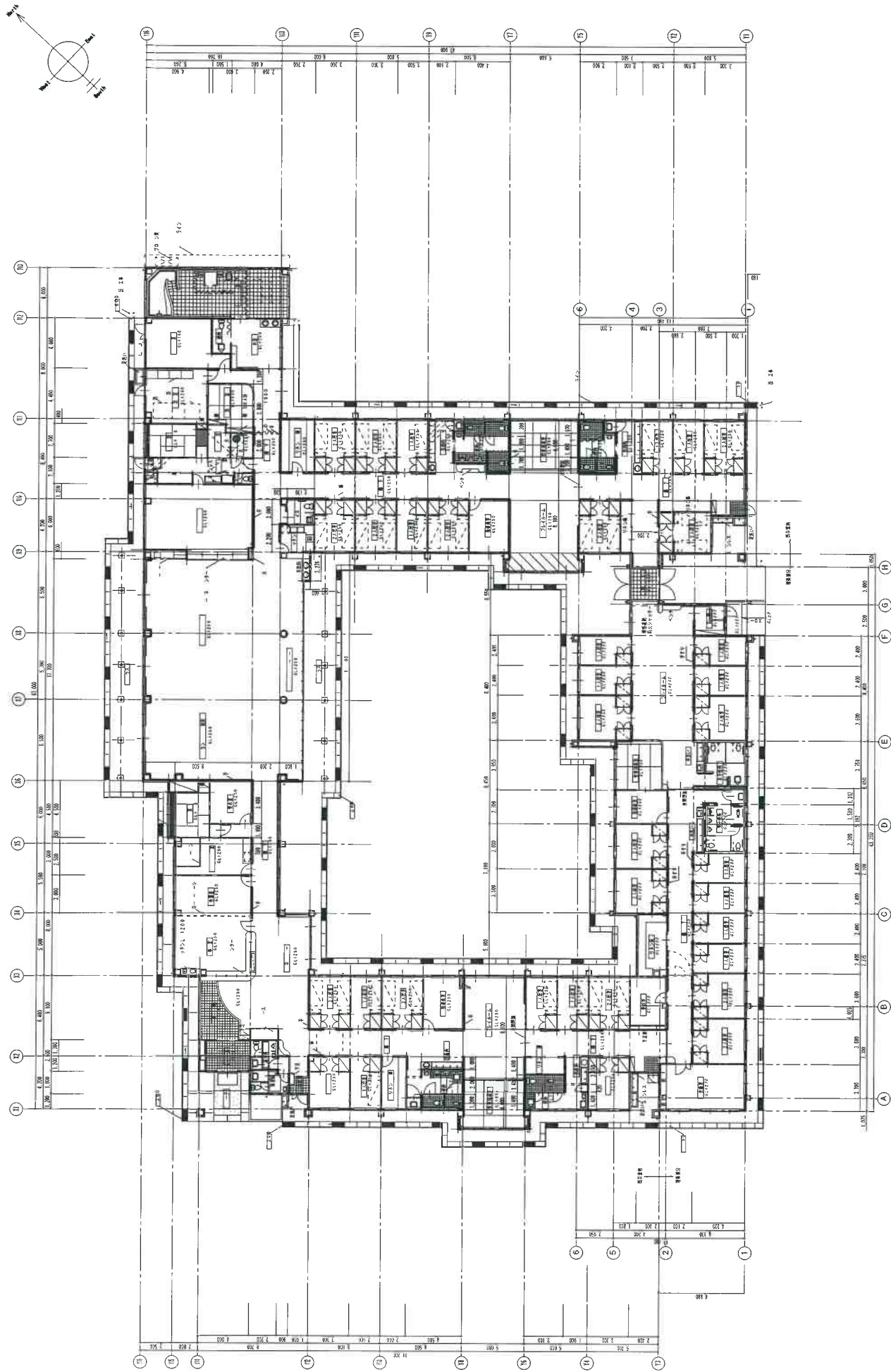
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応 処	第三者委員会
1	平成29年4月27日	保護者	2 4 サービス内容 事業所運営	1	3	26日の夜間の転倒による事故（推測）について、「夜間の怪我が以前にもあった。原因もわからず対応もきちんと取られていない中での今回の怪我であり、悲しい。原因の究明と具体的な対応をお願いしたい」	・怪我をした際の状況、医師の見解により転倒による怪我と考察。他ご利用者との接触、加温タオルの下に敷く水分吸収のためのタオルに頼いたための転倒と推測し、対象ご利用者の居室移動、タオルの回収を行う。あわせて、夜間睡眠の浅いAご利用者である為、保護者様の希望もあり、夜間の施設を見て様子を見る。	無
2	平成29年5月13日	保護者	2 4 サービス内容 事業所運営	1	3	預かり金明細が送られてきたが、前回には無かった定期預金が増えていた。入力ミスだと思うが大事な財産であり、本来あってはならないミスだと思う。きちんと欲しい。	・預かり金規定（マニュアル）に沿ったチェック体制の徹底。	無
3	平成29年6月13日	保護者	2 4 サービス内容 事業所運営	1	3	強度行動障がいご利用者のKさんが夜間、本棟居室で過ごす際、無断外出などとしてしまう為、居室施設させていただいている現状の中で、理解は出来るが、居室施設の時間が長い。トイレに自由に行けるようにしてほしい。	・現状、センサーマットでの対応が難しいこと、ポータブルトイレを置くことと投げたままにしておくことがあるため、夜間のトイレについては定時誘導とさせていただき、自立棟改修後（12月～）には夜間も自立棟で過ごしていただくよう支援していく。	無
4	平成29年8月31日	近隣住民	7 その他（旧生東保育園隣トイレの汚れ）	1	4	旧生東保育園（町の建物）隣のトイレが汚れている。掃除をして欲しい。	トイレ掃除の実施。活動後のトイレの見回りをルーティンに入れる。	無
5	平成29年12月18日	保護者	1 2 4 職員の対応 サービス内容 事業所運営	1	3	帰省の迎えに来た際の着替え支援時、居室で着替えをしていたがカーテンが空いており着替えの姿が見えており、プライバシーに配慮した支援になっていない。また、帰宅時、オムツの汚れが酷く替えられないと思われた。	・着替え支援時の対応時の徹底（カーテンの使用の徹底）。排泄支援についての連携の徹底（現在も排泄チェック表を使用して支援しているが再度の徹底）。	
6	平成30年1月3日	保護者	1 2 4 職員の対応 サービス内容 事業所運営	1	1 2 3	12月17日に骨折の怪我を負った件についての説明他、対応について納得できない。施設に対して不信感を持つ。	・事故に対する再発防止について緊急会議実施。Mさんが怪我をした場所への手すりの設置、タオルを取りに行った際に怪我をしたと思われる為、タオルのおき場所の変更。怪我を負った時間帯の見守り支援の変更。都度の保護者への謝罪、説明。現在も対応中。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 2件 ※苦情のレベル 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … 6件
 2 サービス内容(質・量) … 5件 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
 3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
 4 事業所運営 … 5件 4 その他 … 0件
 5 契約内容 … 0件
 6 建物の構造 … 0件
 7 その他 … 1件

- ※苦情の発生原因
 1 説明・情報不足 … 1件
 2 職員の態度・言動 … 1件
 3 サービス内容 … 5件
 4 その他 … 1件

実績総数	6件
苦情受付	6件



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：生活介護事業所 ほっとハート親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

生活介護事業：定員 20 名 契約者数 37 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 重度障がい者の受け入れを進めきた結果、平成 29 年 6 月より、人員配置体制加算 I (1.7:1)の体制をとることができた。加算による増収により人員配置が整ったことで、地域の社会資源の利用やスポーツ活動等、ご利用者の社会参加活動の幅を広げることができ、加えて個別のニーズにも対応しやすい体制に繋げることができた。
- ② 送迎車の不足が課題であったが、今年度は長野県共同募金会の配分金を受けることができ、車いすスロープ仕様のステップワゴンを購入した。
- ③ 小上がりの畳スペース、浴室手すり、シャワー水栓及び温水器などを設置し、コーポ新井のご利用者等、重症心身障がい者の受け入れを進めた。
- ④ ご家族の高齢化等により、毎年 2 回開催される「家族の集い」への参加者が減少してきた。今年度はご家族の都合に柔軟に対応できるよう「活動参観日」を実施し、個別面談と併せて行った。日程を分散させたことで、昨年度より多くのご家族に來所していただくことができた。
- ⑤ 紙すき、手芸教室、カレンダー原案制作など、多くのボランティアの皆様に関わっていただいた。今年度はコンサートや写真教室など、新しいつながりを持つこともできた。地域の多くの方々に支えられながら事業を展開することができている。
- ⑥ 平成 29 年 12 月に、喬木村より「喬木村共同作業所さくらの園」の指定管理者に選任された。平成 30 年 4 月 1 日の事業開始に向け、就労継続支援 B 型事業の準備を進めた。

(2) 課題と対応等

- ① ご利用者の増加及び重度化、多様な障がい特性やライフスタイルの違い等に伴い、居場所の確保が課題となっている。また施設自体も老朽化しており、必要な改築を計画的に行う必要がある。
- ② 通所されるご利用者のニーズが多様化している現状がある。特に午後の活動を充実させることで、希望者には軽作業等を提供できるよう工夫したい。
- ③ 今年度より防災システムの構築に取り組んでおり、ご利用者個人の緊急連絡カードの整備や、使用方法の検討、周知を進めてきた。今後も引き続きシステム構築に取り組むと同時に、地域の福祉避難所としての役割を、町と共に検討する必要がある。
- ④ 平成 30 年度より「喬木村さくらの園」の運営に携わることとなった。多機能型事業所として両事業の交流を図り、ご利用者の多様なニーズに応えられる形を模索する

3. 利用実績（別紙 1）

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(0.2)	社会福祉士 1
サービス管理責任者	1(1)				1(1)	社会福祉士 1
生活支援員		5(5)	3(2.6)		8(7.6)	精神保健福祉士 1 介護福祉士 2 保育士 1
看護職員	1(1)				1(1)	准看護師 1
事務員			1(0.5)		1(0.5)	
合 計	3(3)	5(5)	4(3.1)		12(10.3)	

5. 安全防災対策

- (1) 防災訓練 6 月：地震想定（避難訓練、防災頭巾のかぶり方練習、非常食試食）
- (2) 防災訓練 10 月：火災想定（消防署職員講話、難訓練、消火訓練）
- (3) 防災訓練 3 月：地震火災想定（避難訓練、けが人搬送訓練、応急処置講習）

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 松川町図書館の掲示板飾りつけ：ほっとハートでは毎月季節ごとのテーマに沿った貼り絵作品を制作している。この作品は松川町図書館の入り口掲示板に展示させていただいているが、作品展示と併せ掲示板全体を飾り付けることで、来館者の目を楽しませる空間づくりを目指している。
- (2) 災害発生時における福祉避難所の設置運営を行う事業所として、平成 28 年度より松川町と協定を締結している。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

(円)

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考 (竣工月)
畳スペース増設工事	496,800 円	(補助団体 円)	4 月

(2) 固定資産物品

(円)

物品名等	規格等	数量	単価	総額	備考
スロープ付き自動車	ホンダ ステップワゴン	1	3,220,000 円	3,220,000 円	内補助金 1,800,000 円 (補助団体：長野県共同募金会)

8. 添付資料

- (1) 利用実績 … 別紙 1
- (2) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1
- (3) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2
- (4) 利用者数等 … 別紙 3
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 4
- (6) 職員研修参加状況 … 別紙 4
- (7) 苦情等の状況 … 別紙 5
- (8) 平面図 … 別紙 6

1. 利用実績

【平成 29 年度】

事業名	生活介護				定員			
	4	5	6	7	8	9	10	11
開所日数	20	21	22	20	21	20	21	20
延べ利用者数	338	389	421	393	418	386	385	370
利用率(%)	84.5	92.6	95.7	98.3	99.5	96.5	91.7	92.5
3ヶ月平均(%)	79.3	83.2	86.1	95.5	97.8	98.1	95.9	93.6

【平成 28 年度】

事業名	生活介護				定員			
	4	5	6	7	8	9	10	11
開所日数	20	19	22	20	21	20	20	20
延べ利用者数	359	337	380	368	373	355	368	332
利用率(%)	89.7	88.7	86.4	92.0	88.8	88.8	92.0	83.0
3ヶ月平均(%)	87.2	87.7	87.4	89.0	89.4	89.9	89.8	87.9

【コメント】

- (1) 平成 29 年度は祝日が少なく、平成 28 年度と比較して開所日が 4 日多かった。
- (2) 契約者数は横ばい状態だが通所日を増やすご利用者が多く、延べ人数の増加につながった。
- (3)

2. 重点目標及び評価

- (1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
①地域の中で「重度障がい者の社会参加の場」としての役割を担い、グループワークやご利用者全員の生活の中での役割分担を大切にした支援に取り組む。	・掃除や挨拶など、ご利用者全員が集団活動の中で役割を担えるよう支援している。役割分担により、個々が「ほっとハート」という集団への帰属感を感じていただけている。 ・スポーツ、音楽、創作などの日中活動の場面には、グループワークの手法を取り入れている。グループワークを重ねることで、一人ひとりの個性が明確になり、意外な一面や能力が発揮される場面が増えている。 ・役割分担やグループワークを通し、集団の中で認められている実感を持つことで初めて、安心して自分を表現することができると考え支援を継続している。	B

②個別支援計画に基づいた支援を提供し、職員会議を通じて個人のケースや具体的な支援方法の共有を図る。	・「ご利用者一人ひとりの人生、生活の中で、ほんとハートが担う役割は何か」について面談を通して明確にしながら、個別支援計画につなげている。 ・通所者全員の振り返りを毎日のミーティングで行い、情報の共有と記録の積み重ねを行っている。ケース会議にスーパーバイザーが同席し、専門的かつ客観的な視点からのアドバイスを得ている。 ・ケース記録の記入、保存、回覧の方法などを工夫することで、職員間で共通の支援が継続してできるよう努めている。	B
⑤相談支援事業所や関係機関との連携を強化し、サービスの質の向上に努める。	・日々のご利用者支援の中でほんとハートが担うべき役割を意識しながら、相談支援専門員を中心に複数の法人・事業所との連携を深めることができる。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 重症心身障がい者の受け入れと、サービス提供の枠組み作り	・コーポ新井整備に伴う、重症心身障がい者の受け入れを進めた。 ・畳スペース、シャワー水栓、体重計、スロープ付き自動車など、ハード面での整備を進めた。	B
② ご利用者のニーズに合わせた活動場所の提供	・人員配置体制加算Ⅰにより手厚い人員配置体制を取ることができ、午前中の活動をグループに分けたり、午後に作業や運動の活動を取り入れるなど、活動の充実を図ることができた。 ・平成30年度からの「喬木村さくらの園」事業委託を受け、準備を進めている。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	地域区分	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通						1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 20. その他	
生活介護			1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2:1) 3. III型(2.5:1) 4. IV型(3:1) 5. V型(3.5:1) 6. VI型(4:1) 7. VII型(4.5:1) 8. VIII型(5:1) 9. IX型(5.5:1) 10. X型(6:1)	施設区分	1. 一般 2. 小規模多機能	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					開所時間減算	1. なし 2. あり	
					開所時間減算区分 (※5)	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満	
					大規模事業所	1. なし 5. 定員81人以上	
					医師配置	1. なし 2. あり	
					人員配置体制	1. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I	
					常勤看護職員等配置	1. なし 2. あり	
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり	
					リハビリテーション加算	1. なし 2. あり	
					食事提供体制	1. なし 2. あり	
					延長支援体制	1. なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II	
					送迎体制 (重度)	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象		
各サービス共通					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分 (※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					主たる事業所サービス種類1 (※6)	サービス種類コード ()	

* 着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

夜勤職員(施設入所支援のみ)

1. 視察、実習等の受け入れ状況

期 日	団 体 名 ・ 内 容 等	延べ人数
4月	法人内職員・事業所見学 ご利用者・体験利用	4
5月	養護学校関係者・事業所見学 実習打ち合わせ	5
6月	飯田養護学校生徒・利用体験実習 利用希望者・事業所見学 名古屋支援事業所保護者会・事業所見学	43
7月	飯田養護学校高等部3年生生徒・事業所見学 名古屋支援事業所新任職員・事業所見学 親愛の里松川保護者会・事業所見学 名古屋支援事業所新任職員・事業所見学	37
8月	名古屋支援事業所職員・事業所見学 親愛ツアー・事業所見学	14
9月	飯田養護学校保護者教員（事業所見学）	4
10月	飯田養護学校（実習打ち合わせ） 飯田養護学校保護者（事業所見学）	24
11月	飯田養護学校高校2年生（利用体験実習）	10
3月	法人職員（事業所見学） 採用希望者（実習）	3

2. ボランティア受け入れ状況

期 日	団 体 名 等	内 容	延べ人数
毎月1回	丸山氏・浦野氏	紙すき	24
毎月1回	高野氏	手芸	12
毎月	鈴木氏	カレンダー原案制作	12
7月・12月	ハーモ32	ハーモニカコンサート	22
8月・3月	加勢氏	納涼会調理・写真教室	2
12月	ティアラ	クリスマスコンサート	3
2月	平栗氏・常盤氏	茶道教室	2

3. 職員研修参加状況

期 日	研 修 名	参加延べ人数
4月	生活介護事業所見学（自主研修）	1
5月	行動援護従事者養成研修	5
6月	中堅職員研修（法人） 新人職員研修（法人） 相談支援従事者養成研修（相談支援専門員協会）	6
7月	ビジネスマナー研修（法人） 管理者研修（法人） 相談支援従事者研修（知障協） 管理者研修（法人） くらし部会（自立支援協議会） 精神科領域セミナー（知障協）	11
8月	相談支援従事者研修（相談支援専門員協会） 中堅職員研修（法人） 支援技術向上講座（法人） 管理者研修（法人）	13
9月	相談支援専門員現任研修（相談支援専門員協会） 新任職員研修（知障協） 集団指導（長野県） 精神科領域セミナー（知障協） 交通安全教室（法人） 財務研修（法人）	17
10月	サビ管フォローアップ研（相談支援専門員協会） 虐待防止研修（法人） 経営理念研修（法人） 支援技術向上講座ケース検討会（法人）	17
11月	感染症対応（法人）	9
12月	精神科領域セミナー（知障協） 財務研修（法人）	2
1月	くらし部会（自立支援協議会）	1
2月	くらし部会（自立支援協議会） 精神科領域セミナー（知障協） 初任者研修（実習、試験）	4
3月	メンタルヘルス研修（法人） 福祉事業者説明会（長野県）	8

平成29年度苦情受付一覧表

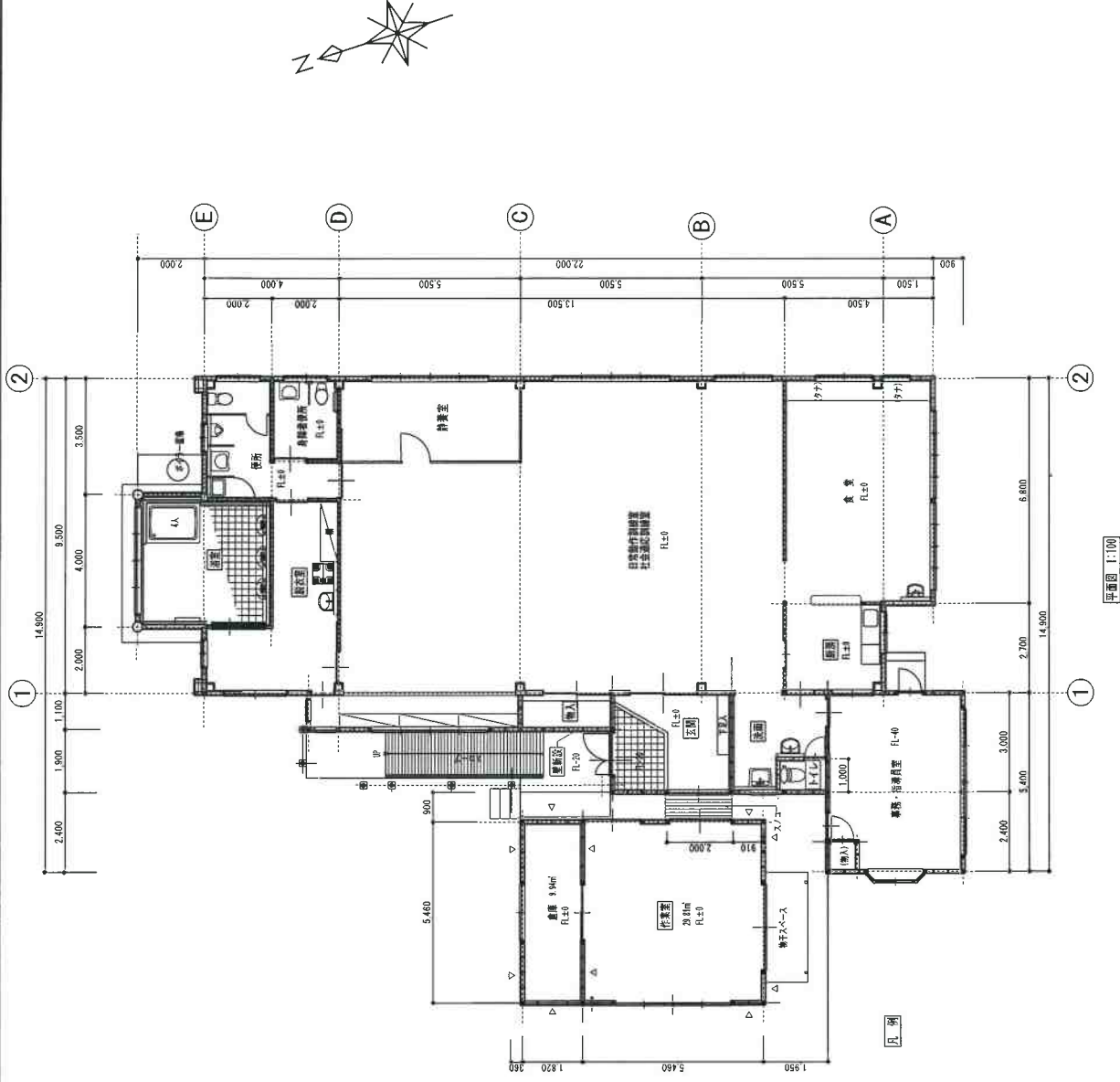
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応 処	第三者委員会
1	平成29年5月10日	保護者	2 サービスの内容	要望	3	尿失禁が治らないで利用している。ご家族の判断でリハビリとパットを使用するようになった。しかしこのことにより、パットの不快感、失敗してはいけないという強迫感が強まり、精神的に不安定な状態となった。自信を持ってトイレに行くことができるよう継続して聞かせる中で、尿失禁は見られなくなった。棟内で過ごす間はパットを外しながら様子を見ることを、面談を通じてご家族にもお知らせしてきた。しかし1年以上が経過してから「失禁用パットを外したと聞いたが、支援の意図が分からない。パットを外したことについて、納得できない。」との話が、総合支援センターを通して寄せられた。	・総合支援センターにも経緯と方針を伝えると共に、ご家族にも改めてもっとハートの方針をお伝えした。 ・ご家族からは「排泄のための費用が年間10万円かかる為、リハビリを済ませないよう少しでも節約したい。ぼつとハートでパットを外すことにより、家での生活に影響が出るのではないかと心配だ。」とお話を伺った。 ・ご家庭での生活に影響が出た場合や、ご本人の体調や精神状態がすぐれず失禁の心配がある場合はすぐにパットを使用することを伝えし、ご理解いただいた。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 1件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- ※苦情の発生原因
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 1件
- 2 請求 (法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 1件

実績総数	1 件
苦情受付	1 件

平面図



平面図 1:100

年月日
 設計
 Y. Shirata
 記

鈴木建築設計事務所

1 建築士事務所登録番号 (下付) 11 第 12011 号

工事名
 松川町 鎌倉寺 自立支援施設
 「ほっとハート親愛」 改修工事

図名
 平面図
 縮尺
 42号 1/100 A4用 1/200

No.
 A-2

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 親愛の里夢工房

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 生活介護事業：定員 14 名 契約者数 20 名
- ② 生活訓練事業：定員 6 名 契約者数 2 名

2. 概要

(1) 運営の概要

<生活介護事業>

- ① 地域の利用ニーズが高く、年度を通じてほぼ定員に近い利用実績があり、新規利用者の受け入れについては利用を見合わせている。
- ② 支援状況においては、ご利用者のニーズを個別支援計画にて具体化し、支援者が共通の支援目標を持って活動の組み立てが出来るよう力を入れた。支援会議あるいは日々の業務の中で支援のポイントや手順等細かく共有し、連携できるよう努めた。

<生活訓練事業>

- ① 年度当初より新規利用者の確保が課題であり、圏域の相談支援専門員、養護学校を通じてニーズ把握を行った。生活訓練事業の利用につながるよう、サービス内容の周知、ご利用者のニーズに沿って利用後のシミュレーションを相談員と連携し実施。結果、新規利用者 1 名の利用につながり、養護学校からは翌年度（H30）からの新規利用を見据えた 2 名の現場実習の受け入れにつながった。

(2) 課題と対応策等

① 生活訓練事業の充実と 2 年後の移行を見据えた支援プログラムの検討

＊対応⇒新規利用者の確保が進んできたことから、ご利用者のニーズや将来のご希望に沿った支援内容の検討が課題となった。2 年後に就労継続 B 型への移行等を希望するご利用者に沿って、生活面の支援と共に作業的な支援を個別支援計画に取り入れ、来年度以降を目途に親愛の里シンフォニー（就労継続 B 型）と連携し、移行に向けた実習やアセスメントの機会を提供できるよう準備していきたい。

② 支援者のスキルアップ・危険予知 KY 活動の実施

＊対応⇒支援内容やプログラムの質を落とさず、いかに現状の支援員数の中で事業所を運営していくのが年間を通じた課題となった。職員の役割をより明確化し、プログラムを企画し、全体をまとめる職員、個別での支援内容をより深め、他の職員をフォローする職員を意識的に配置し、サービス管理責任者を中心に連携体制を作っている。リスクマネジメントと共に障がい特性等に応じた支援をさらに進めていく必要があり、危険予知 KY 活動を日常に取り入れた職員育成が引き続き課題となる。

- ③ 利用者増加により個室の確保が難しくなっており、活動スペースの拡張が課題である。

＊対応⇒来年度以降の5か年計画にて検討を進めていく。

3. 利用実績

●平成29年度●

事業名	自立訓練				定員		6						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242
述べ利用者数	28	21	29	38	39	39	42	40	39	37	30	38	420
利用率(%)	23.3	17.5	22.0	31.7	32.5	32.5	33.3	33.3	32.5	32.5	26.3	30.2	29.0
3ヶ月平均(%)	11.9	15.5	20.9	23.7	28.7	32.2	32.8	33.1	33.1	32.8	30.4	29.6	27.1

事業名	生活介護				定員		14						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242
述べ利用者数	287	305	319	303	291	302	310	296	298	262	256	299	3528
利用率(%)	102.5	108.9	103.6	108.2	103.9	107.9	105.4	105.7	106.4	98.5	96.2	101.7	104.1
3ヶ月平均(%)	97.6	101.7	105.0	106.9	105.2	106.7	105.7	106.3	105.9	103.5	100.4	98.8	103.7

事業名	自立・介護 合計				定員		20						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242
述べ利用者数	315	326	348	341	330	341	352	336	337	299	286	337	3948
利用率(%)	78.8	81.5	79.1	85.3	82.5	85.3	83.8	84.0	84.3	78.7	75.3	80.2	81.5
3ヶ月平均(%)	71.9	75.9	79.8	81.9	82.3	84.3	83.9	84.4	84.0	82.3	79.4	78.1	80.7

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)				1(1)		社会福祉士1
サービス管理責任者	1					社会福祉士1
生活支援員		1	4(3.5)			保育士1
看護職員			1			准看護師1
合 計	1	1	5	1	8	

5. 安全防災対策

- ・年2回の避難訓練を9月(火災想定)、3月(地震想定)に実施。

6. 公益的取り組みの状況…なし

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等…なし
- (2) 固定資産物品…なし

8. その他(添付資料…別紙)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 別紙1
- (2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 別紙2
- (3) 利用者数等実績一覧表 別紙3-1・3-2
- (4) 工賃支給状況 別紙4
- (5) 実習、見学、視察等の受け入れ状況 別紙5
- (6) 職員研修等参加状況 別紙5
- (7) 苦情等の状況 別紙5
- (8) 平面図 別紙6

(1) 重点目標の評価及び達成状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
個別支援計画に基づいた支援を実施する。(生活介護・生活訓練共通目標)	・ご利用者のニーズに沿った個別支援計画の具体化と実行を目標に、どの職員でも共通の支援目標に沿った日々の支援が出来るよう努めた。その為に支援者側の具体的な支援方法、1日の支援業務の中での役割分担と情報共有に特に留意し取り組んだ。	B
各種活動を通じ、生活の質の向上や仲間・地域の方との交流・連携・社会参加を目指す。(共通)	・地域におけるアート作品展の実施やスポーツ大会への参加、大道芸公演等により、ご利用者が地域で活躍できる機会を提供出来た。	B
相談支援事業所や関係機関とのネットワークを生かした支援を実施すると共に地域に関われた事業所を目指す。(共通)	・生活訓練事業については、新規利用者の確保が課題であり、圏域の相談支援専門員、養護学校との情報交換、ニーズの把握等に特に努めた。 ・サービス管理責任者を中心として自立支援協議会への参加や相談支援専門員との連携を強化した。協議会で得た圏域の情報を事業所職員やサービス担当者会議にてご利用者へも提供出来るようになってきた。	介護 B 訓練 B
人材育成を実施する。(共通)	・今年度は支援の充実と職員のスキルアップを目標に職員の役割分担と連携支援に力を入れた。役割分担としては、全体のプログラム企画や運営を担当する職員と個別支援をさらに深め、他の職員をフォローする職員を現場支援の軸として配置した。サービス管理責任者を中心にチーム支援の体制を少しずつ取れるようになってきた点では目標に対する一定の成果が出てきた。	B
ご利用者の希望や一人ひとりの障がい特性に合わせたプログラムを提供する。(生活介護)	・年度を通じて職員の補充が進まない状況があり、現状の職員数の中でいかに個別対応や個別活動を実施していくかが課題となった。職員の役割の見直しや「いつ・誰が・どんな支援をするのか」といった事前のスケジュール調整に留意し取り組みている。来年度も引き続き課題としていく。	C
地域移行支援の利用者や在宅等における潜在的ニーズの掘り起こしを通じ、新規利用者の受け入れを行う。(生活訓練)	・新規ご利用者の確保が年間を通じた課題であり、圏域の相談支援専門員を中心に事業内容の周知、ニーズ把握を行った。ご利用者のニーズに応じた事業所側からの利用提案も行い、今年度、来年度利用の新規ご利用者が確保できた点では成果が出てきた。	B
ご利用者の希望や生活の状況に合わせた支援の実施と就労事業所等へのステップアップ(移行)を目指したプログラムを提供する。(生活訓練)	・新規ご利用者の利用が進んできたことから、2年後の移行を希望されるご利用者に対する支援が課題となった。生活面での支援に合わせ、就労系事業所へのステップアップを意識した作業プログラムが必要となる。個々の状況に合わせた、就労を意識した作業支援を中心に実施した。2年後や将来のイメージの聞き取りには課題が残り、相談支援専門員との連携やご利用者のアセスメントを引き続き実施し	C

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	ていく必要がある。就労系の事業所との連携により、実習や移行に向けたアセスメント等を来年度以降計画していきたい。	
ご利用者のニーズに応じた訪問支援を実施する。(生活訓練)	・ご利用者一人ひとりのニーズに対応できるよう訪問支援員を配置し、事業所で実施しているサービスを自宅でも提供できるよう努めた。 ・生活面での課題にも応じ、必要な時に訪問支援に切り替えられるよう市町村担当者と連携して進めることが出来た。	B

(2)第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
訪問型生活訓練の支援体制の整備と関係機関との連携によるニーズの掘り起こし	・通所と在宅を組み合わせた柔軟な支援を実践することが出来た。 ・相談支援専門員や市町村担当者、養護学校との連携、情報共有を少しずつ進めているが、新規利用にはつながっていない。	C
生活介護事業の充実：一人ひとりの障がいに合わせて支援や活動プログラムの実施	・個別支援計画の具体化や職員の連携支援により、個別対応や個別活動とご利用者全体で行う活動プログラムがバランスよく実施出来るようになった。特に、個別ニーズの実現という点では職員それぞれが意識し取り組みが出来るようになった点では評価できる。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

親愛の里夢工房 介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等		適用開始日
生活介護					施設区分	①. 一般 2. 小規模多機能	
					定員超過	①. なし 2. あり	
					職員欠如	①. なし 2. あり	
					サービス管理責任者欠如	①. なし 2. あり	
					開所時間減算	①. なし 2. あり	
					開所時間減算区分 (※5)	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満	
					短時間利用減算	①. なし 2. あり	
					大規模事業所	①. なし 5. 定員8人以上	
					医師配置	①. なし 2. あり	
					人員配置体制	①. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II ④. III 5. I	
					常勤看護職員等配置	1. なし ②. I 3. II	
					視覚・聴覚等支援体制	①. なし 2. あり	
					重度障害者支援体制	①. なし 2. あり	
					リハビリテーション加算	①. なし 2. あり	
					食事提供体制	①. なし 2. あり	
					延長支援体制	①. なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし ③. I 4. II	
					送迎体制 (重度)	①. なし 2. あり	
					就労移行支援体制	①. なし 2. あり	
					就労移行支援体制 (就労定着率)	就労定着率 ()	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ②. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	①. なし 2. あり	
					キャリアパス区分 (※3)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) ⑤. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					主たる事業所サービス種類 1 (※6)	サービス種類コード ()	
					指定管理者制度適用区分	①. 非該当 2. 該当	
					共生型サービス付帯区分	①. 非該当 2. 該当	
					サービス管理責任者配置等 (※7)	1. なし 2. あり	
					地域生活支援拠点等	①. 非該当 2. 該当	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
自立訓練	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 ⑤ 20人以下				施設区分	1. 機能訓練 ② 生活訓練 3. 生活訓練 (宿泊型)
					訪問訓練	1. なし ② あり
					視覚障害機能訓練専門職員配置	① なし 2. あり
					定員超過	① なし 2. あり
					職員欠如	① なし 2. あり
					サービス管理責任者欠如	① なし 2. あり
					標準期間超過	① なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. Ⅱ ④ Ⅲ 5. Ⅰ
					視覚・聴覚等支援体制	① なし 2. あり
					地域移行支援体制強化	① なし 2. あり
					リハビリテーション加算	① なし 2. あり
					個別計画訓練実施加算	① なし 2. あり
					短期滞在	① なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制
					精神障害者退院支援施設	① なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制
					通勤者生活支援	① なし 2. あり
					地域生活移行個別支援	① なし 2. あり
					精神障害者地域移行体制	① なし 2. あり
					施設行動障害者地域移行体制	① なし 2. あり
					食事提供体制	① なし 2. あり
					看護職員配置	① なし 2. あり
					送迎体制	1. なし ③ Ⅰ 4. Ⅱ
					夜間支援等体制	① なし 2. Ⅰ 3. Ⅱ 4. Ⅲ 5. Ⅰ・Ⅱ 6. Ⅰ・Ⅲ 7. Ⅱ・Ⅲ 8. Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
					社会生活支援	① なし 2. あり
					就労移行支援体制	① なし 2. あり
					就労移行支援体制 (就労定着支援)	就労定着率 ()
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ② あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	① なし 2. あり
					キャリアパス区分 (※3)	1. Ⅲ (キャリアパス要件 (Ⅰ又はⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. Ⅴ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. Ⅳ (キャリアパス要件を満たさない) 4. Ⅱ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) ⑤ Ⅰ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ及びⅢ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					主たる事業所サービス種類 1 (※6)	サービス種類コード ()
					指定管理審判制度適用区分	① 非該当 2. 該当
					共生型サービス対象区分	① 非該当 2. 該当
					サービス管理責任書記職等 (※7)	1. なし 2. あり
					地域生活支援拠点等	① 非該当 2. 該当

利用者数実績確認表 (H29年度の平均値)

事業区分	生活介護	事業所名	社会福祉法人親愛の里 親愛の里夢工房																	
			平成 28 年度(前々年度)																	
			平成 29 年度(前年度)																	
障害支援区分 A	延べ利用者数(人) (各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を精算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)																	計 B (4～3 月)	A × B	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
2	24	28	31	27	30	30	26	24	26	27	32	25	21	30	30	328	656			
3	81	88	95	89	70	67	67	67	67	71	69	68	61	60	48	804	2,412			
4	61	58	66	65	84	90	89	83	89	89	78	87	76	69	88	987	3,948			
5	57	60	66	58	63	66	61	60	62	63	59	60	57	55	63	727	3,635			
6	39	36	44	48	58	66	60	57	58	60	58	58	47	42	52	664	3,984			
計	262	270	302	287	305	319	303	291	302	310	296	298	262	256	281	3,510	14,635			
開所日数(日)	19	20	23	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242	F			
定員 (人)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14				
月平均利用者数 (人)	14	14	13	14	15	15	15	15	15	15	15	15	14	13	13					
超過減算非該当利用者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
過去 3 ヶ月間延利用者数				834	859	894	911	927	913	896	903	908	904	856	816					
過去 3 ヶ月間受入可能者数				1,085	1,103	1,103	1,085	1,085	1,085	1,050	1,068	1,068	1,068	1,033	1,015					
定員超過判定 (減算月)																				
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。																				
* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。																				
* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障害発第0403004号) ③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。																				
* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																				

平均障害支援区分(D/C)	4.2	(小数点第2位四捨五入)
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E/C)	40%	(小数点第1位四捨五入)
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G/C)	19%	(小数点第1位四捨五入)
1日当たりの平均利用者数(C/F)	14.6人	(小数点第2位以下切上)
常勤換算後の従業者人数	3.4人	(小数点第2位以下切捨)
サービス提供職員配置	4.3	: 1

夜勤職員(施設入所支援のみ)	人
----------------	---

利用者数実績確認表(H29年度の平均値)

事業区分	生活訓練	事業所名	親愛の里夢工房														
			平成 28年度(前々年度)			平成 29年度(前年度)											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数 (人)			3	8	8	28	21	29	38	39	39	42	40	39	37	30	38
開所日数(日)			19	20	23	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21
定員 (人)			6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
月平均利用者数 (人)			0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
超過減算非該当利用者数 (人)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過去3ヶ月間延利用者数						19	44	57	78	88	106	116	120	121	121	116	106
過去3ヶ月間受入可能者数						558	567	567	558	558	558	540	549	549	549	531	522
定員超過判定 (減算月)																	

1日当たりの平均利用者数(A/D)

1.8人(小数点第2位以下切上)

420

242

H29年度 親愛の里夢工房 就労収支資料

●収入●

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業	合庁掃除	5,181		7,822		10,094		8,958		7,952		9,088	4,220	53,315
	ブラム掃除	8,000	8,000	10,000	8,000	8,000	10,000	8,000	10,000	8,000	8,000	8,000	6,000	100,000
	月刊かみいな配布	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	1,312	2,132	1,312	1,312	1,312	1,312	16,564
	公民館文書回収	11,976	11,976	14,970	11,976	14,970	11,976	11,976	14,978	11,976	11,976	11,976	11,976	152,702
	広報配達	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781	21,372
	リサイクル	4,754	8,366	6,594	5,587		13,797	4,951	5,159	4,945	5,271	4,327	6,629	70,380
	チラシ折り	2,500	5,005		10,020	10,010	2,500	9,790	4,980	6,380		8,000	10,025	69,210
	日本ハムギフト					27,735					40,915			68,650
	梱包材													0
	その他													0
受託収入計…①		35,504	36,440	42,479	38,676	73,902	41,366	46,768	39,030	42,346	69,255	44,484	41,943	552,193
自主生産事業	夢工房	150	3,600	7,550	450		1,677	2,400	1,000	13,280	3,550		4,400	38,057
	なごみ家	950						300				300		1,550
	そば蔵													0
	ブラムの里			2,300										2,300
	ウッディなな		800											800
	うめっこランド													0
	バザー・販売	8,510			11,130		19,900	14,280	3,550	2,850			7,250	67,470
カタログ販売										8,500				8,500
自主収入計…②		9,610	4,400	9,850	11,580	0	21,577	16,980	4,550	24,630	3,550	300	11,650	118,677
仕入	仕入	11,150	5,150	4,300	4,450	4,750	13,950	8,300	3,920	9,300		7,800	4,200	77,270
仕入収入計…③		11,150	5,150	4,300	4,450	4,750	13,950	8,300	3,920	9,300	0	7,800	4,200	77,270
実収入合計(①+②+③)		56,264	45,990	56,629	54,706	78,652	76,893	72,048	47,500	76,276	72,805	52,584	57,793	748,140
前月残額		12	11	8	11	10	10	8	8	11	9	11	9	118
預金利息														0
運転資金・材料代(前月からの繰越)		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
収入合計(①～③+その他)…Ⅰ		71,276	61,001	71,637	69,717	93,662	91,903	87,056	62,508	91,287	87,814	67,595	72,802	928,258

●支出●

自主	作業材料費	2,160	1,133	1,564	1,620	1,620	8,973	3,708	1,188	6,512	799	1,846	896	32,019
自主支出計…④		2,160	1,133	1,564	1,620	1,620	8,973	3,708	1,188	6,512	799	1,846	896	32,019
仕入	仕入	8,821	4,045	3,245	3,695	3,925	11,255	6,736	3,153	5,024	0	6,448	5,252	61,599
仕入支出計…⑤		8,821	4,045	3,245	3,695	3,925	11,255	6,736	3,153	5,024	0	6,448	5,252	61,599
実支出合計(④+⑤)		10,981	5,178	4,809	5,315	5,545	20,228	10,444	4,341	11,536	799	8,294	6,148	93,618
翌月材料代		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
支出合計(④～⑤+その他)…Ⅱ		25,981	20,178	19,809	20,315	20,545	35,228	25,444	19,341	26,536	15,799	23,294	21,148	273,618

●差引●

差引合計(Ⅰ-Ⅱ)		45,295	40,823	51,828	49,402	73,117	56,675	61,612	43,167	64,751	72,015	44,301	51,654	654,640
-----------	--	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

○工賃支給状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242
支給額(合計)	45,295	40,815	51,817	49,392	73,104	56,668	61,606	43,156	64,742	72,004	44,290	51,647	654,536
支給額(平均)	2,157	1,944	2,355	2,245	3,323	2,576	2,800	1,962	2,943	3,429	2,109	2,459	2,525
支給額(最高)	4,690	4,596	5,287	6,336	8,521	7,968	7,681	4,162	9,263	7,713	5,213	4,975	
支払い人数	21	21	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	259

1. 平成29年度 実習・視察等受け入れ状況

月	実習・視察等受け入れ内容
4月	12日：職員実習受け入れ2名(飯島町社会福祉協議会) 20日：宮田村保健補導員見学受け入れ
6月	5日～16日：伊那養護学校現場実習受け入れ2名 21日：伊那養護学校保護者見学受け入れ1名 22日：法人内見学受け入れ1名 28日～30日：伊那養護学校現場実習受け入れ1名 9日・19日：生活訓練事業体験利用受け入れ1名
7月	7日・28日：法人内新任職員(名古屋事業所)見学受け入れ
8月	8日：法人内新任職員(長野事業所)見学受け入れ 25日：木曽養護学校見学受け入れ
9月	4日～6日：伊那養護学校現場実習受け入れ1名 8日：上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ 見学受け入れ 25日：木曽養護学校見学受け入れ
11月	6日～17日：伊那養護学校現場実習受け入れ2名 20日～22日：木曽養護学校現場実習受け入れ1名
3月	6日：伊那養護学校見学受け入れ3名

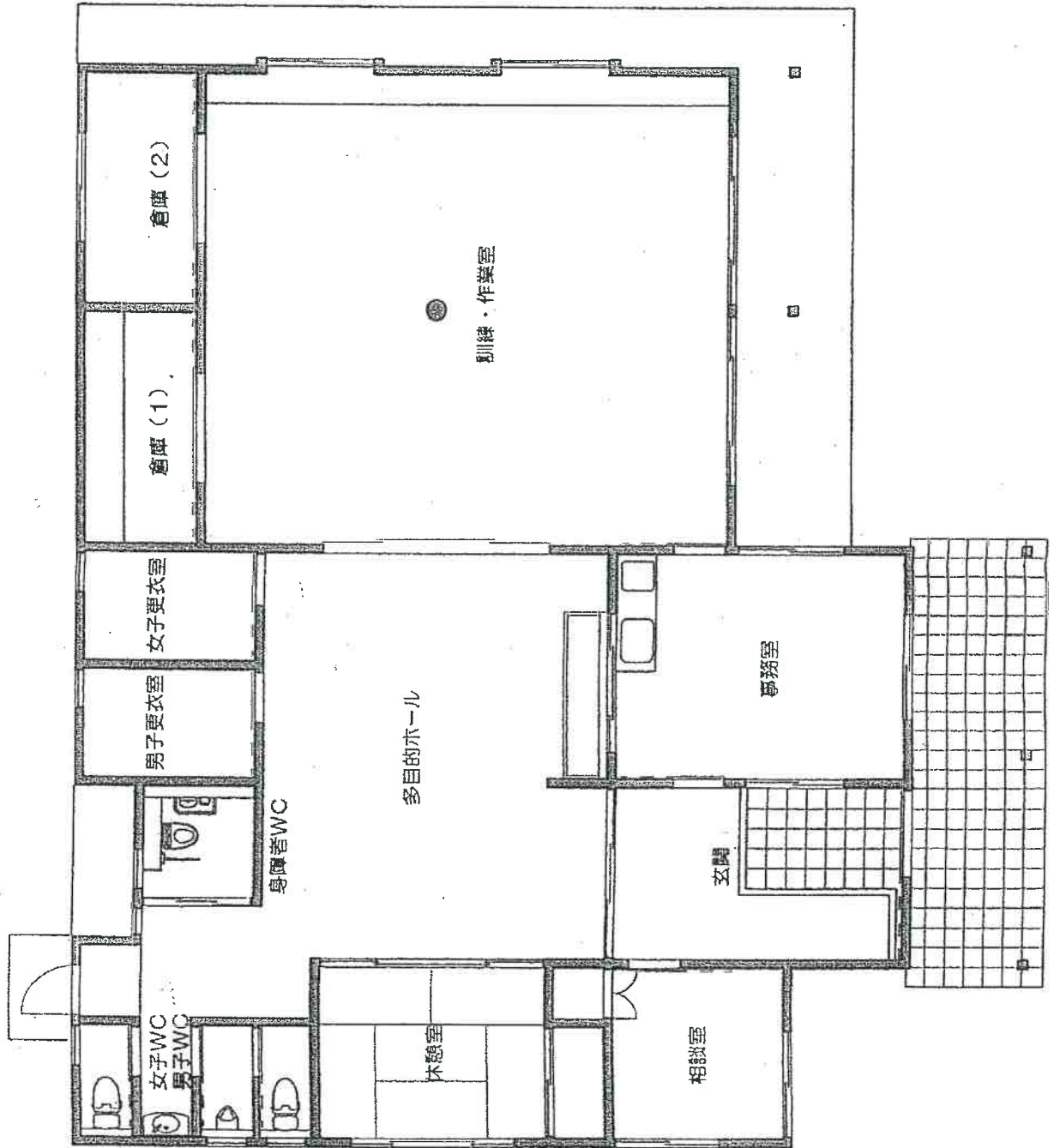
2. 平成29年度 職員研修等参加状況 (下記表を参照)

月	職員研修等参加状況
5月	11日：法人内研修 管理職研修
6月	7日：自立支援協議会 重心・要医療的ケア部会 12日：自立支援協議会 精神障害者地域生活推進部会 14日：法人内研修 管理職研修 19日：信州未来塾支援向上セミナー(長野県知的障がい福祉協会)
7月	6日・18日：法人内研修 管理職研修 7日：自立支援協議会 生活支援・人材育成部会
8月	25日：法人内研修 管理職研修
9月	7日：法人内研修 管理職研修 12日：信州未来塾チーム支援力向上セミナー(長野県知的障がい福祉協会) 20日～22日：平成29年度サービス管理責任者研修等指導者養成研修会(厚生労働省) 29日：法人内研修 管理職研修
10月	3日：長野県サービス管理責任者フォローアップ研修 ファシリテーター(長野県相談支援専門員協会) 10日・24日：法人内研修 虐待防止研修 24日：長野県サービス管理責任者スキルアップ研修 ファシリテーター(長野県相談支援専門員協会) 25日：社会福祉施設等における感染症・食中毒等の発生及びまん延防止等に係る研修会(伊那保健福祉事務所) 28日：愛着形成と双極性障害への理解と対応(公益社団法人発達協会)
11月	9日：法人内研修 管理職研修 11日：地域で暮らそうフォーラム(地域で暮らそうフォーラム実行委員会) 21日：自立支援協議会 生活支援・人材育成部会 法人内研修 感染症研修
12月	4日：信州未来塾チーム支援力向上セミナー(長野県知的障がい福祉協会) 14・15日：長野県サービス管理責任者研修スタッフ 12日：法人内研修 管理職研修 自立支援協議会 重心・要医療的ケア部会
1月	11日：長野県サービス管理責任者研修共通講義講師 18日：法人内研修 管理職研修 31日：長野県サービス管理責任者研修介護分野講師

2 月	1 日：長野県サービス管理責任者研修介護分野演習講師 9 日：長野県サービス管理責任者研修共通講義講師 14 日：自立支援協議会 生活支援・人材育成部会 22・23 日：長野県サービス管理責任者研修介護分野演習講師 26 日：自立支援協議会 精神障害者地域生活推進部会
3 月	1・8 日：法人内研修 管理職研修 6 日：自立支援協議会 重心・要医療的ケア部会 9 日：法人内研修 メンタルヘルス研修

3. 平成29年度苦情等の状況 … なし

真北



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：就労継続支援 B 型 親愛の里シンフォニー

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 定員 20 名 契約者数 28 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① H29 年度の利用率は 91.9%となり、平成 28 年度の利用率 76.5%を大きく上回る数値となった。12 か月間 80%を上回る数値を維持することが出来、H29 年度の重点目標であった『利用率 80%をキープする』を達成することが出来た。これは新規の利用者を増やしたことや利用者が安定して通所を行えたことが要因として考えられる。
- ② H29 年度の就労収支は、受託作業と施設外就労の収入が大きく減少している。受託作業の減少と施設外就労に参加する利用者が減ってしまったことが要因として挙げられる。その為工賃の支払総額が H28 年度より若干下がってしまった。それに伴い新規利用者を増やし工賃の支払い人数も増えたため、月平均工賃額が前年度実績よりも 1000 円程下がってしまった。課題であった利用率アップは目標を達成することが出来たが、利用者が増えたことで工賃の支払い人数も増え、それに就労収入が追いつかず、H29 年度の平均工賃額が目標工賃どころか、昨年度の工賃実績にも及ばない数字となってしまった。
- ③ シンフォニーの利用目的を『工賃や就労訓練』というよりは『作業や通所を通じて生活・就労リズムや自信を取り戻す』『居場所としての日中活動の場』としている方が多い。その為少ない日数での通所利用やすぐには収入に繋がるほどの作業パフォーマンスを望めない方々が多く、就労収入を上げていくことが難しい。今後は個々に沿った支援や働き方の提案に努めていくとともに、就労収入や工賃アップをどのように行っていくかが大きな課題となってくる。

(2) 課題と対応策等 … (1)を受け、次年度に向けて主な課題を箇条書き

① 工賃アップ

- ・工賃向上計画で戦略を検討。喫茶事業と施設外就労を重点的に検討していく予定。

② 多様化するニーズや目的に対応できる支援技術の向上

- ・職員全員が利用者一人一人を把握し、適切な支援が出来るようケース検討会や会議、日々のミーティング等で情報の共有、利用者の変化、支援内容と目的の確認を図っていく。
- ・職員一人一人の役割を明確にし、責任を持って支援を行うよう進めていく。

3. 利用実績

事業名	就労継続B				定員		20						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	20	22	21	21	20	21	19	19	22	247
延べ利用者数	335	367	380	354	406	411	412	392	393	344	351	393	4538
利用率(%)	83.8	91.8	86.4	88.5	92.3	97.9	98.1	98.0	93.6	90.5	92.4	89.3	91.9
3ヶ月平均(%)	82.1	83.9	87.3	88.9	89.0	92.9	96.1	98.0	96.6	94.0	92.2	90.7	91.0

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(1)				1	社会福祉士 1
サービス管理責任者	1				1	介護福祉士 1
職業指導員		1				
生活支援員			4			
事務員		(1)			(1)	
合 計	2(1)	1(1)	4		7(1)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 避難訓練の実施

日時	内容
平成 29 年 9 月 27 日	地震・火災想定避難訓練、職員通報訓練
平成 30 年 3 月 29 日	火災想定避難訓練、職員通報訓練

6. 公益的取り組みの状況

(1)

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 … なし

(2) 固定資産物品 … 10 万円以上のもの

(円)

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
NTT ビジネスフォン		1	324,000 円	324,000 円	(補助団体:)
エアコン設置工事(加藤電器店)		1	119,340 円	119,340 円	(補助団体:)

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(様式第 5 号(別紙 1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表) … 別紙 2

- (3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 3
- (4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 4
- (5) 職員研修参加状況 … 別紙 5
- (6) 平面図 … 別紙 6

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
工賃アップ 県の平均工賃を目指す	H28年度の比べ、喫茶収入は270,000円増加。しかし受託作業と施設外就労の収入が200,000円程減少と内容に変動はあったが、実収入合計金額はほぼ変わりはない。しかし、新規の利用者を増やしたことにより、工賃支払い人数も増えたことや実支出合計が145,000円程増えたことにより、一人あたりの平均工賃が前年度に比べて1000円程下がってしまい、H29年度の目標工賃額どころか、H28年度の工賃実績額よりも減少している。県の平均工賃にも程遠い結果となってしまった。就労継続支援B型の基本報酬の改定により、H30年度から平均工賃の金額が報酬単価にも反映されることとなり、事業所としても非常に厳しい状態である。	C
個々のニーズに応じ、自信を持って働き、可能性を拡げていけるよう支援	ニーズや利用目的が多様化しており、障がい特性やその方の生きづらさや目指すべき姿の確認と支援内容を毎月のケース検討会や会議、ミーティングで検討し支援を進めてきた。課題が多い利用者であっても、『できたこと』を確認し合い、変化を共有して、支援の進め方等を細かく修正しながら進めていった。その為か、職員の利用者一人一人の見方にも変化が見られ、前向きな雰囲気を持しながら支援を行うことが出来たように感じる。また、自信を持つことにより、作業に対する役割や責任を意識できるようになり、前年度休みがちであった利用者も、通所の継続が図れるようになった。	B
地域とのつながりを大切にし、地域を支援貢献できる事業所を目指す	喫茶事業の『出張喫茶販売』を行政や関係機関が会議やイベント等で積極的に依頼するようになり、喫茶店の認知度が上がってきている。地域の方だけではなく、他サービス事業所等もシンフォニーの喫茶店を利用することが増えてきている。また、自主製品の認知度も上がっているようで、地域イベントのノベルグッズの依頼もあった。優先調達法による作業も安定している。	B
利用率80%以上をキープ	新規の利用者を増やしたことから、以前よりも利用者が安定して通所が出来たこともあり、H29年度平均利用率91.9%を達成することが出来た。H28年度平均利用率76.5%を大幅に超える結果となり、毎月の利用率も12か月間80%を超えることが出来た。	A

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
就労移行支援事業の整備	就労継続支援 B 型としてのシンフォニーの利用目的が多様化してきており、一般就労等への移行や工賃収入を上げたなどの希望よりは、『退院後の日中活動の場』や『他事業所やサービスで挫折を経験してしまい、通所リズムや自信を取り戻す場』等としての利用目的が多く、関係機関も親愛の里シンフォニーの在り方をこのように捉えている様子が見受けられる。この3か年でそれが顕著となったため、就労移行支援事業所の検討は一旦保留とした。	C
移転や改装等を視野に、喫茶事業の充実を図る	移転や改装には至らなかったが、喫茶事業の収入がH27年度 1,920,000 円、H28 年度 2,320,000 円、H29 年度 2,500,000 円と着実に増加している。この3か年の間に『出張喫茶販売の増加』、『喫茶イベントを年3回に増やしたこと』が要因として挙げられる。それだけではなく、長い時間をかけて着実に喫茶店やシンフォニーのコーヒーが地域や関係機関に浸透していき、知名度も上がっていった結果、上記の実績に繋がっていったと考えられる。 喫茶収入はシンフォニーの収益にも重要な事業であるので、引き続き事業の向上に努めていく。	B
障がい特性や利用者のニーズに 応じた就労支援の在り方について 検討する	圏域内で就労継続支援 B 型事業所が多く設立されている中、親愛の里シンフォニーの在り方として“『他事業所等で安定した通所が臨めなかった方』が多く通われている事業所”として関係機関に認知されている。その為、働くことよりも、作業を通じて就労・生活のリズムや自信を取り戻すことを目的として利用を始める方々が増えてきている。事業所としてもケース検討会や職員会議を通じて、利用者一人一人のニーズや障がい特性、その方の生きづらさや目指すべき姿等を確 認し支援内容の検討に努めてきた。その成果で、H29 年度は、前年度に比べて利用者の安定した通所に繋げることが出 来た。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通					地域区分	1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. その他	
居宅介護					特定事業所	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. IV	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
重症訪問介護					特定事業所	1. なし 2. I 3. II 4. III	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
同行援護					特定事業所	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. IV	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
行動援護					特定事業所	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. IV	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
療養介護		1. 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上		1. I型 2. II型 3. III型 4. IV型 5. V型	特例対象(※4)	1. なし 2. あり	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I	
					人員配置体制	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
介護給付費 生活介護		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7.1) 2. II型(2.1) 3. III型(2.5.1) 4. IV型(3.1) 5. V型(3.5.1) 6. VI型(4.1) 7. VII型(4.5.1) 8. VIII型(5.1) 9. IX型(5.5.1) 10. X型(6.1)	施設区分	1. 一般 2. 小規模多機能	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					開所時間減算	1. なし 2. あり	
					開所時間減算区分(※5)	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満	
					大規模事業所	1. なし 5. 定員8人以上	
					医師配置	1. なし 2. あり	
					人員配置体制	1. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I	
					常勤看護職員等配置	1. なし 2. あり	
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり	
					リハビリテーション加算	1. なし 2. あり	
					食事提供体制	1. なし 2. あり	
					延長支援体制	1. なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II	
					送迎体制(重度)	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					主たる事業所サービス種類1(※6)	サービス種類コード()	
短期入所					施設区分	1. 福祉型 2. 医療型	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					重度障害者支援加算(強度行動障害)	1. なし 2. あり	
					単独型加算	1. なし 2. あり	
					栄養士配置	1. なし 2. その他栄養士 3. 常勤栄養士 4. 常勤管理栄養士	
					食事提供体制	1. なし 2. あり	
					緊急短期入所体制	1. なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					主たる事業所サービス種類1(※6)	サービス種類コード()	
					主たる事業所施設区分(※7)	1. 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型	

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
重度障害者等包括支援					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分(※3)	1. II(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III(キャリアパス要件を満たさない) 4. III(職場環境等要件を満たさない) 5. I(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
施設入所支援		1. 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上	1. 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上		定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					栄養士配置減算対象	1. なし 2. 非常勤栄養士 3. 栄養士未配置
					夜勤職員配置体制	1. なし 2. あり
					重度障害者支援Ⅰ体制	1. なし 2. あり
					重度障害者支援Ⅰ体制(重度)	1. なし 2. あり
					重度障害者支援Ⅱ体制	1. なし 2. あり
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					夜間看護体制	1. なし 2. あり
					地域生活移行個別支援	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分(※3)	1. II(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III(キャリアパス要件を満たさない) 4. III(職場環境等要件を満たさない) 5. I(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
自立訓練		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下			施設区分	1. 機能訓練 2. 生活訓練 3. 生活訓練(宿泊型)
					訪問訓練	1. なし 2. あり
					視覚障害機能訓練専門職員配置	1. なし 2. あり
					定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					標準期間超過	1. なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					地域移行支援体制強化	1. なし 2. あり
					リハビリテーション加算	1. なし 2. あり
					短期滞在	1. なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制
					精神障害者退院支援施設	1. なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制
					通勤者生活支援	1. なし 2. あり
					地域生活移行個別支援	1. なし 2. あり
					食事提供体制	1. なし 2. あり
					看護職員配置	1. なし 2. あり
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II
					夜間支援等体制	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. I・II 6. I・III 7. II・III 8. I・II・III
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分(※3)	1. II(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III(キャリアパス要件を満たさない) 4. III(職場環境等要件を満たさない) 5. I(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
就労移行支援		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下			主たる事業所サービス種類1(※6)	サービス種類コード()
					施設区分	1. 一般型 2. 資格取得型
					定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					標準期間超過	1. なし 2. あり
					就労移行・定着実績区分	1. なし 2. 過去3年間の定着率が0 3. 過去4年間の定着率が0 4. 過去2年間一般就労への移行実績が0
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I
					就労支援関係研修修了	1. なし 2. あり
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					就労移行支援体制 (6月以上12月未満)	1. なし 2. 定着率が5分以上1割5分未満 3. 定着率が1割5分以上2割5分未満 4. 定着率が2割5分以上3割5分未満 5. 定着率が3割5分以上4割5分未満 6. 定着率が4割5分以上
					就労移行支援体制 (12月以上24月未満)	1. なし 2. 定着率が5分以上1割5分未満 3. 定着率が1割5分以上2割5分未満 4. 定着率が2割5分以上3割5分未満 5. 定着率が3割5分以上4割5分未満 6. 定着率が4割5分以上
					就労移行支援体制 (24月以上36月未満)	1. なし 2. 定着率が5分以上1割5分未満 3. 定着率が1割5分以上2割5分未満 4. 定着率が2割5分以上3割5分未満 5. 定着率が3割5分以上4割5分未満 6. 定着率が4割5分以上
					精神障害者退院支援施設	1. なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制
					食事提供体制	1. なし 2. あり
					移行準備支援体制(I)	1. なし 2. あり
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分(※3)	1. II(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III(キャリアパス要件を満たさない) 4. III(職場環境等要件を満たさない) 5. I(キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					主たる事業所サービス種類1(※6)	サービス種類コード()

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
就労継続支援		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(7.5:1) 2. II型(10:1)	施設区分	1. A型 2. B型
					定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					重度者支援体制	1. なし 2. I 3. II
					就労移行支援体制	1. なし 2. あり
					目標工賃達成	1. なし 3. II型 4. III型 5. I型
					目標工賃達成指導員配置	1. なし 2. あり
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II
					食事提供体制	1. なし 2. あり
					就労継続A型利用者負担減免	1. なし 2. 減額(円) 3. 免除
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
共同生活援助				1. III型(8:1) 2. IV型(10:1) 3. I型(4:1) 4. II型(5:1)	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					主たる事業所サービス種類1(※6)	サービス種類コード()
					施設区分	1. 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型
					大規模住居(※8)	1. なし 2. 定員8人以上 3. 定員21人以上 4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)
					職員欠如	1. なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					夜間支援等体制	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. I・II 6. I・III 7. II・III 8. I・II・III
					重度障害者支援職員配置(※9)	1. なし 2. あり
					地域生活移行個別支援	1. なし 2. あり
					医療連携体制加算(V)	1. なし 2. あり
					通勤者生活支援	1. なし 2. あり
相談支援	計画相談支援				福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
相談支援					キャリアパス区分(※3)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					相談支援特定事業所	1. なし 2. あり

注 網掛けは、変更・追加された項目です。

※1「多機能型等定員区分」欄には、多機能型事業所又は複数の単位でサービス提供している事業所において、一体的な管理による定員と当該サービス種類または単位における定員が異なる場合に設定する。

※2「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

※3「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」で設定されていた場合に設定する。

※4 18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づく指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づく指定基準を満たしているものとみなす特例措置の対象を設定する。

※5「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。

※6「主たる事業所サービス種類1」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、障害者支援施設における日中活動系サービスの場合「32:施設入所支援」を設定する。短期入所については指定共同生活援助事業所(外部サービス利用型指定共同生活援助を含む)において行った場合は「33:共同生活援助」、指定宿泊型自立訓練事業所において行った場合は「34:宿泊型自立訓練」、単独型事業所において行った場合は「22:生活介護」を設定する。

※7 主たる事業所施設区分欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、共同生活援助事業所にて短期入所を実施する場合、「1:介護サービス包括型」、または「2:外部サービス利用型」を設定する。

※8「大規模住居」欄の「4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)」は、施設区分が「介護サービス包括型」の場合に限る。

※9「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「介護サービス包括型」の場合に設定する。

(参考様式1)

生活介護 施設入所支援、療養介護以外用

* 着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	就労継続支援B型	事業所名	親愛の里シンフォニー	平成29年度(前年度)												*「延べ利用者数」 各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された 日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力		
				平成28年度(前々年度)			平成29年度(前年度)									計 A (4～3月)		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 B (4～3月)	計 C (4～3月)	2	
延べ利用者数 (人)	328	345	350	355	367	380	354	406	411	412	392	393	344	343	384	4,541		
(就労B型のみ) 障害基礎年金1級受給 利用者延人数(人)	34	37	43	39	39	43	39	41	41	40	31	21	19	19	23	395		
開所日数(日)	19	20	23	20	20	22	20	22	21	21	20	21	19	19	22	247		
定員 (人)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20			
月平均利用者数 (人)	17	17	15	18	18	17	18	18	20	20	20	19	18	18	17			
超過減算非該当利用者 数(人)																		
過去3ヶ月間延利用者数				1,023	1,050	1,072	1,102	1,101	1,140	1,171	1,229	1,215	1,197	1,129	1,080			
過去3ヶ月間受入可能者数				1,550	1,575	1,575	1,550	1,550	1,600	1,575	1,600	1,550	1,550	1,500	1,475			
定員超過判定 (減算月)																		
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。 * 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。 * 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。 * 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																		

(就労B型の み) 障害者基礎年 金1級受給者 である利用者 の延利用者数 割合 D [B /(A-C)]	8.7%
--	------

の ない20歳未満の利用者延人数 C *	Aの内数 (4月から3月) (人)	2
-------------------------	----------------------	---

1日当たりの平均利用者数(C/F)	18.4 人 (小数点第2位以下切上)
-------------------	---------------------

実習、視察、ボランティアの受け入れ状況

期 日	氏名・機関名等	人 数	内 容
4月7・14・21・28日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん	3名	喫茶調理
4月20日(木)	宮田村保健補導員	30名	見学
5月12・19・26日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん	3名	喫茶調理
5月22日(火)・23日(水)	長野県看護大学	2名	精神看護実習
5月26日(金)	こころの医療センター駒ヶ根研修医	3名	見学
6月2・9・16・23・30日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 春日さん、小出さん	5名	喫茶調理
6月5日(月)～9日(金)	伊那養護学校	1名	現場実習
6月9日(金)	塩尻市エフォートマシュマロ	1名	喫茶店見学
6月16日(金)	こころの医療センター駒ヶ根 PSW 実習生	3名	見学
6月20日(火)・21日(水)	長野県看護大学	2名	精神看護実習
7月7・14・21・28日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん	4名	喫茶調理
7月7日(金)	名古屋支援事業所	6名	見学
7月25日(火)・26日(水)	長野県看護大学	3名	精神看護実習
7月28日(金)	名古屋支援事業所	6名	見学
8月18・25日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん	4名	喫茶調理
8月8日(火)	長野支援事業所	11名	見学
9月1・8・15・22・29日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん	4名	喫茶調理
10月6・13・20・27日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん、春日さん	5名	喫茶調理
11月10・17・24日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん、春日さん	5名	喫茶調理
11月6日(月)～17日(金)	伊那養護学校	3名	現場実習
11月7日(火)・8日(水)	長野県看護大学	3名	精神看護実習
12月1・8・22日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん	3名	喫茶調理
12月12日(火)・13日(水)	長野県看護大学	3名	精神看護実習

1月5・12・19・26日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん、 小出さん	4名	喫茶調理
2月2・9・16・23日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん	3名	喫茶調理
2月9日(金)	こころの医療センター駒ヶ根研修医	2名	見学
2月26日(月)～3月2日(金)	伊那養護学校	1名	現場実習
3月2・16・23・30日(金)	吉澤さん、平澤さん、原さん	3名	喫茶調理

職員研修参加状況

期 日	研修名	開催地	出席者
6月8日(木)	法人内研修 中堅職員研修	飯島町	小西
6月15日(木)	障がい者相談支援専門員初任者研修	松本市	宮澤
6月17日(土)	工賃向上セミナー(Ⅰ)	松本市	伊藤
6月27日(火)	災害発生時の対応等研修	宮田村	伊藤
7月6日(木)・7日(金)	障がい者相談支援専門員初任者研修	松本市	宮澤
7月19日(木)・20日(金)	障がい者相談支援専門員初任者研修	長野市	宮澤
7月28日(金)	法人内研修 管理者研修	飯島町	伊藤
8月25日(金)	法人内研修 管理者研修	飯島町	伊藤
9月29日(金)	法人内研修 管理者研修	飯島町	伊藤
10月19日(木)・24日(火)	法人内研修 障がい者虐待防止研修		全職員
10月25日(水)	感染症・食中毒対策研修	伊那市	小林
10月29日(日)・30日(月)	法人内研修 理念経営研修	名古屋	伊藤
10月31日(火)	法人内研修 支援技術向上講座：障がい特性について	松川町	伊藤、中村、小林
11月21日(火)	法人内研修 感染症予防・対策研修	飯島町	全職員
12月27日(水)	法人内研修 管理者研修	松川町	伊藤
1月15日(月)	就労支援部会研修	松本市	佐藤
1月28日(日)	法人内研修 理念経営研修	飯田市	伊藤
3月1日(木)	法人内研修 管理者研修	飯島町	伊藤
3月6日(火)・9日(金)・14日(水)	法人内研修 メンタルヘルス研修	松川町 飯島町	全職員

H29年度 親愛の里シンフォニー 就労収支資料

●収入●

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業	看護大掃除			24,937		32,179		28,558		28,428		10,539		124,641
	牛乳パック													0
	月刊かみいな配布	3,206	3,206	3,206	3,206	3,206	3,206	3,190	5,230	3,190	3,190	3,190	3,190	40,416
	ミヤタ													0
	リング検査	7,564		15,281	9,968	6,783	3,880	3,673	6,566	7,178	4,793	940	4,666	71,292
	パネ検査	30,380	31,370	28,320	36,630	31,940	23,140	34,740	30,650	30,330	24,460	26,690	29,300	357,950
	トナーリサイクル	27,004	28,821	25,888	28,833	45,249	20,100	27,143	27,532	24,440	27,596	21,010	27,885	331,501
	広報仕分・配達	13,894	15,319	15,504	10,859	13,894	10,331	13,894	11,044	11,756	11,756	11,756	13,894	153,901
	老福掃除	13,680	13,680	10,260	13,680	13,680	6,840	13,680	13,680	10,260	13,680	13,680	13,680	150,480
	村民会館掃除	7,920	10,560	13,200	7,920	10,560	7,920	7,920	10,560	10,560	10,560	7,920	7,920	113,520
	役場・老福草取り													0
	着物ほどこ	3,600			7,100			6,500				3,400		20,600
	こぼれどめ		5,900			6,613	1,400				4,956			18,869
	ワッシャー入れ		1,146											1,146
	その他													0
受託収入計…①		107,248	110,002	136,596	118,196	164,104	76,817	139,298	105,262	126,142	100,991	99,125	100,535	1,384,316
自主生産事業	シンフォニー	4,400	1,000	2,100	14,750	6,350	3,750	3,050	4,130	4,150	3,700	3,800	7,150	58,330
	てづくりや					135						1,000		1,135
	役場	2,200	200				450							2,850
	老福													0
	社協													0
	やすらぎ	4,010												4,010
	名刺・チラシ・写真等印刷	3,300		6,030	1,050	1,200	1,950	2,740	5,100	4,080	3,450	165	750	29,815
	バザー・イベント販売	4,400	1,400			3,950	35,400	11,550	700	17,100		1,950	22,900	99,350
	カタログ販売									8,900		7,010		15,910
自主収入計…②		18,310	2,600	8,130	15,800	11,635	41,550	17,340	9,930	79,230	7,150	13,925	30,800	256,400
喫茶	通常営業	106,030	126,770	129,570	141,860	102,570	116,660	119,570	127,390	116,740	117,440	115,930	114,320	1,434,850
	バザー・出前	52,050	40,700	57,800	69,050	75,600	128,950	94,700	56,100	48,500	24,000	40,800	43,040	731,290
	喫茶店イベント					93,270				135,300			107,480	336,050
喫茶収入計…③		158,080	167,470	187,370	210,910	271,440	245,610	214,270	183,490	300,540	141,440	156,730	264,840	2,502,190
仕入	仕入	18,700	42,090	41,940	26,380	37,750	14,860	30,520	36,510	29,490	45,430	37,900	22,540	384,110
仕入収入計…④		18,700	42,090	41,940	26,380	37,750	14,860	30,520	36,510	29,490	45,430	37,900	22,540	384,110
	施設外就労	46,200	35,420	41,580	31,378	91,378	24,640	38,680	29,260	26,180	33,880	26,180	35,420	460,196
施設外就労収入計…⑤		46,200	35,420	41,580	31,378	91,378	24,640	38,680	29,260	26,180	33,880	26,180	35,420	460,196
実収入合計(①+②+③+④+⑤)		348,538	357,582	415,616	402,664	576,307	403,477	440,108	364,452	561,582	328,891	333,860	454,135	4,987,212
前月残額		10	12	13	11	11	16	13	13	9	14	13	13	148
預金利息														0
運転資金・材料代(前月からの繰越)		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
収入合計(①～⑤+その他)…Ⅰ		433,548	442,594	500,629	487,675	661,318	488,493	525,121	449,465	646,591	413,905	418,873	539,148	6,007,360

●支出●

自主	作業材料費	3,271	5,732	9,563	3,279	29,035	11,717	14,677	10,401	18,792	9,705	3,181	4,173	123,526
	消耗品費		216	324	1,802	3,080	0	959	3,248	4,135	2,484	414	0	16,662
自主支出計…⑥		3,271	5,948	9,887	5,081	32,115	11,717	15,636	13,649	22,927	12,189	3,595	4,173	140,188
喫茶	喫茶仕入	54,555	70,394	56,775	85,306	94,317	84,826	74,781	60,753	116,168	57,629	48,503	109,696	913,703
	消耗品費	5,995	7,380	3,338	1,708	12,904	8,473	6,792	11,560	18,942	7,029	1,990	9,172	95,283
喫茶支出計…⑦		60,550	77,774	60,113	87,014	107,221	93,299	81,573	72,313	135,110	64,658	50,493	118,868	1,008,986
仕入	仕入	18,942	37,884	18,942	18,942	21,342	37,884	18,942	18,942	21,717	37,884	37,884	18,942	308,247
仕入支出計…⑧		18,942	37,884	18,942	18,942	21,342	37,884	18,942	18,942	21,717	37,884	37,884	18,942	308,247
実支出合計(⑥+⑦+⑧)		82,763	121,606	88,942	111,037	160,678	142,900	116,151	104,904	179,754	114,731	91,972	141,983	1,457,421
翌月材料代		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
支出合計(⑥～⑧+その他)…Ⅱ		167,763	206,606	173,942	196,037	245,678	227,900	201,151	189,904	264,754	199,731	176,972	226,983	2,477,421

●差引●

差引合計(Ⅰ－Ⅱ)	265,785	235,988	326,687	291,638	415,640	260,593	323,970	259,561	381,837	214,174	241,901	312,165	3,529,939
-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------

○工賃支給状況 ※平成29年度目標工賃 13,513円/月 (平成28年度平均工賃実績 12,825円/月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	20	22	20	21	21	21	20	21	19	19	22	246
支給額(合計)	262,069	235,977	326,672	291,629	408,886	269,816	319,341	256,468	389,532	206,455	251,129	293,673	3,511,647
支給額(平均)	12,479	10,260	13,611	12,151	16,355	10,378	11,827	9,864	15,581	7,941	10,045	11,295	11,816
支給額(最高)	24,140	22,382	28,943	24,220	45,528	23,017	26,484	21,068	29,562	17,452	23,115	22,198	
支払い人数	21	23	24	24	25	26	27	26	25	26	25	26	298

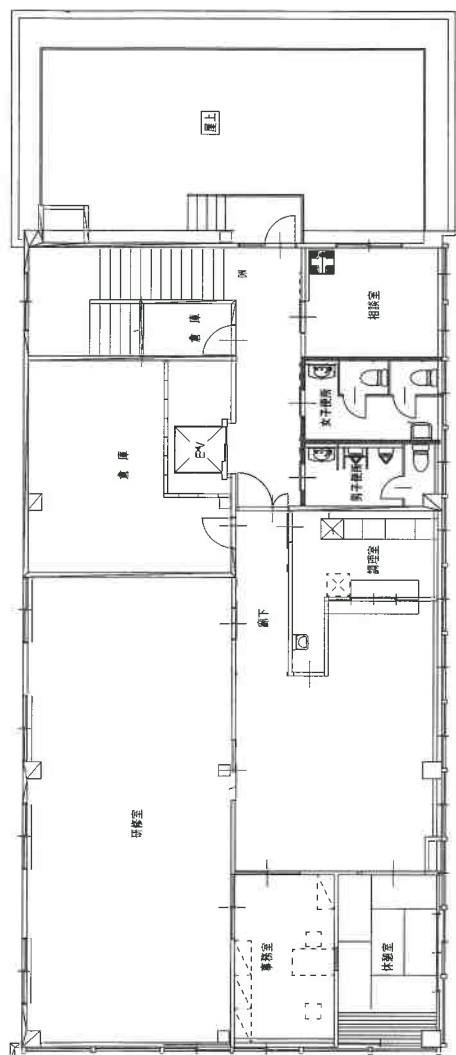
平成29年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	平成30年3月2日	本人	1	サービス内容 (職員の接遇)	要望	2	何度かご本人より、職員に「村民会館の掃除の場所を変えようかと思う」との話があった。ご本人との面談の際、「村民会館の図書館お掃除をしているが、1階ホールのお掃除に変えようかと思う。S職員からきつい口調で注意され、「雑にやるなら、他の人に変える」と言われてしまった。他にも2回くらいきつく注意され、掃除しながら泣いてしまった。他の職員はそんなことは言わないし、言い方もそんな風にしないのに…。『おっかない』と思った。『怖い』と思った。できれば関わってほしくない。言い方をやさしくしてくれればまだいい。」と話している。	苦情受付担当から苦情解決責任者へ報告。解決責任者がS職員と面談。「事実についてはしっかりと覚えていない。」としながらも急かして語彙が強くなってしまったり、ご本人の捉え方で話が太きくなってしまふことは感じている様子。職員として利用者への関わりや声掛けに注意してほしい旨を伝える。 同時に職員会議の中でも、ご本人の特性や声掛けの仕方、課題はあるが以前よりもできていることが増えていることを皆で確認し、ご本人支援にとって何か大切なのかを話し合った。 ご本人からの「掃除場所を変えたい」という話は、他職員の支援により目信を取り戻し、現在では率先して掃除に励んでいる。	無

※苦情の種類

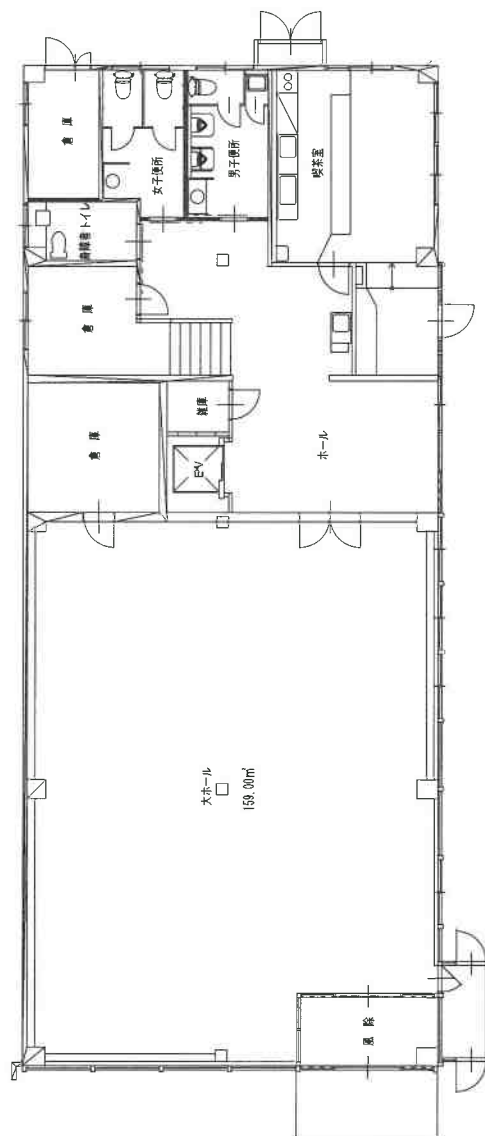
- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 1件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- ※苦情のレベル
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 1件
- 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	1件
苦情受付	1件



2階床面積 231.50㎡

2階平面図



改修後 1階平面図

1階床面積 288.25㎡

延べ床面積 519.75㎡

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 就労移行支援事業：定員 6 名 契約者数 4 名
- ② 就労継続支援 B 型事業：定員 30 名 契約者数 45 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 就労支援員が動きやすい職員体制にし、昨年度よりも企業見学の回数を増やせた。
そのため、一般就労に結び付いた方が 5 名となった。
- ② 惣菜・加工班、産直・農業班、室内作業班に分け職員を複数にし、作業が滞らないように仕事を覚えたり、話し合いをして共有していくようにした。
- ③ ゆっくり仕事をしたいの方の事業所として生活介護施設の検討を重ねてきた。それにより飯田市上郷の旧医院を確保し、準備を進めている。

(2) 課題と対応策等

- ① 一般就労の実績はあるが、年度内に定着後 6 か月経過とならず申請基準に該当せず、収入増につながらなかったケースがある。そのことを踏まえ、就労継続支援 B 型事業に登録している方も、一般就労する力をつけて、毎年一般就労する人を作っていく。
- ② 新たな事業所が増えることと退職者の補充のため、新規の職員も増え、配置も変わってくる。そのため、改めて作業の中で協力し合いながらやっていく必要がある。

3. 利用実績

<就労移行>

事業名	就労移行				定員		6						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	21	22	21	21	20	19	20	20	22	247
述べ利用者数	140	117	146	132	98	80	55	40	38	33	64	79	1022
1日平均利用者数	7	6.16	6.64	6.29	4.45	3.81	2.62	2	2	1.65	3.2	3.6	4.12
利用率(%)	116.67	102.63	110.61	104.76	74.24	63.49	43.65	33.33	33.33	27.50	53.33	59.85	68.62
3ヶ月平均(%)	82.90	94.83	109.97	106.00	96.54	80.83	60.46	46.83	36.77	31.39	38.06	46.89	69.29

<就労継続 B 型>

事業名	就労継続B				定員		30						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	21	22	21	21	20	19	20	20	22	247
述べ利用者数	543	483	553	525	581	591	571	557	545	552	530	595	6626
1日平均利用者数	27.15	25.42	25.14	25	26.41	28.14	27.19	27.85	28.68	27.6	26.5	27	26.84
利用率(%)	90.5	84.7	83.8	83.3	88.0	93.8	90.6	92.8	95.6	92.0	88.3	90.2	89.5
3ヶ月平均(%)	88.6	87.73	86.3	84.0	85.1	88.4	90.8	92.4	93.0	93.5	92.0	90.2	89.3

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(0.1)				1(0.1)	社会福祉士 1
サービス管理責任者	1				1(1)	社会福祉士 1 保育士 1
就労支援員	1				1(1)	ジョブコーチ 1
生活支援員		1	1(0.5)	1(1)	3(2.5)	保育士 1
職業指導員			5(3.5)		5(3.5)	ヘルパー2 級 1
目標工賃達成指導員			2(2)		2(2)	栄養士 1
送迎職員			2(0.4)		2(0.4)	
栄養士			1(0.5)		1(0.5)	管理栄養士 1
事務員		1			1(1)	
合 計	3	2	11(6.9)	1(1)	17(12)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 火災想定避難訓練（9 月 21 日）
- (2) 地震想定避難訓練（3 月 23 日）

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 元気会（利用者自治会）によるやすらぎ荘の草取り（5 月）
- (2) 元気会（利用者自治会）による山吹駅、下平駅までのゴミ拾い（3 月）

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等
なし
- (2) 固定資産物品

(円)

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
ロータリーモア	MGW621	1	230,000 円	230,000 円	
自動車	日産ラフェスタ	1	1,263,670 円	1,263,670 円	
ガス湯沸かし器	RUX・A2015W-E	1	115,000 円	115,000 円	産直作業のため

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1
- (2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2
- (3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 4.5
- (4) 工賃支給状況 … 別紙 6
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 7
- (6) 職員研修参加状況 … 別紙 8
- (7) 苦情等の状況 … なし

(8) 平面図 … 別紙 3

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
一般就労の実績3名以上	昨年度3名の実績。(Y氏、K氏、K氏)30年度4月にN氏、M島氏就職 次年度で報酬変更となり残念だが、たくさんの方が就職できた。 社会が障がい者の受け入れに積極的になっているようにも感じる。 就労支援員が効果的に動くことができ就労者増加につながった。	A
継続して働く力を身に付ける就労支援を行う	仕事を任せ、責任を持ってもらうような支援をしていた。 就職希望の先輩が就職したのを見た利用者の意識が上がった。また、仲間が就職活動を頑張っているのを見て、頑張る利用者もいた。 まだ、モチベーションが上がってこない人もいるので、親しい就職希望の方の就職に力を入れ、意識を変えていきたい。 もっと挨拶等を意識してもらい、社会常識を身に付けるようにしていく必要があるので、SST・学習会を更に行っていく。	B
利用者作業工賃の引き上げ	工賃は平均並みではあり、大幅に増やすことが出来なかった。 受託作業を希望する方が多くなかったが、受託作業が少なかった。単価の高い所への営業が必要になってくる。 柿取りや干し芋の袋詰め作業は天候の加減もあり、量が減ってしまっている。 惣菜は毎年売り上げが上がっているが入る人数が増えている。販売数を増やすためにももっと知ってもらう方向を考えていく必要がある。	C
就職や工賃アップを目標とする方と生活リズムの安定、生きがいを目標とする方との機能分化	働ける生活介護の事業所開設計画を進めているので、その中で機能分化を進めている。 就労を目指している利用者は惣菜・産直作業に入っていて、今も少しは分かれて作業をしているように感じる。 精神障がいの方と知的障がいの方の関係性が難しい場合があり、出来る限り作業場所を離して作業してもらっている。	B
利用者主体の個別支援計画の作成と支援の実施	本人の希望を聞きながら計画を作成し、その際本人の希望の作業の聞き取りを行った。事務所にホワイトボードを用意して、職員全員が見ながら、利用者の希望の作業に入れるよ	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	うに検討しながら配置をするようにしている。 支援計画の内容を忘れてしまうことがあったので、改善していきたい。	
利用者の確保	登録は一杯となり、登録者の利用日数を増やした人もいたが、休む方が多かった。また、毎日来れている人が就職してしまい、新規の利用者は本人の体力に合わせて日数を決めているので、全体の利用数はあまり増えなかった。	B
加工所の稼働の充実	加工と惣菜それぞれで稼働は増えていた。毎日利用する人が加工などに入れる仕事があった。加工所の場所が離れているので、移動の時間が課題。	A
販路の拡大	短大、およびふぁーむ、合庁が増えたので、売り上げは上がった。	A

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
加工所を整備して工賃の倍増を図る	加工所を整備して、惣菜の仕事に入りたい方がたくさん入れるようになった。惣菜を希望して入ってくる利用者は増えたように感じる。惣菜の収入も上がっているが、惣菜に入る人数が増えているので、一人当たりの収入はあまり変わらなかった。	B
ゆっくり働きたい方や重度障がい者の作業活動場所の整備	3年かけて、いろいろな試行を経て、生活介護の事業所の計画を進めることになった。30年度開所予定。今後、加工所の2階を利用する事で活動場所の確保も視野に入れている。	A
一般企業などへの就労実績4名以上	4名以上の実績が出ている。	A

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

[illegible]

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	就労移行	事業所名	親愛の里紙ふうせん
------	------	------	-----------

＊ 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(超過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。

＊ 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。

＊ 超過減算非該当利用者は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年4月3日付け障発第0403004号）③災害等やむを得ないで各月の延べ数を記入してください。

＊ 定員超過判定で○か表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(C/F)	3.7人 (小数点第2位以下切上)
-------------------	-------------------

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	就労継続支援B型	事業所名	親愛の里紙ふうせん	平成29年度(前年度)												*「延べ利用者数」		
				平成28年度(前々年度)												各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力		
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数(人)				535	523	601	543	481	548	510	566	575	582	577	547	550	535	594
	(就労B型のみ)																	5,036
障害基礎年金1級受給利用者延人数(人)				42	40	47	44	39	45	43	44	44	42	40	41	40	41	41
開所日数(日)																		
				23	20	22	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
定員(人)				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
月平均利用者数(人)				23	26	27	25	21	25	22	25	26	25	26	24	24	27	26
超過減算非該当利用者数(人)																		
過去3ヶ月間延利用者数																計 A (7～3月)		
過去3ヶ月間受入可能者数																計 B (4～3月)		
定員超過判定(減算月)																計 C (7～3月)		
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。																		
* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。																		
* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。																		
* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																		
1日当たりの平均利用者数(C/F)																25.0 人 (小数点第2位以下切上)		

(就労B型の
み)
障害者基礎年
金1級受給者
である利用者
の延利用者数
割合 D [(B
)/(A-C)]

100%

のいない20歳未満の利用者延人数 C *

Aの内数

(4月から3月) (人)

5,036

1、収支明細

項目/月		29.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	合 計
作業内容	農業・産直	194,030	193,685	347,348	262,857	504,814	436,152	416,136	318,351	350,566	371,465	271,237	254,594	3,921,235
	自主加工	103,600	53,904	65,238	86,863	22,902	62,786	67,905	87,199	52,198	152,753	60,805	106,485	922,638
	委託加工	51,830	26,240	12,640	29,280	20,680	66,450	80,860	186,380	123,680	39,040	54,590	56,000	747,670
	外注加工		0	23,750	0		16,140	9,000	0			0		48,890
	PC関係	32,805	5,401	13,007	4,740	24,290	320	12,070	6,787	5,890	2,620	4,350		112,280
	惣菜	154,880	167,036	183,951	247,710	117,538	213,115	216,112	251,400	173,898	136,667	149,440	132,048	2,143,795
	東京シェル	86,544	83,718	93,672	77,112	56,907	14,700	15,713	20,183	24,133	11,163	18,868	14,953	517,666
	木下水引	20,031	15,517	15,619	13,153	59,353	32,315	47,317	27,215	13,200	44,274	57,474	47,696	393,164
	しなの工業	1,979	2,082	1,355	1,254	2,117	1,290	1,276	1,725	1,724	1,250	1,663	1,663	19,378
	ミヤウチ	1,440	7,000	7,000		1,440								16,880
	ユニプリント	11,500	17,000	47,800	14,499	16,830	61,000	8,900	62,300	17,800		14,870	15,250	287,749
	共栄ダンボール	21,374	8,783	3,015	2,229						0			35,401
	GOKOシール	4,130	2,520	4,970	1,750	1,820	2,100	700						17,990
	JA関係			75,000	120,000			39,500			64,774			299,274
	信栄社	16,300									飯田市			16,300
	行政委託											50,429		50,429
	農業委託				61,000									61,000
	ポストイング	4,959	4,959	4,959	4,997	4,997	4,978							29,849
	サカエ						9,138	35,658	18,982	14,944	19,745	21,330	36,598	156,395
	その他	26,140	32,890	3,840		31,390	9,014	7,035			87,210	185,407	39,269	
										千し芋 73,507 お米 16,750 お歳暮 95,150				0
施設外	農業		30,000	10,000	5,000	13,000		16,264			杜の市 3,289 米 32,140 ロノロール 3,840		32,836	107,100
	行政													0
	柿取り								805,610					805,610
	その他													0
実習	GOKOとまと	49,315	51,625	54,653	48,637	39,778	34,798	35,715	34,173	33,339	36,359	44,045	42,415	504,852
														0
授産収入合計		780,857	702,360	967,817	981,081	917,856	964,296	1,010,161	1,820,305	963,356	1,051,172	737,941	740,538	11,637,740
経費	電気代	49,098	39,520	36,837	59,931	67,389	42,978	47,987	41,103	51,444	57,312	62,822	46,698	603,119
	水道代	19,238	16,551	19,849	18,524	15,929	17,881	17,756	18,281	15,555	10,164	51,893	13,662	235,283
	ガス代	19,980	16,394	14,234	18,900	32,357	14,681	15,271	22,702	25,639	20,498	34,106	24,516	259,278
	ガソリン代	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	144,000
	その他													0
経費計		100,316	84,465	82,920	109,355	127,675	87,540	93,014	94,086	104,638	99,974	160,821	96,876	1,241,680
差引合計		680,541	617,895	884,897	871,726	790,181	876,756	917,147	1,726,219	858,718	951,198	577,120	643,662	10,396,060

2、利用者工賃

項目/月	29.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月	平 均
就労日数	21	19	21	21	22	21	21	19	19	20	20	22	21
就労総日数	692	607	674	661	683	669	638	614	588	588	601	672	641
就労時間	2,579.57	2,280.55	2,714.06	2,582.40	2,517.57	2,711.81	2,373.23	2,645.63	2,304.72	2,361.67	2,470.75	2,616.53	2,513.21
総支給額	565,722	495,783	642,578	615,290	533,782	501,657	523,129	933,751	486,575	509,048	492,051	491,313	565,890
平均工賃	全体 時給	219	217	237	238	212	185	220	353	211	216	199	225
	月額	10,879	10,118	16,064	13,091	11,120	10,451	11,130	21,222	10,813	11,312	10,697	12,298
	移行 時給	252	240	259	260	263	241	264	374	248	259	236	259
	月額	20,759	17,236	19,566	20,847	20,470	12,922	18,923	37,054	19,245	18,072	15,753	19,250
	B型 時給	210	211	231	232	203	179	216	351	208	213	195	220
	月額	9,342	8,932	12,640	11,734	10,033	10,164	10,599	20,468	10,421	10,998	10,215	11,359
最高額工賃	61,722	63,795	69,480	56,539	45,253	43,765	46,922	83,845	45,549	49,159	55,880	55,060	56,414
支払い人数(移行+B型)	52	49	47	47	48	48	47	44	45	45	46	46	47

☆実習、ボランティア等の受け入れ状況

期 日	機 関 名 等	人数	内 容
4月1日(土)	しんあいツアー	1名	見学
4月4日(火)	Hさん	1名	作業ボランティア
4月8日(土)	S.Kさん	1名	作業ボランティア
5月6日(土)	E.Sさん	1名	作業ボランティア
5月2日(火)、6日(土)	S.Kさん	1名	作業ボランティア
5月13日(土)	M.Sさん	3名	見学
5月23日(火)～6月1日(木)	飯田女子短大	5名	精神保健実習
6月3日(土)	しんあいツアー	1名	見学
6月6日(火)～6月17日(土)	飯田養護学校高等部2年、3年	3名	現場実習
6月20日(火)～6月24日(土)	飯田養護学校高等部2年	1名	現場実習
6月20日(火)、24日(土)、27日(火)	M.Sさん	1名	体験
6月27日(火)	養護学校中等部2年	10名	見学
6月27日(火)～7月6日(木)	飯田女子短大	3名	精神保健実習
7月6日(木)	名古屋事業所	8名	見学
7月7日(金)	養護学校中等部2年	7名	体験
7月11日(火)～13日(木)	飯田東中3年	1名	福祉体験
7月11日(火)	飯田養護学校小・中・高等部 PTA	15名	見学
7月27日(木)	名古屋事業所		見学
8月8日(木)	法人		事業所見学
9月6日(水)	I.Kさん	3	見学
9月12日(火)～9月20日(水)	日本総合研究所福祉士養成所	1	社会福祉士・相談援助実習
9月20日(水)	飯田養護学校	1	見学
9月20日(水)	F.Mさん	2	見学
9月21日(木)	人権擁護委員	8	見学・交流
9月29日(金)	ひまわり母の会	20	見学
10月3日(火)～7日(金)	養護学校	1	準アセスメント実習

10月10日(火)～19日(木)	飯田女子短大	3	精神保健実習
10月11日(水)	養護学校	3	見学・実習打ち合わせ
10月26日(木)	養護学校	3	見学・実習打ち合わせ
10月27日(金)	養護学校	3	見学・実習打ち合わせ
11月7日(火)～11日(土)	養護学校	3	実習
11月14日(火)～18日(土)	養護学校	2	実習
11月21日(火)～25日(土)	I.Kさん	1	体験
11月21日(火)	Sさん	1	体験打ち合わせ
12月12日(火)～16日(土)	R.Hさん	1	準アセスメント
11月28日(火) 30日(木) 12月2日(土)	Y.Sさん	1	体験
12月5日(火)	Kさん	2	見学
12月12日(火)～16日(土)	R.Hさん	1	準アセスメント
12月15日(金)	S.Kさん	2	見学
12月16日(土)	S.Kさん	1	体験
12月21日(木)	かふねケアマネ	1	見学(E.Hさんの様子を見る)
3月6日(火)、7日(水)	M.Yさん	1	採用実習試験
3月6日(火)、7日(水)	M.Yさん	1	採用実習試験
3月17日(土)、31日(土)	Kさん	1	採用実習試験
3月22日(木)	こぶし園	2	見学
3月22日(木)	親愛の里松川職員	1	見学、体験
3月28日(火)	養護学校	5	見学
3月28日(火)	親愛ツアー	1	見学

☆職員研修状況

期 日	研 修 名	主 催	開催地	参加者
4月5日(水)	防犯講習	紙ふうせん	紙ふうせん	全職員
5月19日(金) 20日(土)	視察研修	倍増カフェ	豊橋市	1名
6月8日(木)	中堅研修	法人	飯島町	1名
6月10日(土)	新人研修	法人	松川町	1名
6月17日(土)	工賃向上セミナー	県セルフセンター協議会	松本市	1名
6月20日(火)	支援技術向上講座(ビジネスマナー)	法人	松川町	5名
6月29日(木)	管理職研修	法人	飯島町	1名
7月14日(金)	工賃向上セミナーⅡ	セルフ協議会	諏訪市	1名
7月18日(火)	管理職研修	法人	飯島町	1名
8月2日(水)	自閉症研修(ほっとすまいる三浦氏)	紙ふうせん	紙ふうせん	全職員
8月8日(火)	法人内事業所見学研修	法人		2名
8月10日(木)	中堅研修	法人	飯島町	2名
8月18日(金)	支援技術向上講座	法人	松川町	7名
8月23日(水) 24日(木)	強度行動障害従事者養成研修	知障協	長野市	1名
8月25日(金)	管理職研修	法人	飯島町	1名
8月26日(土)	高次脳機能障害研修	健和会病院	飯田市	1名
9月29日(金)	管理職研修	法人	飯島町	1名
10月6日(金)	夢工房見学		宮田村	1名
10月10日(火)、19日(木)、24日(火)いずれか	虐待防止研修	法人	松川町または飯島	全職員
10月25日(水)	野菜研修	JA	飯田市	1名
10月29日(日)～	法人管理者研修	法人	名古屋市中区	1名

30日(月)				
10月31日(火)	障がい特性研修	法人	松川町	5名
2月8日(木)	発達障がいサポーター養成講座	中堅職員	コスモス園	6名
2月21日(水)	支援技術向上講座	法人	ほっとハート	5名
3月1日(木)	財務研修	法人	飯島町	1名
3月6日(火)9日(金) 14日(水)	メンタルヘルス研修	法人	飯島町または 松川町	全職員



鈴木建築設計事務所

「紙ふうせん」

图名	平面图

[illegible][illegible]

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：松川町業務委託事業 松川町地域活動支援センターあすなろ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援センターⅢ型 定員 10 名・登録者 36 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 1 日あたり 8 名程の利用があり、地域に目を向けた活動や社会性の向上を目的とした活動プログラムを提供している。具体的には地元のイベントへの参加や社会資源の活用、料理教室や保健師による健康講座などのプログラムを実施した。
- ② ご利用者が希望する生活へのステップの場であることを大切にして支援を行っている。今年度は 1 名が就労系事業所へ移行、1 名が一般就労につながった。
- ③ 地域ニーズへの働きかけとして保健師等や医療機関等と連携し、自宅から一歩踏み出す場所、退院後の活動の場所としてつなげている。今年度は 10 名の新規登録者があった。

(2) 課題と対応策等

① 社会性の向上に向けたプログラムの充実

企画から利用者が主体的に関われるような仕組みを作っていく。また、外部講師による講座を実施していく。

② 利用者の個別支援の強化

利用者が希望に沿って選択、決定ができるように障がい福祉サービス事業所の見学を実施していく。また、生産活動を充実させることで目標へのステップアップができる体制を作っていく。

③ 相談支援機能の充実

職員のスキルアップに向けて、法人内外の研修へ参加する。また、併設する特定相談支援事業所と連携し、相談支援を強化していく。

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	19	19	19	19	23
延べ利用者数	120	121	167	181	144	134	174	177	165	177	167	221
登録者数	26	27	28	28	28	33	33	33	33	34	35	36
日平均利用者	6.0	6.1	7.6	9.1	7.6	6.7	8.3	9.3	8.7	9.3	8.8	9.6

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員	1		1		2	社会福祉士 1
合 計	2(1)		1		3	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 3月19日 防災訓練（火災・地震）

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業あおぞら教室 年12回（毎月第4土曜日）

(2) まつかわ子ども福祉教室あいむ 年6回

7. 主な施設整備等

なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙2

(4) 平面図 … 別紙3

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域活動支援事業の啓発活動	地域への活動の周知として、今年度は民生委員の方を中心に働きかけを行った。活動プログラムへの参加を始め、ご利用者の相談役として関わりが持てるようになった。また、民生委員を通して、地域の方がボランティアに出向いてくれることもあった。今後は事業所の取り組みを発信できる機会を作っていきたい。	B
社会生活力向上に向けた支援	社会資源活用の一環として松川町図書館や美術館などを利用している。また、料理教室では調理工程だけでなく、レシピ作りや買い出し、片づけなど一連の流れを体験することで生活力を身に付けられるように支援している。また社会へのステップとしての軽作業（自動車部品組み立て、自主製品作り）を提供し、関係機関と連携しながら希望する生活への支援をおこなった。	B
松川町の障がい者福祉の充実	松川町社会福祉協議会との連携事業として、まつかわこども福祉教室あいむを運営している。おもに小中学生にさまざまな観点から町の実情・現状を見て、体験してもらい、障がいを持つ人たちと共生する町づくりをする活動として実施している（平成9年から）。また障がい者のみならず高齢者福祉の充実を実践していくうえから、今後とも各団体・個人と連携を図っていく。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
障がいのある方の集いの場所としての機能強化	軽スポーツ（ウォーキング、バランスボール、囲碁ボールなど）や食事に関わる外出など、各種の活動を提供している。また利用者の自主的活動（美味しいコーヒーマーケットの会など）を計画・実施している。また、将棋やネイル、話し相手など利用者個々の希望に合わせてボランティアを活用しながら、プログラム内容の充実を図った。	B
利用者の社会参加、社会復帰への促進	利用者の要望に合わせた軽作業などの提供、利用者の生活設計に関わる支援体制の強化等を図っていくことで、新たな社会への参画や復帰などに向けていく。具体的には社会資源の活用（図書館、美術館、動物園、公共交通機関など）をしながら、一般社会との関係づくりを進めていく。また、併せて取り組んでいる文化的活動を発表する機会を作り、交流の場となるように進めていく予定である。	B
地域ボランティアの育成	松川町社会福祉協議会や各種ボランティアなど、地域活動支援センターの活動への参加を進めて	C

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	いく。一方で地区の活動への参加（美化運動など）なども進めていく。後者については、継続して検討中である。
--	---

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

重点目標および3か年計画の内容は、地域活動支援センターの意義とも密接に関連している。これから求められる地域活動支援センターとして定着していくうえでも、行政（とくに松川町保健福祉課）や松川町社会福祉協議会、民生委員をはじめとする地域の方々と連携しながら、障がいを持つ人にとっての活動拠点、次の段階へのステップの場としてより確かな存在としていきたい。

ボランティア受け入れ状況

期 日	団体名	内容	延べ人数
6月	個人：下平氏	利用者交流	1名
8月	松川町民生委員	利用者交流	2名
9月	個人：宮下氏 松川町民生委員	将棋、利用者交流	4名
10月	個人：宮下氏、伊原氏、畑中氏	将棋、ネイル	4名
11月	個人：宮下氏、畑中氏	将棋、クッキー作り、利用者交流	4名
12月	個人：牧内氏	門松・しめ縄づくり	2名
3月	個人：宮下氏	将棋	1名

視察・見学受け入れ状況

期 日	団体名	内容	人数
5月2日	やすらぎ利用者	施設見学	5名
7月7日	法人名古屋支援事業所	施設見学	15名
8月24日	松川町地域包括支援センター他	施設見学	3名
11月20日 12月2日	(株)WING 関島企画 関島社協	作業指導、利用者交流	1名
12月15日	松川中学校教員	寄付品の贈呈	1名
3月5日	中川村団体	事業所見学	10名
3月15日	飯田病院 PSW 他	施設見学	2名

職員研修

期 日	研修名	参加人数
毎月	事例検討会（法人主催）	2名
9月3日	法人大会	2名

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：飯島町指定管理事業 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援センターⅢ型 定員 10 名・登録者 35 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 1 日あたり 9 名程の利用があり、地域に目を向けた活動や社会性の向上を目的とした活動プログラムを提供している。具体的には地元のイベントへの参加やボランティア団体の活用、料理教室や礼儀作法等のプログラムを実施した。
- ② ご利用者が希望する生活へのステップの場であることを大切にして支援を行っている。今年度は 1 名が一般就労につながった。
- ③ 飯島町の地域ニーズへの働きかけとして、保健師等と月 1 回の連絡会を実施し、支援が必要な方への働きかけを行った。今年度の連携による新規登録者は 2 名。

(2) 課題と対応策等

① 社会性の向上に向けたプログラムの充実

企画から利用者が主体的に関われるような仕組みを作っていく。また、外部講師による講座を実施していく。

② 利用者の個別支援の強化

利用者が希望に沿って選択、決定ができるように障がい福祉サービス事業所の見学を実施していく。

③ 相談窓口の充実

H30 年度より法人の特定相談支援事業所がやすらぎ内で相談窓口を開設。連携を取りながら、地域のニーズに対応していく。

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	17
延べ利用者数	187	194	187	179	213	171	189	178	174	162	157	149
登録者数	37	37	37	37	37	37	37	37	35	35	35	35
日平均利用者	9.4	9.7	8.5	10.0	9.7	8.6	9.0	8.9	8.7	8.5	8.3	8.8

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1

生活支援員		1	1		2	
合 計	1(1)	1	1		3	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 3月27日 防災訓練（火災・地震）

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業あおぞら教室への参加

7. 主な施設整備等

なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙2

(4) 苦情等の状況 … 別紙3

(5) 平面図 … 別紙

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域生活を営むための障がい者本人や家族に対する必要な支援	毎月1回、飯島町健康福祉課地域福祉係、保健師などと障がいを持つ人の情報を共有し、利用者の方だけでなく、必要に応じて家族の方たちとも面談などを通じて利用者の家庭全体のバックアップ支援を継続している。家族の集いを年2回開催し、ニースの聞き取り交流の機会としている。	B
社会生活力向上に向けた支援	ひとつは軽作業（おもにスプリングの選別作業、牛乳パックを再生した椅子の製作）を提供することで働く機会を提供している。この継続的な実施で一定程度の工賃収入が得られるほか、商品の認知度も上がってきている。ふたつには食事作りを買い物から料理、片づけまでを通して調理のスキルを身につけていく。また、成功体験を重ねることで自信が持てることを目指している。これらのことに加えて、希望者にはやすらぎでの過ごし方に関わる日程表なども各自にあわせて提供している。	B
次のステップ移行のための関係諸機関との連携	飯島町健康福祉課地域福祉係や包括支援センター、飯島町社会福祉協議会、法人内の相談支援専門員などとも情報の共有化を図りながら、個々のケースへの相談対応をしている。また、必要があれば事業所の見学なども行った。	B
町の公用車において通所手段を確保し、利用の促進を図る	毎週木曜日に送迎サービスを実施している。今後も利用者の希望を聞きながら対応をしていく。	B
飯島町介護予防拠点施設「コスモス園」の維持管理及び利用者との交流促進	登録団体が活用しやすく管理、運営を行った。また、コスモス園内にやすらぎの活動を掲示し、情報交流や調理活動などにボランティアとして関わってもらい、交流を図った。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
ひきこもり支援等相談機能の充実	飯島町健康福祉課や保健師などと連携し、障がいを持つ方をはじめとして引きこもりの方などの情報を共有して、随時の見学・体験などを提供している。またご本人の要望に応じて、関係機関への紹介や相談支援に向けた体制を整備している。しかし、アウトリーチ的な関わりは職員体制がとれず、十分に行えなかった。	B
地域での啓発活動の実施	飯島町の積極的な対応も含め、地域住民のやすらぎに対する認知度は比較的高い。しかし、取り組みや活動内容についての周知は十分とは言えない。7月に実施している「ふれあい祭り」を継続し、関係者だけでなく住民の方たちにも参加できるように周知して行きたい。またボランティア団体との相互交流で、やすらぎを知っていただくなど、活動を多角的に進めていった。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

開所日・開所時間の検討	手をつなぐ育成会より町を通じて開所時間や開所日（土曜日）に対しての要望がある。継続的な検討となるが、やすらぎの職員体制や飯島町との指定管理に対する契約変更などが不可避である。当面は法人の公益的事業所であるおそら教室などで余暇支援の情報提供をしている。	C
-------------	---	---

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

重点目標と3か年計画の内容は、地域活動支援センターそのものの意義とも深い関係にある。行政（飯島町健康福祉課）とのかかわりが深く、細かい情報がやりとりできるメリットがある。これまで以上に行政をはじめとして地域の各福祉事業所やボランティア、住民の方々とも手を携えながら、とくに障がいを持つ人にとっての活動拠点としてより確かな存在としていきたい。

ボランティア受け入れ状況

期 日	団体名	内 容	延べ人数
4月	個人：小林氏、平澤氏、伊藤氏、坂井氏、 扇島氏、市村氏、古田氏、一ノ倉氏	調理、音楽療法など	16名
5月	個人：平澤氏、小林氏、伊藤氏、古田氏、 石川氏、笠原氏、桃沢氏、 飯島町保健師	調理、運動、音楽療法など	25名
6月	個人：小林氏、扇島氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法など	19名
7月	個人：扇島氏、小林氏、望月氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課、保健師	調理、音楽療法、絵はがき 作りなど	23名
8月	個人：小林氏、市村氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町保健師	調理、音楽療法、製品作り など	14名
9月	個人：小林氏、望月氏、古田氏 飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、絵画活動、 手芸など	7名
10月	個人：小林氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課、飯島町 女性情報ネットワーク	調理、音楽療法、抹茶の会、 製品作りなど	15名
11月	個人：望月氏、小林氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、製品作り など	14名
12月	個人：望月氏、小林氏、古田氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、製品作り など	15名
1月	個人：小林氏、望月氏、古田氏、芦部氏、 平野氏、坂井氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、お餅つき など	17名
2月	個人：古田氏、小林氏、望月氏 糸ぐるま、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、運動、製 品作りなど	12名
3月	個人：小林氏、古田氏 上伊那歯科医師会、飯島町役場健康福祉課	調理、音楽療法、歯科指導 など	11名

視察・見学受け入れ状況

期 日	団体名	内 容	人 数
4月19日	箕輪町（白鳥町長、福祉課課長）	施設見学	2名
5月18日	長野県看護大学	音楽療法見学	5名
7月7日	法人名古屋支援事業所	施設見学	7名
8月8日	法人名古屋支援事業所	施設見学	11名
9月12日	辰野町地域活動支援センター職員	施設見学	2名
11月30日	みらい福祉会	施設見学	1名
2月21日	こころの医療センター駒ヶ根デイケア ご利用者、スタッフ	施設見学	10名

職員研修

期 日	研修名	参加人数
毎月	事例検討会（法人主催）	6名
9月3日	法人大会	2名

平成29年度苦情受付一覧表

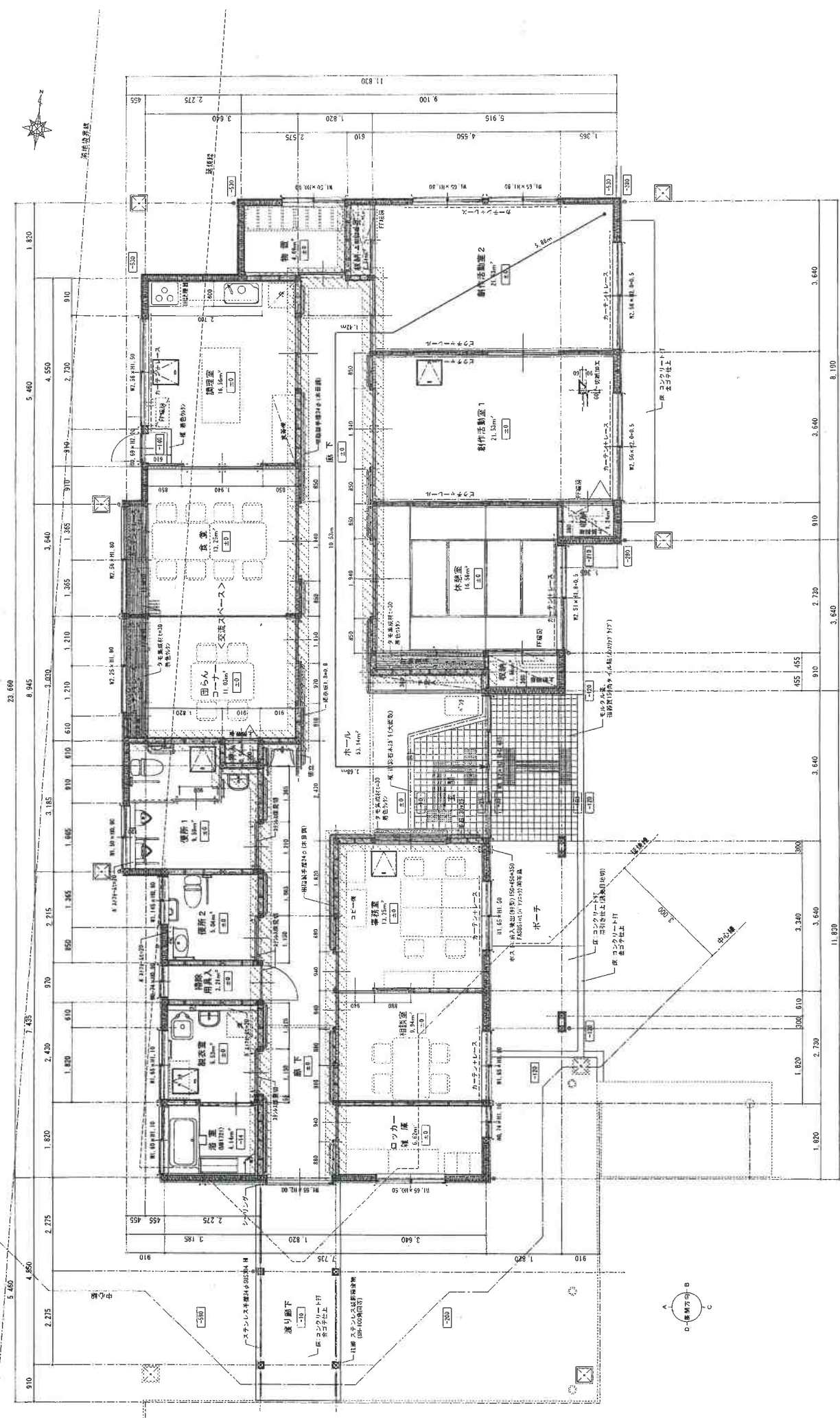
別紙2

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	平成29年4月27日	家族	1	職員の対応	1	1	家族より「本人が車椅子になっても、やすらぎで受け入れてもらえるか」と相談があった際に「車椅子での受け入れは出来ない」と職員より返答があった。家族が所属する団体に相談し、団体代表者から「やすらぎで車椅子利用者を拒否し、三障がいを受け入れないのはおかしい」と苦情がある。	・対応した職員に確認し拒否をした事実はなかったが、誤解を招くような対応をしたことを謝罪する。 ・団体の総会に出席し、車椅子利用者も受け入れて行く旨を説明している。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 1件 ※苦情のレベル 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … ①件
- 2 サービス内容(質・量) … 0件 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
- 3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
- 4 事業所運営 … 0件 4 その他 … 0件
- 5 契約内容 … 0件
- 6 建物の構造 … 0件
- 7 その他 … 0件

※苦情の発生原因	1 説明・情報不足 … 1件
2 職員の態度・言動 … 0件	実績総数
3 サービス内容 … 0件	
4 その他 … 0件	苦情受付
	1件
	1件



凡例
防火上主要な間仕切り壁 木下地、両面どうボード張り(=15(小壁高まで))
【告示1558号 45分耐火性能】

平面図

※新行距離(縦長ルート) 3.68+0.53+1.42+5.86=21.49
21.49m ≦ 60.00m ≦ OK

※設備のおそれのある部分の仕様は、防火仕様とする。

小林建築設計事務所		事務所	無錫町	名称	平成25年度 助産介護・福祉空間整備事業 高齢者がいそ交流センター やすらぎ 建設工事	図面名称	平面図	図面番号	A-07
長野県上野原市高田町305番1-6 TEL 0265-46-3399 FAX 0265-46-3100 管理建築士 小池誠典 1級建築士登録 第168040号		無錫町		名称		図面名称		図面番号	
※新行距離(縦長ルート) 3.68+0.53+1.42+5.86=21.49 21.49m ≦ 60.00m ≦ OK		無錫町		名称		図面名称		図面番号	
※設備のおそれのある部分の仕様は、防火仕様とする。		無錫町		名称		図面名称		図面番号	

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助事業 コーポヘルメス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 共同生活援助事業 定員 36 名 サテライト 1 名 計 37 名
 契約者 35 名 サテライト 1 名 計 36 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 昨年度重心のグループホームコーポ新井をオープンしホーム数は 6 か所となった。更に、サテライト型をオープンし定員 36 名+1 名の 37 名となり、それぞれのご利用者に合わせた地域生活の提供が多様化し支援が難しくなった。
- ② ホーム数、ご利用者増に合わせて職員数も 40 名を超え、職員の確保、労務管理やよりご利用者の生活に添った職員の勤務体制、職員の確保が課題となっている。

(2) 課題と対応策等

- ① ご利用者のニーズの多様化に添うために、グループホーム間のご利用者の異動を積極的に行った。更に、日中活動先の検討や変更を相談員と連携して細かく丁寧に行っていく。
- ② 支援員をホームスタッフ勤務にも配置して、現場との連携やご利用者の生活把握をできるようにしていく。専任事務員の配置により、労務管理体制も整えていく。

3. 利用実績

＊平成 29 年度

事業名	共同生活援助				定員 37									
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
定員数	31	36	36	36	36	36	36	36	37	37	37	37	431	
延べ利用者数	29	34	34	34	34	34	34	34	34	34	35	35	405	
利用率(%)	84.5	92.6	95.7	98.3	99.5	99.5	91.7	92.5	94.3	94.3	91.8	91.8	93.9	
3ヶ月平均(%)	79.3	83.2	86.1	95.5	97.8	98.1	95.9	93.6	92.8	85.0	82.5		90.0	

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(1)				1	社会福祉士 1
サービス管理責任者兼						
サービス管理責任者	1				1	介護福祉士
生活支援員	4	2	4		6	社会福祉士 2
ホームスタッフ			12			

ナイトスタッフ			14			介護福祉士
看護師			2			
合 計	6(1)	2	32		40	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 避難訓練各ホーム実施（

6. 公益的取り組みの状況

(1) 毎月あおぞら教室ご利用者、支援員参加

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

(円)

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考 (竣工月)
コーポ新井舗装工事	900,000 円	なし	10 月
コーポ宗源原消防配管変更	151,200 円	なし	3 月

(2) 固定資産物品

(円)

物品名等	規格等	数量	単価	総額	備考
コーポヘルメスエアコン設備				209,520 円	
コーポ宮坂給湯設備				198,720 円	

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況… 別紙 1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況… 別紙 2

(3) 利用者数等実績一覧表… 別紙 3

(4) 職員研修参加状況 … 別紙 5

(5) 苦情等の状況 … 別紙（苦情受付一覧表）

(6) 平面図 … 別紙（平面図）

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
その日地らしい暮らしへの支援（新規ホームの設立・一人暮らし携帯のホームの検討）	重度障害（重症心身など）グループホームを設立し、地域生活への参加、生活の安定と安心の提供を行っている。ショートステイ利用も開始し幅広い地域生活のニーズの受け入れの充実を図っている。サテライト型グループホームの整備を行い、ご利用者の支援を行って、周辺住民とのトラブルや個人的課題により定着には至らなかったが、12月には新しいご利用者を受け入れ支援を行っている。	A
高齢障がい者への支援体制づくり	加齢に伴う、退行や障がいの重度化に対応できるよう、看護師と連携した支援を行っている。それぞれに合わせた病院への変更や治療、服薬や生活支援を行い、日中活動先もご利用者の状態に即した事業所を相談支援専門員と検討しながら調整を行っているが、ホームの居室が2階が多いため限界を迎えているご利用者もいる。	C
地域との関係づくり（奉仕活動、防災協力含む）	各自自治会の地域事業や防災訓練等の参加は継続している。地域に貢献できる事業所としての具体的な取り組みができず、課題は残っている。	B
人材確保と育成、権利擁護の風土化した組織	職員、特にホームスタッフが欠員している。募集事項では労働条件の時間帯の幅を持たせる。業務軽減のため食材を簡易的に調理できる業者に変更するなど行っている。支援員がホームスタッフ業務に合えて入る体制づくりによって、ホームスタッフとの連携を図り、ご利用者の生活を密にすることで支援の充実を図ることができるよう方向転換していく。権利擁護については、会議や学習会で基本的な姿勢や考え方を学べる機会を設けている。	B
消防法令改正により消防設備の設置	該当ホーム2か所ので自動火災通報装置設置を行い、1か所は、補正予算によりスプリンクラー設置工事を行い、設置を完了した。	A

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
重度障害者のグループホームの新設	5月にグループホームが完成し5名のご利用者を迎えている。10月よりショートステイの受け入れも開始した。日中の活動の充実、快適で安心できる生活を提供するための支援体制の更なる検討が必要となっている。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

ご利用者一人一人に合った「今あるグループホームの生活」に縛られない暮らしの模索 (アパートでの一人暮らし、サテライト型同居等)	ご利用者の特性に合ったグループホームの検討を行い、随時ホーム内での移動を行ってきた。サテライト型同居では、最初のご利用者は近隣トラブルや自身自身が持っている課題が克服できず定着できなかった。新しく、一人暮らしを希望しているご利用者を迎え一人暮らしへの希望を叶えるための支援を行っている。	B
ご利用者の高齢化に伴う支援体制の充実	ご利用者の高齢に伴う退行や障がいの重度化に添うため、看護師と連携して生活支援や通院支援に対応している。30年度からは看護師2名が3ホームずつに分かれて担当を持つことでご利用者により即した対応を考えている。保護者やご利用者の気持ちを聞く機会を設けながら、介護保険を視野に入れた通所先を相談支援専門員と検討し随時変更することも行っていきたいが、住居自体が2階である課題があるのでホームでの暮らしが難しくなってきたご利用者もいる。	C
ご利用者の社会参加の推進	地域や自治会の行事や事業の参加の継続はおこなっている。今後もご利用者が社会参加を行っていくためにも支援者自身が社会参加の視点を持つことができるように促していくことが重要になる。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 0. その他	
共同生活援助	36			1. III型(6:1) 2. IV型(10:1) 3. I型(4:1) 4. II型(5:1)	施設区分 (1) 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型	
					大規模住居(※8) (1) なし 2. 定員8人以上 3. 定員21人以上 4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)	
					職員欠如 (1) なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等 (1) なし 3. II 4. III 5. I	
					視覚・聴覚等支援体制 (1) なし 2. あり	
					夜間支援等体制 1. なし 2. I 3. II 4. III 5. I・II 6. I・III 7. II・III 8. I・II・III	
					重度障害者支援職員配置(※9)	1. なし 2. あり 平成29年9月1日
					地域生活移行個別支援 (1) なし 2. あり	
					医療連携体制加算(V) 1. なし 2. あり	
					通勤者生活支援 (1) なし 2. あり	
相談支援	計画相談支援				福祉・介護職員処遇改善加算対象 1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 1. なし 2. あり	
					キャリアパス区分(※3) 1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
相談支援	計画相談支援				相談支援特定事業所 1. なし 2. あり	

注 網掛けは、変更・追加された項目です。

※1「多機能型等定員区分」欄には、多機能型事業所又は複数の単位でサービス提供している事業所において、一体的な管理による定員と当該サービス種類または単位における定員が異なる場合に設定する。

※2「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

※3「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」で設定されていた場合に設定する。

※4 18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づく指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づく指定基準を満たしているものとみなす特例措置の対象を設定する。

※5「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。

※6「主たる事業所サービス種類1」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、障害者支援施設における日中活動系サービスの場合「32:施設入所支援」を設定する。短期入所については指定共同生活援助事業所(外部サービス利用型指定共同生活援助を含む)において行った場合は「33:共同生活援助」、指定宿泊型自立訓練事業所において行った場合は「34:宿泊型自立訓練」、単独型事業所において行った場合は「22:生活介護」を設定する。

※7 主たる事業所施設区分欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、または福祉・介護職員処遇改善特別加算対象が「2. あり」であり、共同生活援助事業所にて短期入所を実施する場合、「1:介護サービス包括型」、または「2:外部サービス利用型」を設定する。

※8「大規模住居」欄の「4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)」は、施設区分が「介護サービス包括型」の場合に限る。

※9「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「介護サービス包括型」の場合に設定する。

入居の状況		実入居者												
ホーム名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
コーポヘルメス	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7	6.9
コーポ原町	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	5.9
コーポ宮田	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
コーポ宗源原	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6.8
コーポ新井	5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
コーポ宮坂	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	6.3
サテライト住居	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.4
計	36	30	34	34	34	34	34	34	34	34	34	35	35	33.8

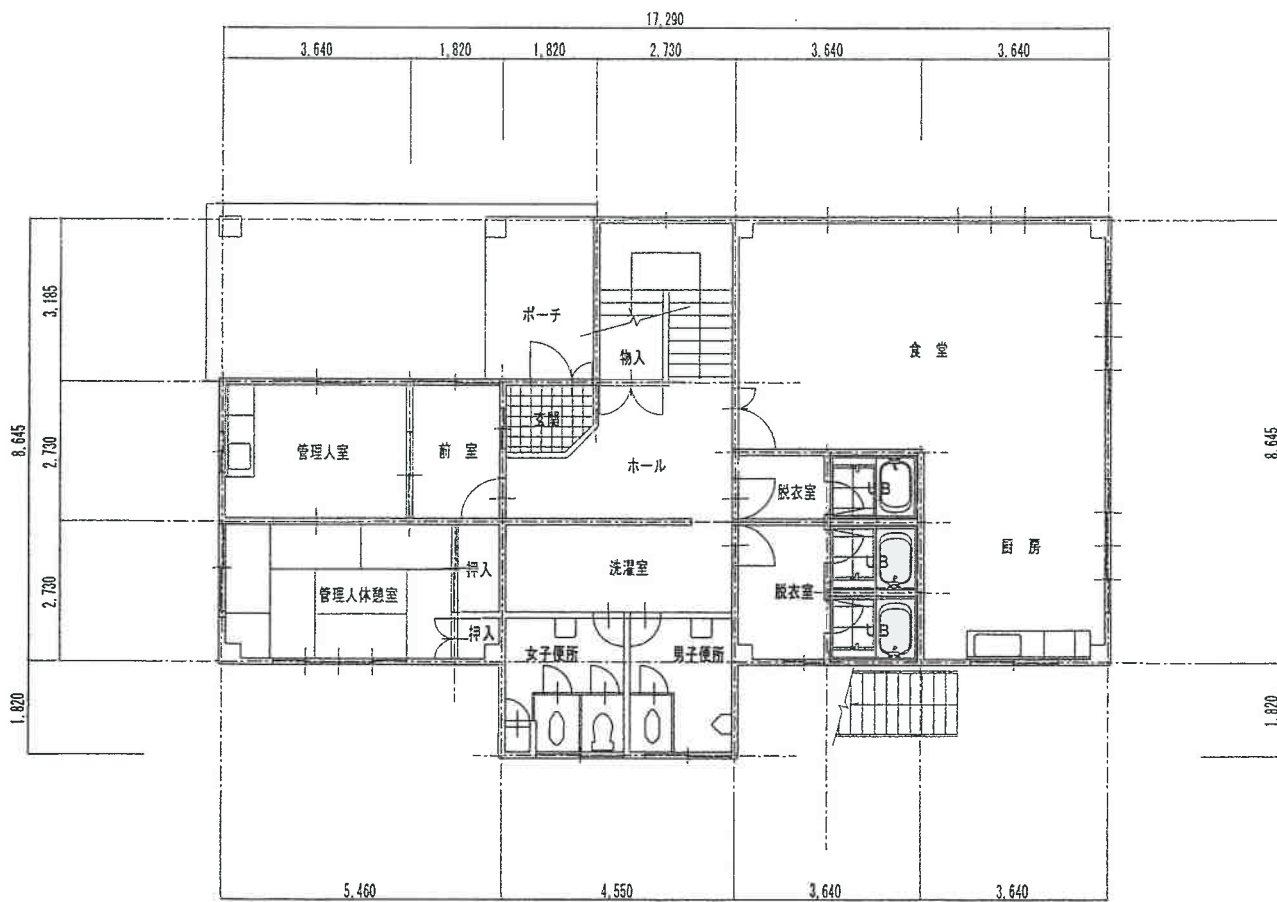
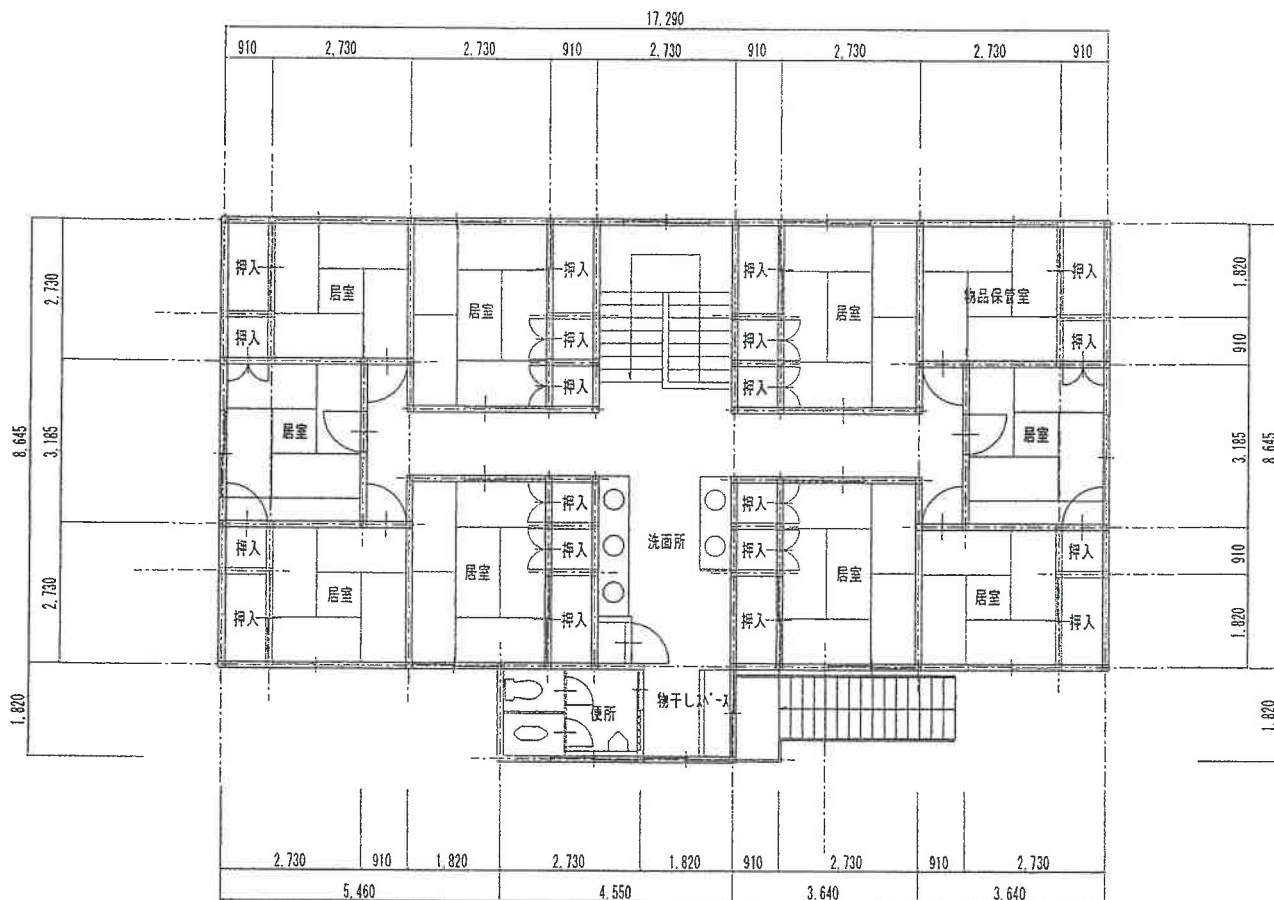
職員研修

日にち	研修名	開催地	参加者
5月8日	青木部長学習会	紙ふうせん	希望職員
5月14日	県介護福祉士会南信支部学習会講師	高森町	畔上
5月30日	人権倫理委員会	塩尻市	西尾
6月8日	自立支援協議会くらし部会	飯田市	竹下
6月20日	ビジネスマナー研修	飯田市	1年目職員
7月5. 6. 11. 18. 25日	行動援護研修	松本市	竹下・安藤
8月3.4日	強度行動障がい支援研修	松本市	中原
8日	青木部長学習会	紙ふうせん	希望職員
8日	県地域支援部会	松本市	佐々木
18. 22日	支援技術向上講座	松川町	希望職員
25日	飯伊サビ管研修	飯田市	西尾
9月12日	飯伊グループホーム世話人研修会	飯田市	宮島
21日	くらし部会	飯田市	西尾
25日	本人の思いを汲み取るセミナー	飯田市	中原・安藤
27.28日	交通安全研修	松川町	全職員
10月2日	青木部長学習会	紙ふうせん	希望職員
4.5日	強度行動障がい支援研修	松本市	中原
10. 19. 24日	虐待防止研修	松川町	全職員
10月27日	行動援護研修(みらい福祉会)講師	飯田市	畔上
10月29.30日	管理職研修(長野・名古屋合同)	名古屋市	畔上・西尾
11月10日	地域で暮らそうフォーラム	岡谷市	畔上・中原
21. 28. 29	感染症予防対策研修	松川町	全職員
1月11. 31. 2/1	サービス管理責任者研修	松本市	宮島・中原
25日	他事業所グループホーム見学	中野市	畔上、西尾、 宮島、熊谷
1月28日	管理職研修(長野・名古屋合同)	飯田市	畔上、西尾
1月31、2月1日	サービス管理責任者研修FT	松本市	畔上
2月5日	青木部長学習会	紙ふうせん	希望職員
3月2日	行動援護研修(みらい福祉会)講師	伊那市	畔上
3月5日	青木部長学習会	紙ふうせん	希望職員
6. 9.14日	メンタルヘルス研修	松川町	全職員

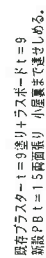
平成29年度苦情受付一覧表

別紙6

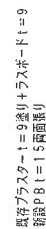
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のしべル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	平成28年10月25日	コーポ宮坂ご利用者	職員の対応	要望		ご利用者に対して、適切な支援や言葉かけができていない。 要望に対して間違った回答や対応をすることにストレスを感じる。	要望に対して不適切な態度をとったことを、管理者と一緒に本人に謝罪する。適切に要望が伝えられるように掲示板を用意する、本人が要望が分かりやすいように職員間に周知し、連携できるようにした。	無



コーポヘルメス



2 楼 平面图 1/100



1/100

- [illegible]

ॐ

サラン橋戸新設

新發鐵寶鈴

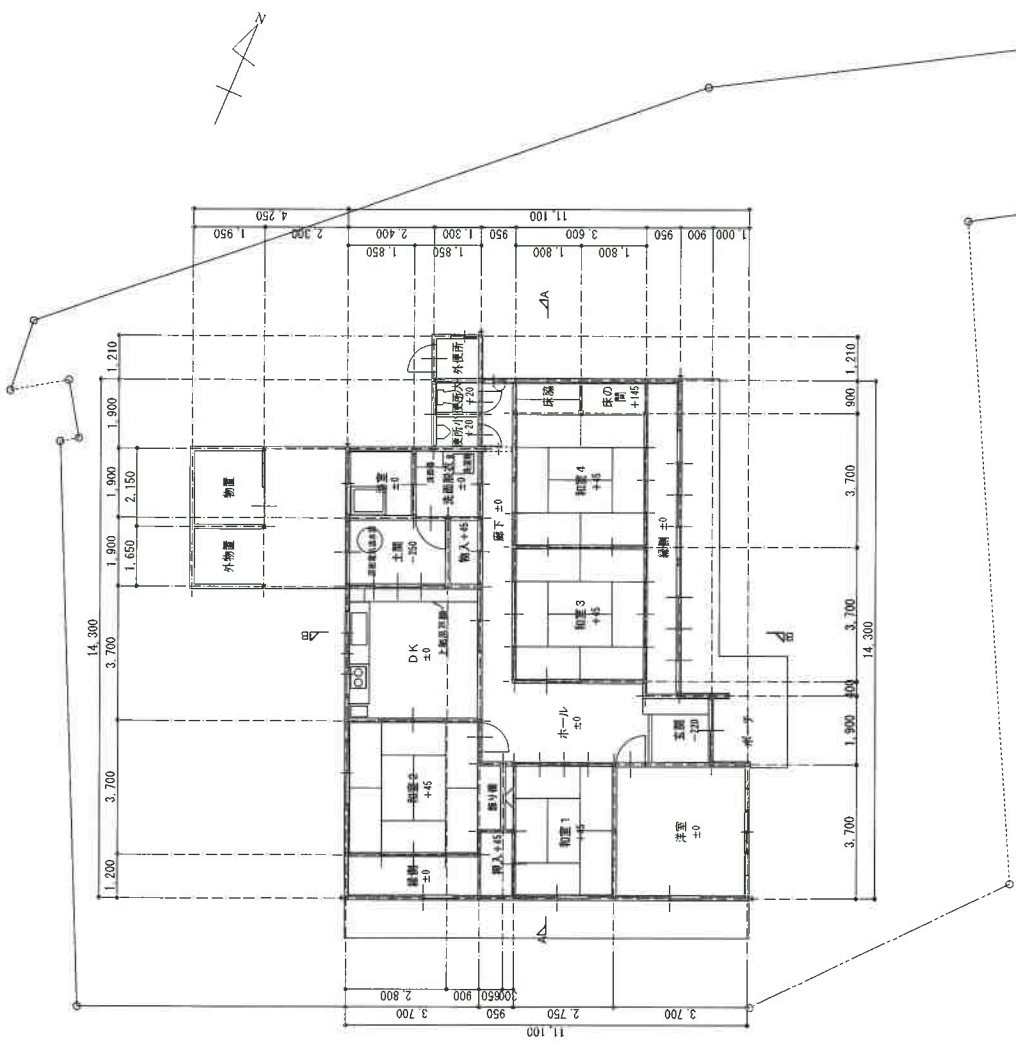
1100

工 名

工 一 米 宮 坂 改 修 工 事

修後 平面図
1/100

A-5



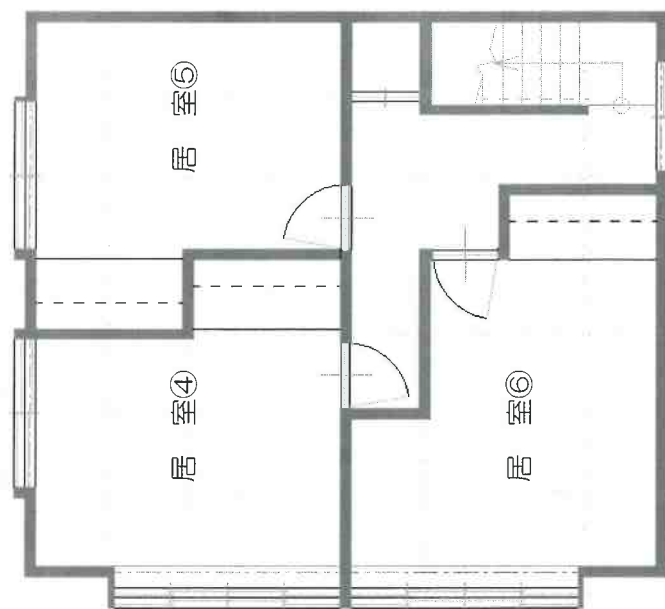
年月日	23.11.28	特記	山田	年月日	23.11.28	特記	山田
設計者	鈴木建築設計事務所	図名	(仮称) コーポ宮田 改修工事	縮尺	1/100 (A2), 1/200 (A4)	縮尺	1/100 (A2), 1/200 (A4)
1級建築士事務所登録 (下押) H第12011号	1級建築士登録 第177977号	縮尺	1/100 (A2), 1/200 (A4)	縮尺	1/100 (A2), 1/200 (A4)	縮尺	1/100 (A2), 1/200 (A4)

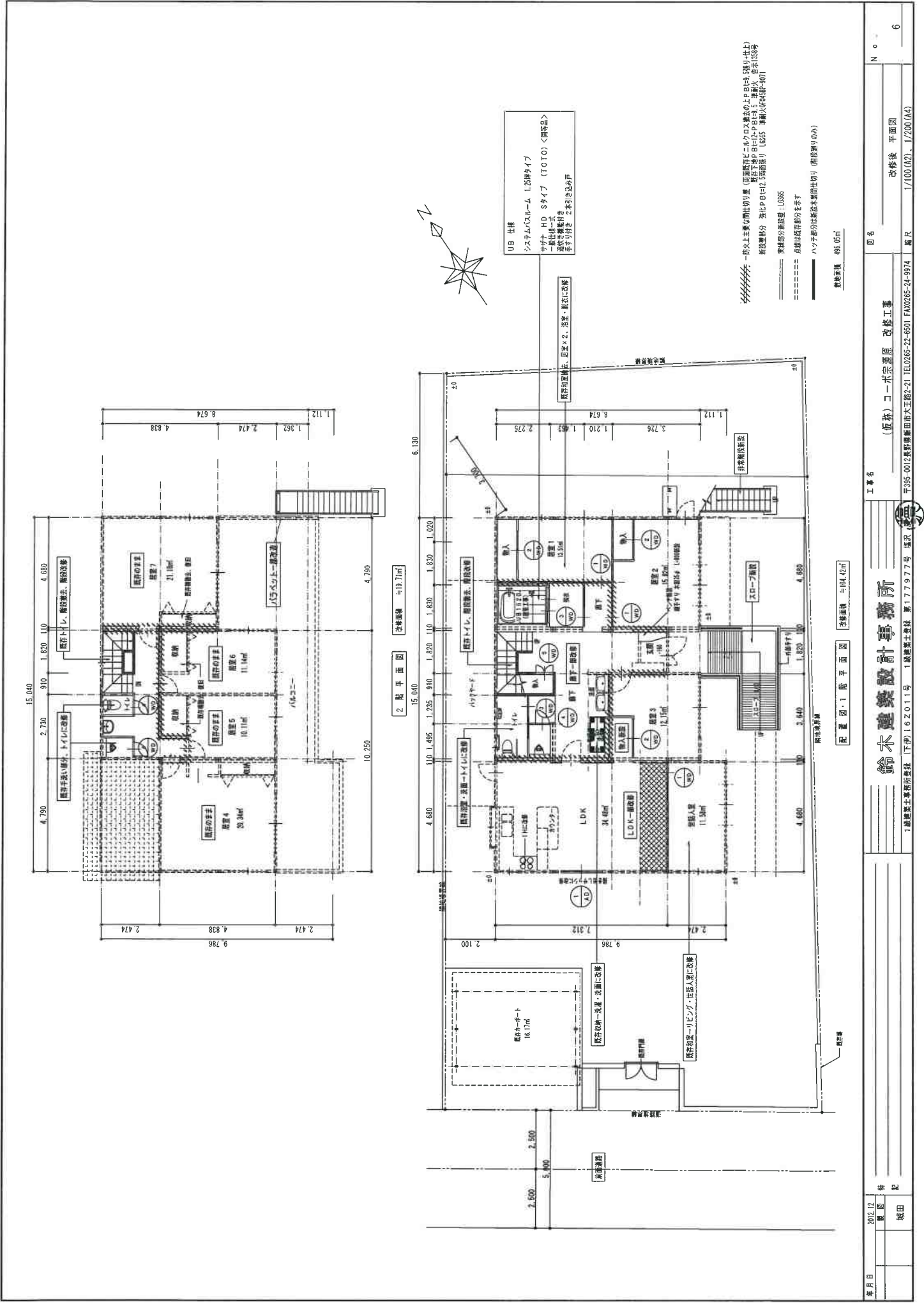
コーポ原町平面図

1階

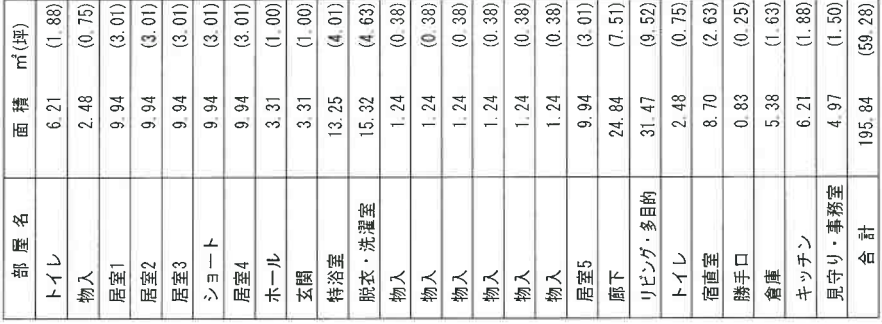


2階





年月日	2012.12	特記	城田
工事名	（仮称）コーポ・宗源庵 改修工事		
図名	改修後 平面図		
縮尺	1/100 (A2)	縮尺	1/200 (A4)
ページ	6	ページ	6



工事名	二一水新井整備事業			図面名	平面図	図面No
備考	長野県飯田市大王路2-21 TEL 0265-22-5501 FAX 0265-24-9974					
		管理者	設計者	担当者		
		日付	日付	日付	縮尺	1/100

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：行動援護事業所 障がい者サポートセンター親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 行動援護事業：契約者数 13 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 利用契約者数は、前年度より2名増で 13 名となる(H28 年度 契約 11 人)
- ② H29 年度は常勤職員 2 名と親愛の里松川の兼務職員 2 名の 4 名体制(実質 2.6 名)でスタートした。利用希望が重複していた時間帯や短時間のご利用者の支援など、これまでの職員体制ではカバーできなかった部分に兼務職員を配置したことで支援体制が整い、前年度以上に利用時間増加や新規利用などの希望に応えることができた。
- ③ 行動援護のニーズの多様化を受け、これまでの余暇・生活支援・通院同行等に加え、外部施設への通所サポート、そしてマンツーマンならではのショートステイ先での夜間付添い等にも取り組んだ。
- ④ 開所時から続いた厳しい赤字経営は、正規職員から兼務職員への配置変更に加え、新規ご利用者増などにより前年度に比べ収入額が 1,572 千円増加し、概ね収支のバランスが取れるまでになった。

(2) 課題と対応策等

- ① ご利用者の緊急連絡カード・ヘルプカードの整備

行動援護は外部施設や外出先での支援がほとんどで、有事の際にすぐ連絡を取ることができるよう、連絡先カードを整備して支援の際に携帯できるようにする。

- ② 訪問系事業の拡充

行動援護事業を含めた訪問系事業(重度訪問介護・移動支援・同行援護)のニーズは多い。重度の障がいのある人の地域生活移行が進められている中、GH を含む在宅生活者の豊かな生活を支援するために、訪問系事業の支援体制の拡充を図る。

3. 利用実績

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	49	65	57	56	58	60	57	59	62	42	56	62	683
利用時間数	190.5	204.3	200.3	241.3	236.3	241.5	235.5	240.8	265.0	170.5	232.3	274.8	2,733
契約者数	11	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)			1(0.2)	介護福祉士 1
サービス提供責任者		1		1	訪問介護養成研修（ヘルパー2級） 1
サービス提供職員		2(1.4)	1(0.2)	3(1.6)	精神保健福祉士 1 訪問介護養成研修（ヘルパー2級） 1
合 計	1	3	1	5(2.8)	

※サービス提供職員の内、正規一般 1 名・パート 1 名は常勤兼務職員とする。

5. 安全防災対策

ご利用者の外出先の多様化に応じ、通所先の災害対策、外出先や公共交通機関での災害時の行動・備えを職員間で確認し、H30 年度中に災害マニュアルを作成する。

6. 公益的取り組みの状況

なし

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 …なし

(2) 固定資産物品 …なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 3

(4) 職員研修参加状況 … 別紙 4

《重点目標及び評価》

(1) 重点目標の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
ご利用者（ご家族）の希望に沿ったサービスの提供（サービスの質の向上）。	・ご利用者（ご家族）の希望・事業所としての役割を明確にして、個別支援計画に取り入れ支援に生かしている。 ・ご利用者の好きな事・得意な事を把握し、外出先で地域の一員としてよりよく過ごせるよう、個々に応じたプランを計画している。支援終了後はご家族に引き継ぎを行い、逐一希望やアドバイスをいただくことを心がけている。 ・グループホームのご利用者に対しては、ご家族との面談機会が少なく同じ支援の繰り返しになりがちになってしまう。支援に関して相談できる機会をさらに設けたい。	C
相談支援事業所や関係機関、地域社会との連携。	・ご利用者の状況に応じて、相談支援専門員に対してサービス内容の変更を提案した。 ・相談支援専門員を中心に関係機関が集まり、定期的にケア会議等を行い情報の共有を図った。サポートセンターとしての視点と役割を意識して情報提供した。 ・通所支援として、外部の施設へご利用者に同行して通所することもある。安全で楽しく過ごせるよう通所先の職員と綿密な会議や情報共有を行っている。また口頭やノートだけでなくご利用者のノート等を事業所間で共有する事で日常的に情報共有し、連携に努めている。 ・外出支援では、地域のイベント等に積極的に参加できるよう計画を作成している。必要に応じて外出先やご家族と事前に打ち合わせを行い、ご本人が楽しめるように工夫している。	B
職員の確保及び研修を充実させ、専門性を高める。 （人材の確保と育成・収支のバランス）	・H29 年度は親愛の里松川の職員の兼務体制を取る事ができ、新規ご利用者や個別のサービス利用時間を増やすことができた。年度後半は兼務職員が限定的な勤務となり、十分な勤務体制を組むことが出来なかった。 ・法人内及び職場内研修は実施できた。外部の研修については、サービス提供責任者が実務者研修ならびに同行支援研修に参加。介護福祉士の資格を取得することが出来た。一部の職員に対しては外部の研修（相談支援従事者養成研修、サービス管理責任者研修など）への参加ができて十分な学習ができなかった。	C

※評価 A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
一人ひとりの障がいやニーズに合った支援プログラムの作成と実施（個別の多様なニーズに対応）	個別のニーズに対して、実際のサービスの反映させながら取り組んできた。 支援プログラム（支援のタイムスケジュール）の見直し・支援手順書の作成は一部作成済み。残りのご利用者の手順書の作成は早急の作成が必要となる。	C
相談支援事業所や関係機関等とのネットワークの強化	関係機関とは小まめに連絡を取りながら情報共有を図っている。	B
人材確保と収支バランス	兼務職員(非常勤職員)の配置より人件費を抑え、ご利用者増などにより収支を上げることができ、収支のバランスを保つことができている。	B

※評価 A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 支援内容については、ご利用者（ご家族）の希望に対して臨機応変に取り組んだ。
- ② 兼務職員体制によりご利用者増などに繋がられたが、年度後半は兼務職員の事業所との調整が難しくなり勤務体制を整えることができなかった。
結果、常勤職員の休み確保が厳しくなり、現状の利用人数から考えると兼務職員体制より専従の非常勤職員の配置が望ましい。

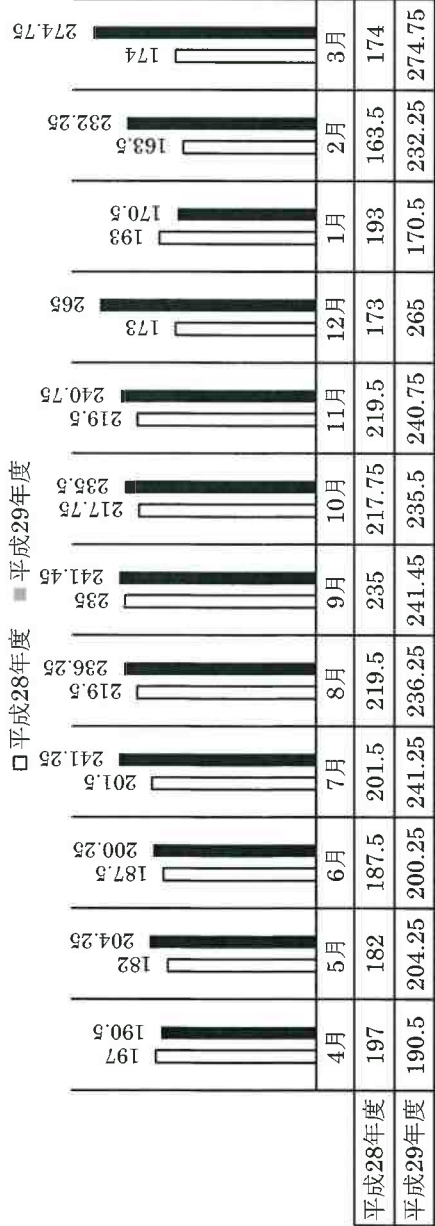
介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
					1. なし 2. I 3. II 4. III 5. IV	
行動支援				特定事業所	1. なし 2. I 3. II 4. III 5. IV	
				福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
				福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
				キャリアパス区分 (※3)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	

《利用実績》

平成28年度実績				行動援護事業所											
	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	計		
男性利用回数	36	31	32	35	36	42	39	35	26	35	24	28	399		
女性利用回数	18	16	20	20	21	18	16	20	19	18	18	48	252		
回数合計	54	47	52	55	57	60	55	55	45	53	42	48	651	平均	
男性利用時間	125	114.5	110	121	139.5	158.25	143.5	140	90.5	119.5	89	97.5	12069		
女性利用時間	72	67.5	77.5	80.5	80	76.75	74.25	79.5	82.5	73.5	74.5	76.5	7625		
時間合計	197	182	187.5	201.5	219.5	235	217.75	219.5	173	193	163.5	174	19694		
予定時間	220	191	203	210	232	226.75	234.25	247.5	175	186.5	166	179	20592		
実施率	89.55%	95.54%	92.36%	95.95%	94.61%	103.64%	92.96%	88.69%	99.43%	103.49%	98.49%	97.21%	95.99%		
平成29年度実績				行動援護事業所											
	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	計		
男性利用回数	25	35	37	35	36	39	36	38	42	29	32	43	427		
女性利用回数	24	30	20	21	22	21	21	21	20	13	24	19	256		
回数合計	49	65	57	56	58	60	57	59	62	42	56	62	683	平均	
男性利用時間	101	115	128.3	131.8	128.8	143.45	136	149	170	111.5	129.5	174.8	13491		
女性利用時間	89.5	89.25	72	109.5	107.5	98	99.5	91.75	95	59	102.8	100	92813		
時間合計	190.5	204.3	200.3	241.3	236.3	241.5	235.5	240.8	265	170.5	232.3	274.8	22773		
予定時間	194.5	206.5	205.5	239.5	250.8	249.5	250	247	273.8	252.8	248.3	281.5	24164		
実施率	97.94%	98.93%	97.45%	100.75%	94.22%	96.79%	94.20%	97.49%	95.80%	67.44%	94.36%	97.62%	94.42%		

利用時間合計比較



《コメント》

- (1) H29 年度のサービス予定時間に対するサービス実施率は平均で約 94%。1 月のインフルエンザ流行時は利用キャンセルが続ぎ、実施率が 70%を下回った。
- (2) 契約者数増・個別の利用時間増により、H29 年度の平均利用時間は前年度に比べ約 30 時間／月増加している。

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

《職員研修参加状況》

(1) 職場外研修等参加状況

期 日	研 修 名 等	開 催 地	参 加 者
4/27	他事業所視察研修	視察先：高水福祉会	佐々木 市村 赤羽目
4月～6月	実務者研修	下諏訪	市村
5月～6月	同行援護従事者研修	塩尻	市村

(2) 法人内・職場内研修参加

期 日	研 修 名 等	参 加 者
5/11	課長研修	市村
6/8	中堅職員研修	市村・赤羽目
6/11	新任職員研修	市村
6/19	ビジネスマナー研修	市村
6/29	財務者研修	市村
7/18	財務者研修	市村
8/10	中堅職員研修	市村・赤羽目
8/23	財務者研修	市村
8/31	集団指導研修	市村・赤羽目
9/27	財務者研修	市村
10/10	虐待防止研修	市村
10/19	虐待防止研修	赤羽目
10/31	支援技術向上講座	市村・赤羽目
11/28	感染症研修	市村
2/21	支援技術講座	赤羽目
3/1	財務者研修	市村
3/9	メンタルヘルス研修	市村・赤羽目

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：放課後等デイサービス事業 エコール親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 定員 10 名 契約者数 27 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 平成 29 年度の延べ人数は、3,123 人 と昨年度より 80 人の利用増となり、平均利用児童数は、10.5 人と定員の 10 名を上回る利用実績となる。特に長期休暇(夏季休暇・春季休暇)の利用ニーズは高く、8 月・3 月の利用平均は 12.5 人。長期休暇がない月は、利用平均が 10.3 人。比較すると、長期休暇がない月に比べ 8 月・3 月の長期休暇月は、2 名以上の利用増となる。
- ② 活動提供では、松川町の素晴らしい自然を活かし、自然の中で遊ばせたい、学校や家庭では体験できない活動をしてもらいたい、たくさんの思い出を作りたいと願い、地域の社会資源を活用、屋外での活動提供を中心に提供してきた。森林浴、散策、魚釣り、キャンプ、スキー、昆虫採取、野外炊飯など自然の中で、自然とひととを交え学習的な要素を交えた活動の中で、子ども達は、自分たちで決まりを守ることの大事さ、仲間と協力する体験、成功体験、また色々な出会いを体験してきた。
- ③ 子どもたちのエコール親愛に対する思いとして、楽しい活動、自然体験、友達との時間、ストレス発散、楽しい時間、話を聞いて欲しい、認められたい、他者との繋がり、大人の人との繋がり、自分の居場所(放課後、休日)など、子どもたちのニーズは多種多様であるが、今年度はこの中でも特に「安心できる居場所」として、多くの子どもたちが、学校の不満・ストレス・悩みを吐き出せる場所、学校へ行けない子どもがエコールなら行けるなど、子どもたちにとって、学校と家との「中間の居場所」の場所として、「安心でき、自分を出せる居場所」となっている。

(2) 課題と対応策等 … (1)を受け、次年度に向けて主な課題を箇条書き

- ① 長期休暇の受け入れ方法の検討
長期休暇の利用ニーズは高く、定員 10 名を超える受け入れ状況である。
- ② 地域の子育て支援について
- ・ 不登校児の居場所作りや自然体験型の活動を通じた地域の教育力向上への支援。
 - ・ 世代間交流を含め、人と人が繋がる事業提供。

3. 利用実績

月	H29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	24	24	26	25	24	24	25	24	23	23	23	25	295
利用児数	24	20	25	24	26	18	18	19	24	22	21	25	—
延人数	260	238	290	274	293	220	234	248	261	237	249	319	3,123
平均利用者数	10.8	9.9	11.2	10.9	12.2	9.2	9.4	10.3	11	10	10.8	12.8	10.6

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(1)				1	社会福祉士 1
サービス管理責任者	1				1	
児童指導員・指導員	1		4		5	精神保健福祉士 1 保育士 1
事務員		1			1	
合 計	3	1	4		8	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 防災計画の見直し

平成29年10月…「消防・地震 防災計画の見直しと届出」

(2) 防災等に関する研修

・平成29年12月9日・10日

「障害のある人を支援する防災研修会～熊本地震の教訓をふまえて～」

場所： 全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)

参加職員：関 秀之

(3) 避難訓練・学習会の実施

日時	内容
平成29年9月4日	避難訓練
平成29年9月4日	防災学習会(児童向け)
平成30年2月16日	避難訓練・消火器訓練
平成30年2月16日	救急法学習会(児童向け)

6. 公益的取り組みの状況

(1) まつかわ子ども福祉教室 あいむへ

・日時：平成29年10月22日 松川町ふれあい広場 …職員：1名

(2) あおぞら教室

・日時：平成29年7月22日 飯島町ふれあい祭り ……児童：10名 職員：3名

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 ……なし

(2) 固定資産物品 …… 10万円以上のもの

(円)

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
セシナ日本財団仕様（日産自動車）		1	970,800 円	970,800 円	（補助団体： ）

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 …… 別紙 1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況

（様式第5号(別紙1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表） …… 別紙 2

(3) 利用者数等実績一覧表 …… 別紙 3

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 …… 別紙 4

(5) 職員研修参加状況 …… 別紙 5

(6) 平面図 …… 別紙 6

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
利用児童のニーズや発達段階、障がい特性に応じたサービスの提供	ライフステージに別け、小学生の低学年と高学年の活動と中高生の活動と3つに別け活動を提供してきた。 - 小学生は、集団活動を通して自己を表現したり、他者と協調したり、リーダーシップを発揮したりするなど、集団活動の中で対人関係のスキルや社会性の学習をしてきた。また、順番で打ち合わせの司会や各活動でリーダーとなり、集団をまとめる経験などを積むことができた。 - 中高校生は、様々なスポーツ活動を通して、ストレスの発散や対人関係や社会性の学習。また、社会人マナー学習やPCC学習などの将来を見据えた活動支援を実施。	B
放課後等デイサービスガイドラインに基づいた適切な運営	毎月の会議で利用状況や経営的な報告を行い、全職員に経営面についても周知し、経営的な感覚(利用料や加算等)についても理解を求めた。 子ども達の希望を反映させた活動提供や定期的に子ども達の希望を聞き、活動に反映させ、安定した利用の実現に向けて取り組んだ。 また、保護者会を年2回開催し、保護者の要望等を聞きながら、満足度調査を実施。	B
事業所の収益を子ども達の支援や活動の充実、環境整備費への有効活用へ	随時、必要な活動備品の購入を行う。備品が増えたことで活動がスムーズに行えることにも繋がった。また、今年は、公用車のハイエースが老朽化を迎え、日本財団に助成金の申請を行い、3月に「セレナ」の助成を受けることとなる。送迎時や活動時の車内での快適さ・安全性の確保に繋がる。	B
地域の社会資源の有効活用	地域の社会資源を利用し活動提供を行う中で、地域で生きる、地域の人たちと関わりながら活動提供の実施ができた。活動により、専門的な知識を持った地域の方にボランティアで活動の指導のご協力を頂く。 職員が地域の情報を知り、地域と共に事業展開(活動展開)していきけるように様々な機関と関わりを持ってきた。	B
保護者、学校、関係機関等との連携の強化 相談等の充実	各学校行事(文化祭見学・スポーツ大会応援・参観日)に参加し、学校での様子や授業内容を見学した。 松川町福祉を考える集会では、子どもを取り巻く環境や支援について、当事業所の活動報告を関係者・地域の皆様に向けて発表を行い、地域の課題や今後の展望について話し合いを行う。	B

人材育成	各職員、自分の学びたい研修を受講。伝達研修を行うと共に、日々の実践で生かすことができている。各職員が担当児童を持ち、個別支援計画の原案の作成を行い、個別支援計画の作成のスキル、個別支援計画に沿った支援スキルの向上を行う。	B
エコール親愛卒業生との交流や相談支援	卒業生の1名については、土曜日に来所があり、職員が本人からの相談に応じ、また下級生との交流の機会を持つ。保護者会では、卒業生を代表し、「就労して」というテーマで発表をしていただく。	A

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援内容やニーズに対応した職員体制の整備	利用実勢に見合った職員配置を行ってきたが、利用児童の増加やニーズの多様化により、随時見直しを行う必要がある。女性児童の増加に伴い、女性職員の配置が今後の課題。	A
長期休暇やライフステージに応じた活動スペースの整備	老人福祉センターで、松川町社会福祉協議会が2事業を展開している。その中で、長期休暇の事業所内で行う支援や活動には活動スペースがなく支援の限界であった。そこで事業所での活動は最小限にし、野外活動や地域の社会資源を活用した活動提供を行っている。夏季休暇は、旧北名子保育園の空き保育室をお借りし、午前の居場所、昼食を食べる場所として利用することで、子どもたちものびのびと過ごすことができる。	B
縦の連携を強化するための保育所等訪問支援の検討 →保育所等訪問支援を行っている事業の見学や保護者や利用児童からのニーズ調査を実施する。	検討を行ったが、ニーズがないこと、既に各町村が同様の事業を行っており、障がい等の相談の流れなども確立している。 新たにエコール親愛がこの事業を行う必要がないという結論である。	C

児童発達支援センターの設置に向けた検討 → 下伊那北部圏域と上伊那の中川村と飯島町を範囲にいた事業展開に向けた調査	エコール親愛として、上伊那圏域の自立支援協議会の療育部会に参加し、上伊那圏域のニーズの把握等を行ってきた。現在は、学童保育が主の受け皿となっており、利用児童の増加、スペースがないなどの課題も多い。上伊那は放課後等デイサービスの事業所数も少なく、福祉サービスに変わり地元の学童クラブがその役割を担っている。どこの学童クラブも定員を超え、障がい児への専門的な支援の難しさを感じ、放課後等デイサービスの事業所を求めている。また、駒ヶ根市さんから、つくし園の先を見据えた事業展開の一つとして、常務委託のお話があり、法人としても慎重にかつ真剣に考えていく意向を伝える。	B
---	--	----------

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特例による指定の有無 (※1)	定員規模 (※2)	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等					適用開始日		
各サービス共通					地域区分	11. 一級地 16. 六級地 21. 十一級地	12. 二級地 17. 七級地 22. 十二級地	13. 三級地 18. 八級地 23. その他	14. 四級地 19. 九級地 24. 十三級地	15. 五級地 20. 十級地 25. 十四級地		
児童発達支援			1. 児童発達支援センター 2. 児童発達支援センター以外	1. 重症心身障害以外 2. 重症心身障害	有資格者配置		1. なし	2. あり				
					定員超過		1. なし	2. あり				
					職員欠如		1. なし	2. あり				
					開所時間減算		1. なし	2. あり				
					開所時間減算区分 (※3)		1. 4時間未満	2. 4時間以上6時間未満				
					児童発達支援管理責任者専任体制		1. なし	2. あり				
					指導員加配体制		1. なし	3. 児童指導員等	4. 指導員			
					福祉専門職員配置等		1. なし	3. II	4. III	5. I		
					栄養士配置体制 (※4)		1. なし	3. 常勤栄養士	2. その他栄養士	4. 常勤管理栄養士		
					特別支援体制		1. なし	2. あり				
医療型 児童発達支援			1. 医療型児童発達支援センター 2. 指定発達支援医療機関		送迎体制		1. なし	2. あり				
					延長支援体制		1. なし	2. あり				
					福祉・介護職員処遇改善加算対象		1. なし	2. あり				
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象		1. なし	2. あり				
					キャリアアパス区分 (※5)		1. II (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)					
					定員超過		1. なし	2. あり				
					開所時間減算		1. なし	2. あり				
					開所時間減算区分 (※3)		1. 4時間未満	2. 4時間以上6時間未満				
					児童発達支援管理責任者専任体制		1. なし	2. あり				
					福祉専門職員配置等		1. なし	3. II	4. III	5. I		
児童発達支援					特別支援体制		1. なし	2. あり				
					保育職員加配		1. なし	2. あり				
					延長支援体制		1. なし	2. あり				
					福祉・介護職員処遇改善加算対象		1. なし	2. あり				
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象		1. なし	2. あり				
					キャリアアパス区分 (※5)		1. II (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)					
					定員超過		1. なし	2. あり				
					開所時間減算		1. なし	2. あり				
					開所時間減算区分 (※3)		1. 4時間未満	2. 4時間以上6時間未満				
					児童発達支援管理責任者専任体制		1. なし	2. あり				

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特別による指定の有無 (※1)	定員規模 (※2)	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等	適用開始日
放課後等デイサービス		10		1. 重症心身障害以外 2. 重症心身障害	有資格者配置	1. なし 2. <u>あり</u>
					定員超過	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
					開所時間減算	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
					開所時間減算区分 (※3)	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満
					職員欠如	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
					児童発達支援管理責任者専任体制	1. なし 2. <u>あり</u>
					指導員加配体制	1. なし 2. <u>児童指導員等</u> 4. 指導員
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. <u>Ⅱ</u> 4. Ⅲ 5. Ⅰ
					特別支援体制	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
					延長支援体制	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
保育所等訪問支援					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. <u>あり</u>
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. <u>なし</u> 2. <u>あり</u>
					キャリアパス区分 (※5)	1. <u>Ⅱ</u> (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. <u>Ⅳ</u> (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. Ⅲ (キャリアパス要件を満たさない) 4. Ⅲ (職場環境等要件を満たさない) 5. Ⅰ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					専門訪問支援員体制	1. なし 2. <u>あり</u>
					児童発達支援管理責任者専任体制	1. なし 2. <u>あり</u>
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. <u>あり</u>
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. <u>あり</u>
					キャリアパス区分 (※5)	1. Ⅱ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. Ⅳ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. Ⅲ (キャリアパス要件を満たさない) 4. Ⅲ (職場環境等要件を満たさない) 5. Ⅰ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特例による指定の有無 (※1)	定員規模 (※2)	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等		適用開始日
福祉型障害児 入所施設	1. なし 2. あり		1. 当該施設が単独施設 2. 当該施設に併設する 施設が主たる施設 3. 当該施設が主たる施設	1. 知的障害児 2. 自閉症児 3. 言語 4. りょうけい 5. 肢体不自由児	重度知的障害児収容機設置 (※6)	1. なし 2. あり	
					肢体不自由児施設重度病棟設置 (※6)	1. なし 2. あり	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					児童発達支援管理責任者専任体制	1. なし 2. あり	
					職業指導員体制	1. なし 2. あり	
					重度障害児支援 (強度行動障害)	1. なし 2. あり	
					強度行動障害加算体制	1. なし 2. あり	
					心理担当職員配置体制	1. なし 2. あり	
					看護師配置体制	1. なし 2. あり	
					自活訓練体制 (I)	1. なし 2. あり	
					自活訓練体制 (II)	1. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I	
					栄養士配置体制 (※4)	1. なし 2. その他栄養士 3. 常勤栄養士 4. 常勤管理栄養士	
					小規模グループケア体制	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
医療型障害児 入所施設			1. 医療型障害児入所施設 2. 指定発達支援医療機関		キャリアパス区分 (※5)	1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					重度知的障害児収容機設置 (※6)	1. なし 2. あり	
					肢体不自由児施設重度病棟設置 (※6)	1. なし 2. あり	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					児童発達支援管理責任者専任体制	1. なし 2. あり	
					重度障害児支援	1. なし 2. あり	
					心理担当職員配置体制	1. なし 2. あり	
					自活訓練体制 (I)	1. なし 2. あり	
					自活訓練体制 (II)	1. なし 2. あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II 4. III 5. I	
					小規模グループケア体制	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
						1. なし 2. あり	

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特例による指定の有無 (※1)	定員規模 (※2)	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等	
					キャリアパス区分 (※5)	適用開始日
					1. II (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. III (キャリアパス要件を満たさない) 4. III (職場環境等要件を満たさない) 5. I (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
相談支援				相談支援特定事業所	1. なし 2. あり	

- ※ 1 18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づく指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づく指定基準を満たしているものとみなす特例措置の有無を設定する。
- ※ 2 「定員規模」欄には、定員数を記入すること。
- ※ 3 「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。
- ※ 4 栄養士配置加算（Ⅰ）については「3：常勤栄養士または4：常勤管理栄養士」を選択する。
栄養士配置加算（Ⅱ）については「2：その他栄養士」を選択する。
栄養マネジメント加算については「4：常勤管理栄養士」を選択する。
- ※ 5 「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」で設定されていた場合に設定する。
- ※ 6 「重度知的障害児収容棟」及び「肢体不自由児施設重度病棟」は、「厚生労働大臣が定める施設基準」の要件を満たすこと。

利用児童数等実績一覧表

1、契約児童：27 名

2、地域別

	松川町	中川村	大鹿村	飯島町	計
男	17	0	0	0	17
女	5	3	1	1	10
合計	22	3	1	1	27

3、学年別

	小学生						中学生			高校生・高等部		
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
男	1	1	1	0	2	0	0	6	2	2	1	1
女	1	0	1	1	4	0	1	0	0	0	1	1
計	2	1	2	1	6	0	1	6	2	2	2	2

実習・ボランティアの受け入れ状況

日にち	氏名・所属	内容
4月10日	斉藤様 活動ボラ	活動ボランティア
4月24日	斉藤様 活動ボラ	活動ボランティア
6月6日	斉藤様 活動ボラ	活動ボランティア
6月19日	斉藤様 活動ボラ	活動ボランティア
8月7日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
8月8日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 1 名	実習
8月9日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
8月10日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
8月17日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 1 名	実習
11月13日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
11月14日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
11月17日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
11月20日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 2 名	実習
11月21日	飯田女子短期大学幼児教育科学生 4 名	実習
毎月2日程度	エコール卒業生 藤田様	活動ボランティア

職員研修

日にち	研修名	開催地	参加者
8月18日	法人内研修 支援技術向上研修	松川町	田中
8月25・26・27日	自然災害対応研修	東京都	関
9月28日	法人内研修 安全運転研修	松川町	全職員
10月10日・19日	法人内研修 障がい者虐待防止研修	松川町	全職員
10月26日	北部地区教職員研修会 講師	松川町	関(講師)
10月31日	法人内研修 事例検討	松川町	関・伊藤・田中
11月28日	県感染症研修	飯田市	伊藤
11月28・29日	法人内研修 感染症予防対策研修	松川町	全職員
12月8日	平成29年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	飯島町	関
12月9・10日	平成29年度 障がいのある人を支援する防災研修会	東京都	関
1月10日	発達障がい診療飯伊地域連絡会	飯田市	全職員
2月17日	松川町福祉を考える集会h	松川町	関
3月6日	法人内研修メンタルヘルス	松川町	全員
3月16	長野県福祉サービス報酬改定説明会	松本市	関

平成29年度苦情受付一覧表

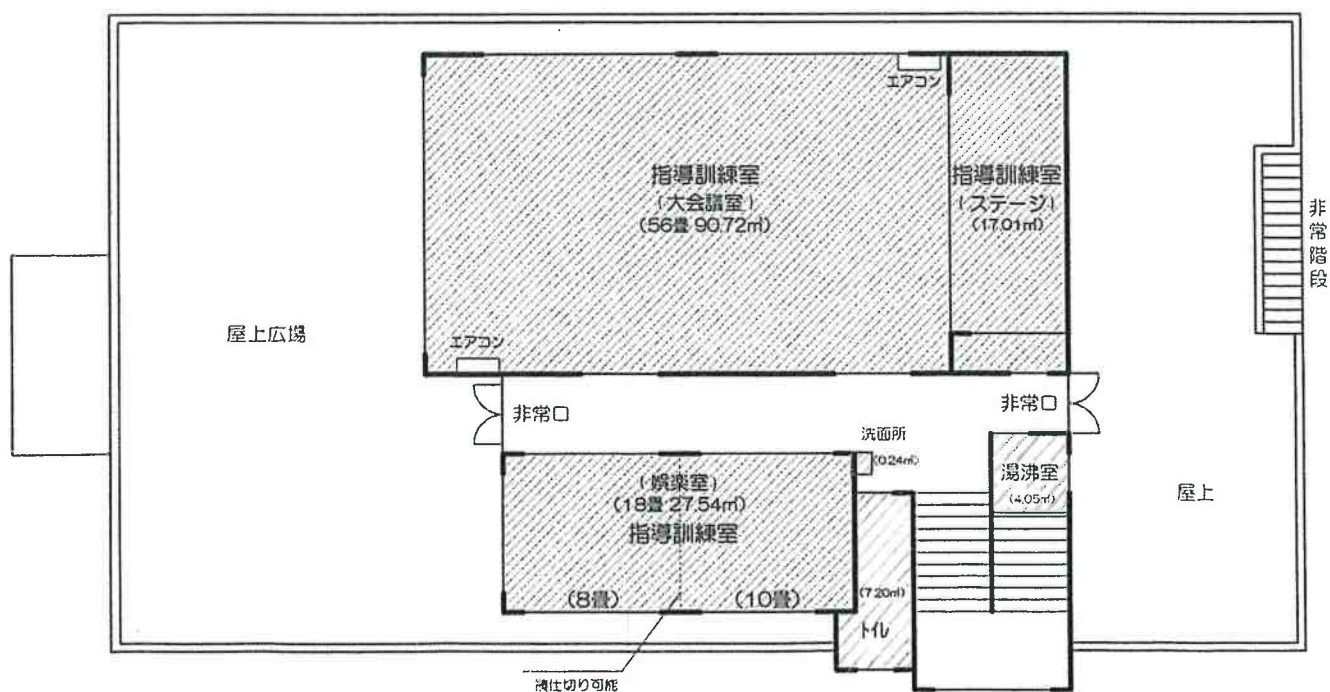
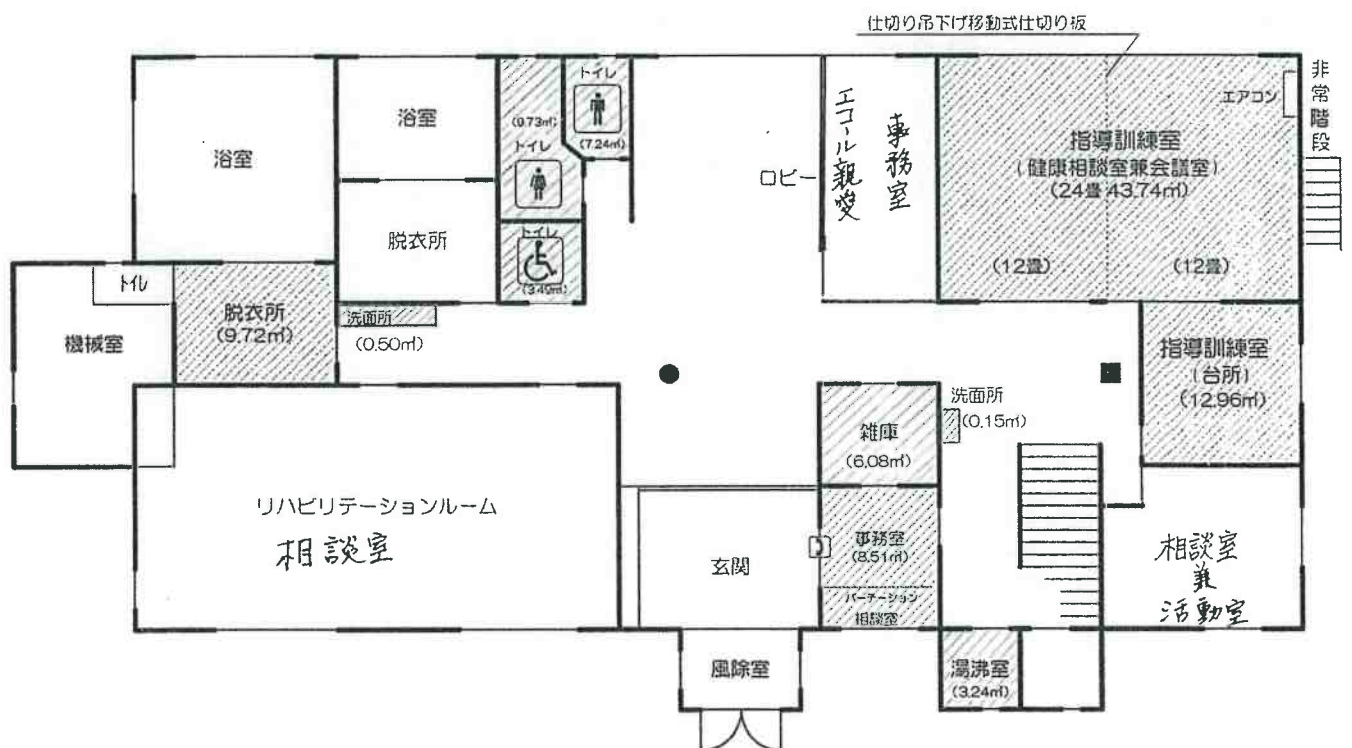
別紙6

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	平成28年10月25日	利用児童の保護者	職員の対応	要望		利用中にトラブルが起こるのは当然のこと。職員が見ていない間にトラブルが起きて不審議ではない。来所時や活動前と比べ、活動後や帰宅時に子どもの様子が違っていたら、送迎時に報告をして欲しい。「原因は分からないが、例えば：活動の後から元気がなくなった。外遊びの後にお腹が痛い」と訴えてきた。」などの変化を一言教えてくれるだけで、家での子どもへの対応ができる。	職員会議で周知し、全職員と帰りの送迎の対応について協議。帰りの送迎時に、保護者に利用中の様子をお伝えしなければならぬことがあれば確実にお伝えするように徹底する。	無

松川町老人福祉センター(松川町元大島 5230-9)

昭和 50 年 4 月開設 鉄筋コンクリート造

敷地面積	2,792 m ²	・ゲートボール場(1 面)
建築面積	1F 351.54 m ²	・駐車場(23 台)
	2F 192.69 m ²	
計	544.23 m ²	



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：相談支援 松川障がい者相談支援センター

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 特定相談支援事業： 契約者数 156 名
- ② 障害児相談支援事業： 契約者数 22 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 昨年度より専従の相談支援専門員を配置し、下伊那・上伊那圏域に対応できる職員体制をとった。しかし、重層的・複雑化するケースが増加し、新規契約者を制限せざるを得ない状況があった。
- ② 松川町より自殺対策・精神福祉窓口業務を受託し相談対応を行った。また、来年度より実施する電話による相談に向けて準備を行った。

(2) 課題と対応策等

① 相談支援専門員の配置

新規契約や困難ケースに対応していく職員体制を整えるためにも、兼務の相談支援専門員を活用できる体制を作っていく。

② 相談支援専門員のスキルアップ

自殺対策・精神福祉窓口にも対応できるように各種研修会やケース検討会等に参加し、各相談支援専門員のスキルアップを図っていく。

3. 利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	合計
サービス等利用計画	特定	20	15	29	6	10	10	5	9	7	6	9	15	141	169
	障害児	4	7	7	1	1	1	4	0	0	0	0	3	28	
モニタリング	特定	1	4	6	4	0	15	9	10	23	11	6	8	97	116
	障害児	0	0	0	0	0	0	7	0	1	6	3	2	19	

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(1)				1	社会福祉士 1
課長・相談支援専門員	1(1)				1	社会福祉士・精神保健福祉士 1

相談支援専門員		1			1	
合 計	2(2)	1			3	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 3月19日 防災訓練（地震・火災） 松川町地域活動支援センターと合同で実施

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業への参加

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

なし

(2) 固定資産物品

なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙

(2) 職員研修参加状況 … 別紙

(3) 苦情等の状況 … 別紙（苦情受付一覧表）

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域の相談窓口としての機能の充実	新規の相談依頼は増加しており、地域の相談窓口としての役割は浸透してきている。松川町から自殺対策相談窓口の委託を受け、H29 年度に開設し、H30 年度からは専用電話による窓口を開設する。地域の精神保健福祉窓口として、相談支援専門員のスキルアップ・関係機関の連携がより必要になる。	B
相談者の希望に沿った包括的且つ継続的な支援の実施	家庭や事業所への訪問やケア会議を設定して支援の統一を図り、目標に向けた支援が継続して受けられるようにモニタリングを普及に行ってきた。上伊那圏域にも相談支援専門員を配置し、広いエリアに対応できるように体制を整えた。	B
相談支援専門員の力量形成	圏域の自立支援協議会に参加し、社会資源や制度の情報を得、関係機関とのネットワーク作りを行った。また事業所内でのケース検討会、同法人の経験者による研修会を行い対人援助技術のスキルアップを図った。飯島町や松川町の保健師等とケースの情報交換や検討する機会を月 1 回設け、包括的な支援ができるようになった。	B

(2) 第 2 期 3 か年計画（H27 年度～H29 年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
基本相談事業の体制強化	職員体制の強化により、基本相談に対応可能となった。自殺相談窓口の委託業務により、既存の相談者に加え、地域の潜在的ニーズへの対応を進めるため、相談業務の体制強化がより必要になる。重層的・複雑化するケースが増加しているため、相談支援専門員のスキルアップを図っていく必要がある。	B
行政や関係機関・障がい福祉サービス事業等との連携強化	圏域の自立支援協議会に参加する事によりネットワーク作りや情報の共有を行った。H30 年度は自殺相談窓口が本格的に開始し、より広範囲な関係機関とのネットワーク作りや連携、相談員のスキルアップが必要である。	B
地域の実情に合わせた相談支援専門員の体制作り	上伊那・下伊那圏域に各 1 名の相談支援専門員を配置し、それぞれの地域に応じた相談支援体制とした。今年度は飯島町での障がい福祉相談窓口の開設に向けて準備を行い、H30 年度に開始予定である。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない
(3) コメント

① H29 年自殺対策・精神保健相談窓口開設により、地域の相談窓口として更なる相談員のスキルアップや関係機関との連携が必要となる。

職員研修

期 日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全職員
6月2日	松川町自殺対策関係機関連絡会	大澤、宮島
9月1、21、22日	相談支援従事者現任研修	藤澤
9月3日	法人福祉大会	全職員
10月11日	地域で暮らそうフォーラム	大澤
10月12日	成年後見研修会	大澤
1月12日	県精神保健福祉センター視察	大澤、藤澤
2月12	自殺危機初期介入スキルワークショップ	藤澤
2月28日	南信州子どもカフェ全国大会	大澤

平成29年度苦情受付一覧表

別紙2

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三委員会 員立会い
1	平成29年4月27日	家族	1	職員の対応	1	1	新しい事業所の利用し、今まで通っていた事業は終了すると相談支援専門員から話があったが、本人や家族が知らないうちに決定してしまったとの相談が、通所する事業所のサビ管にあった。 ・担当相談支援専門員に内容を確認し、歩行が困難となってきたおり、将来的なニーズも踏まえて進めてきたが、家族の聞き取りが中心となっており、本人への意向確認が不足していた。 ・本人、ご家族に聞き取りが不十分であったことを謝罪をする。ご家族からは「話を進めていく時にはつきりと返答しなかったことも良くなかった。本人の希望を話し合いの中でよく聞き取れなかったこともある。気にしないでもいい。」との返答がある。 ・今回のことを各相談支援専門員で共有し、ご本人の意思決定支援への必要性を確認する。		無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 1件 要望(本人の意向、意見、主張など) … 1件
2 サービス内容(質・量) … 0件 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
3 事故、被害、損害 … 0件 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
4 事業所運営 … 0件 その他 … 0件

- 5 契約内容 … 0件
6 建物の構造 … 0件
7 その他 … 0件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 … 1件
2 職員の態度・言動 … 0件
3 サービス内容 … 0件
4 その他 … 0件

実績総数	1件
苦情受付	1件

社会福祉法人親愛の里

平成 29 年度事業報告書

(名古屋支援事業所・刈谷支援事業所)

1. 法人本部
2. 親愛の里松川
3. ほっとハート親愛
4. 親愛の里夢工房
5. 親愛の里シンフォニー
6. 親愛の里紙ふうせん
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ
9. コーポヘルメス
10. 障がい者サポートセンター親愛
11. エコール親愛
12. 松川障がい者相談支援センター
13. 親愛の里そよかぜ … P1～11
14. ハートランド森 … P12～20
15. クオーレ … P21～30
16. ワークショップ虹 … P31～41
17. ジョブサポートフォルテ … P42～53
18. ぱれっとハウス … P54～65
19. 中村区障害者基幹相談支援センター … P66～73
20. 熱田区障害者基幹相談支援センター … P74～80
21. 南区障害者基幹相談支援センター … P81～88
22. 障害者就労支援センター親愛 … P89～95
23. 運営改善委員会 … P96～98
24. 防災委員会 … P99～100
25. 親愛の里保育園 … P101～109

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター 親愛の里そよかぜ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ・地域活動支援センターI型 定員 20 名
契約者数 91 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 利用者の人数減少にともないプログラムや食事サービスの見直し参加人数の分析を行なった。分析の結果から就労や他の地活など併用している利用者の割合が高く、そよかぜのみ利用している利用者が少ないことがわかった。1 日のプログラムの組み立てや充実を図り、また週に 2～3 回人気の高い調理プログラムを入れ改善した。
- ② 地域の理解促進のためプログラムの地域開放、外部団体の 3 階研修室利用、外の掲示板の充実、そよかぜふくしフェスタなど気軽に地域の方々が来所できるよう取り組んだ。また学生実習、中高生ボランティアなども積極的に受け入れを行なった。

(2) 課題と対応策等

- ① 1 日のプログラムを増やしたり、週に 2～3 回調理プログラムでセカンドハーベストの食材を利用したりして、今後定着をさせていき人数増加に務めたい。プログラムでは利用者が主体となるよう、そよかぜミーティングやプログラム人気投票を継続して行なっていく。
- ② さらなる障害理解のため親愛の里そよかぜの概要やプログラムなどの PR 文を作成し地域の方の来所の際に渡していく。学生ボランティアも積極的に呼びかける。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	78	80	82	83	84	85	86	88	90	91	92	92
平均利用人数	14.5	14.5	14.5	14.4	13.9	14.1	12.3	13.1	13.3	13.5	14.6	15.5

・年齢（延べ人数）

	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
男	0	3	2	4	10	8	8	16	51
女	1	3	2	1	7	6	8	12	40
計	1	6	4	5	17	14	16	28	91

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	北区	中区	緑区	港区	東区
人数	58	14	1	1	1	1	2	2	3	1
	清洲市	春日井市	北名古屋市	伊賀市	愛西市	大治町	合計			
人数	2	1	1	1	1	1	91			

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					精神保健福祉士 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1			精神保健福祉士 1
合 計	1	2	1			

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

10/18 防災訓練 水消火器による模擬消化訓練や消防署員による講話を実施。

3/15 避難訓練 避難訓練に関する DVD を観てそよかぜ 1 階入り口付近に避難する。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 施設を地域に開放している。毎月第 2 水曜日に高齢者サロンふれあいクラブ鈍池が 3 階研修室を利用。その内 2 名が手話教室に興味を示し 3 月に参加をする。今月も参加希望の連絡がある。また、ヨガ教室では利用者さんの友達 2 名、新規で地域の方 1 名が参加する。今後も継続的に来所してもらえるように、地域の方に対して、そよかぜの簡単な概要やプログラムの PR 文など来所した方に渡せるものを検討していく。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考 (竣工月)
LED 照明付け替え工事	159,840 円	(補助団体 円)	6 月
LED 照明付け替え工事	116,640 円	(補助団体 円)	2 月

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1
- (2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2
- (3) 職員研修参加状況 … 別紙 3
- (4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1
- (5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
一人ひとりの生活全体を意識し、総合的なかわりをする	そよぜミーティングではプログラムの充実、反映を行なった。また、利用者減少にともないタ方からのプログラムの充実により、プログラム参加の利用者が増加。ボランティアの活用については、学生ボランティアを朝のお茶会やイベントなどに参加して買えるよう大学の担当者(先生)と顔合わせを行なった。その後利用者の減少もあり、まだ実施には至っていない為課題でもある。ピアサポーターを招いたプログラムでは、同朋大学の SST に参加した。当事者がリーダーを行なっていることもあり、当事者同士の交流の場になっている。	B
事業所を地域に開放し、職員の専門性を活かした取り組みを行う	プログラムでは書道教室など継続的に地域の方の参加があったことに含め、新たにパステル★絵手紙や手話教室、手芸サークルなどの参加も今年度から高齢者サロンに 3 階研修室の貸し出しをしていることもありプログラムの参加につながったと考えられる。また、施設掲示板をより見やすく区切りをつけたり、字を大きくしたりと工夫を行なった。そして、そよぜふくしフェスタ(ボッチャ、バザーなど)を開催し関係機関、地域の方の参加があり周知の機会となった。来年度は 2 回実施ができるよう検討していく。	B
利用者を増やすとともに収益事業を見直す	外出する際には、利用者も交通機関や周辺の情報など一緒に話し合いながら進めている。また、3 地活合同でプログラム人気投票を行ないプログラムに反映しつつある。以上のことを取り組むことによって、利用者確保につなげる。	B

(2) 第 2 期 3 か年計画 (H27 年度～H29 年度) の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
家族・支援者・関係機関など役割を持ち主体的な活動の支援をする	家族・支援者・関係機関と連携を図りながら利用者支援に務め、また基幹センターと協力をしながらサービス担当者会議やケース会議などに参加した。直接関係機関と話し合う場に参加ができ、職員にとっても学べる良い機会となった。	B
地域福祉の拠点としての機能の充実を図る	学生実習、看護学生見学、中高生ボランティアなどの受け入れを行なった。また、月 1 回大学へ行き SST を利用者と一緒に参加し学ぶ。当事者ビジネス会シタールの活動を積極的に PR し、講演会や演奏の依頼、会員数が増加した。しかし、地域福祉の拠点としてはまだ十分でない。	C

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

地域生活の拠点となるよう、地域に根ざしたセンターを目指し、今年度は特に地域の方々との交流の機会として、3 階研修室貸し出しやプログラムの開放、そよかぜふくしフェスタなど積極的に行なった。そこではじめて知ったという方も多かった為、今後も地域へ一歩踏み出し地域の拠点となるよう務めていく。

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
週 2 回 (火曜日・金曜日)	磯野さん	談話室での利用者対応
3/16	名古屋市医師会	地活見学
3/14,17,21,24,28 4/4	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
4/12,13,14	名古屋市中央看護専門学校	地活見学
4/11,14,18,21,25 4/28	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
5/2,9,12	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
5/16,19,23,30 6/2,6,9,13	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
6/16,7/6	日本福祉大：大津さん	利用者・プログラム対応
6/27	南山中学福祉体験	利用者・プログラム対応
7/26	精神医療センター	施設・プログラム見学
7/26	ワークショップ虹	施設・プログラム見学
8/1	一宮看護専門学校	利用者・プログラム対応
7/19	野津さん、唐木さん	プログラム対応
7/21,25,28 8/1,4,8	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
8/5	あいち福祉医療専門学校 岩田古都さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
8/18	一宮看護専門学校 実習	利用者・プログラム対応
8/22~26 9/8,9	あいち福祉医療専門学校 実習 岩田古都さん	利用者・プログラム対応
8/23~25	中央看護専門学校 見学	施設・プログラム見学
8/22, 9/5	野津さん、唐木さん	プログラム対応
8/22,25,29 9/1,5,8,12	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
8/23~25	夏休み中高生ボランティア	利用者対応 (談話室・プログラム)
10/4,11	医師会看護専門学校 見学	施設・プログラム見学
10/14	採用実習	利用者対応 (談話室・プログラム)
10/12	野津さん、唐木さん	プログラム対応
9/19,22,26 10/3,6,10,13	磯野さん	利用者対応 (談話室・プログラム)
10/7	愛知淑徳大学ボランティア	利用者対応 (談話室・プログラム)

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
11/4	北林病院 小瀬さん (精神看護実習)	利用者対応（談話室・プログラム）
10/24~27 11/8,9	愛知淑徳大学 実習	利用者対応（談話室・プログラム）
11/15	野津さん、唐木さん	プログラム対応
10/20,24,27,31 11/7,10,17,21	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
11/25	愛知淑徳大学 玉村さん 実習	利用者対応（談話室・プログラム）
11/30	愛知淑徳大学 石川さん 実習	利用者対応（談話室・プログラム）
11/24,28 12/1,5,12,15 12/16,19	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
12/2	愛知淑徳大学 切手さん	利用者対応（談話室）
12/6	野津さん、唐木さん	プログラム対応
12/23、30、 1/5、9、12、16	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
1/9	野津さん	プログラム対応
2/7~10	愛知医療福祉専門学校実習生	利用者対応（談話室・プログラム）
1/19、23、30、2/2、 6、9、13、16、20	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）
2/28、3/1、2	名古屋市医師会看護学生	事業所説明、建物内見学
2/27、3/2、6、9、13	磯野さん	利用者対応（談話室・プログラム）

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14	地活合同研修・打ち合わせ	親愛の里	小林・内野
5/24	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
5/25	フラワー学習会	親愛の里	内野
5/30	若葉学習会	親愛の里	小林
6/22	フラワー学習会	親愛の里	内野
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
7/20	フラワー学習会	親愛の里	内野
7/25	わかば学習会	親愛の里	小林
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
8/17	フラワー学習会	親愛の里	内野
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
8/29	わかば学習会	親愛の里	小林
9/26	わかば学習会	親愛の里	小林
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	小林
9/28	フラワー学習会	親愛の里	内野
10/24	フラワー学習会	親愛の里	内野
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
10/31	わかば学習会	親愛の里	小林
11/9	救急救命研修	名古屋市社会福祉協議会	内野
11/28	わかば学習会	親愛の里	小林
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
11/30	フラワー学習会	親愛の里	内野
12/12	わかば学習会	親愛の里	小林
12/15	救急救命研修	名古屋市社会福祉協議会	小林
12/20	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野・中野
1/16	若葉学習会	親愛の里	小林
1/17	フラワー学習会	親愛の里	内野・中野

期 日	研修名	主催	参加者
1/6,13	障害者スポーツ指導員研修	名古屋障害者 スポーツ指導者 協議会	内野
1/20、27	障害者スポーツ指導員研修	名古屋障害者 スポーツ指導者 協議会	内野
2/21	フラワー学習会	親愛の里	佐々・中野
2/27	若葉学習会	親愛の里	小林
2/28	親愛の里学習会	親愛の里	佐々

	研修名	主催	参加者
3/23	職員全体研修	親愛の里	瀬川・内野
4/14	地活合同研修・打ち合わせ	親愛の里	小林・内野
5/24	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
5/25	フラワー学習会	親愛の里	内野
5/30	若葉学習会	親愛の里	小林
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
6/22	フラワー学習会	親愛の里	内野
7/20	フラワー学習会	親愛の里	内野
7/25	わかば学習会	親愛の里	小林
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
8/17	フラワー学習会	親愛の里	内野
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
8/29	わかば学習会	親愛の里	小林
9/26	わかば学習会	親愛の里	小林
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	小林
9/28	フラワー学習会	親愛の里	内野
10/24	フラワー学習会	親愛の里	内野
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
10/31	わかば学習会	親愛の里	小林
11/9	救急救命研修	名古屋市社会福祉協議会	内野
11/28	わかば学習会	親愛の里	小林
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野
11/30	フラワー学習会	親愛の里	内野
12/12	わかば学習会	親愛の里	小林
12/15	救急救命研修	名古屋市社会福祉協議会	小林
12/20	親愛の里学習会	親愛の里	小林・内野・中野
1/16	若葉学習会	親愛の里	小林
1/17	フラワー学習会	親愛の里	内野・中野
1/6,13	障害者スポーツ指導員研修	名古屋障害者スポーツ指導者協議会	内野
1/20、27	障害者スポーツ指導員研修	名古屋障害者スポーツ指導者協議会	内野

平成29年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 員立会い
1	平成29年4月	本人	2 サービス内容 (質・量)	要望	1	見学制度をやめてほしい。ミュージックサークルやMANBOUくらのびのミーティングの見学をする人がいます。迷惑です。それと悪口を言う人がいます。	・見学の際に相応しくない行動や言動があれば職員が声を掛けた。 ・苦情を書いた本人への了解を得て掲示をした。	無

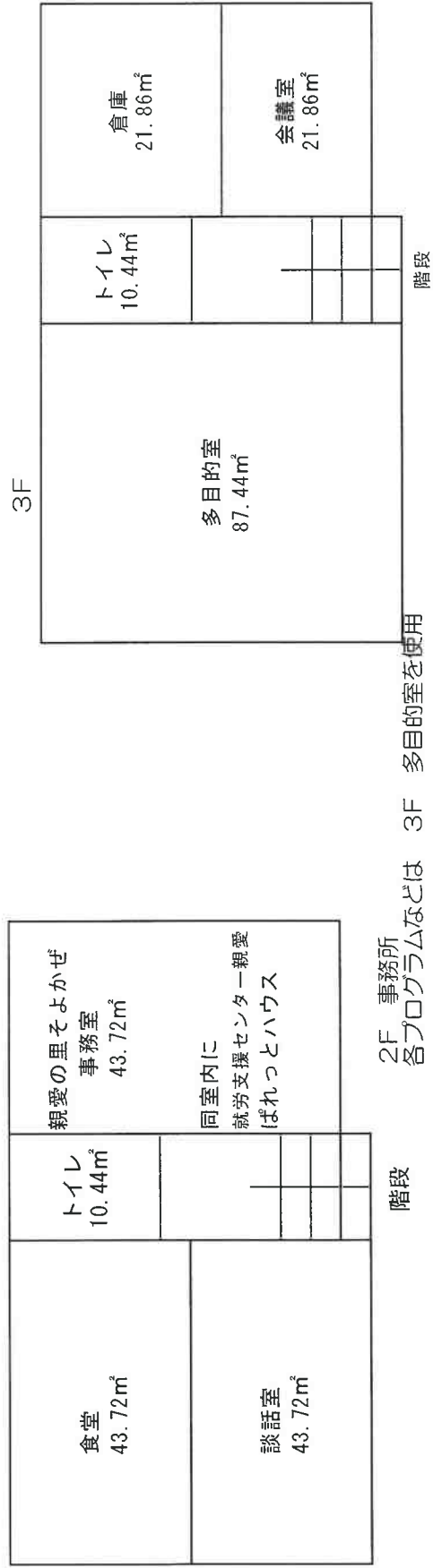
※苦情の種類

- | | | | | | | | | |
|---|---------------|---|----|---------|-------------------------|-------------------|----|----|
| 1 | サービス内容(職員の接遇) | … | 0件 | ※苦情のレベル | 1 | 要望(本人の意向、意見、主張など) | … | 1件 |
| 2 | サービス内容(質・量) | … | 1件 | 2 | 請求(法的責任に基づく権利の主張など) | … | 0件 | |
| 3 | 事故、被害、損害 | … | 0件 | 3 | 責任追及しレバ(契約不履行に伴う責任追及など) | … | 0件 | |
| 4 | 事業所運営 | … | 0件 | 4 | その他 | … | 0件 | |
| 5 | 契約内容 | … | 0件 | | | | | |
| 6 | 建物の構造 | … | 0件 | | | | | |
| 7 | その他 | … | 0件 | | | | | |

- ※苦情の発生原因
- | | | | |
|---|----------|---|----|
| 1 | 説明・情報不足 | … | 1件 |
| 2 | 職員の態度・言動 | … | 0件 |
| 3 | サービス内容 | … | 0件 |
| 4 | その他 | … | 0件 |

実績総数	1件
苦情受付	1件

平面図



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター ハートランド森

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員 20 名 契約者数名 50 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 29 年度の月平均利用者数は 13.4 人であった。男性利用者が多く、年齢は 50 代以上が一番多い。40 代以上も 7 割を占めている。過ごす場所が 2 階部分しかなく、特に若い利用者の中には、障がい特性により音や声に過敏であるため過ごすことが難しい等の課題も出てきている。
- ② プログラム活動としては、「話をしたくても話題が少なくて困っている」「共通の話題が無い」という声をもとに、29 年度より「News 語ろう会☆」を開始。社会問題、身近な問題を通して自分の生活の気づきを得たり、自分の意見を言える場にはなっている。
- ③ やってみたいプログラムを募集し実施、12 月にプログラムの人気投票を行った。その都度来所した利用者への個別の声掛けや、フリースペースの際の話題として声掛けを行い、21 通の投票があった。結果に関しては予想通りの部分もあったが、利用者の好きなプログラムを再確認する機会となる。

(2) 課題と対応策等

- ① 日中の居場所として誰もが過ごしやすいようになる為に、様々な利用者がいることを理解しその人の存在が認められる環境を作っていく。また、その日の体調に合わせた過ごし方の提案をしていく。
- ② プログラム人気投票の結果を受け、人気のあるプログラムやこれから取り入れて欲しいプログラムについて、反映できるものは順次取り入れていく。30 年度もプログラム人気投票を実施し、利用者の興味・関心を高める工夫をしていく。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	53	51	54	51	51	51	51	51	51	50	50	50
平均利用人数	13.4	13.9	13.3	13	14.1	13.5	14.2	13.0	12.8	13.5	13.8	13.3

・年齢（延べ人数）

	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
男	0	1	3	6	2	5	6	11	34
女	0	0	3	1	3	1	3	5	16
計	0	1	6	7	5	6	9	16	50

・居住区

	熱田区	中村区	中川区	西区	港区	南区	合計
人数	31	2	5	1	7	4	50

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(1)	精神保健福祉士 1 保育士 1、教諭 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1(0.5)		3(2.5)	精神保健福祉士 2 看護師 1
合 計	1(1)	2	1(0.5)		4(3.5)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) ・8/30、9/7…火災を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から水消火器をお借りして消化訓練を行う。その後、近くの避難所（旗屋小学校）、応急給水施設を確認しに行く。また、災害用缶パンや、災害用五目御飯を使用してチョコケーキ、チラシ寿司を作る。食器にサランラップを巻く、カセットコンロを使用して防災食を調理する等、災害時を想定した調理を行う。

- ・3/22…火災を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から水消火器をお借りして消化訓練を行う。その後、名古屋市港防災センターへ行き、地震体験・煙避難体験・伊勢湾台風 3D 映像、非常時持ち出しグッズ展示見学、AED 体験を行う。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 熱田区役所、イオン千年店での物品販売

「あった〇」として、毎月第 1 火曜にイオン千年店での物品販売、5/26、7/28、11/10、1/12、3/23 に熱田区役所での物品販売を行う。

(2) 地域のイベントへの出店

毎年4月の「ライトハウス福祉まつり」にてバザーの出店、10月の「教会バザー」にてバザー出店（長野県からの果物、天恵製菓、小池商品の販売）を行う。例年10月に開催される「あったかあつた・福祉フェスタ2017」は、衆議院議員選挙日と重なった為、中止となる。代わりに1月30日に熱田イオンで「授産製品販売会」を開催する。

(3) 親愛の里学習会の実施

第4水曜日に福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築することが出来た。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況… 別紙 1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙 3

(4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1

(5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実：一人ひとりの生活全体を意識し、総合的なかわりをする 1. 「ICF」や「社会生活力」を中心としたプログラムの企画や実施をする。 2. プログラムを充実させ、より多くの人が参加できるようにする。	・より充実した暮らしへの提案や工夫などができるよう、セカンドハーベストの食材を積極的に活用した調理プログラムを行う。 ・「目指せ!1UP!」との名称で社会生活力向上を目指したプログラムを前年度から継続して行った。 ・社会の問題や現状に合わせ、身近なテーマ（悪質荷法、健康教室、健康教室、自転車損害賠償保険等への加入義務化について）の学習会を開催した。 ・「話をしたくても話題が少なくて困っている」「共通の話題が無い」という声をもとに、「News 語ろう会☆」を開始。社会問題、身近な問題を通して自分の生活の気づきを得たり、自分の意見を言える場となる。	B
地域貢献・地域づくり：事業所を地域に開放し、職員の専門性を活かした取り組みを行う 1. 地域の人たちが入りやすい、関心・関わりを持てる仕組みを作る取り組みを行う。 2. 地域住民の障がい理解の促進となる取組を行う。 3. 福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。地域のネットワークを活用し他事業所間で企画が持てるような取り組みができるようにする。	・もちつき大会を一般公開し、地域の人たちの参加を積極的にすすめ障がい理解・啓発に努めた。 ・自由に誰でも来所できる日として、毎月第2木曜日にウエルカム day 親愛を開催。実際に利用目的で来所された方以外にもその日、看板を見て見学 day に参加する方もいた。 ・地域の方への啓発としてイオンや、大学でのアート展を開催。地域のイベントにバザーを積極的に出展した。 ・第4水曜日に福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築する機会になった。 ・月2回基幹センターと合同でかよういちサロンを開催し地域の方とプログラムを通し交流を図る機会になっている。	B
安定した経営と事業運営（人材育成）： 1. 利用者を増やし、一日当たりの来所者増を目指す 2. チームで働くことを意識し安心して働ける環境をつくる	・プログラム人気投票を行い、人気のあるプログラムやこれから取り入れて欲しいプログラムなどを把握し、すぐに反映できるものは3月より実行している。 ・積極的に親愛の里学習会や、外部研修に参加。 ・月1回、職員間で各事業所での取り組み状況や方向性の確認し支援の統一を図った。 ・合同プログラムを開催し職員が必要に応じて、それぞれのセンター間を行き来することで支援体制を整えた。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
当事者だけでなく家族、支援者、関係機関など多くの人達が集い、学び、活動する場とし、誰もが役割を持って主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	親愛の里学習会を実施したり、家族会やきょうだいの会などの活動支援、基幹センターと合同で行っているサロンを通して様々な方が来所し集う機会が増加している。利用者の方が地活のプログラムで作成した物をサロンで教える機会を作るなど一人一人が役割を持てるよう意識して進めてきた。今後地活の場だけでなく、主体的に活動することを支援できるようにしていく必要がある。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 利用者の不安・相談に適切に対応するため、利用者の障がい特性に応じた支援をするにあたって、外部の関係機関や職員間での情報共有を図り、支援の方向性の統一をすることができた。
- ② ウェルカム day 親愛を毎月行っていたが、見学者が来ない月もあった。今後、ウェルカム day 親愛の活性化を図る為、掲示版の活用、バザーや外部へ出た際に案内の配布を行なう等、広報の仕方について検討していく必要がある。
- ③ 職員の経験年数が少ないこともあり、研修などに積極的に参加し、個人の相談能力の向上が必要。

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
4/18	おひさまくらぶ 8 名	ボッチャ
4/19	個人ボランティア 1 名	気軽にランチ会♪
4/24	個人ボランティア 1 名	カンタン♪お菓子作り
5/26	おひさまくらぶ 3 名	ボッチャ
6/15~7/7	日本福祉大学 1 名	精神保健福祉士実習
6/20	おひさまくらぶ 4 名	ボッチャ
7/6	おひさまくらぶ 19 名	第 6 回ミニミニボッチャ大会
7/21	個人ボランティア 1 名	気軽にランチ会♪
8/4	おひさまくらぶ 5 名	ボッチャ
9/6	あいち福祉医療専門学校 1 名	精神保健福祉士実習
9/19	おひさまくらぶ 7 名	ボッチャ
9/21	個人ボランティア 1 名	気軽にランチ会♪
9/19.20. 10/2~4	同朋大学 1 名	精神保健福祉士実習
10/21	おひさまくらぶ 2 名	ボッチャ
11/27~11/29	淑徳大学 1 名	精神保健福祉士実習
12/19	おひさまくらぶ 4 名	ボッチャ
12/8	個人ボランティア 1 名	気軽にランチ会♪
12/8~12/12	淑徳大学 1 名	精神保健福祉士実習
1/16	おひさまくらぶ 3 名	ボッチャ
1/18	個人ボランティア 1 名	気軽にランチ会♪
2/2	おひさまくらぶ、地域の方 4 名	もちつき大会
2/8	おひさまくらぶ、 社協ボランティア 22 名	第 8 回地域交流ボッチャ大会
2/15	個人ボランティア 1 名	国際交流
2/20	あいち福祉医療専門学校実習生 1 名	精神保健福祉士実習

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14	障害支援区分認定調査員研修	愛知県健康福祉局障害福祉部 障害者支援課	中村
4/14	地活合同研修会	親愛の里	今井、後藤
4/19・20	新人職員研修	親愛の里	今井
5/24	親愛の里学習会「ビジネスマナー講座」 講師：近藤よし恵 氏	親愛の里	今井
6/5	地域活動支援センターⅠ型交流会	地域活動支援センターかけ橋	中村
6/22	フラワー学習会	親愛の里	今井
6/28	親愛の里学習会「障害年金」 講師：野口 卓司 氏	親愛の里	今井
7/19	親愛の里保育園見学	親愛の里	今井
7/20	フラワー学習会	親愛の里	今井
7/26	親愛の里学習会 「成年後見あんしんセンターについて」 講師：高橋健輔 氏	親愛の里	今井
7/27.28	長野新人研修	親愛の里	今井
8/8	事例検討会	親愛の里	今井、後藤
8/17	フラワー学習会	親愛の里	今井
9/27	親愛の里学習会 「障害者差別解消法、名古屋市障害者差別解 消センターについて」 講師：名古屋市障害者差別解消センター 三輪 愛奈 氏	親愛の里	今井
9/28	フラワー学習会	親愛の里	今井
10/10	事業所職員向け防災学習会 「いざ！その時！事業所のできる事」	熱田区障害者自立支援 連絡協議会	中村
10/24	フラワー学習会	親愛の里	今井
10/25	親愛の里学習会 「発達障がいについての事例検討会」 講師：名古屋市発達障害者センター りんくす名古屋 稲葉 美穂 氏	親愛の里	中村、今井 後藤

期 日	研修名	主催	参加者
11/7	精神障害研修	名古屋市社会福祉協議会	今井
12/20	親愛の里学習会 「虐待防止法とリスクマネジメントについて」 講師：宮本法律事務所 弁護士 河村玲奈 氏	親愛の里	今井
12/22	名身連・親愛の里連絡会学習会 「介護保険制度」	名身連・親愛の里連絡会	中村
1/12	B型・地活の今とこれから	名古屋市精神障害者 指導員研究会	今井
1/17	フラワー学習会	親愛の里	今井
1/26	名身連親愛の里基幹連絡会 名古屋市西部地域療育センター学習会	名身連・親愛の里基幹連絡会	中村
1/24	親愛の里学習会 「障害者総合支援法について」 講師 名古屋市健康福祉部 障害者支援課 推進係長 浦山 恵一氏	親愛の里	中村、今井 後藤
2/9	名身連親愛の里機関連絡会 事例検討	名身連・親愛の里基幹連絡会	中村
2/21	フラワー学習会	親愛の里	内野、今井
2/23	事例検討会	親愛の里	中村、内野 今井、後藤
2/28	親愛の里学習会 「インシデント方式による事例検討」 講師 親愛の里 名古屋支援事業所 青木邦子所長	親愛の里	中村、内野 今井
3/14	地活学習会	親愛の里	中村、内野 今井

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 地域活動支援センタークオーレ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員 20 名 契約者数名 40 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 平成 29 年度の月平均利用者数は 7.8 人と、昨年度に比べてほぼ横ばいである。利用者の年齢も 40 代が一番多く、全体の 7 割が 40 代以上の方である。利用者は南区在住者が大半を占めており、自転車やバスを利用し気軽に来所している。プログラムのみに参加して帰る利用者は少なく、終了後はフリースペースで談笑していることが多い。利用者同士の結束力も強く、お手頃価格の食堂などに皆で出掛けるなどクオーレ外での交流も見られる。しかしその反面、距離が近すぎて利用者同士のトラブルになることもあった。
- ② プログラム活動としては、今年度より「ストレッチとヒーリング」「グーグルで旅行気分（google map を活用）」など利用者のニーズに合わせ新たに取り組むことで定例プログラムとなった。3 地活合同の国際交流ではクオーレ職員の得意分野やバッグボーンを活かして文化と調理の 2 本立てで企画。3 地活の利用者交流も見られ、好評だった。
- ③ 長野県からの野菜・果物販売等の売上げの還元方法として、開所当時から調理プログラムを一律 50 円に設定し、気軽に参加してもらえるよう継続している。それ以外として、春にはお花見でお弁当を注文、夏には暑気払いとして駐車場にて BBQ、年明けにはピザなどを注文し新年会を行なった。
- ④ 他機関・事業所との関わりとして、親愛の里福祉大会の来賓向けお土産品「コロボきんちゃく」の作成を名古屋市身体障害者連合会と共同で作成。また、併設する NPO 法人 中部リサイクル運動友の会が運営するリユースショップ『Re☆創庫さくら』（以下、中リ）での定点販売やフェアなどの値付けや POP 作成を通し、地域との繋がりを感じてもらえるよう取り組んだ。2 月には 3NPO 法人と共同で「防災炊き出し試食体験」を実施。市内全区の中でも生活保護率の高い南区において、地域住民の防災意識の向上や備蓄品の充実など「地域の拠点」としての一翼を担っている。

(2) 課題と対応策等

① 利用者間のトラブル・苦情の多発

苦情箱の使い方について再度説明する必要性あり。その都度、必要に応じて利用者も含めた全体ミーティングを行い、地活のルールの確認や解決方法を話し合う。

② 売上金の支払

バザー等の売上金については、プログラムや行事代に一部を使用。それ以外については、年度末にまとめて関わった方に分配する形をとっていた。今後、売上金の使い方については、利用者とも話をしながら検討していく。

③ 利用者新規開拓

パンフレットや、毎月のプログラム案内を基幹や行政をはじめ、各関係機関に紹介する。HPの活用にも力を入れ、広報する。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	29	31	31	31	33	34	36	36	37	37	39	40
平均利用人数	7.5	8.5	8.4	7.6	7.7	8.9	9.2	7.9	7.2	6.1	7.3	8.1

・年齢（延べ人数）

	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
男	0	1	2	3	4	3	4	6	23
女	1	3	2	0	4	4	2	1	17
計	1	4	4	3	8	7	6	7	40

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	北区	緑区	港区	南区	天白区
人数	2	0	0	0	0	0	2	0	32	1
	東区	瑞穂区	大府市	合計						
人数	1	1	1	40						

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					社会福祉士 精神保健福祉士
サービス管理責任者						
生活支援員	1	2				精神保健福祉士1 社会福祉士1
合 計	2	2				

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 平成 29 年 9 月 9 日(土) 救急の日 防災訓練① ～DVD から知ろう～

火災報知機の設置場所について DVD で学び、クオーレ内の報知器の場所を確認した。

(2) 平成 29 年 9 月 9 日(土) 救急の日 防災訓練② ～緊急 SOS カードを作ろう～

名古屋市南区が作成し、住民に配布している緊急 SOS カードの作成を行なった。

(3) 平成 29 年 9 月 13 日(水) 防災訓練③ ～防災センターに行こう～

名古屋市港防災センターに赴き、地震や台風の体験コースに申し込みをして参加。

(4) 平成 29 年 9 月 27 日(水) 防災訓練④ ～避難訓練：身近にある非常食とは何だろう～

2 階調理場からの火災を想定し、避難訓練を実施。その後、セカンドハーベストとトヨタコミュニケーションシステムより頂いた防災備蓄品を実食。

(5) 平成 29 年 3 月 9 日(金) 避難訓練

南消防署より天ぷら油による火災の DVD を鑑賞後、水消火器を使い、的に向けて的確に消火器を噴射する練習を行なう。終了後は備蓄品としてアルファ化米について説明し配布。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 併設するリユースショップ『Re☆創庫さくら』での物品販売

中リにて法人本部の長野県の野菜や果物、小池農産のジャムやジュース、天恵製菓のお菓子を定点販売した。利用者に値札付けや袋詰めをしてもらった。野菜や果物は昨年度に比べ入荷回数を 8 回増やし、関係機関への配達も行う。その分売上も向上した。

(2) 3NPO 法人合同 防災炊き出し試食体験

フードバンク活動を行う『セカンドハーベスト名古屋』、防災教育を推奨する『レスキューストックヤード』、中リの合同イベントに会場の提供として参加。アルファ化米のわかめご飯とけんちん汁を振る舞い、防災釣りや地震体験などを 2 階フリースペースで展開した。地域の子どもから高齢者まで約 80 名が参加。利用者も 6 名参加し、交流する機会となった。

(3) 地域のバザーへの出店、景品提供

毎年 10 月の「大江川緑地公園でさわやかウォーク」にてバザーの出店とウォーキングの景品の準備（雨天の為中止）、11 月の「南区区民まつり」にてバザー出店（長野県からの果物・野菜、天恵製菓、小池商品の販売）を行った。利用者も販売員として 4 名が参加。11 月末には南区障害者関係団体連絡会より、パチンコ遊戯場組合の景品提供としてシール貼り 500 個の委託を受け制作。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考 (竣工月)
トイレ修理費	※全て家主負担	円 (補助団体)	月

自動ドア改修工事	※全て家主負担		
倉庫スペース拡充 (モリコロ基金)	※全て家主負担		
作業場の冷房器具：エアコン	※全て家主負担		7月下旬

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1
- (2) 職員研修参加状況 … 別紙 2
- (3) 苦情等の状況 … 別紙 3 (苦情受付一覧表)
- (4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 4-1
- (5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実：一人ひとりの生活全体を意識し、総合的なかわりをする ① 「ICF」や「社会生活力」を中心としたプログラムの企画や実施をする。 ② プログラムを充実させ、より多くの人が参加できるようにする。	・毎月2回「社会生活力プログラム」を企画。生活リズム、挨拶、他者との関わり方など、利用者ニーズに合わせたテーマで実施。 ・利用者間でトラブルが発生した際など、個人の課題にせずプログラムとして対応。 ・所長によるスーパービジョンを通して相談力の向上を目指す。クオーリ利用の決まり事の再確認と、利用者間トラブルの防止・対策について、必要に応じて職員を含め全体学習会を開催している。 ・利用者個別対応として「お小遣いチェック表」や「振り返りシート」を作成した。状況に応じてその都度利用者と話し合いながら改良を加えた。 ・利用者ニーズに合わせ同区の就労移行支援事業所への見学を行なった。 ・他職種と連携したクオーリ主催の学習会を行う事が出来なかった。 ・フォルテの施設外就労を行なう利用者が増えてきたことで、プログラムによっては参加人数に差が出てしまうこともある。興味を持ってもらえる取り組み、新規利用者開拓が課題。	B
地域貢献・地域づくり：事業所を地域に開放し、職員の専門性を活かした取り組みを行う ① 地域の人たちが入りやすい、関心・関わりを持てる仕組みを作る取り組みを行う。 ② 地域住民の障がい理解の促進となる取組を行う。 ③ 福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。地域のネットワークを活用し他事業所間で企画が持てるような取り組みができるようにする。	・地域開放プログラム「歌声カフェ」を開催。地域住民からの問い合わせや参加もあった。 ・毎月第2・4金曜日をウェルカム day 親愛として、自由な事業所見学を継続。イベントなどでチラシの配布も行い、問い合わせもある。 ・Re☆創庫さくらでの物品販売、バザーで地域住民との関わりや、地域活動支援センターとしての啓発活動も行った。 ・将棋クラブのボランティア1名も継続中。 ・社協主催のイベント等に共同作品を出展し、啓発イベントにて他地活とも連携しステージ発表を大いに盛り上げることができた。 ・親愛の里学習会において、福祉事業所・関係機関を中心に講師の依頼を行った。 ・内外の研修・講義等に積極的に参加し、知識・相談能力の向上を目指した。	B
安定した経営と事業運営（人材育成）： 1 利用者を増やし、一日当たりの来所者増を目指す ① 利用者の興味関心を高める工夫 2 チームで働くことを意識し安心して働ける環境をつくる ① 利用者の不安や人間関係に適切に対応するため職員の相談能力を	・プログラム人気投票を行い、利用者の意見を反映させて取り組んだ。 ・毎月来所日数の少ない利用者に予定表とニュースレターの送付を継続。 ・電話で問い合わせ等があった方に対しては、最近の様子を聞くとともに、面談や様々な利用の仕方の提案をした。 ・月1回の部会議開催。情報共有や意見交換を行い、研修報告の復命研修では他の職員にも共有	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

高める ② 働きやすい職場作り	するよう勤めた。 ・人員体制が厳しい場合は職員も流動的に対応することで、様々な利用者に関わり職員個々の能力向上につながった。 ・事例検討会をはじめ、合同プログラムなどでは事前に密に情報共有を行い、職員間で利用者対応の方法を統一した。
-------------------------------	--

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
当事者だけでなく家族、支援者、関係機関など多くの人達が集い、学び、活動する場とし、誰もが役割を持って主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	「地域福祉の拠点」として 2 階フリースペースを家族会、基幹学習会や中り会議・学習会で活用してもらったことができた。今年度より新たに 3NPO 法人協働の防災吹き出し試食体験も取り組んだ。他分野他職種との関わりを通して、地域に根ざすことに力を入れることが出来た。自立支援協議会から依頼されたポスティングや果物販売等も積極的に行ない、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組んだ。今後は情報発信がやや不足していたので力を入れつつ、これまでの地域の繋がりをより強化することに努めていきたい。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 利用者間のトラブル・苦情があった際には利用者の不安・相談に適切に対応するため、職員間で情報共有を強化し、迅速な対応をすることができた。(掲示物・学習会の開催など)
- ② 地域福祉の拠点として、また地域活動支援センターとしての啓発活動を念頭に置き、バザーや地区のイベントをプログラムとして一般の方にも事業所の取り組みを知っていただくとともに、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組めた。
- ③ 他職種・他機関と連携しながらの利用者向け学習会の開催や、ウエルカム day 親愛の活用方法について具体的な案が不足していた。利用者のニーズを把握するため、ミーティングを開くなどして学習会開催の準備をすめ、ウエルカム day 親愛については、ポスティングや掲示版の活用、バザーや外部へ出た際に案内の配布を行なう。今後は、ウエルカム day 親愛の当日もプログラムを途中からでも参加しやすい内容に検討する必要がある。

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14	3 地活（中村・熱田・南）合同研修会	親愛の里	（講師：青木エリアマネージャー） 瀬川 松本 海野
5/24	親愛の里学習会	親愛の里	松本 海野
5/25	フラワー学習会	親愛の里	松本
5/30	若葉学習会	親愛の里	瀬川
6/22	フラワー学習会	親愛の里	松本 海野
6/27	若葉学習会	親愛の里	瀬川
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	瀬川 松本
7/6・7	長野支援事業所研修	親愛の里	海野
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	青木エリアマネージャー 海野
7/20	フラワー学習会	親愛の里	松本
7/25	若葉学習会	親愛の里	瀬川
7/27.28	長野支援事業所研修	親愛の里	青木エリアマネージャー 松本
8/1.2	てんかん研修	てんかん協会	瀬川
8/8	熱田・南支援課事例検討会	親愛の里	青木エリアマネージャー 瀬川 松本
8/17	フラワー学習会	親愛の里	松本 海野
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	（瀬川） 松本
8/29	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
9/3	第 8 回 親愛の里福祉大会	親愛の里	瀬川 松本 海野
9/26	若葉学習会	親愛の里	瀬川
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	海野
9/28	フラワー学習会	親愛の里	松本、海野
10/10	地活 I 型交流会	地活センター かけ橋	海野

期 日	研修名	主催	参加者
10/24	フラワー学習会	親愛の里	松本
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	瀬川
10/31	若葉学習会	親愛の里	瀬川
11/7	精神障害研修	名古屋市社会福祉協議会	瀬川
11/28, 12/12	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	瀬川 松本 海野
11/30	フラワー学習会	親愛の里	松本 海野
12/1	一貫した支援部会 ～中電ウイング見学～	熱田区自立支援協議会	瀬川
12/13	要援護者の防災に関する研修会	要援護者の防災を考えるWG	松本
12/20	親愛の里学習会	親愛の里	松本 海野
12/26	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
1/6、13、 20、27	名古屋市障がい者スポーツ指導員養成講座（初級）	名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会	瀬川
1/8	名古屋市精神障害者指導者	名古屋市精神障害者指導員研究会	瀬川
1/16	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
1/17	フラワー学習会	親愛の里	松本
1/24	親愛の里学習会	親愛の里	瀬川 松本 海野
1/30	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
2/21	フラワー学習会	親愛の里	松本・海野
2/27	若葉マーク学習会	親愛の里	瀬川
2/28	親愛の里学習会	親愛の里	瀬川・海野

平成29年度苦情受付一覽表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応 処	第三者委員立会い
1	平成29年4月	関係機関	4 その他	要望	4	コンサートに地活利用者を招待した際、チラシの掲載番号に無言電話があった。その後、メールにて「小寺富士雄のコンサートは最悪だ」や、共に演奏していた在日外国人に対する差別的な内容を「社会福祉法人親愛の里 青木邦子」の名前で送信。法人として普段どのような支援をしているのか伺いたい。	苦情解決責任者（青木所長）よりメールを送った利用者Kさんに事実確認をした上で申立者に対し状況説明。コンサート担当者にも青木所長が直接謝罪に向う。利用者Kさんは責任の取り方を検討し、退所届けを「預かり」という形で受ける。地活として差別解消法の学習会を開催。利用者Kさんのクオール利用日は帰宅前に職員と振り廻りを行うこと。南地域支援課として情報共有する。9月にプログラムや地活の意味などについて全体で話し合う機会を設け、皆で共有。その後、利用者Nさんからは利用者Jさんに対して謝る場面があり、利用者Jさんも気持ちを伝えることが出来、落ち着いた状態にある。	無
2	平成29年8・9月	本人	1・2 サービス内容（質・量） サービスの接遇（職員の接遇）	要望	4	8月9日（水）、カレラランチのプログラム終了後、要望を書いた紙を職員に直接手渡す。「利用者Nさんが利用者Sさんのことをものすごく批判する」「個人攻撃がないようにして欲しい」と、利用者Jさんにとってストレスや不安になっているとの訴えあり。		無
	平成29年11月	本人	1・2 サービス内容（質・量） サービスの接遇（職員の接遇）	要望	4	11月8日（土）、青木所長より注意を受けた際の対応について、① 何故フリースペースで突然されたのか、② 青木所長の感情にまかせて言われたと感じたので、謝罪をして欲しいとの訴えあり。（※ 本人より第三者委員会に連絡）	11月21日（火）、第三者委員会より連絡あり。12月12日（火）、第三者委員会2名による青木所長への聞き取り（北野課長同席）後、申し立ての内容を本人含めて確認。その上で、話し合いを行なう。左記2点について両者と合意。本人より「クオールを辞めます」という発言があったが「今日の話し合いでも理解できたこととおあるので続けて利用したい」との旨を伝え「クオールの利用・過ごし方についての説明会」を青木所長説明のもとで実施。利用者10名の参加があり、利用者の意見も踏まえつつクオールで気持ちよく過ごすためのルールを改めて3つ決めた。	有
	平成29年11月	匿名（複数）	1 サービス内容（質・量） サービスの接遇（職員の接遇）	1・2 要望		複数の利用者から、他利用者に対する苦情や意見が多数投函されていた。（1人に対して複数の人からほぼ同じ内容で苦情）	11月18日（土）により良いクオール作りをしたいとの旨を伝え「クオールの利用・過ごし方についての説明会」を青木所長説明のもとで実施。利用者10名の参加があり、利用者の意見も踏まえつつクオールで気持ちよく過ごすためのルールを改めて3つ決めた。	無
	平成30年1月	関係機関	4 事業運営	その他	1	1月5日（金）、11月より天恵製菓・果物販売を行っているワークハウスみかんやまより電話が入る。今までお渡ししていた納品請求書、合計請求書の宛名欄に漢字と名称の間違いがあったと指摘を受ける。	すぐに謝罪し、謝罪文と共に訂正したものを送付する。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容（職員の接遇） … 3件 ※苦情のレベル 1 要望（本人の意向、意見、主張など） … 4件
 2 サービス内容（質・量） … 2件 2 請求（法的責任に基づく権利の主張など） … 0件
 3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル（契約不履行に伴う責任追及など） … 0件
 4 事業所運営 … 1件 4 その他 … 1件
 5 契約内容 … 0件
 6 建物の構造 … 0件
 7 その他 … 1件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 … 2件
 2 職員の態度・言動 … 1件
 3 サービス内容 … 0件
 4 その他 … 3件

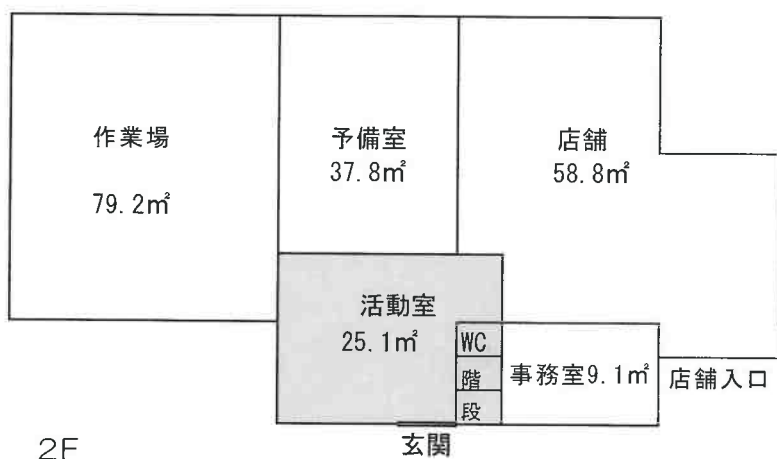
実績総数	5件
苦情受付	5件

実習・ボランティア等の受入状況

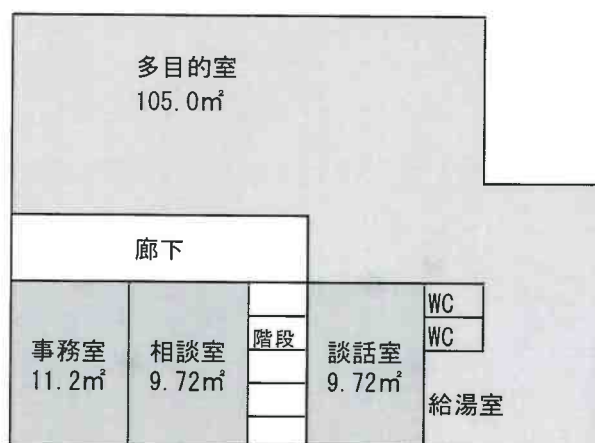
日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
月1回	田中さん	将棋クラブ利用者対応
8/8～26	坂下さん	精神保健福祉士実習
8/29	山口さん	精神保健福祉現場体験
11/14～29	玉村さん	精神保健福祉士実習

平面図

1F



2F



使用部分

(事務室及び相談室：相談支援事業共用)

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 ワークショップ虹

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 自立訓練（生活訓練）：定員 10 名 契約者数 4 名
- ② 就労継続支援 B 型事業：定員 18 名 契約者数 25 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 自立訓練（生活訓練）において、年間を通して定員 10 名を上回る契約者数とはならず。なお、年間利用日数としても昨年度（H28 年）より 46%減となる。
- ② 就労継続支援 B 型事業において、「就労支援」として働く場の提供を行う中で、「生活支援」にも重きをおき生活の幅が広がるような様々な取り組みも行った。

(2) 課題と対応策等

- ① 自立訓練（生活訓練）において、定員数の見直しを行い、職員体制を整える。
なお、「地域移行の対象者」としての利用を見込んでいたが、新たな「地域ニーズ」を探り、対象者の拡大を検討する。
- ② 就労継続支援 B 型事業の利用対象者の層が幅広く、より一層「生活支援」を重要視する必要があることも踏まえながら、平均工賃額を増額するための作業の見直しおよび新規開拓なども検討する。

3. 利用実績

事業名	自立訓練				定員				10				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	21	19	19	20	243
述べ利用者数	72	53	85	64	52	74	70	62	47	26	40	41	686
利用率(%)	36.0	25.2	38.6	32.0	26.0	37.0	33.3	31.0	22.4	13.7	21.1	20.5	28.1
3ヶ月平均(%)	41.7	34.9	33.3	31.9	32.2	31.7	32.1	33.8	28.9	22.4	19.1	18.4	

事業名	就労継続B				定員				18				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	21	19	19	20	243
述べ利用者数	276	275	349	291	322	308	316	330	339	315	333	339	3793
利用率(%)	76.7	72.8	88.1	80.8	89.4	85.6	83.6	91.7	89.7	92.1	97.4	89.2	86.4
3ヶ月平均(%)	79.4	76.5	79.2	80.6	86.1	85.3	86.2	87.0	88.3	91.2	93.1	92.9	

・利用者の状況：年齢（延べ人数）

		～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
自立訓練 (生活訓練)	男						1				1
	女								1	2	3

就労継続 支援B型	男	1		3		2	3	3	4	3	19
	女					1		3	1	1	6
	計	1		3	0	3	4	6	6	6	29

・利用者の状況：居住区

	中村区	中川区	守山区	中区	稲沢市	北名古屋市	大治町
人数	21	1	1	1	1	0	1
	清須市	あま市					計
人数	2	1					29

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(1)	精神保健福祉士 1
サービス管理責任者	1(1)				1(1)	精神保健福祉士 1
職業指導員		1			1	
生活支援員		3			3	社会福祉士 1 看護師 1
事務員			1		1	
合 計	1(1)	4	1		6	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 消防計画関連の訓練：年に2回実施

- ・9月：火災を中心に ＜ 避難訓練（誘導）、消火訓練、講話 ＞
- ・2月：地震、津波を中心に ＜ 避難訓練（誘導） ＞

(2) 防犯関連

- ・さすまたの講習会を実施し、全職員で使用方法の共有を行い、安全対策に努めた。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 事業計画の中での「地域貢献（地域づくり）」の取り組みとして

重点目標：単身高齢者への生活支援（お手伝い）＜介護保険分野の事業所との連携＞

「認知症サポーター養成講座」を開催する。10月27日（金）

いきいき支援センター職員3名の方に来ていただき、事前打ち合わせを行い、障がいのある方でも行えるような、また理解できる内容に変更していただき「クイズ形式・DVD鑑賞」などの工夫をして開催する。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1-1

(2) H30.3介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 1-2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 2-1

(4) 工賃支給状況 … 別紙 2-2

(5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 3

(6) 職員研修参加状況 … 別紙 4

(7) 苦情等の状況 … 別紙 5-1

(8) 平面図 … 別紙 5-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①事業所内での「過ごし方」（利用の仕方）を選択できるような取り組み	・就労継続支援B型の利用者に対して、週2日、自立訓練利用者との合同プログラムを行った。作業を行うかプログラムに参加するか「選択制」にすることで、日中の過ごし方の幅を広げることができた。お菓子作りや工芸、外出などを行うことで、交流の機会を提供できた。参加者が少なかったプログラムに対して、より多く参加してもらえよう、内容や周知の仕方を改良する必要がある。	B
地域貢献（地域づくり） ①単身高齢者への生活支援（お手伝い） ＜介護保険分野の事業所との連携＞	・単身高齢者への生活支援を行う前に、中村区社会福祉協議会職員に講師をしていただき、フォオルの利用者も含めて認知症サポーター養成講座を開催し「認知症に対して」の理解を深めることができた。また、中村区社会福祉協議会が開催している「認知症予防の教室」に利用者と職員がボラティアとして参加した。開催にあたっての設備の準備やプログラムへの参加を通して、地域の高齢者との交流が図られた。 ・今後も、高齢者分野（介護保険事業所）と連携して「地域ニーズ」を確認し、具体的な取り組みを行う。	B
安定した経営と事業運営（人材育成） ①利用者確保と利用率の向上に向けた取り組み ②就労支援と生活支援の総合的な支援ができる職員の育成	・就労継続支援 B 型として、同法人内の就労継続 B 型への移行等に伴い、その後の利用者確保のために、地域の病院やクリニック、各基幹相談支援センターに対して広報を行い、新規利用者の確保に努めた。 ・当事業所での就労継続支援 B 型と自立訓練の関連性や役割等を改めて見直す中で、利用者の多様なニーズに柔軟に対応するために、作業とプログラムの参加を選択制にしたことで、利用率が向上した。 ・人材育成と個別の支援の充実として、主に担当している職員が個々の関係者会議に出席し、マネジメントの視点と関係者および関係機関との連携を学ぶ機会とした。 ・毎月の就労支援事業部の会議の中で、ICF の視点から就労支援と生活支援に必要な考え方や実践の在り方について学んだ。また法制度の変化やサービス報酬についての理解も深めた。	C

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
障害者雇用促進法の改正により、精神障がい者の雇用が義務化される。そのため、障がい特性に配慮しつつ、職域開発や職場での環境整備、補助ツールの開発にこれまで以上に努め、「働く」ことを通しての社会参加を促進する。就労支援の中心的役割を果たすため、関係機関や企業との連携を深め、新しい働き方に積極的に取り組むことを目指す。	障がい者の職業生活における自立を図るためには、就職や職場適応などの就業面の支援ばかりでなく、生活習慣の形成や日常生活の管理など生活面の支援も重要である。ワークショップにおいて、「職業生活」を支えるうえで「社会生活および日常生活」を改めて重視し、プログラムの充実を図りつつ、作業種類も増やし作業内容の充実も合わせて取り組んだ。個別の支援（関わり）を行うなかで「その人らしい生き方」が望めるように働きかけを行った。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 人材育成および個別の支援の充実として、主に対応している職員が個々の関係者会議に出席し、マネジメントの視点と関係者との連携を学ぶ機会とした。
- ② ご本人とニーズ確認などを適宜行い、ICFの視点もふまえ「生活状況」に応じた関わりを行った。

介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(1) 訓練等給付：就労継続支援B型 定員数 18人

- ① 定員規模：21人以上40人以下 多機能型等定員区分：20人以下
- ② 人員配置体制加算Ⅰ（7.5：Ⅰ）
- ③ その他該当する体制等

地域区分：三級地	定員超過：なし	職員欠如：なし	福祉専門職員配置等：Ⅰ	視覚・聴覚等支援体制：なし	重度者支援体制：なし
就労移行支援体制：なし	目標賃達成：なし	目標工賃達成指導員配置：あり	送迎体制：なし	食事提供体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり
福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅱ				

(2) 訓練等給付：自立訓練（生活訓練） 定員数 10 人

① 定員規模：21 人以上 40 人以下

② その他該当する体制等

地域区分：三等級	訪問訓練：なし	視覚障害機能訓練専門職員 配置：なし	定員超過：なし	職員欠如：なし	標準期間超過：なし
福祉専門職員配置等：Ⅰ	視覚・聴覚等支援体制：なし	就労移行支援体制強化：なし	リハビリテーション加算：なし	短期滞在：なし	精神障害者退院支援施設：なし
通勤者生活支援：なし	地域生活移行個別支援：なし	食事提供体制：なし	看護職員配置：なし	送迎体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり
福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅱ				

利用者数実績一覧表

【 29年度 】

事業名		自立訓練（生活訓練）				定員		10						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	21	19	19	20	243	
延べ利用者数	72	53	85	64	52	74	70	62	47	26	40	41	686	
利用率(%)	36.0	25.2	38.6	32.0	26.0	37.0	33.3	31.0	22.4	13.7	21.1	20.5	28.1	
3ヶ月平均(%)	41.7	34.9	33.3	31.9	32.2	31.7	32.1	33.8	28.9	22.4	19.1	18.4		

事業名		就労継続支援事業B型			定員		18						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	21	19	19	20	243
延べ利用者数	276	275	349	291	322	308	316	330	339	315	333	339	3793
利用率(%)	76.7	72.8	88.1	80.8	89.4	85.6	83.6	91.7	89.7	92.1	97.4	89.2	86.4
3ヶ月平均(%)	79.4	76.5	79.2	80.6	86.1	85.3	86.2	87.0	88.3	91.2	93.1	92.9	85.5

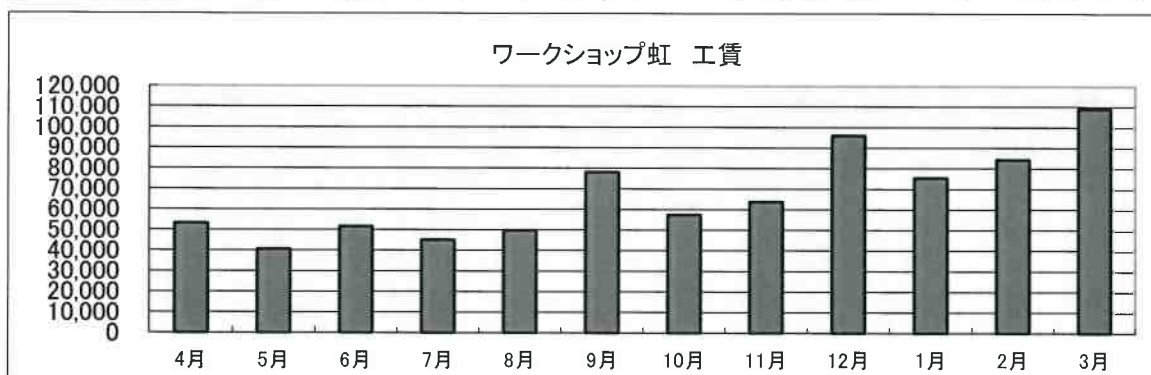
【 28年度 】

事業名		自立訓練（生活訓練）				定員		10					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	20	21	20	20	20	19	19	20	22	242
延べ利用者数	115	109	131	117	101	99	99	116	113	89	91	96	1276
利用率(%)	57.5	57.3	59.5	58.5	48.1	49.5	49.5	58.0	59.5	46.8	45.5	43.6	52.8
3ヶ月平均(%)	55.5	56.6	58.1	58.4	55.4	52.0	49.0	52.3	55.7	54.8	50.6	45.3	53.6

事業名		就労継続支援事業B型				定員		18						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
開所日数	20	19	22	20	21	20	20	20	19	19	20	22	242	
延べ利用者数	337	302	319	281	245	271	279	291	260	279	293	317	3474	
利用率(%)	89.7	88.3	80.5	78.0	64.8	75.3	77.5	80.8	76.0	81.6	81.4	80.1	79.5	
3ヶ月平均(%)	87.2	86.9	87.5	82.2	74.4	72.7	72.5	77.9	78.1	79.5	79.7	81.0	80.0	

工賃支給状況（授産収入）
ワークショップ虹（就労継続支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽作業	57,907	44,943	56,968	51,184	58,138	85,983	60,601	68,468	102,970	82,876	90,881	115,279	876,198
施設外就労													0
物品販売	310	350	100	800	210	200	2,400	260	100		390	200	5,320
グループ就労													0
工賃収入合計	58,217	45,293	57,068	51,984	58,348	86,183	63,001	68,728	103,070	82,876	91,271	115,479	881,518
水道光熱費	4,533	4,292	5,018	6,360	8,185	7,580	5,133	4,586	6,213	6,956	6,463	5,424	70,743
燃料費	500	500	500	500	500	500	500	500	1,000	500	500	1,000	7,000
その他													0
利用者工賃支払額	53,184	40,501	51,550	45,124	49,663	78,103	57,368	63,642	95,857	75,420	84,308	109,055	803,775
最高支給額	7,742	7,730	6,874	8,172	15,918	11,209	10,428	9,528	20,487	18,535	14,462	22,833	153,918
最低支給額	60	60	394	38	28	142	29	186	128	282	162	127	1,636
平均工賃	2,659	2,025	2,241	1,962	2,257	3,719	2,494	2,893	4,357	3,591	3,513	4,742	36,453



実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
6/21~27	1 名	精神保健福祉士実習
8/18,19	1 名	精神保健福祉士実習
8/22~25	6 名	コミュニティ福祉サービス実習 岩手県立大学：山岡先生、他学生 5 名
8/23~25	6 名	中央看護専門学校
9/1,4,5	1 名	精神保健福祉士実習
9/22	3 名	名古屋市立大学
9/28,29	1 名	精神保健福祉士実習
10/4,11	10 名	名古屋医師会看護専門学校
11/1,2	1 名	精神保健福祉士実習
11/24,27	1 名	精神保健福祉士実習
12/5	2 名	同朋大学生による利用者への質問
12/6,7	1 名	精神保健福祉士実習
1/24, 1/31, 2/14, 2/21	16 名	名古屋医師会看護専門学校
2/5~2/13, 2/15~2/20	41 名	中京病院附属看護専門学校
2/15, 2/16	1 名	あいち福祉医療専門学校
2/28~3/2	19 名	名古屋医師会看護専門学校

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/19・20	新人研修	親愛の里	中野 松本
5/11	管理職研修	親愛の里	増田
5/22	社会資源見学会 (ひょうたんカフェ)	障害者自立支援 連絡協議会	武藤 三田
5/24	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 中野
5/25	フラワー学習会	親愛の里	武藤 三田 中野
5/26	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 三田 中野 松本
6/1	管理職研修	親愛の里	増田
6/16	管理職研修	親愛の里	増田
6/22	フラワー学習会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本
6/23	防火管理講習	名古屋市	三田
6/23	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 中野 松本
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	三田 中野 松本
6/30	新任職員研修	親愛の里	中野 松本
7/6	管理職研修	親愛の里	増田
7/6・7	長野研修	親愛の里	三田 松本
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本
7/27・28	長野研修	親愛の里	中野
7/31	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本
8/2	障害者福祉制度研修	名古屋社協	中野 松本
8/3	管理職研修	親愛の里	増田
8/17	フラワー学習会	親愛の里	増田 武藤 三田 中野 松本
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本
8/25	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 三田 中野 松本
9/22	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 三田 中野 松本
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	三田 中野 松本
9/28	フラワー学習会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本

期 日	研修名	主催	参加者
10/20	西養護学校見学	障害者自立支援 連絡協議会	中野
10/24	フラワー学習会	親愛の里	増田 武藤 三田 中野 松本
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	三田 中野 松本
10/29・30	法人管理職研修	親愛の里	増田
11/16	管理職研修	親愛の里	増田
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 三田 中野 松本
11/30	フラワー学習会	親愛の里	三田 中野 松本
12/20	親愛の里学習会	親愛の里	中野 松本
12/22	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 三田 中野 松本
12/27	管理職研修	親愛の里	増田
1/17	フラワー学習会	親愛の里	武藤 三田 松本
1/24	親愛の里学習会	親愛の里	増田 武藤 新開 松本
1/26	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 新開 松本
2/21	フラワー学習会	親愛の里	新開 松本
2/23	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 松本 吉牟田
2/28	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 新開 松本 吉牟田
3/1	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	増田 武藤 松本 吉牟田

平成29年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	苦情受付 なし	記載なし	記載なし					

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 0件
- 2 請求 (法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 0件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 ジョブサポートフォルテ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 就労移行支援事業：定員 6 名 契約者数 6 名
- ② 就労継続支援事業 B 型：定員 19 名 契約者数 31 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 就労移行支援事業は、年間を通して高い利用率になった。事業の本来の目的である一般企業への就職者数は今年度 2 名となった。就労継続支援 A 型事業への就職は、1 名となった。
- ② 就労継続支援 B 型事業は、新規登録者も増えて、季節による利用率の低下もなかった。施設内の作業活動の量や種類を増やすだけでなく、施設外の作業も増やして、様々な働き方が可能になるように取り組みを行った。

(2) 課題と対応策等

- ① 来年度の移転・統合に伴い、定員 10 名に変更予定。関係機関と連携をしながら、就職活動が積極的に行えるような体制を作る。また来年度からの法改正に備えて、就職者の定着支援等の新規事業の検討しながら、事業運営にあたる。
- ② 利用者のさまざまな働きたいという希望に応えるために、施設内だけでなく施設外の作業もニーズに合わせて検討する。また来年度の法改正に合わせて、工賃を上げるような取り組みを検討する。

3. 利用実績

事業名	就労継続B				定員				19				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	316	327	337	367	339	387	399	382	385	347	367	352	4305
利用率(%)	83.2	82.0	80.6	96.6	89.2	101.8	100.0	100.5	101.3	96.1	101.7	92.6	93.8
3ヶ月平均(%)				86.4	88.8	95.9	97.0	100.8	100.6	99.3	99.7	101.7	96.7

事業名	就労移行				定員				6				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	128	114	144	108	98	117	128	153	117	112	114	123	1456
利用率(%)	106.7	90.5	109.1	90.0	81.7	97.5	101.6	127.5	97.5	98.2	100.0	102.5	100.2
3ヶ月平均(%)				96.5	93.6	89.7	93.6	108.9	108.9	107.7	98.6	100.2	99.8

・利用者の状況：年齢（延べ人数）

		～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
就労移行 支援事業	男				1	1	1	1	1		5
	女					1					1
就労継続 支援事業 B 型	男		1	2	3	5	5	4	3	1	24
	女		1	1	1	2		1		1	7
	計										37

・利用者の状況：居住区

	中村区	中川区	熱田区	昭和区	南区	北名古屋市	大治町
人数	20	4	1	1	6	1	1
	清須市	大治町	あま市				計
人数	1	1	2				37

4. 職員配置状況

（H30.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(1)	精神保健福祉士 1
サービス管理責任者	1				1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
就労支援員	1				1	社会福祉士 1 作業療法士 1
職業指導員		1			1	社会福祉士 1
生活支援員		2	1		3	
事務員		1			1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
合 計	3(1)	4	1		8	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 消防計画関連の訓練：年に 2 回実施

- ・ 9 月：火災を中心に < 避難訓練（誘導）、消火訓練、講話 >
- ・ 2 月：地震、津波を中心に < 避難訓練（誘導） >

(2) 防犯関連

- ・ さすまたの講習会を実施し、全職員で使用方法の共有を行い、安全対策に努めた。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 事業計画の中での「地域貢献（地域づくり）」の取り組みとして

重点目標：バザーや物品販売の販路拡大と地域との連携作り

移転・統合に合わせて、地域と連携した販売活動等を検討していたが、移転・統合の予定が当初より遅れたことで、具体的な取り組みが行えなかった。来年度以降、具体的な取り組みを検討する。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 平成 30 年 4 月からの、ワークショップ虹との統合・移転に伴い、移転先の物件の大規模な改修を予定。

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1－1

(2) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 1－2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 2－1

(4) 工賃支給状況 … 別紙 2－2

(5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 3

(6) 職員研修参加状況 … 別紙 4

(7) 苦情等の状況 … 別紙 5－1

(8) 平面図 … 別紙 5－2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目	標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実			
①就労支援のプログラムの見直し		①パソコン等の事務的な準備を行えるプログラムまでの実施はできなかった。事業所内のスペースの問題もあり、プログラムの内容でも検討できなかった。	
②施設内作業やグループ就労の充実		②施設外作業については、現在の取引業者から新規の作業を複数受けることができた。またグループ就労でも、利用者が働ける場所を新規で増やすことができた。	C
③就職者への定着支援の充実		③年 1 回の就職者交流会を開催し、就職者の支援の機会を設けたが、それ以外の機会を設けることができなかった。就職者からのニーズはあり、定着支援の必要性はある。	
地域貢献(地域づくり)			
①バザーや物品販売の販路拡大と地域との連携作り		①近隣地域と連携したバザーの新規開拓や販路拡大はできなかった。区民祭りや区役所でのバザー一、果物等の地域への販売等、従来の販売活動は継続できた。今後、移転先での取り組みを検討する必要がある。	C
安定した経営と事業運営			
①利用者確保と利用率の向上の仕組みづくり		①就労移行支援事業の利用者の利用開始から就職まで見通しを持った支援を行った。就労継続支援事業 B 型からの利用者のステップアップ等の新規利用者の確保を計画的に行えい、就職後の利用者の減少による利用率の低下を防いだ。	
②資格取得による職員体制の制度		②職場適応援助者の資格取得により、来年度以降の就労支援、定着支援の職員体制を整えた。その他の資格取得については、経験年数や職員体制から検討する。	B
③スキルアップのための外部研修への参加		③就労支援だけでなく生活支援や他機関連携の視点を学ぶために、事例検討会等のグループワークのある外部研修に積極的に参加した。	

(2) 第 2 期 3 か年計画 (H27 年度～H29 年度) の進捗状況

目	標	具体的な取り組み・課題等	評価
障害者雇用促進法の改正により、精神障がい者の雇用が義務化される。そのため、障がい特性に配慮しつつ、職域開発や職場での環境整備、補助ツールの開発にこれまでに努め、「働く」ことを通しての社会参加を促進する。就労支援の中心的役割を果たすため、関係機関や企業との連携を深め、新しい働き方に積極的に取り組むことを目指す。		事業所内での職業準備性の向上のための支援は行っているが、企業と連携するよう外部にそのノウハウを十分に伝えられていない。今後の就労支援、定着支援の中で、関係機関や企業との連携をさらに増やしていく必要がある。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 人材育成や個別支援の充実として、利用者担当の職員を新人・若手と中堅・管理職での二人体制にすることで、日常的な声掛けや面談、関係機関との連携、マネジメントを学ぶ機会とした。
- ② 本人への就労支援だけでなく、生活支援、両親や兄弟等の家族支援も視点に入れながら、相談支援事業所との連携を特にはかっていた。
- ③ 平成 30 年 4 月の移転・統合に合わせて、今年度の取り組みで不十分な部分を具体的に検討していく。

別紙 1-2

介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(1) 訓練等給付：就労移行支援

- ① 定員規模：21 名以上 40 人以下(定員 6 名) ②その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：一般型	定員超過：なし	職員欠如：なし	標準期間超過：なし	就労移行・定着実績区分：なし
福祉専門職員配置等：Ⅱ	就労支援関係研修修了：あり	視覚・聴覚等支援体制：なし	就労定着支援体制(6 月以上 12 月未満)：定着率が 4 割 5 分以上	就労定着支援体制(12 月以上 24 月未満)：なし	就労定着支援体制(24 月以上 36 月未満)：定着率が 1 割 5 分以上 2 割 5 分未満
精神障害者退院支援施設：なし	食事提供体制：なし	移行準備支援体制(Ⅰ)：あり	送迎体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特加算対象：なし
キャリアパス区分：Ⅰ					

(2) 訓練等給付：就労継続支援 B 型

- ① 定員規模：21 名以上 40 名以下(定員 19 名) ②人員配置区分Ⅰ型(7.5：1) ③その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：B 型	定員超過：なし	職員欠如：なし	福祉専門職員配置等：Ⅱ	視覚・聴覚等支援体制：なし
重度支援体制：なし	就労移行支援体制：あり	目標工賃達成：Ⅱ	目標工賃達成指導員配置：なし	送迎体制：なし	食事提供体制：なし
福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅰ			

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

利用者数実績一覧表

【 29年度 】

事業名	就労継続B				定員				19				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	316	327	337	367	339	387	399	382	385	347	367	352	4305
利用率(%)	83.2	82.0	80.6	96.6	89.2	101.8	100.0	100.5	101.3	96.1	101.7	92.6	93.8
3ヶ月平均(%)				86.4	88.8	95.9	97.0	100.8	100.6	99.3	99.7	101.7	96.7

事業名	就労移行				定員				6				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	21	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	242
述べ利用者数	128	114	144	108	98	117	128	153	117	112	114	123	1456
利用率(%)	106.7	90.5	109.1	90.0	81.7	97.5	101.6	127.5	97.5	98.2	100.0	102.5	100.2
3ヶ月平均(%)				96.5	93.6	89.7	93.6	108.9	108.9	107.7	98.6	100.2	99.8

【 28年度 】

事業名	就労継続B				定員				19				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	20	21	20	20	20	19	19	20	22	242
述べ利用者数	359	356	408	358	357	329	305	258	258	261	288	331	3868
利用率(%)	94.5	98.6	97.6	94.2	89.5	86.6	80.3	67.9	71.5	72.3	75.8	79.2	84.0
3ヶ月平均(%)			96.9	96.8	93.8	90.1	85.4	78.2	73.2	70.6	73.2	75.8	83.4

事業名	就労移行				定員				6				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	20	21	20	20	20	19	19	20	22	242
述べ利用者数	113	112	137	120	132	118	122	128	126	135	120	124	1487
利用率(%)	94.2	98.2	103.8	100.0	104.8	98.3	101.7	106.7	110.5	118.4	100.0	93.9	102.5
3ヶ月平均(%)			98.7	100.7	102.8	101.0	101.6	102.2	106.3	111.9	109.6	104.1	103.9

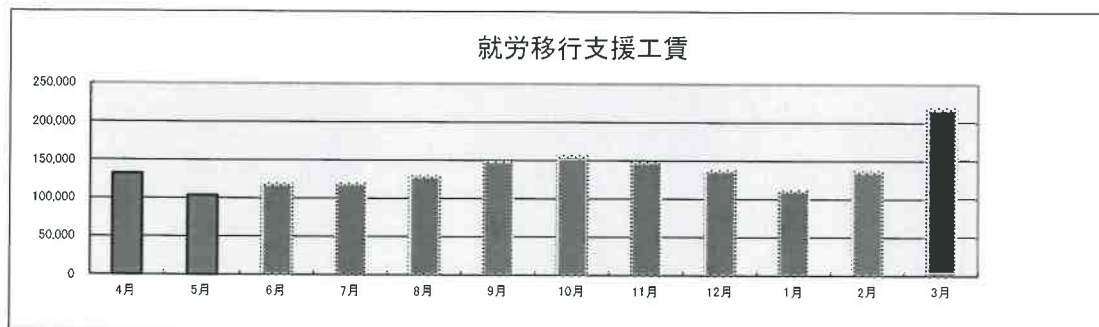
【コメント】

- ① 平成29年度は、計名の方がサービス変更や就労等に移行された。
 一般企業就職：2名 就労継続A型：1名 市内その他事業所：2名 当事業所就労移行支援：2名
- ② 昨年度と比べて、時期によって利用率が下がることがなく、年間通してほぼ同じ利用率を保つことができた。

工賃支給状況（授産収入）

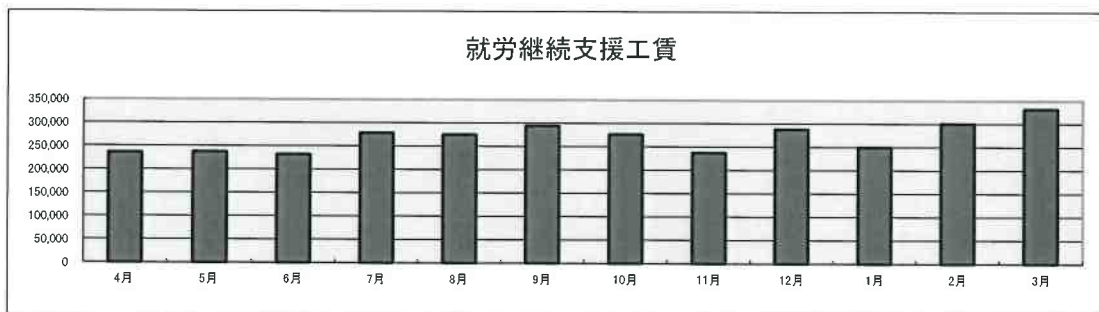
ジョブサポートフォルテ（就労移行支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽作業	70,275	58,360	81,203	75,073	69,801	81,756	92,864	79,734	69,466	56,297	83,164	153,161	971,154
グループ就労	55,101	49,105	40,795	47,860	62,720	71,310	66,900	71,770	70,458	57,150	53,610	53,530	700,309
物品販売		820	680	1,045	845	735	1,038	1,360	1,312	810	0	0	8,645
メール便													0
喫茶	12,075												12,075
看護学生への講話											4,500	16,500	21,000
封入作業										1,500			1,500
ナガラPC													0
工賃収入合計	137,451	108,285	122,678	123,978	133,366	153,801	160,802	152,864	141,236	115,757	141,274	223,191	1,714,683
水道光熱費	3,168	2,622	3,002	3,487	3,207	3,343	3,873	3,253	2,540	3,391	3,584	3,563	39,033
燃料費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
その他													0
利用者工賃支払額	132,283	103,663	117,676	118,491	128,159	148,458	154,929	147,611	136,696	110,366	135,690	217,628	1,651,650
最高支給額	27,336	26,138	28,456	25,533	28,664	31,975	30,847	34,718	31,678	26,457	30,074	42,747	364,623
最低支給額	10,777	610	5,821	946	11,355	10,852	3,785	4,128	11,692	5,442	4,140	4,500	74,048
平均工賃	18,898	17,277	16,811	14,811	21,360	24,743	18,065	18,451	22,783	15,790	19,384	31,090	239,463



ジョブサポートフォルテ(就労継続支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽作業	175,131	167,959	148,815	191,827	209,942	217,097	199,831	179,386	231,502	189,381	191,810	225,318	2,327,999
グループ就労	65,219	73,290	79,150	73,860	51,825	49,115	62,545	62,290	61,475	61,280	84,460	103,540	828,049
物品販売	625	905	1,200	850	1,600	7,747	24,122	5,557	5,263	1,805	2,205	1,625	53,504
メール便													0
看護学生への講話										6,000	34,500	13,500	54,000
喫茶	5,600	4,025	11,550	23,250	24,875	34,125	2,000	0	0	0	0	0	105,425
封入作業										3,500			3,500
ナガラPC													0
工賃収入合計	246,575	246,179	240,715	289,787	288,242	308,084	288,498	247,233	298,240	261,966	312,975	343,983	3,372,477
水道光熱費	10,410	9,179	9,001	11,337	13,363	13,926	12,102	10,168	10,163	12,112	12,799	12,218	136,778
燃料費													0
その他													0
利用者工賃支払額	236,165	237,000	231,714	278,450	274,879	294,158	276,396	237,065	288,077	249,854	300,176	331,765	3,235,699
最高支給額	35,034	37,456	38,876	41,200	41,817	42,368	35,249	29,220	30,323	31,438	41,851	50,905	455,737
最低支給額	188	170	147	407	182	400	143	350	1,182	454	207	1,136	4,966
平均工賃	10,268	11,286	11,034	10,710	9,163	9,805	9,213	7,902	10,670	8,944	10,006	13,824	10,235



就労移行・継続合計工賃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労移行	132,283	103,663	117,676	118,491	128,159	148,458	154,929	147,611	136,696	110,366	135,690	217,628	1,651,650
就労継続	236,165	237,000	231,714	278,450	274,879	294,158	276,396	237,065	288,077	249,854	300,176	331,765	3,235,699
合 計	368,448	340,663	349,390	396,941	403,038	442,616	431,325	384,676	424,773	360,220	435,866	549,393	4,887,349

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
4月～12月	1名	愛知淑徳大学学生（定期的なボランティア）
4/12～14	11名	名古屋市立中央看護専門学校
5/8	2名	東名古屋病院リハビリテーション付属学院 作業療法学科
6/29・30	2名	名古屋市職員福祉施設体験研修
7/6・7・20・21	4名	名古屋市職員福祉施設体験研修
8/3・4・17・18	4名	名古屋市職員福祉施設体験研修
8/18,19	1名	精神保健福祉士実習
8/22～25	6名	コミュニティ福祉サービス実習 岩手県立大学：山岡先生、他学生5名
8/23～25	6名	名古屋市立中央看護専門学校
8/23～25	2名	中高生サマーボランティア
9/11～13	2名	名古屋大学 作業療法学科
9/22	3名	名古屋市立大学 医学部
10/2～4	2名	名古屋大学 作業療法学科
10/4	10名	名古屋医師会看護専門学校
11/1,2	1名	精神保健福祉士実習
11/17	10名	名古屋医師会看護専門学校
11/24,27	1名	精神保健福祉士実習
12/6,7	1名	精神保健福祉士実習
1/24, 1/31, 2/14, 2/21	16名	名古屋医師会看護専門学校
2/5～2/13, 2/15～2/20	41名	中京病院附属看護専門学校
2/15, 2/16	1名	あいち福祉医療専門学校
2/28～3/2	19名	名古屋医師会看護専門学校

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/19・20	新人研修	親愛の里	山口 岡部
5/11	管理職研修	親愛の里	片桐
5/26	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
5/25	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
5/31	若葉学習会	親愛の里	石川 川崎
6/1	管理職研修	親愛の里	片桐
6/16	管理職研修	親愛の里	片桐
6/22	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
6/23	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
6/26	ファシリテーション研修	市社協	石川
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	岡部
6/30	新任職員研修	親愛の里	山口 岡部
7/5・12	就業支援基礎研修	愛知障害者職業セン タ	山口
7/6	管理職研修	親愛の里	片桐
7/6・7	長野研修	親愛の里	山口
7/13	就労移行支援事業所事例検討会	中村区自立協議会連絡協 議会	石川
7/19	新任職員研修(刈谷支援事業所見学)	親愛の里	山口 岡部
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	川崎 山口 岡部
7/27・28	長野研修	親愛の里	岡部
7/31	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
8/2	障害者福祉制度研修	名古屋社協	岡部
8/3	管理職研修	親愛の里	片桐
8/17	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	山口 岡部

8/25	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
9/7	管理職研修	親愛の里	片桐
9/22	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
9/26	若葉学習会	親愛の里	石川 川崎
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	川崎 山口 岡部
9/28	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
10/12	就労移行支援事業所事例検討会	中村区自立支援連絡 協議会	石川 岡部
10/19	個別支援計画作成研修	市社協	川崎
10/20	発達障害研修	市社協	岡部
10/24	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	川崎 山口 岡部
10/29・30	法人管理職研修	親愛の里	片桐
11/7	就労支援実践研修・精神障害コース	障害者職業セン ター	石川
11/9	FLAT 会学習会	FLAT 会	石川 山口
11/16	管理職研修	親愛の里	片桐
11/28	若葉学習会	親愛の里	石川
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	石川 川崎 山口 岡部
11/30	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
12/11	相談支援技術研修	市社協	山口
12/12	若葉学習会	親愛の里	石川
12/22	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
12/27	管理職研修	親愛の里	片桐
1/16	若葉学習会	親愛の里	石川
1/17	フラワー学習会	親愛の里	山口 岡部
1/20	高次脳機能障害研修会	名古屋市総合リハビ リセンター	岡部
1/24	親愛の里学習会	親愛の里	片桐 鬼頭 石川 川崎 山口 岡部

1/26	就労支援事業部事例検討会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
2/23・3/1	就労支援事業部学習会	親愛の里	片桐 石川 川崎 山口 岡部
2/27	若葉学習会	親愛の里	石川
3/8	FLAT 会学習会	FLAT 会	石川 川崎

平成29年度苦情受付一覧表

別紙 5-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	苦情受付 なし	記載なし	記載なし					

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 0件
- 2 請求 (法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 0件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図

別紙 5-2

勝手口	洗面所 トイレ			
多目的室 24.10㎡		作業室①(就労移行) 37.43㎡	作業室② (就労継続支援) 51.12㎡	
多目的室兼 相談室兼 ミーティング室 36.15㎡		事務室 25.77㎡		洗面所
入口				トイレ トイレ
				入口

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助 ぱれっとハウス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

共同生活援助事業：定員 14 名 利用者数 13 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 今年度の退所者は女性 1 名であり、実家へ戻り訪問看護など福祉サービスを利用しながら日常生活を送っている。一方で、入所に関しては 2 名の体験を実施したが、入所に至らず 1 名の空きがある。
- ② 健康管理について、10 月から医療連携体制加算を取得した。毎週、血圧などバイタルを測り重度化した場合など医師や看護師と連携を図り、適切な対応ができる体制を整えた。

(2) 課題と対応策等

- ① 空き室を埋めるために、医療、特定など関係機関に空き情報伝え早期に入居につながる体制を作る。交通の便の良い場所への移転等も検討する。
- ② 利用者の高齢化が進み高血圧などの問題が増えてきている。重症化して入院することが無いよう受診同行などして生活習慣の見直しを一緒にしていく。

利用実績

(1) 障がいの程度

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計
ぱれっとハウス		4	2				6
アウェエテ	1	3	1	1			6
コーポ本陣	1	1					2
計	2	8	3	1			14

(2) 年齢

年齢	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～60	60～64	計
男性	1		2	2	2	3			10
女性					2		2		4
計	1		2	2	4	3	2		14

(3) 利用率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.41
利用者延べ数	340	347	374	392	389	382	396	364	406	388	342	365	373.75
利用率	80.9	79.9	89.0	90.3	89.6	90.9	91.2	86.6	93.5	83.4	87.2	84.1	87.21

(4) 退所者

退所日	氏名	年齢・性別	退所者の状況およびサービス利用等
9/30	F Aさん	50代・女性	自宅にて生活/訪問看護など利用

(5) コメント

- (1) 利用率の低下は利用者の内科的な疾患による入院が何度かあったこと。女性の空きが長期化していることが要因である。

3. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)兼サービス管理責任者	1				1	精神保健福祉士 1
生活支援員		1		1	2	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
世話人			4 (2.1)		4 (2.1)	
合 計	1	1	4	1	7	

4. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 4/17 避難訓練実施 ハザードマップで避難所及び避難場所を確認した。
防災安全カードの作成。

5. 公益的取り組みの状況

- (1) 地域の防災ネットワークの構築までは至らなかった。

6. 主な施設整備等

- (2) 改修等 : 記載事項 特になし

- (3) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

7. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況… 別紙 1
- (2) H30.3介護給付費等の算定に係る体制等の状況… 別紙 2
- (3) 実習、ボランティア等の受け入れ状況… 別紙 3
- (4) 職員研修参加状況 … 別紙 4
- (5) 苦情等の状況 … 別紙 5
- (6) 平面図 … 別紙 6

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
(1) 支援の充実 1) サービスの質の向上を図る。 ①個別支援の充実 ②健康管理の徹底を図る。	①活動の幅を広げるため名駅での買い物に同行をしたり服薬管理が難しい利用者に対しては薬力シッターを活用するなど個人の状態に合わせた支援を行った。余暇の充実を図るため、飲食店で食事会をしたり初めての試みとして季節の行事を行い花見に出かけた。今後も利用者の意欲を引き出す関わりをしていく。 ②ホームスタッフの日報について何が必要な情報なのかを学習し改善した。それによって早めの対応を取ることができ入院を未然に防ぐことができた。月一回ずつ看護師の職員と共に各グループホームへ行って体重と血圧を測り健康に関する助言をした。4月から配食サービスを導入してカロリー表示を行った。	B
(2) 地域貢献・地域づくり 1) 地域における防災のネットワークを考える。	親愛の防災委員会の中でGHの非常時災害時の手引きを作成した。それによって、緊急時のガイドラインを設けた。防災の意識を高まった。 しかしながら防災ネットワークの構築までには至らなかった。	B
(3) 安定した経営と事業運営 1) 入院や一人暮らしへの移行に伴い、長期間空きが出ないようにする。 ①関係機関との連携を密に行い地域生活を支える。 ②人材育成。	①10月よりあいかんグループと契約し医療連携体制加算を取得した。本年度は、女性1名の退所者があった。複数の体験者がいたが契約には至っていない。引き続き関係機関に広報する。 ②月に1度ホームスタッフ研修を開催し、各利用者の支援経過を振り返ったり、長所などを共有すること利用者とコミュニケーションや支援の向上を図った。	C

(2) 第2期3か年計画(H27年度～H29年度)の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
年齢や障がいに応じた様々な暮らし方を提案しながら地域移行にも積極的に取り組む。当事者や家族のなかで最もニーズの高い事業であることを踏まえ、地域移行の促進と新規利用者のスムーズな受け入れ、状況に応じて新たな開所も視野に入れた事業展開を検討する。	平成27年度にばれっとハウスの定員を2名増員。27年度、28年度1名ずつ一人暮らしに移行し地域での生活が継続できている。平成29年度は、家族との折り合いが悪く社会的入院となっていた方を受け入れ家族の障害理解が進んだこと等により退所し自宅に戻った。退所後の新規受け入れについては、女性で長期の空きがでており課題が残る。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

この一覽表は対象サービス分のみ添付で可

その他該当する体制等

【対象人数の設定値】

「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

「大規模住居」欄の「4. 定員21人以上（一体的な運営が行われている場合）」は、施設区分が「介護サービス包括型」の場合に限る。

「夜間支援等体制」欄は、日単位で、あるいは住居ごとに異なる区分の算定ができるため、住居ごとに該当する区分すべてに○を付け、Ⅰ又はⅡの場合は対象人数欄に右欄に掲げる設定値を記載する。
「重度障害者支援体制」欄は、提供形態が「Ⅰ. 介護サービス包括型」の場合に設定する。

2人以下
3人
4人(以下) } Iのみ可
5人・6人・7人・8人以上は4人以下以降)
8人以上10人以下
11人以上13人以下
14人以上16人以下
17人以上20人以下
21人以上30人以下

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
4/12~14	名古屋市中央看護専門学校11名	アウェイテ見学
7/6	実習生1名	ぱれっと見学
8/18	一宮看護学校2名	アウェイテ見学
8/23~25	中央看護学校12名	アウェイテ見学
8/26	実習生1名	ぱれっと見学
10/4	名古屋市医師会看護学生4名	アウェイテ見学
10/11	名古屋市医師会看護学生6名 教員1名	アウェイテ見学
10/25	千種家族会15名	アウェイテ見学
11/8	実習生1名	アウェイテ見学
11/30	実習生1名	アウェイテ見学
2/5~20	中京看護専門学校学生 名古屋市医師会学生	アウェイテ見学
3/1	瑞穂区元衆議院近藤氏	ぱれっと見学
2/28~3/3	名古屋市医師会看護学生19名	アウェイテ見学

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14	管理職研修	親愛の里	小野原課長
4/18	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 天春 神野 谷 福野
5/11	管理職研修	親愛の里	小野原課長
5/16	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 天春 神野
5/18	管理職研修	親愛の里	小野原課長
6/13	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 天春 神野 谷 福野
6/14	中村地域支援部 事例検討会	親愛の里	小野原課長 加藤
6/16	管理職研修	親愛の里	小野原課長
6/27	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
6/28	親愛の里学習会 障害年金	親愛の里	加藤 佐々
7/6	管理職研修	親愛の里	小野原課長
7/6～7	新人職員研修（長野）	親愛の里	佐々
7/12	中村地域支援部 事例検討会	親愛の里	小野原課長
7/12	個別支援計画作成研修会	愛知県社会福祉 協議会	加藤
7/26	親愛の里学習会 成年後見	親愛の里	小野原課長 佐々
8/1	管理職研修	親愛の里	小野原課長
8/23	親愛の里学習会 セカンドハーベスト	親愛の里	佐々
9/3	親愛の里福祉大会（長野）	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 福野
9/12	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
9/14	管理職研修	親愛の里	小野原課長
9/27	親愛の里学習会 障害者差別解消法	親愛の里	佐々
10/10	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野

期日	研修名	主催	参加者
10/10	個別支援計画フォローアップ研修	愛知県社会福祉協議会	加藤
10/20	職員全体研修 リスクマネジメント	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々天 春 神野 谷 福野
10/20	親愛の里学習会 発達障害	親愛の里	佐々
10/9～30	管理職研修	親愛の里	小野原課長
11/14	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
11/16	管理職研修	親愛の里	小野原課長
11/22	中村区GH部会世話人会研修	中村区自立支援協議会	小野原課長 佐々 天春 谷 福野
11/29	親愛の里学習会 人格障害	親愛の里	加藤 佐々
12/1	新任ステップアップ研修	愛知県社会福祉協議会	佐々
12/20	親愛の里学習会 虐待防止法とリスクマネジメント	親愛の里	加藤 佐々
12/27	管理職研修	親愛の里	小野原課長
1/12	精神障害者指導員研究会		佐々
1/16	グループホーム研修		佐々
1/23	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
1/24	親愛の里学習会 障害者総合支援法改正について	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々
2/13	ホームスタッフ研修	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
2/14	中村地域支援部事例検討	親愛の里	小野原課長 加藤
2/28	親愛の里学習会 事例検討	親愛の里	佐々
3/13	ホームスタッフ会議	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々 天春 神野 谷 福野
3/14	中村地域支援部 事例検討会	親愛の里	小野原課長 加藤 佐々

平成29年度苦情受付一覧表

No.	期	日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	平成29年4月15日		関係機関	4 事業所運営	要望	4	4/15さんごおるこがもての大家さんより、105号室の人がポストに入っている広告をその場に捨てた。その場ですぐに謝罪し、二度とないようにしていくことを伝えた。	現在、105号室はMさん一人のため確認をする。その場に以前は捨てていたが、ホームスタッフより注意をされてからは捨てていない。ポストの上には他の人も置いてあるので置いたと言う。ポストに入っている広告は、必ず部屋まで持って来て部屋で処分することを徹底して欲しいと伝えた。ホームスタッフにもそのことを伝え徹底を図る。	無
3	平成29年11月20日		保護者	4 事業所運営	要望	1	体験中のSさんの叔父さんからの苦情。日曜日に体験に行く予定であったが、予定時間を遅れると、さらにGHの電話番号がわからず連絡ができなかった。	体験に入る前には、必ず連絡先を明記したものを家族にも渡すようにした。	無
4	平成30年2月27日		本人	4 事業所運営	要望	1	2/27に行われたばれっと会議において、利用者IRさんより自分の意見がOTさんから否定された。それに司会役TSさんは司会なのにならへらしていてむかついた。いつもこうなので今後は会議に参加したくない。自由参加にして欲しいなどの要望があった。	本人・職員とで話し合った。GH利用者はそれぞれ生活やコミュニケーションが苦手な人が多くOTさんにも練習をしているところである。職員もきちんと注意していく。利用者で会議を行い、意見を出し合ってよりよいGHにしていくこと。今後の会議では、他の意見を否定しないことを参加者に伝えて行うことを説明する。本人は了承し、これから会議には出席しますとのこと。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 0件 ※苦情のレベル 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … 3件
 2 サービス内容(質・量) … 0件 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
 3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
 4 事業所運営 … 3件 4 その他 … 0件
 5 契約内容 … 0件
 6 建物の構造 … 0件
 7 その他 … 0件
- ※苦情の発生原因 1 説明・情報不足 … 2件
 2 職員の態度・言動 … 0件
 3 サービス内容 … 0件
 4 その他 … 1件

実績総数	3件
苦情受付	0件

平面図

(1) ぱれっとハウス (第1 共同住居)

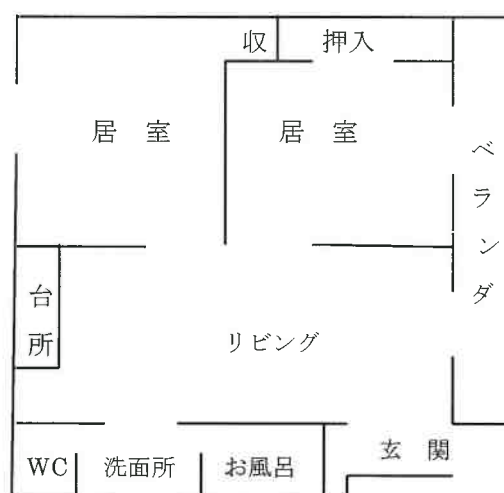
① 建物

建物	構造	鉄筋コンクリート3階建て (うち1階及2階各1室)
	延べ床面積	91 m ²
	利用定員	4名 (各部屋2名ずつ)
敷地面積		552 m ²

② 主な設備

設備の種類	室数	1カ所面積	一人当り面積	備品
居室	2	8.2 m ²	8.2 m ²	クローゼットもしくは衣装ケース、 エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.3 m ²	8.3 m ²	
	1	9.8 m ²	9.8 m ²	
ダイニング 食堂	2	18.6 m ² 17.5 m ²	9.3 m ² 8.7 m ²	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨 房設備一式、給湯器、電気ポット、 扇風機
便所	2	1.08 m ²	—	掃除用具一式
洗面所	2	2.4 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃 除用具一式
風呂	1	1.76 m ²	—	
自転車置場	1			

③ 施設平面図



2) アウェエテ (第2共同住居)

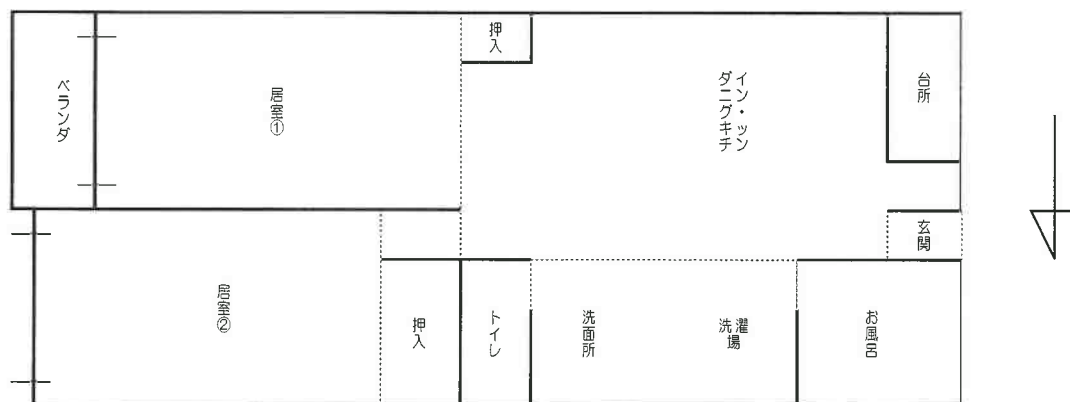
①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート2階建て (うち2階)
	延べ床面積	150.66 m ² (50.22 m ² ×3)
	利用定員	6名 (各戸2名ずつ)
敷地面積		235.44 m ²

②主な設備

設備の種類	室数	1ヶ所面積	1人当たり面積	備品
居室	6	9.72 m ²	9.72 m ²	エアコン、扇風機、ベッド、カーペット、タンス、照明器具
ダイニング 食堂	3	15.75 m ²	7.88 m ²	石油ファンヒーター、扇風機、冷蔵庫、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、炊飯器、ガスレンジ、照明器具、食器棚
便所	3	1.62 m ²	—	掃除用具一式
洗面所、風呂	3	6.66 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式

③ 施設平面図



3) コーポ本陣

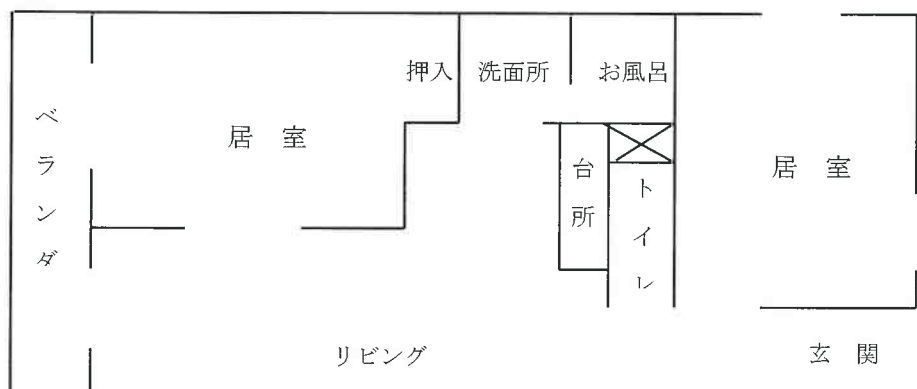
①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート7階建て (うち5階)
	延べ床面積	51 m ²
	利用定員	2名
敷地面積		51 m ²

②主な設備

設備の種類	室 数	1 ヶ所面積	一人当たり面積	備 品
居 室	1	8.0 m ²	8.0 m ²	クローゼットもしくは衣装ケース、エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.5 m ²	8.5 m ²	
ダイニング 食堂	1	19.73 m ²	9.86 m ²	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、扇風機
便 所	1	1.08 m ²	—	掃除用具一式
洗 面 所	1	2.72 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式
風 呂	1	1.92 m ²	—	
自転車置場	1			

③施設平面図



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：中村区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 基幹支援センターの委託を受け 4 年目となり、プロポーザルの際に提出した実施計画を熱田区障害者基幹相談支援センターと一緒に改めて見直す機会を持ち、まだ取り組めていない点に取り組めるよう計画を立てて実施した。職員のスキルアップが必要とされた児童や介護保険などの学習会を開催、スーパーバイザーを招いての事例検討会、職員同士でのケース検討を行った。
- ② 検察や弁護士、いきいき支援センター、子ども・若者総合相談センターなど様々な関係機関からの相談が多数ある。それぞれの機関の特性を把握しながら連携して支援を継続している。また依頼に応じてアドバイザーとケース会議へ出席した。

(2) 課題と対応策等

- ① 次年度はスキル向上と地域移行支援について継続して取り組む。スキル向上を目指し事例共有や検討を実施する。地域移行支援のシステムは昨年度作成した内容に実践の中で得られる情報を追加し活用しやすいものへとまとめていく。一般相談支援事業所と協力して進めることで基幹だけでなく区内全体の力が向上することを目指す。
- ② 複合的な課題を持つ方の支援などを通して、地域の課題になっていないかという視点を持ち、それぞれを整理していく。また連携先の状況を把握し基幹センターとしてできることを明確にすることでより良い連携ができるよう提案していく。

3. 利用実績 (添付資料内にて：詳細記載)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	438	417	507	435	458	406	407	391	378	379	306	361	4883
認定調査数	27	30	21	22	33	37	27	33	33	30	32	35	360

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1				1	精神保健福祉士 1
副センター長	1(1)				1	社会福祉士 1
相談支援専門員	4 (2)				4	社会福祉士 2 精神保健福祉士 2
合 計	6				6	常勤換算 6.0

5. 安全防災対策

- ・3月15日 13:30 から、利用者と共に避難訓練を行う。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 「そよフェス」の開催 地域に開放したイベント。

地域活動支援センター、就労センター、グループホームと合同で実施

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし

- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

- (2) 職員研修参加状況 … 別紙 2

- (3) 苦情等の状況 … 別紙 3-1

- (4) 平面図 … 別紙 3-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①基幹センター職員としてのスキル、知識、質の向上。 ②基幹センターの役割についての再認識 ③特定相談支援事業所への働きかけやバックアップ。	①について 階層別研修について、中堅研修のファシリテーターとしてセンター長が講師として参加。 法人内研修「フラー学習会」にて障害福祉サービスとサービス等利用計画についての話をする。 毎月開催の名身連・親愛の里学習会、毎日行うミーティングや基幹打ち合わせ（毎月開催）を活用し情報交換を行った。 合同研修会の開催については②に記載。 ②について 名身連・親愛の里連絡会として両法人基幹センター職員が集まる会議を開催。プロポーザルの際に提出した実施計画をもとに取り組みについて確認をした。職員のスキルアップが必要とされた児童や介護保険などの学習会を開催したり、スーパーバイザーを招いての事例検討会、職員同士でのケース検討を行った。 ③について 障害者自立支援連絡協議会の相談支援部会を2か月に一度開催し、特定相談支援事業所の方が毎回輪番で事例を挙げて検討を行った。	B
地域貢献 ①精神保健福祉分野についての研修会、学習会の開催。 ②講義や研修会への講師派遣。 ③障がいの有無や世代を超えた地域住民が集う場の提供やきょうかけづくり。 ④地域啓発のための講演会や学習会開催	①について 区内事業所が集まる合同部会にて医療観察法についての講師を招き学習する機会を持った。 区内事業所より基幹センターについての講演の依頼を受け、対応をする。 緑区・熱田区より依頼を受け地域移行支援についての講義を行う。 ②について 愛知淑徳大学にて「地域移行支援について」の内容にて講義を行う。 名古屋市新規事業向け研修の講師を担い精神障がいの障がい特性について話をする。 相談支援従事者初任者研修に講師依頼があり対応をする。 ③について 第3次福祉活動計画にて取り組んでいるポッチャを広める活動を活用し、地域住民と障がい者がポッチャを通して交流する機会をもった。交流会前に障害についてや福祉事業所についての学習会を実施した。 ④について 西プロックの取り組みとして「Go ♪くし! in the west」を開催。福祉サービスや障がいについて知っ	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	てもらうための交流イベント。 中村区障害者自立支援連絡協議会として一般市民向けに中村区地域福祉講演会を開催。テーマは「障害のある方の防災について。 協議会の一環として「中高生夏休みボランティア」とし中高生が夏休みに障害福祉事業所にてボランティアができる機会を作った。各事業所にて受け入れを行った。	
安定した経営と事業運営 ①人材育成。 ②相談件数の確保。 ③他分野（高齢者、児童、社協など）との連携。 ④次回プロボロザルに向けての準備。	①について 法人内研修「フラワー学習会」にて障害福祉サービスとサービス等利用計画についての話をする。 名身連・親愛の里学習会を毎月、また毎日行うミーティングや基幹打ち合わせを活用し情報交換を行った。 ②・③について 検察や弁護士からの触法ケースについての相談が複数あった。不起訴になった場合（不起訴に向けて）の福祉サービス利用や支援について助言をした。 いぎいき支援センターからの依頼によるケース会議への出席や、ケアマネサロンにアドバイザーとして出席をした。協議会の相談支援部会においていぎいき支援センター職員との意見交換会を開催した。相談件数が多いだけでなくケースの困難さや複雑さが増しており、各相談員の疲弊や支援の質の低下につながりかねない状況となり開所時間について市と協議をした。職員の共有時間などの工夫を検討もしている。 ④について プロボロザル内容を振り返り、達成度を確認した。また未達分野について年間計画を立てて実施した。今年度強化が必要な項目として、地域移行支援のシステム構築や地域向けの啓発研修、学習会の開催が挙げられ、それぞれすすめることができた。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持った障害者基幹相談支援センターを目指す。	長期入院の方や医療観察法の対象者の方の退院についての支援について地域の理解が進むことを目指し、学習会を開催したり講師として出向くなど仕組みづくりを行い一定の理解が進んでいる。今後、対象者を受け入れていく事業所の数や質のさらなる充実が求められ、基幹支援センターとしても取り組み必要がある。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ・プロボロザル内容を改めて振り返り必要な取り組みを計画的に実施することができた。
- ・老障害世帯、虐待が疑われる事例、親の病気で急に一緒に暮らすことが困難となった事例など様々な問題を抱え、様々な機関との連携が必要となる事例が増加。

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

利用実績

【平成 29 年度】

(第3号様式)
事業内容報告書
中村区障害者基幹相談支援センター (計)

平成29年4月分

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	その他
障害者	391	85	1	179	11	0	8
障害児	12	3	0	1	0	0	0
計	403	88	1	180	11	0	8
内、新規	156	41	0	57	2	0	5

難病患者(その他の再掲)	3
	0
	3
	1

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	その他
障害者	391	85	1	179	11	0	8
障害児	12	3	0	1	0	0	0
計	403	88	1	180	11	0	8

難病患者(その他の再掲)	3
	0
	3
	3

支援内容・方法

	福祉サービス の提供に 関する支援	健康・医療 に関する支援	生活の質向上 に関する支援	教育・就労 に関する支援	家族・経済 に関する支援	生活技術に 関する支援	就労に 関する支援	社会参加・生活 環境に関する支援	権利擁護に 関する支援	その他	計	難病相談 (再掲) (の再掲)
訪問	120	4	19	0	5	6	19	1	3	22	210	2
同行	39	1	13	0	0	7	15	3	0	4	82	0
訪問別支援会議	32	2	5	1	5	3	0	1	1	3	54	1
関係機関調整	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0
その他	12	1	1	2	0	0	1	2	0	5	26	0
小計	207	8	38	12	12	16	36	7	5	34	378	3
来所	182	15	23	33	35	41	33	16	6	26	509	1
来電話	1048	100	233	1543	3	185	190	150	27	233	4004	5
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1230	115	256	1651	3	226	223	166	33	269	4513	6
ピアサポーター(再掲)	1437	123	294	1663	4	242	259	173	58	303	4891	9
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域自立支援協議会	総会(全体会)	部会	研修会	その他	計
	3	39	3	14	59

事業運営費外

障害支援区分認定調査	福祉サービス等利用計画(案)	福祉サービス等利用計画	入居成立
375 件	9 件	12 件	0 件

【コメント】

(1) 昨年度に比べ件数は横ばいだが、実人数は昨年度 368 名から 40 名増加している。

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14、5/11	施設長課長研修	親愛の里	松岡課長
4/25	名古屋市相談支援従事者研修（基幹センター相談員向け研修）	名古屋市	水野 松岡（司会進行）
5/24	マナー講座	親愛の里	水野
5/30	若葉学習会	親愛の里	水野
6/1	施設長課長研修	親愛の里	松岡課長
6/14	中村地域支援部事例検討会	親愛の里	松岡課長
6/16,7/6	施設長課長研修	親愛の里	松岡課長
6/28	障害年金について	親愛の里	水野
7/12	中村地域支援部事例検討	親愛の里	松岡課長・河村・水野
7/13	就労移行事例検討会	中村区自立支援 連絡協議会	松岡課長
7/21,8/17	愛知県相談支援従事者現任研修	名古屋市	水野
7/26,	成年後見センターについて	親愛の里	河村・水野
7/27,28	長野研修	親愛の里	水野
8/3	施設長課長研修	親愛の里	松岡課長
8/9	中村地域支援部事例検討	親愛の里	松岡課長・河村・水野
8/23	フードバンクについて	親愛の里	水野
9/3	親愛の里福祉大会	親愛の里	松岡課長河村・水野
9/12	初任者研修（講師として）	愛知県	松岡課長
9/14	施設長課長研修	親愛の里	松岡課長
9/26	若葉学習会（講師として）	親愛の里	松岡課長
9/27	障害者差別解消法、名古屋市障害者差別 解消センターについて	親愛の里	河村
9/28	フラワー学習会（講師として）	親愛の里	河村
10/3	初任者研修（講師として）	愛知県	松岡課長
10/5	地域生活支援研修	名古屋市社会福 祉協議会	河村
10/25	親愛の里学習会事例検討 発達障がいについて	親愛の里	水野

期 日	研修名	主催	参加者
11/8、9	初任者研修（講師として）	愛知県	松岡課長
11/28 12/12	若葉学習会	親愛の里	水野
11/29	親愛の里学習会（人格障がいについて）	親愛の里	水野
11/30	高齢者虐待・障害者虐待相談、障害者差別「地域の相談窓口」従事職員合同研修会	名古屋市障害者虐待相談センター	河村
12/5	名古屋市相談支援従事者研修（共通全体研修）「療育センターとの連携について」	名古屋市	河村
12/7	熱田区自立支援連絡協議会 事例検討会	熱田区自立支援連絡協議会	河村・水野
12/11	名古屋市相談支援従事者研修会（中堅者クラスⅡ）「地域づくり事例（協議会等）を基にしたグループワーク」	名古屋市	河村
12/13	自立サポートセンター見学・概要説明	自立サポートセンター名駅	水野
12/20	医療観察法におけるクライシスプランの作成と活用について	名古屋保護観察所	水野
1/24	総合支援法について	親愛の里	河村、水野
1/25 2/14	事例検討	中村地域支援部	松岡課長（1/25）、河村、水野
2/27	若葉学習会	親愛の里	水野
2/28	親愛学習会	親愛の里	河村、水野
3/2	基幹センター初任者クラス研修	名古屋市健康福祉局	松岡課長（運営側として参加）水野
3/3	医療観察の現状について	あいち福祉医療専門学校	水野
3/14	事例検討	中村地域支援部	松岡課長、河村、水野

平成29年度苦情受付一覧表

別紙 3-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	平成29年8月	本人	2 サービスの内容 (質・量)	1	2	生活相談についてしっかり聞いてもらえなかったとの内容で福祉サービス苦情相談センターへ電話を入れる話の流れにおいて「嫁との夜の生活が2年間ない」との発言に対して、「その話は聞かなくちゃいけないです か」と返答されたことがショック。聞くべき。	苦情センター担当者より経緯や対応について電話にて聞き取りがある。こちらの真意や改善点（傾聴・言い方など）について本人へ伝えてもらう。同日本人にも直接伝え納得を得る	無
2	平成29年8月	本人	2 サービスの内容 (質・量)	1	2	基幹支援センターとしてやるべきことをしていない、ヘルパーの利用につながっていない、応対に不満があるとして名古屋市役所障害者支援課へ連絡を入れたもの。前回連絡を取ってから1か月も連絡がない。毎月モニタリングではと本人は主張。	名古屋市担当者からの電話での聞き取りについて対応の経緯について説明。市担当者から本人にその旨伝えるも納得されず、直接会って話をすることとなる	無
3	平成29年8月	本人	2 サービスの内容 (質・量)	1	2	相談員の電話相談時の対応（言葉）について、名古屋市役所と福祉サービス苦情相談センターに苦情の電話をする。	各窓口の担当者と本人に発言自体はあったことを認めたらうえてその前後の流れやこちらの意図を説明し一定の理解を得る。加えて本人と対象職員とセンター長にて話し合いの場を持つ。	無

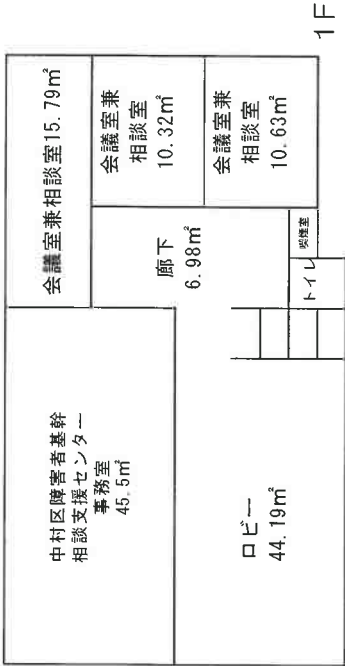
※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 3件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 3件
- 2 請求（法的責任に基づく権利の主張など） ... 0件
- 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

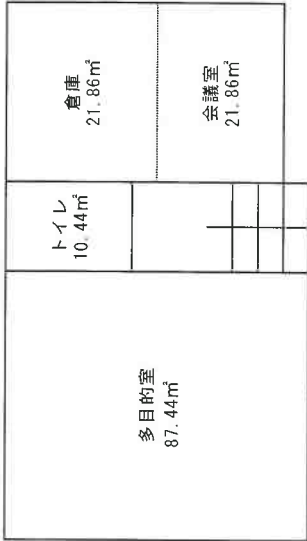
- ※苦情の発生原因
- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 3件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	3件
苦情受付	0件

平面図



3F 多目的室を地域交流活動としても使



別紙 3-2

平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：熱田区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 基幹支援センターの委託を受け 4 年目となり、プロポーザルの際に提出した実施計画を改めて見直す機会を持ち、まだ取り組めていない点が取り組めるよう計画を立てて実施した。職員のスキルアップが必要とされた児童や介護保険などの学習会を開催、スーパーバイザーを招いての事例検討会、職員同士でのケース検討を行った。
- ② 相談件数は昨年度と比べ大きな変化はないが、スクールソーシャルワーカーなど児童にかかわる支援者や家族からの相談が増加している。また特定相談支援事業所が支援を継続していたが、サービス利用が安定しない等支援が困難となる相談があり、一緒に支援を進めてきた。
- ③ 基幹支援センターとして地域に根差すための活動として行っているサロンや行事を継続して取り組み、幅広い世代が交流できる機会を継続して作ることができた。

(2) 課題と対応策等

- ① 実施計画の中で次年度に継続した取り組みが必要な課題として相談員のスキル向上と地域移行支援がある。事例共有や検討をする機会を増やしスキル向上を目指す。また、今年度作成した地域移行支援のシステムについて実践を通してより活用しやすいものへとまとめていく。
- ② 様々な関係機関との連携を進めるなかで障がいの理解や連携の在り方を伝えるなどの役割が求められている。障がい特性を伝えるなど発信することも継続して取り組んでいく。また困難とされる事例などを通して地域の課題を整理し、地域への働きかけを進め行政へ挙げていく必要がある。

3. 利用実績（添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	212	197	196	210	188	251	241	231	206	246	183	201	2562
認定調査数	14	14	10	16	18	15	16	10	26	16	21	26	202

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1(1)				1	社会福祉士 1
副センター長	1				1	社会福祉士 1
相談支援専門員	4				4	社会福祉士 2

	(3)					精神保健福祉士 1 介護福祉士 2 看護師 1
合 計	6				6	常勤換算 5.5

5. 安全防災対策

- (1) 9/29 及び 3/30 に名身連本部会館内全体で避難訓練を実施。また、非常災害対策計画案の作成や非常時のマニュアル、非常持ち出し袋の中身の検討なども行っている。
さすまたの講習会を実施し、全職員で使用方法の共有を行い、安全対策に努めた。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 「熱田区障害者基幹相談支援センターかよういちサロン」の開催。(月 2 回)
誰でも参加できるサロンを実施。講師として学生に活動の場を提供。また地域支え合い事業によりサロン参加者の人数が学区にポイントとして付与され還元されている。
- (2) 「あつたつながるフェア」の開催(年 1 回)
- (3) 「こころの講座」の開催(年 3 回)
心の健康、精神障がいについて知ってもらう機会として地域一般の方向けの講座を開催。

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし
- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第 2 期 3 年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1
- (2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2
- (3) 職員研修参加状況 … 別紙 3
- (4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1
- (5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①基幹センター職員としてのスキル、知識、質の向上。 ②基幹センターの役割についての再認識 ③特定相談支援事業所への働きかけやバックアップ。	①について 階層別研修について、中堅研修のファシリテーターとしてセンター長が講師として参加。 法人内研修「フラワー学習会」にて障害福祉サービスとサービス等利用計画についての話をする。 毎月開催の名身連・親愛の里学習会、毎日行うミーティングや基幹打ち合わせ（毎月開催）を活用し情報交換を行った。 合同研修会の開催については②に記載。 ②について 名身連・親愛の里連絡会として両法人基幹センター職員が集まる会議を開催。プロポーザルの際に提出した実施計画をもとに取り組みについて確認をした。職員のスキルアップが必要とされた児童や介護保険などの学習会を開催したり、スーパーバイザーを招いての事例検討会、職員同士でのケース検討を行った。 ③について 障害者自立支援連絡協議会の相談支援部会を2か月に一度開催し、その都度意見交換やケース検討ができる時間を設けた。	B
地域貢献 ①精神保健福祉分野についての研修会、学習会の開催。 ②講義や研修会への講師派遣。 ③障がいの有無や世代を超えた地域住民が集う場の提供やきょうかけづくり。 ④地域啓発のための講演会や学習会開催	①について 自立支援連絡協議会の全体会での年間のテーマを「地域生活」とした。地域移行制度について学習し意見交換をする機会を設けた。地域移行制度や現状について知る機会となり地域の事業所においても受け入れられるとよいとの話につながった。 ②について 愛知淑徳大学にて「障害者総合支援法と相談支援 基幹支援センターの役割」の内容にて講義を行う。 名古屋市新規事業向け研修の講師を担い精神障がいの障がい特性について話をする。 ③について サロンを月2回開催。基幹センターを相談利用されている方やハートランド森・名身連の利用者などの障がいのある方や地域の一般の方々が参加。児童発達支援事業所の方に演奏に来てもらったり名古屋大学の学生に講師として参加してもらうことで様々な世代が集まる機会にもなった。 第三次地域福祉活動計画の活動を通して学生や地域の方がサロンに参加したり講師に来てもらうなどつながりを広げることができた。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	協議会のイベントにおいてもポッチャを通して障がい当事者と地域の方との交流の機会を作ることができた。 ④について 「こころの講座」を3回講座として開催。また、あつたつながるフェアでは当事者によるステージ発表や障がい福祉事業所による物品販売、障がい啓発のパネル展示などを実施した。	
安定した経営と事業運営 ①人材育成。 ②相談件数の確保。 ③他分野（高齢者、児童、社協など）との連携。 ④次回プロボローザルに向けての準備。	①について 法人内研修「フラワー学習会」にて障害福祉サービスとサービス等利用計画についての話をする。 名身連・親愛の里学習会を毎月、また毎日行うミーティングや基幹打ち合わせ（毎月開催）を活用し情報交換を行った。 ②について 昨年度より開始した「在宅の障がい者を応援する事業」を継続して取り組んだ。サービス利用をしておらず近所からのその家庭について心配があるとの訴えがあった方についても当事業を活用することで、すぐにサービスが必要ではない状態ということも含め把握することができた。 ③について いきいき支援センターやスクールソーシャルワーカーからの依頼に応じ、ケース会議への出席や訪問への同行などしその方の状況に応じた支援を連携して行った。 ④について プロボローザル内容を振り返り、達成度を確認した。また未達分野について年間計画を立てて実施した。今年度強化が必要な項目として、地域移行支援のシステム構築や地域向けの啓発研修、学習会の開催が挙げられ、それぞれすすめることができた。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネージメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	・地域開放したサロンや、地域でのイベントの継続開催を通して大学生にボランティアとしてきてもらう等、未来の人材育成や障がい福祉の理解が進むように取り組んでいる。また学生の活躍する場として西ブロック内での取り組みを紹介をしたり地域での活動の幅をお互いに広げる機会づくりにもなった。 ・昨年度より開始した「在宅の障害者を応援する事業」を継続し、サービスや情報の行き届いていない方への提供を進めた。実際にサービスに繋がったり、新たなサービス創設には至っていないが、不足しているサービスがあれば課題として検討していき進めている。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
9/19-10/4	同朋大学	精神保健福祉士実習
11/6	愛知淑徳大学	精神保健福祉士実習

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/14	地活合同研修	親愛の里	関戸
5/24	親愛の里学習会	親愛の里	武藤 中野
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	三田 中野 松本
7/11	四区合同相談支援事業所研修会	西ブロック会	関戸
7/21	相談支援従事者現任研修	名古屋市	奥村
8/17	相談支援従事者現任研修	名古屋市	奥村
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	奥村
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	奥村
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	奥村
9/28	フラワー学習会	親愛の里	関戸
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	奥村
10/29-30	管理職研修	親愛の里	関戸
11/17	千種西部いきいきセンター研修	千種いきいき支援センター	関戸
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	関戸
11/30	高齢者虐待・障害者虐待相談、 障害差別「地域の相談窓口」 受持職員合同研修会	名古屋市	関戸
12/5	療育センターとの連携について	名古屋市	関戸
12/21	親愛の里学習会	親愛の里	奥村
12/22	名身連・親愛の里連絡会学習会 「いきいき支援センター」	名身連・親愛の里	関戸
1/24	親愛の里学習会	親愛の里	関戸

平成29年度苦情受付一覧表

別紙 4-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委 員立会い
1	苦情受付 なし	記載なし	記載なし					

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件

2 サービス内容(質・量) ... 0件

3 事故、被害、損害 ... 0件

4 事業所運営 ... 0件

5 契約内容 ... 0件

6 建物の構造 ... 0件

7 その他 ... 0件
- ※苦情のレベル
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 0件

2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件

3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件

4 その他 ... 0件
- ※苦情の発生原因
- 1 説明・情報不足 ... 0件

2 職員の態度・言動 ... 0件

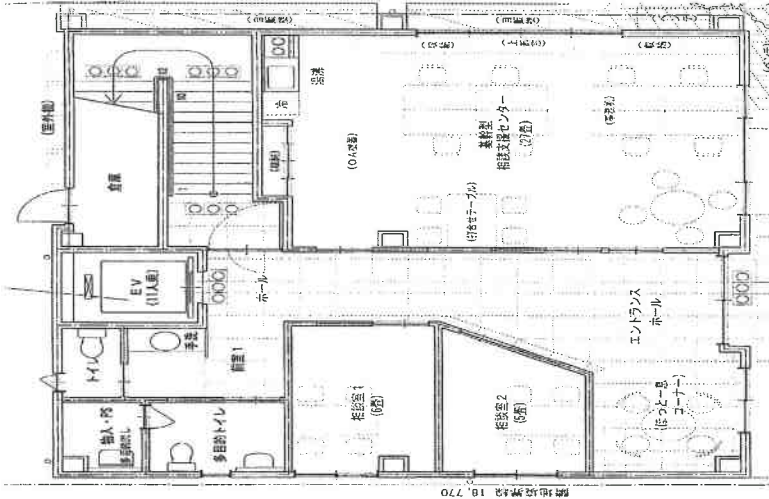
3 サービス内容 ... 0件

4 その他 ... 0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図

別紙 4-2



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：南区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 相談においては、基幹センターの対応のみで完結するケースより高齢や児童はもとより、権利擁護の視点や触法など広く多くの専門機関の関わりが必要となる内容が増えてきている。
- ② 自立支援連絡協議会内の 6WG については、当初の計画通りに進んでいる。各事業所への働きかけを行う中で、協議会の理解も進み参加者も増えるなど一定の評価が認められる。各 WG が研修会や地域啓発活動など、実践の中から必要に応じて活動してきた実績となっている。同時に、活動内容が似た傾向になっていることも少なくない。

(2) 課題と対応策等

- ① 基幹としては関係機関について、それぞれの役割や特徴を把握しコーディネート役を担っている。領域内で専門性を活かした支援体制が組めるよう、それぞれの機関の把握に努めなければいけない。また、指定特定相談支援事業所が持っている困難事例や困りごとに対して、事業所を訪問する中で抱えている問題の解決に向けたバックアップ体制を構築していく必要がある。
- ② 事務局において WG 活動状況の全体的な見直しを行う。地域ニーズに即せるよう、継続の有無などの整理が必要である。また、地域課題を市・ブロックにあげられるよう、区内で行うこと、社会資源として全体での創出の必要性など具体的に検討を行い行政に挙げていく必要がある。

3. 利用実績 (添付資料内にて：詳細記載)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	383	261	660	822	136	430	320	620	546	169	256	211	4814
認定調査数	23	24	29	49	42	27	32	35	22	55	35	42	415

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	(1)				(1)	社会福祉士 1、介護福祉士 1
副センター長	(1)				(1)	社会福祉士 1 介護支援専門員 1
相談支援専門員	1 (3)	0.5			1.5 (3)	社会福祉士 3 精神保健福祉士 3

						介護福祉士 2.5
相談員	(0.9)				(0.9)	介護福祉士 1
合 計	6.9 (5.9)	0.5			7.4(5.9)	

※ H30.1～もともと 1.5 人配置のサテライトが産休のため 0.5 になるが 1 に変更。そのため 3 月末時点で全体換算 6.9 となる。

※ () はコンソーシアムを組む他法人の職員。

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 9 月、3 月に、地活・サテライト合同での避難訓練を実施。

さすまたの講習会を行い、全職員で使用方法の共有し、安全対策を図った。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 地域家族会等支援 … 南区、名東区、北名古屋市の家族会、なごやきょうだい会への参加。

(2) 名古屋市障害者スポーツセンターでの相談支援。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) 職員研修参加状況 … 別紙 2

(3) 苦情等の状況 … 別紙 3-1

(4) 平面図 … 別紙 3-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ① 基幹センター職員としてのスキル、質の向上 ② 役割についての再認識 ③ 特定相談支援事業所への働きかけやバックアップ	① について ・基幹センター職員のスキルアップのため、毎月第二木曜日に精神障がいについての勉強会を実施する事で、制度や関係機関との連携の仕方など、事例を通しての勉強会を行ってきた。また、ブックで新・中堅・管理者の3段階に分けた研修にも各職員が参加。 ② について ・毎週の職員会議内において現状確認をし合っている。本部及びサテライトそれぞれに入る相談について、会議の際に共有し1人体制としないようにしてきた。また、年4回運営会議を行い運営状況についても3法人が随時把握できるようにしてきた。今年度は委託最終年度であり、これまでの課題等について再度振り返りを行い、区内事業所の訪問等の課題について期間を決め実行していく必要がある。 ③ について ・協議会内で相談支援事業所WGを実施している。相談員1名体制の事業所も多く、毎月の開催において困っているケースを持ち込み検討、方向性を出している。また、ケースだけでなく制度への対応の仕方や、社会情勢、サービス事業所の情報交換も同時に行ってきた。	B
地域貢献 ① 精神保健福祉分野についての研修会、学習会の開催 ② 講義や講座への講師派遣 ③ 障がいの有無や世代を超えた地域住民が集う場の提供やきょうかけ作り	① について ・南ブロックで4区の入院病床を持つ病院を対象に地域移行学習会を実施。病院側が制度を活用する際のメリット・デメリット等の情報共有を図れた。今後については、病院側に制度のメリットを提案していくと同時に、まずは特定相談支援事業所を対象とした学習会を実施予定。 ② について ・名古屋市新規参入事業所説明会に講師として参加。サテライトは精神、発達障がい、高次脳機能障がい分野を担当。 ③ について ・南区との共催である、ささえあい街づくり事業では、200名を超える参加があった。「地域力を伸ばそうWG」では、ゲートキーパー講座を実施し、50名程の参加を得た。また、地域学区より、防災について考える集まりに、家族の話が聞きたいとWGに1件の依頼があった。こころの健康出前講座について、昨年度は依頼が入らなかったため、周知活動と同時に、活動内容の再検討も必	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	要となる。	
安定した経営と事業運営 ① 人材育成 ② 相談件数の確保 ③ 他分野(高齢者、自勤、社協など)との連携 ④ 次回プロポーザルに向けての準備	① について ・制度変更やサービス提供内容の変更などの福祉動向については現況報告・検討会での資料に明記・報告をしてきた。また、課内ミーティング・部会議においても福祉制度の動向等以外にも、区内サービス事業所の状況の情報も共有してきた。 ② について ・サテライトと同じ建物内にある、Re☆創庫さくらに来店する地域の方より、身近に困っている方がいるなどの問い合わせから、相談に繋がるケースがある。また、地域の特定事業所をはじめ、民生委員からの相談もあった。特にいきいきからの連絡は多く、本人がサービスを必要・希望する場合については情報の提案や必要な支援を行った。 ③ について ・いきいき支援センター交流会を年3回実施し、区内の北部南部両センターとの情報交換・勉強会を実施した。また、8050 問題について、いきいき支援センターと定期的に会議を実施し、情報共有を行うとともに、訪問等行い、必要に応じて、情報提供及び申請支援を行ってきた。	B

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	自立支援連絡協議会の運営側として各 WG の活動が円滑に行えるようサポートしており、WG 活動については一定の評価が認められている。また、地域生活拠点事業について事業所の活用及び制度そのものの活用についての問い合わせ等もあり事業所を協働し、名古屋市に依頼し説明会を実施。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 地域向けの啓発活動に関し、前年度までは関係機関の参加が多かったが、今年度は幅広い周知活動が出来た事もあり、一般の参加も多く見られた。
- ② 基幹センターの受託更新に向けて、運営課題や方針の見直しをする必要がある。今までの取り組みを振り返り、課題や評価できる事を確認しながら、南基幹として特化出来る活動イメージを共有する。

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

利用実績

＊H29 年 10 月

本部パソコンのデータ消失につき集計は不明確である。

【平成 29 年度】

(第3号様式)

事業内容報告書

南区障害者基礎相談支援センター

センター (計)

平成30年3月分

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	142	31		62	72	6	2	1
障害児	10	0	1	7	1	0	0	0
計	152	31	1	69	73	6	2	1
内、新規	17	6	0	2	8	0	0	0

難病患者 (その他の再掲)	0
	0
	0
	0

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	454	101	3	157	157	9	3	7
障害児	23	0	1	14	2	2	0	0
計	477	101	4	171	159	11	3	7

難病患者 (その他の再掲)	0
	0
	0
	0

支援内容・方法

	福祉サービス利用等に関する支援	居宅・医療に関する支援	知能・医療に関する支援	不安の解消・福祉の促進に関する支援	教育・教養に関する支援	家族関係・人・家計・経済に関する支援	生活支援に関する支援	生活支援に関する支援	視覚に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談 (権利擁護の再掲)
訪問	43	49	89	98	17	61	46	131	76	8	37	26	681	10
同行	34	12	108	61	12	18	17	37	55	12	14	5	385	6
訪問支援会議	1	9	12	9	6	12	1	12	14	3	11	5	95	5
関係機関調整	24	12	44	8	3	27	9	21	21	5	29	21	224	23
その他	6	1	3	0	2	1	1	0	3	0	2	9	28	3
小計	108	83	256	176	40	119	74	201	169	28	93	66	1413	47
来所	38	8	10	61	6	46	40	32	64	82	12	8	407	4
来電	123	84	133	409	46	145	131	185	141	31	54	62	1544	14
所 電子メール	0	2	2	0	2	0	0	1	0	0	2	0	9	1
小計	275	178	404	646	96	311	246	419	377	141	163	145	3401	19
計	383	261	660	822	136	430	320	620	546	169	256	211	4814	66
ビ・ア・カンパニオナ (再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	50	0

地域自立支援協議会	総会 (金庫会)	部会	研修会	その他	計
	1	47	13	18	80

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画 (案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
415 件	54 件	53 件	125 件	0 件

【コメント】

- (1) 相談の傾向として、前年度同様、当事者、家族より関係機関からの相談が増えている。
- (2) 触法ケースによる弁護士からの相談も増えている。本人へのアプローチに加え、各所の役割分担など連携が不可欠であり、司法との関わりも増えていくため基幹内でも複数で関わり、支援体制を広げていくよう心掛けてきた。
- (3) 複数対応性や職員会議でのケース共有など基幹内でのチーム支援を心掛け行ってきた。

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/25	名古屋市障害者相談支援従事者研修 初任者クラス	名古屋市	加納
5/11	南基幹支援センター相談員 学習会 精神障がいについて（事例から） 講師：青木エリアマネージャー	南区基幹支援 センター	北野、加納
6/1	管理職者研修 スーパーバイザー：尋木部長	名古屋支援 事業所	北野
6/16	管理職者研修 スーパーバイザー：牧野部長	名古屋支援 事業所	北野
7/2	相談支援従事者現任研修	愛知県	北野
7/13	精神障がい勉強会 事例から スーパーバイザー 青木所長	南区基幹支援 センター	北野、加納
7/27・28	新任長野研修同行（中堅研修）	名古屋支援 事業所	加納
7/31	サービス等利用計画作成研修Ⅰ 講師：愛知県相談支援専門員協会 センター長 鈴木康仁 氏	名古屋市社会 福祉協議会	加納
8/3	管理職者研修 スーパーバイザー：牧野部長	名古屋支援 事業所	北野
8/8	熱田・南地域支援部 事例検討会 講師：青木所長	熱田・南 地域支援部	北野、加納
8/9	精神障がい勉強会 事例から スーパーバイザー 青木所長	南区基幹支援 センター	北野
7/20 8/16	相談支援従事者現任研修 2日目 3日目	愛知県	北野
9/3	第8回福祉大会	親愛の里	北野、加納
9/14	管理職者研修 スーパーバイザー：牧野部長	名古屋支援 事業所	北野
10/5	平成 29 年度 地域生活支援研修	社福）名古屋市 社会福祉協議会	加納
10/9	薬の副作用について～統合失調症～ 講師：医療法人社団 楠会 多度あやめ病院 薬剤師 齋藤 玲子氏	みなみ家族会	北野、加納

期 日	研修名	主催	参加者
10/12	南基幹学習会 精神障がいへの対応について スーパーバイザー：青木エリアマネージャー	南区基幹センター	北野
10/29、30	職員研修 理念・経営研修 講師 (株)入江感動経営研究所 入江元太氏	親愛の里	北野
11/9	南基幹学習会 精神障がいへの対応について スーパーバイザー：青木エリアマネージャー	南区基幹センター	北野、加納
11/17	平成 29 年度千種区東西合同 ケアマネサロン 「精神障害者の支援のポイント」 講師：青木エリアマネージャー	千種区西部いきいきセンター	加納
12/8	地域移行研修会ブロック 「精神科病院からの地域移行支援事例紹介」 愛知県弁護士会	南ブロック	北野、加納
12/14	「精神障がい者への支援のポイント」 講師：青木エリアマネージャー	南区自立支援連絡協議会 相談支援事業所 WG	加納
1/31	H29 年度 第 4 回 障害者差別 「地域の相談窓口」 従事職員向け研修【実践報告編①】	名古屋市障害者差別相談センター	加納
2/20	自立支援協議会「課題検討会」	自立支援協議会	加納
2/23	熱田・南事例検討会 「高次脳機能障害」	名古屋支援事業所	加納
2/24	ひきこもり支援に学ぶ介入方法 講師：名古屋市精神保健福祉センター 医師 安井 禎先生	緑区自立支援協議会	加納
3/2	H29 年度 名古屋市障害者相談支援 従事者研修（初任者クラス）	名古屋市	加納
3/8	基幹学習会「障害の理解」 スーパーバイザー 青木エリアマネージャー	南区基幹センター	加納

平成29年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	平成29年6月	保護者	1 事業所運営	要望	その他	年金申請を行っていた本人の叔父より5月中旬に申請手続きを北野が引き継ぎ、そのことに対して「申請手続きが進んでいない。業務の怠慢だ」、「基幹の北野に状況を聞きに行っても他職員も「不在」と言い居留守を返している。」と南HC、親愛の里本部、区役所福祉課に訴える。一旦、現状を伝え、納得するも、その後、名古屋市障害支援課に「年金申請について、時間がかかるとののか。申請手続きが滞っている」との訴え。	翌日、南HCから連絡を受け、叔父への連絡を連日取り続けるが連絡が取れず、謝意と詳細を記した手紙を伯父宛てに本人を通じて渡してもらう。その後、しばらくは全く連絡が無く、叔父への手紙が手渡されている事のみ本人より確認する。 7/5 突如、叔父がクオアレーへ来所し、所長の所在を確認。中村にいる事を伝えると叔父が中村へアポなしで来所。書類に不備がある事を訴え、偶然居合わせた所長が対応。その際、サービス利用等を考えることとなり、7日に面談予定となる。 面談の際、担当した職員からの謝罪に対し、「その事はもう分かったから。」と返答を得る。	無

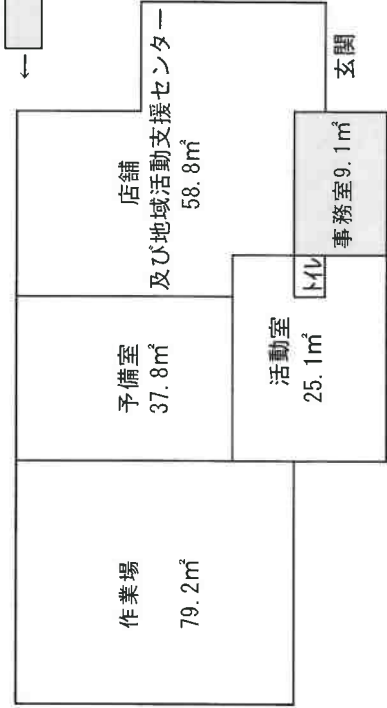
※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 1件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 1件
- 2 請求 (法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

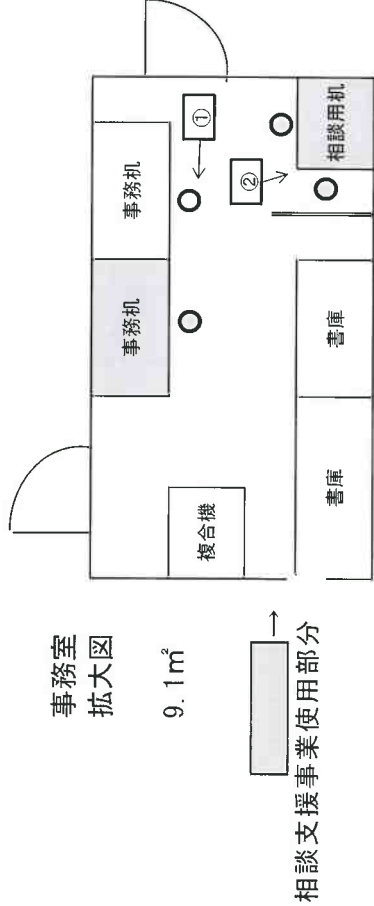
- ※苦情の発生原因
- 1 説明・情報不足 ... 1件
- 2 職員の態度・言動 ... 0件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 1件

実績総数	1件
苦情受付	1件

平面図



使用部分 (地域活動支援センター共用)



平成 29 年度事業報告書

1. 種別・名称：障害者就労支援センター親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

	身体障がい		知的障がい		精 神 障がい	その他					
		内重度		内重度			発達	難病	高次脳	その他	合計
在職中	9	0	27	0	73	0	0	0	0	0	109
求職中	22	1	33	1	185	3	1	1	1	0	243
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	32	1	60	1	259	3	1	1	1	0	354

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 平成 24 年 10 月に 5 年半の補助事業の指定を受け本年 3 月末をもってその期間が終了した。この間、372 名の方が登録（引越し等の登録削除者含む）され 118 名の方が一般企業に就職した。登録者の約 7 割が精神障がいであり精神障がい者の支援を中心に行ってきた法人として一定の役割を果たした。また一般就労に繋がらなかった方に対しては障害福祉サービスを紹介するなど窓口としての機能も担った。
- ② 中村区の移行支援事業所と事例検討を 2 か月に 1 度行い支援技術の向上を図ってきた。また関係機関と顔の見える関係を築き登録者の紹介等も行った。しかしながらネットワークの構築についてはまだ十分とは言えず課題も残った。

3. 利用実績 ： （添付資料にて：詳細記載）

4. 職員配置状況

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1				1	精神保健福祉士
就労支援員	2	1			3	社会福祉士 1
合 計	3	1			4	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- 10/18 防災訓練 水消火器による模擬消化訓練や消防署員による講話を実施。
- 3/15 避難訓練 避難訓練に関する DVD を観て施設 1 階入り口付近に避難した。

6. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

7. その他(添付資料)

(1) 利用実績 … 別紙 1

(2) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況(前年度を参照) … 別紙 2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙 3

(4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1

(5) 平面図 … 別紙 4-2

利用実績

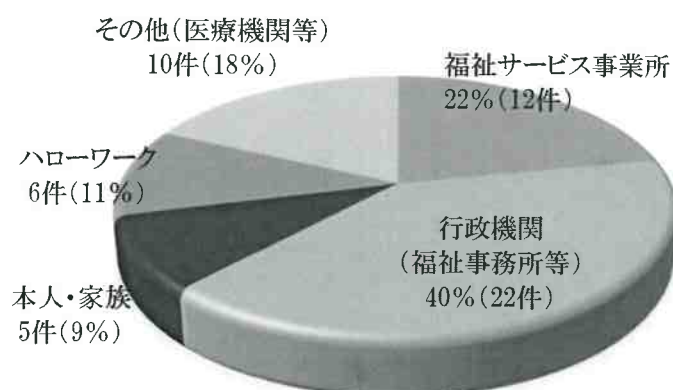
①就職に向けた相談支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
来 所	33	43	48	37	35	42	39	59	48	23	33	24	464
電 話・メー ル	124	118	164	214	184	323	253	217	236	177	159	204	2,373
職 場 訪 問	32	20	17	13	19	25	17	19	19	16	36	21	254
そ の 他	8	11	16	23	21	18	20	10	15	21	12	18	193
合 計	197	192	245	287	259	408	329	305	318	237	240	267	3,284

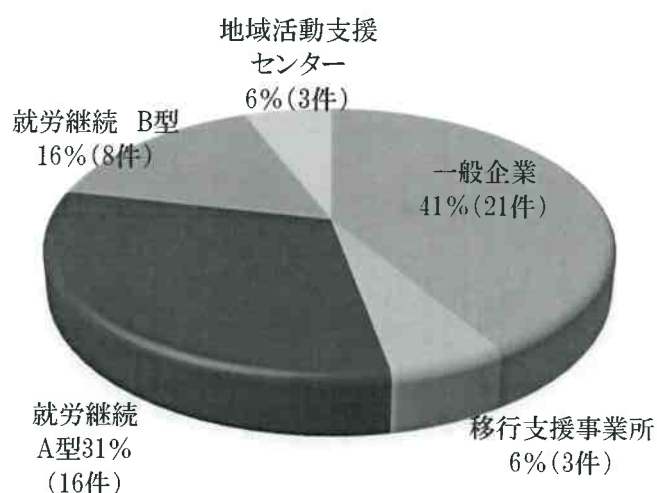
②就職に向けた準備支援

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
職 場 実 習	4	4	5	13
職 場 適 応 訓 練	0	0	0	0
合 計	4	4	5	13

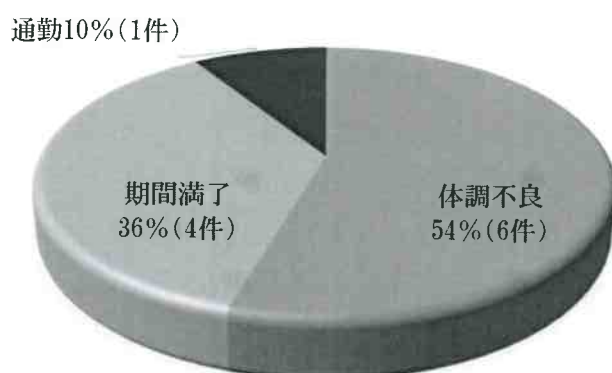
《利用経路》計55件



《就職・紹介先》計51件



《離職理由》計11件



《定着率》

・ 6ヶ月後

77%

・ 1年後

69%

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 支援の充実 定着支援の向上	① 訪問での定着終了時に入社当初に提出した自己紹介シートの配慮事項等を企業担当者、本人と確認。また本人の障がい特性をまとめたもの、合理的配慮のパンフレット等を渡し、担当者が異動になっても支援方法が社内でき継がれていくようにシステム作りを行った。	B
② 地域貢献 職業リハビリテーションの拠点としてのネットワークづくり、地域づくり	① 自立支援協議会に参加し移行支援事業所との事例検討を2か月に1回行った。 ② これから障がい者雇用を進める企業に対し障がい者雇用に取り組んでいる企業および就労移行支援事業所を見学するセミナーを行った。 拠点としてのネットワークづくりは十分できておらず課題が残る	C
③ 安定した経営と事業運営 事業継続を可能にするため実績の明確化 新規登録者 65 名 就職者数 35 名 1 年後の定着率 80%	① 新規登録者 55 名 就職者数 19 名 1 年後の定着率 69% 準備性の整っていない相談者が多く就職者数、定着率が目標を大幅に下回った。しかし幅広く相談を受け就労系福祉サービスにつなげるなど相談窓口としての役割を担った。5 年半の補助指定期間にて終了となった。	C

(2) 第2期3か年計画（H27年度～H29年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
サービスの質の向上	① OJTを行う事により福祉経験のない職員もケースワークが出来るようになった。 ② 2名体制で支援に当たり複数の視点の視点を広げることが出来た。	B
地域との連携を図る	① 生活保護の就労支援員と懇談会を持つなど連携を広げてきたが点と点での連携でありネットワーク作りまでは至らなかった。	C
就職者数 35 名	① 29 年度就職者数 19 名 目標を大幅に下回った。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント なし

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/13	移行支援事業所事例検討会	中村区自立支援協議会日中活動部会	赤井、中西
4/14	管理職研修	親愛の里	佐藤
5/11	管理職研修	親愛の里	佐藤
5/30	若葉学習会	親愛の里	中西
6/1	管理職研修	親愛の里	佐藤
6/16	管理職研修	親愛の里	佐藤
6/22～23	甲種防火管理新規講習	名古屋市	赤井
6/28	親愛の里学習会	親愛の里	中西、赤井
7/6	管理職研修	親愛の里	佐藤
7/6～7	名古屋支援事業所長野研修	親愛の里	赤井
7/18	雇用促進セミナー	名古屋市健康福祉局	小部
7/26	親愛の里学習会	親愛の里	佐藤、赤井、中西
8/3	管理職研修	親愛の里	佐藤
8/23	親愛の里学習会	親愛の里	中西、赤井
8/23	名古屋身体障害者福祉連合会現況報告会	名古屋身体障害者福祉連合会	小部
8/28	リスクマネジメント研修	苦情サービスセンター	佐藤
8/29	若葉学習会	親愛の里	中西
9/3	親愛の里福祉大会	親愛の里	佐藤、中西、赤井
9/14	管理職研修	親愛の里	佐藤
9/26	若葉学習会	親愛の里	中西
9/27	親愛の里学習会	親愛の里	中西、赤井
10/12	移行支援事業所事例検討会	中村区自立支援協議会	佐藤
10/25	親愛の里学習会	親愛の里	中西、赤井
10/29・30	法人管理職研修	親愛の里	佐藤
10/31	若葉学習会	親愛の里	中西
11/7	就業支援実践研修（精神障害コース）	岐阜障害者職業センター	赤井
11/29	親愛の里学習会	親愛の里	佐藤、赤井、中西
12/7	就業支援実践研修（発達障がいコース）	愛知障害者職業センター	小部
12/20	親愛の里学習会	親愛の里	佐藤、赤井、中西

期 日	研修名	主催	参加者
12/26	若葉学習会	親愛の里	中西
12/27	管理職研修	親愛の里	佐藤
1/24	親愛の里学習会 「障害者総合支援法について」	親愛の里	佐藤、中西、赤井
1/30	若葉学習会	親愛の里	中西
2/8	管理職研修	親愛の里	佐藤
2/27	強みを活かす社会貢献活動とは？	中村区社会福祉 協議会	佐藤
3/1	若葉学習会	親愛の里	中西
3/9	フォルテ事例検討会	親愛の里	赤井
3/14	管理職研修	親愛の里	佐藤

平成29年度苦情受付一覧表

別紙 4-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	平成29年8月	本人	1 サービス内容 (質・量) サービス内容 (職員の接遇)	要望	2	担当職員が利用者との次回の日程調整を忘れ、1か月間連絡をしないままの状態にしまった。	本人と紹介機関に連絡し、謝罪。本人より、今後の利用については考えたいと話がある。その後、本人から連絡が無い為、紹介機関に状況を確認。家業を手伝うことにしたため就活はストップするとのこと。⇒再発防止の為、担当利用者の支援活動状況を整理している表の活用を再度徹底することを確認した。	無
2	平成29年8月	本人	7 サービス内容 (質・量) サービス内容 (職員の接遇)	その他	4	ことが進んでいないと本部に電話あり。就労センターにも面談してくれないと何度も電話あり。面談の日にはちを設定しようとしても都合が付かないと本人より返答があり面談できない。	主治医に相談。現在その状態。就労センターがターゲットになっている。家族にも連絡を取り場合に よっては入院をとの事だったか電話の回数は徐々に減っていった。しかしその後も電話での訴えが断続的にあった。	無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 1件 ※苦情のレベル 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … 1件
2 サービス内容(質・量) … 0件 2 請求 (法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
4 事業所運営 … 0件 4 その他 … 1件

- 5 契約内容 … 0件
6 建物の構造 … 0件
7 その他 … 1件

- ※苦情の発生原因 1 説明・情報不足 …0件
2 職員の態度・言動 …1件
3 サービス内容 … 0件
4 その他 … 1件

実績総数	2件
苦情受付	2件

平面図

食堂 43.72㎡	トイレ 10.44㎡	就労支援センター親愛 事務室 43.72㎡
談話室 43.72㎡		同室内に 親愛の里そよかぜ ぱれっとハウス

1F

別紙 4-2

中村区障害者基幹 相談支援センター 事務室 45.5㎡	会議室兼相談室15.79㎡
	会議室兼 相談室 10.32㎡
	廊下 6.98㎡
	会議室兼 相談室 10.63㎡
	トイレ 喫煙室
ロビー 44.19㎡	

事務室2F 面談などは1Fの部屋を使用

運営改善委員会：平成 29 年度事業報告書

1 目的・趣旨

運営改善委員会は、社会福祉法人親愛の里名古屋支援事業所において全事業所利用者対象の「サービス満足度調査」(アンケート)を行い、調査結果をもとに私たちが提供する福祉サービス業務の内容や日々の関わり方などを振り返る機会とする。なお、調査結果をふまえ、今後のサービス内容の向上を目的とする職員研修などの取り組みも行う。

2 構成員

8 名：各事業所にて委員を募り、1 名～2 名選出。(職員代表も兼ねる)

【活動報告】

・毎月一回の開催(基本)の「運営改善委員会」において、下記の内容にて取り組んだ。

	日にち	内容
第 1 回	4/25(火)	昨年度の取り組み確認、今後の取り組み内容・実践方法の確認
第 2 回	5/30(火)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討(地活)
第 3 回	6/27(火)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討(就労支援事業部、GH、相談センター)
第 4 回	7/25(火)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討(全体を通しての質問事項の文章を確認)
第 5 回	8/29(火)	委員でプレアンケートの実施、実施方法について再度検討
第 6 回	9/26(火)	アンケート実地方法の詳細確認(10 月からの実施に向けて)
第 7 回	10/31(火)	進捗状況(配布・回収状況)確認と共有
第 8 回	12/19(火)	アンケートを委員間での共有、分析
第 9 回	12/26(火)	アンケートの分析、共通項目について洗い出し
第 10 回	1/30(火)	アンケート結果(共通項目)について各部会議にて共有した状況報告、結果の掲示について
第 11 回	2/27(火)	アンケート結果の掲示など各事業所での取り組み状況の確認、運営改善委員主催の研修についての検討
第 12 回	3/27(火)	今年度の振り返り、来年度に向けて研修素案の作成

【アンケート実施期間】：平成 29 年 11 月上旬 ～ 平成 29 年 12 月下旬(約 2 か月)

【実施状況】：平成 29 年度(第 2 回)サービス満足度調査

配布数：316 部 回収数：229 部 回収率：72.5%

(※参考：平成 28 年度(第 1 回) 配布数：256 回収数：141 回収率 55.1%)

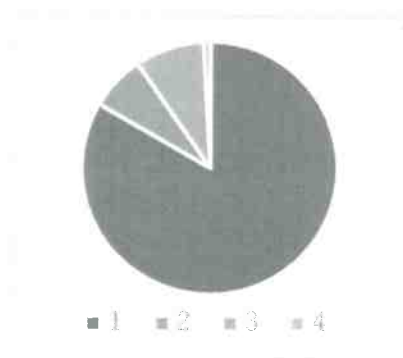
【「サービス満足度調査」アンケート実施事業および事業所名】：今回、各事業にて実施。

事業名	事業所名
地域活動支援事業	親愛の里そよかぜ（中村区） ハートランド森（熱田区） クオーレ（南区）
就労移行支援事業	ジョブサポートフォルテ
就労継続支援 B 型事業	ジョブサポートフォルテ、ワークショップ虹
自立訓練（生活訓練）事業	ワークショップ虹
共同生活援助事業	ぱれっとハウス
相談支援事業	障害者基幹相談支援センター：中村区、熱田区、南区（サテライト） 障害者就労支援センター親愛

【調査結果に対するの考察および対応】

下記、共通項目（3 問）に対して、話し合いの機会を設け改善対策を講じる。

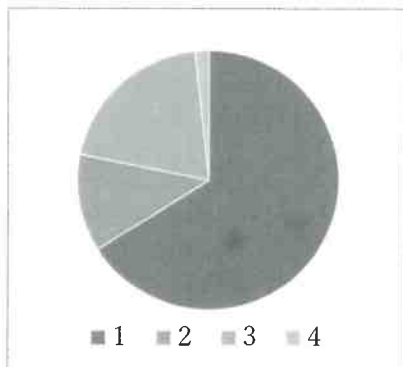
問 2 あなたは職員の言葉遣い、態度が適切だと思いますか



1: はい(83%) 2: いいえ(7%)
3: どちらともいえない(9%) 4: 無回答(1%)

5 人に一人の利用者さんが「いいえ」「どちらともいえない」と回答。ケースによっては砕けた言い方がより良い場合もあるが、面接など場面によっての使い分けが必要。職員同士のフィードバックが必要。

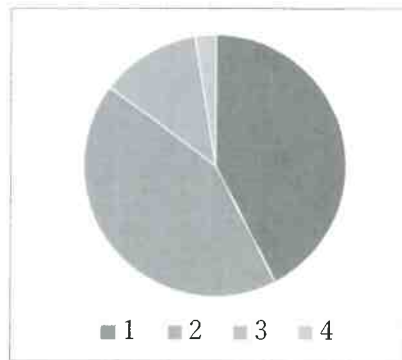
問 6 職員の対応にゆとりが感じられますか



1: はい(66%) 2: いいえ(12%)
3: どちらともいえない(20%) 4: 無回答(2%)

3 人に一人の利用者さんが、「いいえ」「どちらともいえない」熱田・南地域支援部は相手の顔を見て名前を呼んで挨拶をする《あいさつ缶バッジ》を作成し着用。

問 7 不満や苦情など職員に相談できない場合は、職員以外の人（第三者委員など）に相談出来る事を知っていますか



1: はい(42%)

2: いいえ(43%)

3: どちらともいえない(12%)

4: 無回答(3%)

全体の半分以上の利用者さんへ周知不足。第 1 回の際に作成した第三者評価についてのチラシを再度利用者に説明を行い、掲示場所を変えて目に留まるような工夫を行なった。相談事業に関しては面談時に説明を行うなど改善。

なお、上記以外の意見などに関しては、各事業にて「調査結果：（利用者の自由筆記の部分も含め）」の検証を行い、改善すべきことに対して速やかに対応を行う。

【課題および今後の取組みなど】

・課題として：

利用者によっては、アンケート内容の本意（お聞きしたい内容）から外れてしまうかたちで回答されている可能性のある項目があった。＜回答の偏り結果からの推察＞

今回のアンケートの内容は、前回の質問項目を改めて精査するかたちにて行なったが、聞き方が広域的に捉えられるものがあったことなど、改善点が残る。

・今後（平成 30 年度）に向けた取組み：

質問項目によっては、「より具体的」な聞き方をする必要があるのか、または質問内容によっては関連性を考慮し順番を並べるなどの工夫などを検討していく必要があるかなどを検討していく。

「調査（アンケート）結果」を元に、より利用者満足度の向上のための取組みとして、職員研修などの提案を来年度の委員に引き継ぐ。

*H28 年度としては「職員研修：対人支援の向上」を実施している。

テーマ「支援者の立ち位置 利用者とのかわり」 講師：日本福祉大学 大谷先生

防災委員会：平成 29 年度事業報告書

1 目的・趣旨

これまで名古屋支援事業所では、各事業所で防火管理者を選任して、消防計画を作成し、消防署に届け出ていた。しかし職員の異動や退職等に併せて、防火管理者を変更していなかったことや、消防計画自体も現状と合っていなかったことがあった。今年度の防災委員会においては、消防計画を名古屋全体で見直すことと、各事業所の防災対策の検討、合わせて国から策定があがっている「非常災害対策計画」の作成することを、主な目的としている。

2 構成員

委員長：増田施設長、ジョブサポートフォルテ：片桐課長、
中村地域支援 1・2 課：赤井、ばれっとハウス：加藤、熱田地域支援課：奥村、
南地域支援課：松本（純）、ワークショップ虹：新開 （計 7 名）

【活動報告】

・2 ヶ月に一回の開催（基本）の「防災委員会」において、下記の内容にて取り組んだ。

	日にち	内容
第 1 回	4/28(金)	・上記構成員が各課の事業所の防火管理者となる。各委員は必要に応じて、防火管理講習を受講しに行く。 ・今後取り組むべきことの確認 防火管理責任者の解任と選任・消防計画の見直し 備蓄品の確認と購入 緊急連絡網の整備、実施訓練 非常災害対策計画の作成 各事業所での防災訓練についての検討と振り返り 地域貢献として災害時の地域の避難所としての役割の検討
第 2 回	6/2(金)	・各事業所の消防計画、備品等の現状報告・情報共有 ・現在の電話を用いた緊急連絡網の現状・課題を踏まえ、メール使用の検討 ・非常時の対応マニュアルの簡素化の検討
第 3 回	8/4(金)	・各事業所の消防計画の届け出状況を確認。 ・各事業所で実施する、1 回目の防災訓練の企画内容を共有。
第 4 回	10/6(金)	・各事業所での 1 回目の防災訓練実施状況の報告、反省点や今後

		のあり方について検討 ・非常災害対策計画の原案を作成。（内容の確認、変更点の共有）
第 5 回	12/1(金)	・各事業所で作成してきた非常災害対策計画の内容の違いや、不明点、確認事項の共有 ・非常災害対策計画における非常用持ち出し用品の中で、購入する必要があるものの確認。カウネットで商品を検索してリストアップ。
第 6 回	3/2(金)	・各事業所における、2 回目の防災訓練の実施状況の確認 ・さすまたの使用方法についてアルソックから講習

【課題および今後の取組みなど】

- ・平成 29 年度の防災委員会において、消防計画の見直し、事業所備品の検討、非常災害対策計画の策定など、おおよその目的を達成できた。平成 30 年度は、2 ヶ月に 1 回から 3 ヶ月に 1 回（年 4 回）へと回数を減らして、防災委員会を開催する。
- ・毎年 4・10 月に消防計画の見直し、確認を行う。
- ・各事業所で必要に応じて防火管理者の解任、選任を行う。
- ・非常時に機能する、緊急連絡網の整備を行う。
- ・不足している備品については、平成 30 年度予算内で事業所ごとに購入する

平成 29年度事業報告

1 種別・名称 親愛の里保育園

2 概況

(1) 重点目標 別表 1

(2) 現状

- ① 園児の定員 135 名ではあるが、年間通して満たした月はない。しかし特別支援を必要とする園児が 16 名在園し、全体としては、余裕のある保育という状況には至らなかった。
- ② 食事に関しては、アレルギー児(10 名)の対応に細心の注意をはらい、誤飲誤食のないよう担任、栄養士、調理員が連携をとり対応出来ていたため誤りなく過ごす事が出来た。しかし、献立の変更に関して話し合う時間が思うように取れず、材料などの発注に誤りが生じたこともあった。
- ③ 年間行事を実施してきたが、今年度は運動会・生活発表・卒園、入園、終了式など行事内容、参加方法などを変更した。保護者へのアンケートから良かった点、改善点など上がってきている。
- ④ 一時保育、子育て支援、病児保育の三事業については、前期の利用者が減少傾向にあったため、対応策として利用方法の変更や保護者アンケートにより事業の見直しをしたところ、後期の利用者は、増加し安定した利用数となった。
- ⑤ 職員の勤務体制の見直しを行い、週休 5 日制、8 時間勤務となったが、より働きやすい環境づくりとして、土曜日代休が取りやすくするため土曜日代替保育士を採用した。
- ⑥ 職員の資質向上のため、外部より講師を招き研修を行うと共に、希望者には、研修に出向いてもらった。又、園内でも公開保育を行い保育の見直しなどを行ってきたが、成果がはっきりと見られず中途半端な状態に終わってしまった。

(3) 課題と対応

- ① 特別支援の園児を含め、保育時間の延長(午後7時)に伴い、長時間園で生活する子が多くなっている。安全確保のねらいからも、職員を増やしていかないと安全な保育が出来ないと思われるので、臨時職員の採用を考えていく。
- ② 給食の材料の発注間違いなど防ぐため、献立等の話し合い(栄養士、調理員、主任)を計画的に行っていく。
- ③ 保護者のニーズ合わせ行事の内容、参加方法など保護者のアンケートから良かった点、改善点など参考にしながら来年度に生かしていく。
- ④ 保育者の仕事内容を軽減するために、ノーコンタクトタイムを取り入れ書類整理や壁面構成にあてる。
- ⑤ 保育者の資質向上を目指し、主任を 2 人体制にするなど職員構成を見直しすると共に、職員の指導や保育経験に合わせ、実技研修や園内研修を充実させる。保育士間で公

開保育を実施し、自分の保育を客観視するなど、子どもの発達にあった保育の見直しの
ため話し合いの機会を持ち、全職員の資質向上を目指していく。

3 利用実績

(1) 月別保育実施

29・4・1～30・3・31

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月保育日数	24日	24日	26日	25日	26日	24日
初日在籍児童数	128人	127人	126人	125人	127人	128人
月給食実施日数	23日	24日	26日	25日	25日	24日
延在籍児童数	3072人	3048人	3276人	3125人	3302人	3072人
延出席児童数	2355人	2273人	2689人	2314人	1923人	2454人
延給食日数	2944日	3048日	3276日	3125日	3175日	3072日
延給食実施数	2355回	2273回	2691回	2314回	1912回	2454回
出席率	76. 7%	74. 6%	82. 1%	74. 0%	58. 2%	79. 9%
給食率	78. 0%	74. 6%	82. 1%	74. 0%	60. 2%	79. 9%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月保育日数	25日	24日	23日	23日	23日	26日
初日在籍児童数	131人	131人	131人	131人	130人	130人
月給食実施日数	24日	24日	23日	22日	23日	26日
延在籍児童数	3275人	3144人	3013人	3013人	2990人	3380人
延出席児童数	2727人	2506人	2555人	2131人	2314人	2609人
延給食日数	3275日	3048日	2921日	2794日	2921日	3125日
延給食実施数	2618回	2506回	2555回	2126回	2314回	2609回
出席率	83. 3%	79. 7%	84. 8%	70. 7%	77. 4%	77. 2%
給食率	79. 9%	82. 2%	87. 5%	76. 1%	79. 2%	83. 5%

(2) 3事業利用状況

平成29年度3事業利用状況													
別表1													
子育て支援センター くまっこルーム 利用数													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子 供	184	202	292	289	221	312	344	320	284	216	319	305	3288
保護者	168	188	269	274	197	282	315	289	260	201	279	267	2989
一時保育 さくらそう 利用数													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子 供	117	113	138	147	141	156	162	170	129	121	148	165	1707
病児・病後児保育 こすもす 利用数													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子 供	9	4	9	18	20	13	15	9	17	11	19	18	162

4 職員の状況

(1) 職種及び職員数

H30・3・31現在

職種	員数	常勤	非常勤	保有資格
園長	1	1		保育士 26名 幼稚園教諭 2 級 25名
主任	1	1		
保育士	26	15	11	
保育補助	4		4	
調理員	3	2	1	栄養士1名
看護師	2	1	1	看護師・準看護師
事務員	1		1	
計	38	20	18	

(2) 職員の勤務体制

職種	勤務体制
総園長、園長	正規の勤務時間帯(8:30~17:00)常勤で勤務
保育士	早番 ①(7:30~16:15) 早番 ②(8:00~16:45) 日勤 (8:30~17:15) 遅番 ①(9:45~19:00) 遅番 ②(9:30~18:30) 遅番 ③(9:00~18:00)

	土曜 早番 (7:30~16:45) 遅番①(9:30~19:00)
調理員	日勤(8:30~17:15) 早番(8:00~13:15)
嘱託医師	年 2 回受診有
臨時保育士	早番(7:30~9:30)・(8:00~16:15) (9:30~16:30) (9:00~16:00) 遅出(9:00~17:15)・(16:00~19:00) (14:00~18:30) 土曜 早番(7:00~9:30) 遅番(12:30~19:00)

(3)組・職員編成

○園長 1 名 ○主任 1名

○臨時(早朝 6・延長 5名) ○調理員 3名 ○嘱託医(内科1名・歯科1名)

30・3・31現在

年齢別	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
組名	ひよこ	うさぎ	こあら	たんぽぽ ・すみれ	なのはな	ひまわり	
男	2	8	9	12	14	14	59
女	6	11	10	17	14	13	71
計	8	19	19	29	28	27	130
担当職員	2(臨1)	3(臨1)	4	2(臨1)	1(臨1)	1(臨1)	15(臨5)

5 主な施設整備など

職員駐車場のフェンス ・

保育室の床ワックスがけ

6 活動内容

(1) 年間行事

日時	行事名
4月	入園式・進級式 家庭訪問(～5月)
5月	春の遠足
6月	保育参観(幼児)
7月	交通安全教室(5歳児) セタ会 カレー作り

8月	夏祭り
9月	防災訓練 祖父母を祝う会 親子給食(3歳児、4・5歳児新入園児)
10月	秋の遠足(4・5歳児親子) 親子運動会 5歳児知能検査 交通安全教室(4歳児)
11月	さつまいもケーキ作り 個別懇談会(0・1歳児)
12月	生活発表会 個別懇談会(幼児) クリスマス会 餅つき
1月	保育参観及び講演会
2月	豆まき クラス別記念撮影 作品展 むすび座人形劇 懇談会(2歳児)
3月	ひなまつり会 就学児交通安全教室 お別れ会食会 移動動物園(アクティブ) 卒園式・修了式

※毎月 25 日前後誕生会をおこなう。

(2)子どもの生活の記録

年齢ごとに保育過程に基づき、園のこどもの発達に合った指導計画を作成し
実践・評価反省をする。

○指導計画として

- ・デイリープログラム(クラス年齢毎に一日の生活のリズム表)
- ・年間計画表(年齢別に領域毎に一年間の計画を立てる)
- ・月、週指導計画(子どもの姿・養護と教育のねらいと内容・活動・配慮・援助等記載する。)
- ・保育日記(毎日)
- ・未満児は、個別指導記録を作成する。また、一日の生活の記録を保護者に知らせる。
- ・全園児、保育の処遇を作成(発達の段階・援助・配慮すべき事項等を記載する)

(3)職員研修

・年間:園外 33 件 /園内 34 件

7 安全・防災対策

(1)避難訓練実施状況

29・4・1～30・3・31

実施日	人 員	目 標	場 所	想定及び状況
4月19日	142	・火災地震についての話。 ・合図の音等を知る。	保育室	年齢ごとに火災や地震の危険性や避難の仕方を話す。 合図の音や放送を聴き、避難の区別を知らせる。
5月19日	143	避難経路・集合の仕方・ 避難場所を知る。	第一避難 所	合図の音を聞いて保育者のもとに集まる。 速やかに避難し、第一避難所で靴を履く。
6月29日	145	地震時の避難の仕方	第一～第 二避難所	保育者の指示に従い机の下に入る。防災頭 巾を被って避難する。
7月11日	143	午睡時の避難の	遊戯室	保育室の安全な場所に集め、布団をかける

		仕方(地震時)		等する。目覚めの悪い子への対応等、保育者間で連携を取り合い遊戯室へ避難する。
8月28日	119	風水害時の避難の仕方	第一避難所	風水害時の注意や避難の仕方を紙芝居等利用して伝える。又、気象条件によっては、山や川へ行く事も危険であることも伝える。
9月1日	157	防災訓練	第一～第三避難所	防災頭巾を着用して、靴を履いて避難する。交通に注意し誘導する。 消防署への通報の仕方を確認する。
10月7日	16	休日保育の避難の仕方	第一避難所	担当保育士は連携を取り合い、速やかに避難させる。 父母の協力を得て避難する。
10月23日	12	時間外保育時の避難の仕方	第一避難所	迎えの父母の協力を得て避難する。保育者間で連携を取り、時間外保育で使用する保育室から避難する。
11月15日	148	自由遊び中の避難の仕方	第一～第二避難所	近くにいる保育士の側に集め避難させる。室内に子どもが残っていないか確認する。初期消火をする。
12月27日	135	自由遊び中の地震、火災時の避難の仕方	第一～第三避難所	室内にいる子は机の下、又は部屋の安全な場所に集まり揺れがおさまるまで待つ。戸外にいる子は、保育者の指示に従い速やかに避難する。
1月31日	149	地震、火災時の避難の仕方	第一～第二避難所	合図を聞き、机の下、又は部屋の安全な場所に集まり揺れがおさまるまで待つ。防災頭巾を着用後、靴を履いて避難する。第一避難所で人数確認の上第二避難所まで避難する。
2月28日	148	食事時の避難の仕方	第一避難所	合図を聞いて直ちに第一避難所へ避難する。
3月27日	128	地震、火災の避難の仕方	第一～第三避難所	合図を聞いて机の下に入る。又は安全な場所に集め揺れがおさまるまで待つ。 防災頭巾をかぶり一番近い出口から避難する。

(2)防犯訓練実施状況

29・4・1～30・3・31

実施日	人員	目標	場所	想定及び状況
5月12日	146	不審者に対する話	保育室	知らない人が近づいてきたり、声をかけられたときにどう

		を聞く。		するか話し安全に遊べるようにする。警報ブザーの音を聞き安全な場所へ集合する。
7月19日	146	不審者からの避難の仕方(園の様子を伺っている場合)	保育室	子どもの安全を確保し避難誘導をする。不審者と判断した場合、園内を全て施錠し、部屋の安全な位置に身をひそめる。カーテンは外の状況が見える程度に開けておく。
11月1日	148	不審者が侵入した場合の避難の仕方	園庭から室内	子どもの安全を確保し避難誘導する。 不審者がいることを知らせる。侵入者より離れた場所に誘導する。警察へ通報の訓練をする。
1月22日	135	不審者から身を守るため教材を使って理解を深める。	保育室	教材を活用し、自分の身を守るための知識や理解、避難する方法を深める。

8 園地・園舎・教具等

(1)園地・園舎の利用状況

○ 園地面積1963.13㎡ ○ 建築面積990.00㎡ ○ 床面積1620.61㎡

(2)保育室・調理室・事務室等の面積・便所の便器数等の状況

区分	室数	面積	区分	室数	面積
保育室	7	413.08	事務室	1	55.50
遊戯室	1	173.21	更衣室	2	6.60
乳児室・ほふく室	2	103.61	便所	11	97.86
給食室	1	89.39	多目的室	2	84.20
医務室	1	7.07	その他		590.09
便所の便器数 乳児(大3) 幼児(大15小14) 職員(大12小2)					

(3)教具等の状況

机	紙芝居	ステレオ	集合(物・形)	五月人形
椅子	マット	オーバーヘッド	ストップウォッチ	ひな壇
ホワイトボード	跳び箱	綱引き綱	こいのぼり一式	
楽器一式	平均台	CDプレイヤー	雛人形一式	
ピアノ	時計	玉入れ一式	五月人形一式	
ベット	テレビ	プール	乳母車	
指人形	幻灯機	絵具用具	ビデオカメラ	
らくがきボード	カメラ	木工用具	ビデオ	
スチール黒板	テープレコーダー	絵本	カラーベンチ	

(4)遊具等の状況

鉄棒	三輪車	カラーボックス	人形・ぬいぐるみ	砂場
----	-----	---------	----------	----

滑り台 網	サッカーゴール クライミング ウォール	積み木 エス棒 なわとび・まり ネット付滑り台	カラーベルト ブロック類 砂遊び一式 ままごとセット	室内鉄棒 総合遊具
----------	---------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	--------------

9 苦情(要望)などの状況

30年1月 保育参観の参加の仕方について

今年度、園児一人につき、お一人の参観者でとお願いしたところ、せっかく二人で行こうと思っていたのに、制限しなくとも良いのではと言うご意見を頂いた。部屋
の狭さもあり、また昨年度参観者が多すぎ、子どもたちの様子を、落ち着いて観
て頂けなかったことを踏まえ、今回限定させてもらった。この方法で良いと感じて
頂いた保護者も多かった。

参観時の写真撮影について

写真撮影などをご遠慮頂いたが、撮影を許可して欲しいと言われる方があった。
お子さんの園生活での姿をしっかり観て頂く。又遊びに参加して頂き遊びの楽し
さを共感して頂くなど本来の参観のねらいがあり、又個人情報の関係もあり撮影
の禁止をお願いしたことをお伝えし了承願った。

※ 保護者の方々の要望に耳を傾けることは大切かと思っているが、要望をすべて
受け入れる事は難しい、今回の場合も、職員と話し合いの上、決定した事項でも
あるので、再度職員と話し合いを持ちより良い方法を探っていく。

別表 1

1 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
1 子どもの発達に応じた援助を行い、安全で情緒の安定した生活が送れるようにする。	・年間計画、クラス月案、個別指導計画、処遇、日誌 デイリープログラムなど一人ひとりに適した指導計画を作成し5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)が満遍なく発達出来るよう 保育者は援助を考え保育にあたる。保育者はゆったりと子ども達に関わる。	B
2 子どもたちが安全で意欲的に遊ぶことが出来る環境づくりをする。	・クラス担任は、室内外の安全点検を週に1度を行う。 ・園外保育の場合は、事前に下見をおこなう。また計画書の提出をする。 ・子ども達の興味関心を把握し環境の構成を考え援助する。	B

	・安全会議を設け、職員間で話し合い園内マニュアルの周知をする。 ・業者による砂場や遊具の点検整備を委託。	
3 幼児に運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせるため基礎的な指導を計画的に行う。	・外部(カワイ体操教室・造形教室)より指導員を招き定期的に機会を設け運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせる。	B
4 地域、家庭と連携を持ち保育園との相互理解を深め信頼関係を築いていく。	・園日より、クラス便りを毎月家庭に配布し、園の様子を知らせる。 ・園の行事ごとにアンケートを行い保護者の方々の要望、ご意見など頂き今後の保育に生かしていく。大きな行事には、地域の方々にも参加や協力を頂くなど地域との交流をはかる。 ・地域の行事への参加を行っていく。	B

(2) 第2期3か年計画(H27年度～H29年度)の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
保育士の資質向上を図るため、研修計画を見直す。	・初任保育士は、子どもを見る目を養う、指導計画の立て方学ぶ。 ・中堅保育士は園内公開保育を実施また後輩の指導に当たるなど、経験年数に応じ園内研修をおこなってきた。	C
職員の有給消化及び4週8休の実施に向け検討する。	今年度4月より実施する。	B
絵本に親しみ情緒の安定や感性が育つようにする。	貸出し図書の実施に当たり、絵本の収集、本の種わけ、ラベルを貼るなど準備をしつつある。また、日々保育者は絵本、紙芝居など身近に感じられるよう子ども達に読み聞かせを行っている。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない